BEST AVAILABLE COPY

(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2002 年1 月24 日 (24.01.2002)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 02/06268 A1

(51) 国際特許分類⁷: C07D 333/20, 333/22, 333/32, C07C 271/16, A61K 31/381, A61P 37/06, C12P 13/00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP01/05988

(22) 国際出願日:

2001年7月10日(10.07.2001)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2000-212246 2000 年7 月13 特願2000-241744 2000 年8 月9 特願2000-283218 2000 年9 月19

2000年7月13日(13.07.2000) JP 2000年8月9日(09.08.2000) JP 2000年9月19日(19.09.2000) JP

(71) 出願人 *(*米国を除く全ての指定国について): 三共株 式会社 (SANKYO COMPANY, LIMITED) [JP/JP]; 〒 103-8426 東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 西 剛秀 (NISHI,

Takahide) [JP/JP]. 竹元利泰 (TAKEMOTO, Toshiyasu) [JP/JP]. 下里隆一 (SHIMOZATO, Takaichi) [JP/JP]. 奈良 太 (NARA, Futoshi) [JP/JP]; 〒140-8710 東京都品 川区広町1 丁目2番58号 三共株式会社内 Tokyo (JP).

- (74) 代理人: 大野彰夫,外(OHNO, Akio et al.); 〒140-8710 東京都品川区広町1丁目2番58号 三共株式会社内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AU, BR, CA, CN, CO, CZ, HU, ID, IL, IN, KR, MX, NO, NZ, PL, RU, SG, SK, US, ZA.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: AMINO ALCOHOL DERIVATIVES

┥(54) 発明の名称: アミノアルコール誘導体

00700

$$R^{4} \xrightarrow{NR^{1}R^{2}} (CH_{2})_{n} \xrightarrow{R^{6}} R^{7} \times -Y - R^{5} \qquad (I)$$

(57) Abstract: Compounds of the general formula (I), or pharmacologically acceptable salts, esters, or other derivatives thereof, exhibiting excellent immunosuppressive activities wherein R¹ and R² are each hydrogen or an amino-protecting group; R³ is hydrogen or a hydroxyl-protecting group; R⁴ is lower alkyl; n is an integer of 1 to 6; X is ethylene; Y is C₁₋₁₀ alkylene which may be monoto tri-substituted with one to more members selected from groups

a and b of substituents; R^5 is aryl; and R^6 and R^7 are each hydrogen or a member selected from group a of substituents, with the proviso that when R^5 is hydrogen, Y is a group exclusive of single bond and linear $C_{1.10}$ alkylene.

(57) 要約:

本発明は、優れた免疫抑制作用を有する、下記一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体に関する。

[式中、 R^1 及び R^2 は、水素原子、アミノ基の保護基; R^3 は、水素原子、ヒドロキシ基の保護基; R^4 は、低級アルキル基;nは、1乃至6の整数;Xは、エチレン基;Yは、 C_1 - C_{10} アルキレン基、置換基群 a 及びb から選択される基で1 乃至 3 個置換された C_1 - C_{10} アルキレン基; R^5 は、アリール基; R^6 及び R^7 は、水素原子、置換基群 a から選択される基;但し、 R^5 が水素原子であるとき、Yは単結合及び直鎖の C_1 - C_{10} アルキレン基以外の基を示す。]

1

明細書

アミノアルコール誘導体

技術分野

本発明は、優れた免疫抑制作用を有するアミノアルコール誘導体、その薬理上許容される塩、そのエステル若しくはその他の誘導体、それらを有効成分として含有する医薬組成物、医薬組成物を製造するためのそれらの使用、又は、それらの薬理的に有効な量を温血動物に投与する自己免疫疾患等の予防方法若しくは治療方法に関する。

更に、本発明は、上記アミノアルコール誘導体等の医薬品の合成中間体として有用な、新規な光学活性アミノアルコール化合物、特に、光学活性な4,4-二置換オキサゾリジン-2-オン化合物に関する。

更に、本発明は、上記光学活性アミノアルコール化合物の合成中間体として重要である、光学活性な2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体の、新規で優れた選択性を有する製造方法に関する。

技術背景

従来、リウマチやその他の自己免疫疾患等の免疫関連病の治療においては、異常な免疫反応によって生じる炎症反応に対してステロイドなどの抗炎症薬が使用されてきた。しかしながらこれらは対症療法であり根本的治療法ではない。

また、糖尿病、腎炎の発症においても免疫系の異常が関与することは報告されているが [Kidney International, 51, 94(1997); Journal of Immunology, 1 57, 4691(1996)]、その異常を改善するような薬剤の開発には至っていない。

一方、免疫応答を抑制する方法の開発は、臓器及び細胞移植における拒絶反応を 防いだり、種々の自己免疫疾患を治療及び予防する上でも極めて重要である。しか しながら、シクロスポリンA (CsA) やタクロリムス (TRL) 等の従来知られている免疫抑制剤は、腎臓及び肝臓に対して毒性を示すことが知られており、そのような副作用を軽減するために、ステロイド類を併用するなどの治療が広く用いられてきたが、必ずしも副作用を示すことなく十分な免疫抑制効果を発揮するには至っていないのが現状である。

このような背景から、毒性が低く、優れた免疫抑制作用を有する化合物を見出す ことが試みられている。

免疫抑制剤としては、例えば、以下の化合物が知られている。

(1) WO94/08943 (EP627406)

本公報には、以下一般式 (a)

$$CH_2OR^4$$
 R^2R^3N
 CH_2OR^5
 R

[上記化合物 (a) において、

Rは置換基を有してもよい直鎖または分岐鎖状の炭素鎖 {当該鎖中に、二重結合、三重結合、酸素、硫黄、-N (R⁶) - (式中、R⁶ は水素)、置換基を有してもよいアリーレン、置換基を有してもよいヘテロアリーレンを有してもよく、当該鎖端に、置換基を有してもよいアリール、置換基を有してもよいシクロアルキル、置換基を有してもよいヘテロアリールを有してよい。} であり、R²、R³、R⁴、R⁵は、同一または異なって、水素、アルキルである。] を有する化合物が、免疫抑制剤として開示されている。

かかる先行技術の上記化合物(a)は、必須の置換基として、2つのオキシメチル基($-CH_2OR^4$ 及び $-CH_2OR^5$)を有するが、本発明の化合物は対応する基として、 $-CH_2OR^3$ 基と低級アルキル基を有している点で上記化合物(a)と相違する。

本公報には、本発明の化合物(I)の構造と類似するような構造を有する化合物

は、具体的に全く開示されておらず、本発明の化合物(I)の構造と最も近似の化合物を選択したとしても、せいぜい、以下のような化合物しか開示されていない。 実施例29

実施例293

(2) WO96/06068

本公報には、以下一般式 (b)

$$W \xrightarrow{NR^1R^2} X$$

$$(CH_2)_m OR^3$$
(b)

[上記化合物(b)において、

R¹、R² 及びR³ は、水素原子等であり、Wは、水素原子、アルキル基等であり、 Zは、単結合又はアルキレン基であり、Xは、水素原子又はアルコキシ基であり、 Yは、水素原子、アルキル、アルコキシ、アシル、アシルオキシ、アミノ、アシル アミノ基等を示す。」

を有する化合物が、免疫抑制剤として開示されている。

上記化合物(b)は、基本骨格中フェニル基を必須としているが、本発明の化合物(I)は、対応する基がヘテロ環であるチオフェン基である点で、上記化合物(b)と相違する。

更に本公報には、本発明の化合物(I)の構造と類似するような構造を有する化 合物は、具体的に全く開示されておらず、本発明の化合物(I)の構造と最も近似 の化合物を選択したとしても、せいぜい、以下のような化合物しか開示されていない。

(3) WO98/45249

本公報には、以下一般式 (c)

〔上記化合物 (c) において、

R¹、R²、R³、R¹は同一又は異なって、水素又はアシル基である。]を有する化合物が、免疫抑制剤として開示されている。

上記化合物(c)は、必須の置換基として、2つのオキシメチル基($-CH_2OR^3$ 及び $-CH_2OR^4$)を有するが、本発明の化合物は対応する基として、 $-CH_2OR^3$ 基と低級アルキル基を有している点で上記化合物(c)と相違する。また、上記化合物(c)は、基本骨格中 $-(CH_2)_2$ -基と $-CO-(CH_2)_4$ -基の間にフェニル基を必須の基としているが、本発明の化合物(I)は、対応する基がヘテロ環であるチオフェン基である点でも、上記化合物(c)と相違する。

また、上記化合物(c)は、-CO-(CH₂)、-基の必須の置換基としてフェ

ニル基を鎖端に有するが、本発明の化合物(I)は、対応する基としてシクロアルキル基、複素環基を有し得る点でも相違する。

更に本公報には、本発明の化合物(I)の構造と類似するような構造を有する化合物は、具体的に全く開示されておらず、本発明の化合物(I)の構造と最も近似の化合物を選択したとしても、せいぜい、以下のような化合物しか開示されていない。

一方、光学活性な置換アミノ酸及び置換アミノアルコール誘導体 (特に、αー置換アミノ酸及びαー置換アミノアルコール誘導体)はそれ自体が生理活性を有するものや天然物や医薬品の部分構成成分、合成中間体等重要な化合物が多い。

例えば、 α ーメチルー α ービニルアミノ酸は、アミノ酸 decarboxylase の阻害剤として、 α ーエチニルー α ーメチルアミノ酸はグルタミン酸 decarboxylase の阻害剤として、有用な化合物であり、また免疫抑制作用を有する冬虫夏草菌(Isalia sinclairii)の代謝産物から単離された I S P -1 (Myriocin)やT細胞による免疫応答の調節に関与することが知られている Conagenin 等の生理活性を有する天然物の部分構成成分としても光学活性な、 α - 置換アミノ酸及びアミノアルコール誘導体は生化学及び有機合成化学上、非常に興味が持たれている。

そして、これらαー置換アミノ酸及びアミノアルコール誘導体は不斉炭素を有す

ることからその一方のエナンチオマーを効率良く合成する手段が切望されていた。

光学活性な置換アミノ酸及びアミノアルコール誘導体の製造方法及び、前記光学活性な置換アミノ酸及びアミノアルコール誘導体等の医薬品の合成中間体として有用である光学活性な 4, 4-二置換オキサゾリジン-2-オン化合物のような光学活性アミノアルコール化合物の合成例は、極めて少なく、例えば、C. Cativiela らによって Tetrahedron: Asymmetry, 9, 3517 (1998)の総説や R. M. Williams 著「Synthesis of Optically Active α -Amino Acids」(Pergamon Press) で纏められているような数多くの方法が知られており、大きく二つの方法に大別される。

第一に、不斉補助基を用いたジアステレオ選択的なアルキル化を用いた方法で、 代表的な方法としては Seebach らにより Helv. Chim. Acta., 71, 224 (1988) に報告されているような方法や、或いは長尾、佐野らによって Tetrahedron Lett., 36, 2097 (1995) や Tetrahedron Lett., 36, 4101 (1995) に報告されているような、キラルなビスラクタムエーテルカルボン酸エステル体と Mg(II) 及び Sn(II) 系ルイス酸とを活用する高ジアステレオ選択的アルドール反応による α -置換セリン誘導体の合成が知られている。

第二に、長尾、玉井らによって Chemistry Lett., 239 (1989)や Chemistry Lett., 2381 (1994)に報告されているプロキラルな σ 対称ジェステル体のエナンチオ選択的な酵素加水分解反応による α -置換セリン誘導体の合成法に代表されるような α -置換- α -保護アミノマロン酸ジェステルのエナンチオ選択的な酵素的加水分解反応を用いた方法がある。

第一の方法に分類される製造法はいずれも工程数が多く、化学量論量の不斉源を 用いる必要がある。また、第二の方法は還元工程があるために還元条件で不安定な 置換基がある場合には制限があるなどの欠点がある。

このように報告例は多いものの、実用的な方法は極めて少ない。一般的には、ラ セミ体を光学分割して、一方の光学異性体を得る方法が一般的であり、その場合に は通算収率の低下は避けられないという問題がある。

発明の開示

本発明者らは、免疫抑制作用を有する誘導体について鋭意研究を行った結果、本 発明のアミノアルコール誘導体(I)が、毒性が低く優れた免疫抑制作用を有し、 全身性エリトマトーデス、慢性関節リウマチ、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、ベ ーチェット病、Chron 病、潰瘍性大腸炎、自己免疫性肝炎、再生不良性貧血、特 発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、多発性硬化症、自己免疫性水疱 症、尋常性乾癬、血管炎症群、Wegener 肉芽腫、ぶどう膜炎、特発性間質性肺炎、 Goodpasture 症候群、サルコイドーシス、アレルギー性肉芽腫性血管炎、気管支 喘息、心筋炎、心筋症、大動脈炎症候群、心筋梗塞後症候群、原発性肺高血圧症、 微小変化型ネフローゼ、膜性腎症、膜性増殖性腎炎、巣状糸球体硬化症、半月体形 成性腎炎、重症筋無力症、炎症性ニューロパチー、アトピー性皮膚炎、慢性光線性 皮膚炎、急性多発性関節炎,Sydenham舞踏病,全身性硬化症、成人発症糖 尿病、インスリン依存性糖尿病、若年性糖尿病、アテローム性動脈硬化症、糸球体 腎炎、尿細管間質性腎炎、原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、劇症肝炎、 ウイルス性肝炎、GVHD、各種臓器移植での拒絶反応、接触皮膚炎、敗血症等の自 己免疫疾患又はその他免疫関連疾患に有用であることを見出し、本発明を完成した。 従って、本発明の目的は、毒性が低く優れた免疫抑制作用を有するアミノアルコ ール誘導体、その薬理上許容される塩、そのエステル若しくはその他の誘導体を提 供することである。

本発明の他の目的は、上記アミノアルコール誘導体、その薬理上許容される塩、 そのエステル若しくはその他の誘導体を有効成分として含有する医薬組成物、上記 医薬組成物を製造するためのそれらの使用、又は、それらの薬理的に有効な量を温 血動物に投与する自己免疫疾患等の上記疾患の予防方法若しくは治療方法を提供 することである。 また、本発明者等は、光学活性アミノアルコール化合物及びその中間体の製造方法について上述したような問題を解決するために鋭意研究を行った結果、従来の方法に比し、簡便な方法で、新規な光学活性アミノアルコール化合物(La)及び(Lb)、特に、光学活性な 4,4-二置換オキサゾリジン-2-オン誘導体を製造することができ、かつ、該誘導体が、光学活性な置換アミノ酸及び置換アミノアルコール誘導体等の医薬品の製造中間体として有用であることを見出した。

更に、本発明者等は、上記光学活性アミノアルコール化合物(La)及び(Lb)の選択的製造方法について鋭意研究を行なった結果、その合成中間体として、光学活性な2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体(XLIVa)又は(XLIVb)が好ましく、該化合物(XLIVa)及び(XLIVb)は、2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール誘導体(XLII)を原料として用い、リパーゼの存在下に、カルボン酸 ビニルエステル誘導体(XLII)を原料として用い、リパーゼの存在下に、カルボン酸 ビニルエステル誘導体(XLIII)を使用することによる、一方の水酸基のみの選択的アシル化により、容易かつ簡便に、収率良く製造できることを見出し、本発明を完成した。

即ち、

(1) 本発明のアミノアルコール誘導体は、下記一般式 (I) を有する。

「式中、

R¹及びR²は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、 R³は、水素原子又はヒドロキシ基の保護基を示し、 R⁴は、低級アルキル基を示し、 nは、1乃至6の整数を示し、

Xは、エチレン基、ビニレン基、エチニレン基、式ーDーCH2ーを有する基(式中、Dは、カルボニル基、式ーCH(OH)ーを有する基、酸素原子、硫黄原子 又は窒素原子を示す。)、アリール基又は置換基群 a から選択される基で1乃至3個 置換されたアリール基を示し、

Yは、単結合、 C_1-C_{10} アルキレン基、置換基群 a 及び b から選択される基で1 乃至 3 個置換された C_1-C_{10} アルキレン基、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至 3 個置換された、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基を示し、

R⁵は、水素原子、シクロアルキル基、アリール基、複素環基、置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換されたシクロアルキル基、置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基、又は置換基群 a 及び b から 選択される基で1乃至3個置換された複素環基を示し、

R⁶及びR⁷は、同一又は異なって、水素原子又は置換基群 a から選択される基を示す。

但し、R⁵が水素原子であるとき、Yは単結合及び直鎖のC₁-C₁₀アルキレン基 以外の基を示す。]

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエスデル、又は、その他の誘導体

<置換基群 a >

<置換基群b>

ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基、ヒドロキシ基、低級脂肪族アシル基、アミノ基、モノー低級アルキルアミノ基、ジー低級アルキルアミノ基、低級脂肪族アシルアミノ基、シアノ基及びニトロ基

シクロアルキル基、アリール基、複素環基、置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたシクロアルキル基、置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基、及び置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換された複素環基。

上記化合物(1)において、好適な化合物を下記に挙げることができる。

(2)(1)において、式(Ia)

$$R^4$$
 $(CH_2)_n$ $(CH_2)_n$ (Ia)

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体、

(3)(1) において、式 (Ib)

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体、

(4)(1)乃至(3)から選択されるいずれか1項において、

R¹及びR²が、同一又は異なって、水素原子、低級アルコキシカルボニル基、ア ラルキルオキシカルボニル基又は置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換 されたアラルキルオキシカルボニル基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(5)(1)乃至(3)から選択されるいずれか1項において、

R¹及びR²が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩、

(6)(1) 乃至(5) から選択されるいずれか1項において、

R³が、水素原子、低級アルキル基、低級脂肪族アシル基、芳香族アシル基又は 置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換された芳香族アシル基である化合 物又はその薬理上許容される塩、

- (7)(1)乃至(5)から選択されるいずれか1項において、 R³が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (8) (1) 乃至 (7) から選択されるいずれか 1 項において、 R'が、 $C_1 C_2$ アルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (9)(1) 乃至(7) から選択されるいずれか1項において、 R'が、C,-C,アルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (10)(1)乃至(7)から選択されるいずれか1項において、 R⁴が、メチル基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (11)(1)乃至(10)から選択されるいずれか1項において、 nが、2又は3である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (12)(1)乃至(10)から選択されるいずれか1項において、 nが、2である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (13)(1) 乃至(12) から選択されるいずれか1項において、

Xが、エチレン基、エチニレン基、アリール基又は置換基群 a から選択される基で1万至3個置換されたアリール基である化合物又はその薬理上許容される塩、

- (14)(1) 乃至(12) から選択されるいずれか1項において、 Xが、エチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (15)(1)乃至(12)から選択されるいずれか1項において、 Xが、エチニレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (16)(1)乃至(12)から選択されるいずれか1項において、 Xが、式-D-CH2-を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (17)(1)乃至(12)から選択されるいずれか1項において、Xが、式-D-CH₂-を有する基(式中、Dは、カルボニル基又は式-CH(OH)-を有する基を示す。)である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (18)(1)乃至(17)から選択されるいずれか1項において、 Yが、 C_1-C_{10} アルキレン基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された C_1-C_{10} アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (19)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、 Yが、 C_1-C_6 アルキレン基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3 個置換された C_1-C_6 アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (20)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基、トリメチレン基、テトラメチレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された、エチレン、トリメチレン若しくはテトラメチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(21)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基、トリメチレン基若しくはテトラメチレン基である化合物又は その薬理上許容される塩、

(22)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基又はトリメチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩

(23)(1) 乃至(17)から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃至 3 個置換された、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(24)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する $C_1 - C_{10}$ アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(25)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子を有する $C_1 - C_{10}$ アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(26)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子を有するC,-C。アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(27)(1) 乃至(17) から選択されるいずれか1項において、

Yが、 $-O-CH_2-$ 、 $-O-(CH_2)$ $_2-$ 、 $-O-(CH_2)$ $_6-$ 、 $-CH_2-O-$ 、 $-(CH_2)$ $_2-O-$ 又は $-(CH_2)$ $_3-O-$ を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩、

- (28)(1)乃至(17)から選択されるいずれか1項において、 Yが、-CH,-O-を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (29)(1) 乃至(17)から選択されるいずれか1項において、 Yが、 $O-(CH_2)_2$ -又は $O-CH_2$ $O-CH_$
 - (30)(1)乃至(29)から選択されるいずれか1項において、 R⁵が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩、
 - (31)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、シクロアルキル基、複素環基、置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃至 3 個置換されたシクロアルキル基又は置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃至 3 個置換された複素環基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(32)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、シクロアルキル基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個 置換されたシクロアルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(33)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、シクロアルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩、

- (34)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、 R⁵が、シクロヘキシル基である化合物又はその薬理上許容される塩、
- (35)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、 P⁵が、アリール其又は関係其群。及びよかと選択される其で1.75~3

R⁵が、アリール基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(36)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、アリール基又は1乃至3個置換されたアリール基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、低級アルキルチオ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩、

(37)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、アリール基又は1乃至3個置換されたアリール基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩、

(38)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、フェニル基又は1万至3個置換されたフェニル基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩、

(39)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、フェニル基又は1乃至3個置換されたフェニル基(該置換基は、弗素原子、塩素原子、メチル、トリフルオロメチル、メトキシ及びアセチル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩、

(40)(1) 乃至(29) から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、フェニル、3-フルオロフェニル、4-フルオロフェニル、3,4-ジ フルオロフェニル、3,5-ジフルオロフェニル、3-クロロフェニル、4-クロ ロフェニル、3,4-ジクロロフェニル、3,5-ジクロロフェニル、3-メチル フェニル、4-メチルフェニル、3,4-ジメチルフェニル、3,5-ジメチルフ ェニル、3-トリフルオロメチルフェニル、4-トリフルオロメチルフェニル、3,4-ジトリフルオロメチルフェニル、3,5-ジトリフルオロメチルフェニル、3,5-ジトリフルオロメチルフェニル、3,4-ジメトキシフェニル、3,5-ジメトキシフェニル、3,5-ジメトキシフェニル、3,4-ジメトキシフェニル、3,5-ジメトキシフェニル、3,4-ジメトキシフェニル、3-アセチルフェニル又は4-アセチルフェニル基である化合物又はその薬理上許容される塩、

(41)(1) 乃至(40) から選択されるいずれか1項において、

R⁶及びR⁷が、同一又は異なって、水素原子、ハロゲン原子、低級アルキル基、 ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基又は低級アルキルチオ基である化合物 又はその薬理上許容される塩、

(42)(1)乃至(40)から選択されるいずれか1項において、 R⁶及びR⁷が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩、

(43)(1)において、

下記より選択されるいずれか1つの化合物、その薬理上許容される塩、そのエス テル又はその他の誘導体。

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル] プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、 2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-

オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンチル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブチル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタ ン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-

オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オ ール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシブチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシブタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシフェニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシフェニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルエトキシフェニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロピル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、及び

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

(44) (1) において、

下記より選択されるいずれか1つの化合物、その薬理上許容される塩、そのエス テル又はその他の誘導体:

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブチル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プチル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェノキシ)ブチル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシブチル)チオフェン-2-イル]ブタン -1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-15-15-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-

イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルシクロヘキシルオキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルチオフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルメトキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルメトキシブト-1-イニル)チオフェン-2-イル] プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オ ール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブ

タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、及び

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イ

ル}ブタン-1-オール。

上記化合物(I)において、(2)又は(3);(4)又は(5);(6)又は(7); (8)乃至(10);(11)又は(12);(13)乃至(17);(18)乃至(2 9);(30)乃至(40);並びに(41)又は(42)から成る群から選択されるいずれか一項を任意に組み合わせた化合物も好適である。

(45) また、本発明の光学活性アミノアルコール化合物は、下記一般式(La)) 又は(Lb) を有する。

$$R^{3a}O$$
 R^{4a}
 $R^{3a}O$
 R^{4a}
 R^{4a}

[式中、

R¹及びR²は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、 R^{3a}は、水素原子又はヒドロキシ基の保護基を示すか、あるいは、

 R^1 が水素原子であり、かつ R^2 及び R^{3n} が、一緒になって、式(一(C=O)一)基を示し、

 R^{4a} は、 C_1-C_{20} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_1-C_{20} アルキル基、 C_2-C_{20} アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{20} アルキニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルキニル基、 C_2-C_{20} アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基、又は、シクロアルキル基を示し、

mは、0乃至4の整数を示し、

Arは、アリール基、芳香族複素環基、置換基群 aから選択される基で1乃至5

個置換されたアリール基、置換基群 a から選択される基で 1 乃至 5 個置換された芳香族複素環基を示す。但し、Ar がアリール基の場合には、 R^1 は水素原子を示さずかつ R^2 及び/又は R^{3*} は水素原子を示さない。] で表される化合物。

<置換基群 a >

ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、 低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基、ヒドロキシ 基、低級脂肪族アシル基、アミノ基、モノー低級アルキルアミノ基、ジー低級アル キルアミノ基、低級脂肪族アシルアミノ基、シアノ基及びニトロ基

上記化合物(La)又は(Lb)において、好適な化合物を下記に挙げることができる。

- (46)(45)において、一般式(La)を有する化合物、
- (47)(45) 又は(46) において、R'が、水素原子である化合物、
- (48)(45)乃至(47)から選択されるいずれか一項において、 R²及びR^{3a}が、一緒になって、式(-(C=O)-)基である化合物、
- (49)(45) 乃至(47) から選択されるいずれか一項において、 R^{3a}が、水素原子である化合物、
- (50) (45) 乃至 (49) から選択されるいずれか一項において、

 R^{4a} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{10} アルキニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、ヘテロ原子が介在す

 $3C_3-C_{10}$ アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である化合物、

(51)(45)乃至(49)から選択されるいずれか一項において、

 R^{4e} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルケニル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である化合物、

- (52)(45)乃至(49)から選択されるいずれか一項において、 R^{4n} が、 $C_1 C_{10}$ アルキル基である化合物、
- (53)(45) 乃至(49) から選択されるいずれか一項において、 R⁴が、C₁-C₆アルキル基である化合物、
- (54)(45)乃至(49)から選択されるいずれか一項において、 R⁴が、メチル又はエチル基である化合物、
 - (55)(45)乃至(54)から選択されるいずれか一項において、

Arが、フェニル、フリル、チエニル、ベンゾチエニル基又は上記置換基群 a より選択される基で1乃至4個置換されたフェニル、フリル、チエニル若しくはベンゾチエニル基である化合物、

(56)(45)乃至(54)から選択されるいずれか一項において、

Arが、チエニル基又は上記置換基群aから選択される基で1乃至4個置換されたチエニル基である化合物、

(57)(45)乃至(54)から選択されるいずれか一項において、

Arが、ベンゾチエニル基又は上記置換基群aから選択される基で1乃至4個置換されたベンゾチエニル基である化合物、

- (58)(45)乃至(57)から選択されるいずれか一項において、 mが0である化合物、
- (59) (45) 乃至 (57) から選択されるいずれか一項において、

置換基群 a が、ハロゲン原子、水酸基、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、カルボキシ基、低級脂肪族アシル基、低級脂肪族アシルアミノ基、シアノ基及びニトロ基である化合物。

(60) また、本発明は、下記一般式(XLIVa)又は(XLIVb)を有する化合物の製造方法に関する。 即ち、

[式中、

 R^1 及び R^2 は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、 R^4 は、 C_1-C_2 アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_2 アルキル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_1-C_2 アルキル基、 C_2-C_2 アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_2 アルキニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_2 アルキニル基、 C_2-C_2 アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_2 アルケニル基、 C_2-C_3 アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_3 アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換され

た C_2-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基、又は、シクロアルキル基を示す。]

で表される2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール誘導体の一方のヒドロキシ基のみを、リパーゼの存在下に、式(XLIII)

 $R^{II}COOCH=CH$, (XLIII)

を有するカルボン酸ビニルエステル誘導体(式中、R"は、R"の定義における基と同様の基を示す。)を用いて選択的にアシル化することを特徴とする、一般式(XLIVb)で表される、2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体

[式中、R¹、R²、R⁴及びR"は前記と同義を示す。]の製造方法。

上記において、好適には、

(61)(60)において、

R¹及びR²の一方が水素原子で、他方がアミノ基の保護基である製造方法、

(62)(60)又は(61)において、

 R^{4a} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{10} アルキニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{10} アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である製造方法、

(62)(60)又は(61)において、

 R^{40} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルケニル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である製造方法、

(63)(60) 乃至(62) から選択されるいずれか一項において、

 $R^{"}$ が、 C_1-C_{20} アルキル基、或は、アリール基又はヘテロアリール基で置換された C_1-C_{20} アルキル基である製造方法を挙げることができる。

上記式中、X、R⁵、Ar及び置換基群bの定義における「アリール基」、「置換基群aから選択される基で1乃至3個置換されたアリール基」、「置換基群a及びbから選択される基で1乃至3個置換されたアリール基」及び「置換基群aから選択される基で1乃至5個置換されたアリール基」のアリール部分は、例えば、フェニル、インデニル、ナフチルのような炭素数6乃至10個の芳香族炭化水素基を挙げることができ、好適にはフェニル又はナフチル基であり、最も好適にはフェニル基である。

上記式中、Yの定義における「 C_1-C_{10} アルキレン基」及び「置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された C_1-C_{10} アルキレン基」の C_1-C_{10} アルキレン部分は、メチレン、メチルメチレン、エチレン、プロピレン、トリメチレン、1-メチルエチレン、テトラメチレン、1-メチルトリメチレン、2-メチルトリメチレン、3-メチルトリメチレン、1-メチルプロピレン、1, 1-ジメチルエチレン、ペンタメチレン、1-メチルテトラメチレン、2-メチルテトラメチレン、3-メチルテトラメチレン、1-メチルテトラメチレン、1-

チレン、2,2ージメチルトリメチレン、3,3ージメチルトリメチレン、ヘキサメチレン、1ーメチルペンタメチレン、2ーメチルペンタメチレン、3ーメチルペンタメチレン、1,1ージメチルテトラメチレン、2,2ージメチルテトラメチレン、3,3ージメチルテトラメチレン、4,4ージメチルテトラメチレン、ヘプタメチレン、1ーメチルへキサメチレン、2ーメチルへキサメチレン、3ーエチルペンタメチレン、オクタメチレン、5ーメチルへキサメチレン、5ーメチルへプタメチレン、3ーエチルペンタメチレン、オクタメチレン、2ーエチルー3ーメチルペンタメチレン、3ーエチルー2ーメチルペンタメチレン、1ーメチルペンタメチレン、1ーメチルペンタメチレン、1ーメチルペンタメチレン、1ーメチルへプタメチレン、5ーメチルへプタメチレン、5ーメチルへプタメチレン、5ーメチルへプタメチレン、1ースチルペンタメチレン、1ースチルペンタメチレン、2ーエチルー1ーメチレン、2ーエチルー2ーメチルへキサメチレン、デカメチレン基のような炭素数1万至10個の直鎖又は分枝鎖アルキレン基であり、好適にはC1ーC6アルキレン基であり、更に好適にはC1ーC6アルキレン基であり、より好適には、エチレン、トリメチレン又はテトラメチレン基であり、最も好適にはエチレン又はトリメチレン基である。

 CH_{2} - (CH_{2}) ,-O- (CH_{2}) ,-, - (CH_{2}) ,-O- (CH_{2}) ,-, - (CH_{2}) CH_2) $_2$ -O- (CH_2) $_4$ -, - (CH_2) $_3$ -O- CH_2 -, - (CH_2) $_3$ -O- (CH_2) H_2) $_2$ -\, - (CH $_2$) $_3$ -O- (CH $_2$) $_3$ -\, - (CH $_2$) $_4$ -O-CH $_2$ -\, - (CH $_{2})_{4}-O-(CH_{2})_{2}-,-(CH_{2})_{5}-O-CH_{2}-,-CH_{2}-O-,-(CH_{2})_{2}$ $_{2}$ -O-\, - (CH₂) $_{3}$ -O-\, - (CH₂) $_{4}$ -O-\, - (CH₂) $_{5}$ -O-\, - (CH $_{2})_{6}-O-_{1}-(CH_{2})_{7}-O-_{1}-(CH_{2})_{8}-O-_{1}-(CH_{2})_{9}-O-_{1}-(CH_{2})_{9}$ CH_2) $_{10}-O-$, $-S-CH_2-$, $-S-(CH_2)_2-$, $-S-(CH_2)_3-$, -S $-(CH_2)_4-,-S-(CH_2)_5-,-S-(CH_2)_6-,-S-(CH_2)_7-,$ $-S - (CH_2)_8 - -S - (CH_2)_9 - -S - (CH_2)_{10} - -CH_2 - S - C$ H_2- , $-CH_2-S (CH_2)_2-$, $-CH_2-S (CH_2)_3-$, $-CH_2-S-$ (CH_2) $_4-$, $_ (CH_2)$ $_2-S-CH_2-$, $_ (CH_2)$ $_2-S (CH_2)$ $_2-$, $_-$ (C H_2) $_2$ -S- (CH₂) $_3$ -\, - (CH₂) $_2$ -S- (CH₂) $_4$ -\, - (CH₂) $_3$ -S-C H_2- , $-(CH_2)_3-S-(CH_2)_2-$, $-(CH_2)_3-S-(CH_2)_3-$, $-(CH_2)_3 H_2$) $_4-S-CH_2-$, $-(CH_2)_4-S-(CH_2)_2-$, $-(CH_2)_5-S-CH_2$ -, $-CH_2-S-$, $-(CH_2)_2-S-$, $-(CH_2)_3-S-$, $-(CH_2)_4-S (CH_2)_5 - S - (CH_2)_6 - S - (CH_2)_7 - S - (CH_2)_8 - (CH_2)_8$ S-、- (CH_2) $_{10}-S-$ を有する基であり、好適には、炭 素鎖中若しくは鎖端に酸素原子を有するC₁-C₆アルキレン基であり、更に好適に $\text{it}, -O-CH_2-, -O-(CH_2)_2-, -O-(CH_2)_3-, -CH_2-O-, (CH_2)_2$ -O-又は- $(CH_2)_3$ -O-を有する基であり、最も好適には、-C H_2 -O-、-O-(CH₂),-又は-(CH₂),-O-を有する基である。

上記式中、R^{4a}、R⁵、R¹¹及び置換基群 b の定義における「シクロアルキル基」、「置換基群 a から選択される基で1万至3個置換されたシクロアルキル基」及び「置換基群 a 及び b から選択される基で1万至3個置換されたシクロアルキル基」のシクロアルキル部分は、例えば、シクロプロピル、シクロプチル、シクロペンチ

ル、シクロヘキシル、シクロヘプチル、ノルボルニル、アダマンチル、インダニルのような炭素数 3 乃至 1 0 個の飽和炭素環基を挙げることができ、ベンゼン環のような他の環式基と縮環していてもよい。 R^5 及び置換基群 b の定義におけるシクロアルキル基としては、好適には C_5 $-C_6$ シクロアルキル基であり、最も好適にはシクロヘキシル基である。一方、 R^{40} 及び R^{11} の定義におけるシクロアルキル基としては、好適には C_5 $-C_{10}$ シクロアルキル基である。

上記式中、Arの定義における「芳香族複素環基」及び「置換基群 a から選択される基で1乃至5個置換された芳香族複素環基」とは、硫黄原子、酸素原子又は/及び窒素原子を1乃至3個含む5乃至7員複素環基を示し、例えば、フリル、チエニル、ピロリル、アゼピニル、ピラゾリル、イミダゾリル、オキサゾリル、イソキサゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、1,2,3-オキサジアゾリル、トリアゾリル、テトラゾリル、チアジアゾリル、ピラニル、ピリジル、ピリダジニル、ピリミジニル、ピラジニルのような芳香族複素環基を挙げることができる。

尚、上記「芳香族複素環基」は、他の環式基と縮環していてもよく、例えば、ベンプチエニル、イソベンプフラニル、クロメニル、キサンテニル、フェノキサチイニル、インドリジニル、イソインドリル、インドリル、インダプリル、プリニル、キノリジニル、イソキノリル、キノリル、フタラジニル、ナフチリジニル、キノキサリニル、キナプリニル、カルバソリル、カルボリニル、アクリジニル、イソインドリニルのような基を挙げることができる。そのような「芳香族複素環基」として好適には、フェニル、フリル、チエニル、ベンプチエニル基であり、最も好適には、チエニル又はベンプチエニル基である。

上記式中、R⁶及び置換基群 b の定義における「複素環基」、「置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換された複素環基」及び「置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された複素環基」の複素環基部分は、硫黄原子、酸素原子

又は/及び窒素原子を1乃至3個含む5乃至7員複素環基を示し、例えば、上記「芳香族複素環基」、及びテトラヒドロピラニル、モルホリニル、チオモルホリニル、ピロリジニル、ピロリニル、イミダゾリジニル、ピラゾリジニル、ピペリジニル、ピペラジニル、オキサゾリジニル、イソキサゾリジニル、チアゾリジニル、ピラゾリジニル、リジニルのようなこれらの基に対応する、部分若しくは完全還元型の飽和複素環基を挙げることができる。そのような複素環基として、好適には5乃至6員芳香族複素環基であり、最も好適には、モルホリニル、チオモルホリニル又はピペリジニル基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「ハロゲン原子」は、弗素、塩素、臭素、 沃素原子であり、好適には、弗素原子又は塩素原子であり、最も好適には弗素原子 である。

上記式中、R'及び置換基群 a の定義における「低級アルキル基」は、例えば、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、s ーブチル、t ーブチル、ペンチル、イソペンチル、2-メチルブチル、ネオペンチル、1-エチルプロピル、ヘキシル、イソヘキシル、4-メチルペンチル、3-メチルペンチル、2-メチルペンチル、2-メチルペンチル、2-メチルペンチル、1-メチルペンチル、1-メチルブチル、1, 1-ジメチルブチル、1, 1-ジメチルブチル、1, 1-ジメチルブチル、1, 1-ジメチルブチル、1, 1-ジメチルブチル、1, 1-エチルブチル、1, 1-エチルブチル、1, 1-エチルブチル、1, 1-エチルブチル とっこまれブチル基のような炭素数 1 乃至 1 個の直鎖又は分枝鎖アルキル基であり、好適には1 によって、アルキル基であり、更に好適には1 によって、1 によって

上記式中、置換基群 a の定義における「ハロゲノ低級アルキル基」は、前記「低級アルキル基」にハロゲン原子が置換した基を示し、例えば、トリフルオロメチル

、トリクロロメチル、ジフルオロメチル、ジクロロメチル、ジブロモメチル、フルオロメチル、2、2、2ートリフルオロエチル、2、2、2ートリクロロエチル、2ープロモエチル、2ークロロエチル、2ーフルオロエチル、2ーヨードエチル、3ークロロプロピル、4ーフルオロブチル、6ーヨードへキシル、2、2ージブロモエチル基のようなハロゲノ C_1-C_6 アルキル基であり、好適にはハロゲノ C_1-C_6 アルキル基であり、更に好適にはハロゲノ C_1-C_6 アルキル基であり、最も好適にはトリフルオロメチル基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「低級アルコキシ基」は、前記「低級アルキル基」が酸素原子に結合した基を示し、例えば、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、イソプロポキシ、ブトキシ、イソプトキシ、s ーブトキシ、t ーブトキシ、ペントキシ、イソペントキシ、2ーメチルブトキシ、1ーエチルプロポキシ、2ーエチルプロポキシ、ネオペントキシ、ヘキシルオキシ、4ーメチルペントキシ、3ーメチルペントキシ、2,2ージメチルブトキシ、1,1ージメチルプトキシ、1,2ージメチルブトキシ、1,3ージメチルブトキシ、2,3ージメチルブトキシ、1,2ージメチルブトキシ、1,3ージメチルブトキシ、2,3ージメチルブトキシ基のような炭素数1万至6個の直鎖又は分枝鎖アルコキシ基であり、好適には C_1-C_2 アルコキシ基であり、最も好適にはメトキシ基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「低級アルキルチオ基」は、前記「低級アルキル基」が硫黄原子に結合した基を示し、例えば、メチルチオ、エチルチオ、プロピルチオ、イソプロピルチオ、ブチルチオ、イソプチルチオ、s ープチルチオ、t ープチルチオ、ペンチルチオ、イソペンチルチオ、2ーメチルプチルチオ、ネオペンチルチオ、ヘキシルチオ、4ーメチルペンチルチオ、3ーメチルペンチルチオ、2ージメチルプチルチオ、2ーメチルペンチルチオ、1、1ージメチルプチルチオ、1、2ージメチルプチルチオ、1、1ージメチルプチルチオ、1、2ージメチルプチルチオ、1、3ージ

上記式中、置換基群 a の定義における「低級アルコキシカルボニル基」は、前記「低級アルコキシ基」がカルボニル基に結合した基を示し、例えば、メトキシカルボニル、ボニル、エトキシカルボニル、プロポキシカルボニル、イソプロポキシカルボニル、プトキシカルボニル、イソプトキシカルボニル、s ープトキシカルボニル、t ープトキシカルボニル、ペントキシカルボニル、t ープトキシカルボニル、ペントキシカルボニル、t ープトキシカルボニル、ペントキシカルボニル、t ーズトキシカルボニル、ネオペントキシカルボニル、ヘキシルオキシカルボニル、t ーメチルペントキシカルボニル、t ーメチルペントキシカルボニル、t ーメチルペントキシカルボニル、t ーズチルプトキシカルボニル、t ーズチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニル、t ージメチルプトキシカルボニルをのような炭素数 1 乃至 6 個の直鎖又は分枝鎖アルコキシカルボニル基であり、であり、好適にはt ー t ー

上記式中、置換基群 a の定義における「低級脂肪族アシル基」は、水素原子又は飽和若しくは不飽和の鎖状炭化水素基がカルボニル基に結合した基を示し、例えば、ホルミル、アセチル、プロピオニル、プチリル、イソプチリル、バレリル、イソバレリル、ピバロイル、ヘキサノイル、アクリロイル、メタクリロイル、クロトノイル基のような炭素数 1 乃至 7 個の直鎖又は分枝鎖低級脂肪族アシル基であり、好適には C_1-C_4 低級脂肪族アシル基であり、更に好適にはアセチル又はプロピオニル基であり、最も好適にはアセチル基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「モノー低級アルキルアミノ基」は、前記「低級アルキル基」が 1 個アミノ基に結合した前述したものと同意義を示し、例えば、メチルアミノ、エチルアミノ、プロピルアミノ、イソプロピルアミノ、ブチルアミノ、イソプチルアミノ、s ープチルアミノ、t ープチルアミノ、ペンチルアミノ、プチルアミノ、イソペンチルアミノ、2 ーメチルプチルアミノ、ネオペンチルアミノ、1 ーエチルプロピルアミノ、ヘキシルアミノ、イソヘキシルアミノ、4 ーメチルペンチルアミノ、3 ーメチルペンチルアミノ、2 ーメチルペンチルアミノ、1 ージメチルプチルアミノ、2 、2 ージメチルプチルアミノ、1 、1 ージメチルプチルアミノ、1 、2 ージメチルプチルアミノ、1 、3 ージメチルブチルアミノ、1 、3 ージメチルブチルアミノ、2 、3 ージメチルブチルアミノ、2 ーエチルプチルアミノ基のようなモノー C_1 ー C_6 アルキルアミノ基であり、好適にはモノー C_1 ー C_6 アルキルアミノ基であり、最も好適にはメチルアミノ基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「ジー低級アルキルアミノ基」は、前記「低級アルキル基」が 2 個アミノ基に結合した基を示し、例えば、ジメチルアミノ、ジエチルアミノ、NーエチルーNーメチルアミノ、ジプロピルアミノ、ジブチルアミノ、ジブケルアミノ、ジアンチルアミノ、ジマンチルアミノ、ジマンチルアミノ、ジマンチルアミノ、ジマンチルアミノ基のようなジー C_1-C_6 アルキルアミノ基であり、要に好適にはジー C_1 ー C_2 アルキルアミノ基であり、最も好適にはジメチルアミノ基である。

上記式中、置換基群 a の定義における「低級脂肪族アシルアミノ基」は、前記「低級脂肪族アシル基」がアミノ基に結合した基を示し、例えば、ホルミルアミノ、アセチルアミノ、プロピオニルアミノ、ブチリルアミノ、イソブチリルアミノ、バレリルアミノ、イソバレリルアミノ、ピバロイルアミノ、ヘキサノイルアミノ、ア

クリロイルアミノ、メタクリロイルアミノ、クロトノイルアミノ基のような炭素数 1万至7個の直鎖又は分枝鎖低級脂肪族アシルアミノ基であり、好適には、アセチルアミノ又はプロピオニルアミノ基であり、最も好適にはアセチルアミノ基である

上記式中、R¹及びR²の定義における「アミノ基の保護基」とは、有機合成化学の分野で一般的に使用されるアミノ基の保護基を意味し、例えば、

前記「低級アルキル基」;

前記「低級脂肪族アシル基」、クロロアセチル、ジクロロアセチル、トリクロロアセチル、トリフルオロアセチルのようなハロゲノ低級脂肪族アシル基、メトキシアセチルのような低級アルコキシで置換された低級脂肪族アシル基などの「脂肪族アシル類」;

ベンゾイル、1ーインダンカルボニル、2ーインダンカルボニル、1ー若しくは 2ーナフトイルのような芳香族アシル基、4ークロロベンゾイル、4ーフルオロベ ンゾイル、2, 4, 6ートリメチルベンゾイル、4ートルオイル、4ーアニソイル 4ーニトロベンゾイル、2ーニトロベンゾイル、2ー(メトキシカルボニル) ベン ゾイル、4ーフェニルベンゾイルのような前記置換基群 a から選択される基で1乃 至3個置換された芳香族アシル基などの「芳香族アシル類」;

前記「低級アルコキシカルボニル基」、2,2,2ートリクロロエトキシカルボニル、2ートリメチルシリルエトキシカルボニルのようなハロゲンまたはトリ低級アルキルシリルで置換された低級アルコキシカルボニル基などの「アルコキシカルボニル類」;

ビニルオキシカルボニル、アリルオキシカルボニルのような「アルケニルオキシ カルボニル類」:

ベンジルオキシカルボニルのようなアラルキルオキシカルボニル基、4 ーメトキ シベンジルオキシカルボニル、3,4 ージメトキシベンジルオキシカルボニル、2 ーニトロベンジルオキシカルボニル、4ーニトロベンジルオキシカルボニルのような前記置換基群 a から選択される基で1万至3個置換されたアラルキルオキシカルボニル基などの「アラルキルオキシカルボニル類」;

トリメチルシリル、トリエチルシリル、イソプロピルジメチルシリル、tーブチルジメチルシリル、メチルジイソプロピルシリル、メチルジーtーブチルシリル、トリイソプロピルシリルのようなトリ低級アルキルシリル基、ジフェニルメチルシリル、ジフェニルブチルシリル、ジフェニルイソプロピルシリル、フェニルジイソプロピルシリルのようなアリールまたはアリールと低級アルキルとでトリ置換されたシリル基などの「シリル類」;

ベンジル、フェネチル、3-フェニルプロピル、α-ナフチルメチル、β-ナフチルメチル、ジフェニルメチル、トリフェニルメチル、α-ナフチルジフェニルメチル、<math>9-アンスリルメチルのような $1\sim3$ 個のアリール基で置換された低級アルキル基、4-メチルベンジル、2, 4, 6-トリメチルベンジル、3, 4, 5-トリメチルベンジル、4-メトキシベンジル、4-メトキシフェニルメチル、2-ニトロベンジル、4-メトキシベンジル、4-クロロベンジル、4-ブロモベンジル、4-シアノベンジル、4-シアノベンジル、4-シアノベンジル、4-シアノベンジル、4-シアノベンジルがフェニルメチル、ビス(2--トロフェニル)メチル、ピペロニルのような低級アルキル、低級アルコキシ、ニトロ、ハロまたはシアノでアリール環が置換された $1\sim3$ 個のアリール基で置換された低級アルキル基などの「アラルキル類」; ならびに

N, Nージメチルアミノメチレン、ベンジリデン、4ーメトキシベンジリデン、4ーニトロベンジリデン、サリシリデン、5ークロロサリシリデン、ジフェニルメチレン、(5ークロロー2ーヒドロキシフェニル)フェニルメチレンのような「シッフ塩基を形成する置換されたメチレン基」が包含され、好適には、低級アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基又は置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたアラルキルオキシカルボニル基である。

R³ 及びR³ⁿ の定義における「ヒドロキシ基の保護基」とは、加水素分解、加水 分解、電気分解、光分解のような化学的方法により開裂し得る「反応における一般 的保護基」、及び、「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護 基」を示す。

そのような「反応における一般的保護基」としては、例えば、

前記「低級アルキル基」;

前記「脂肪族アシル類」:

前記「芳香族アシル類」:

テトラヒドロピラン-2-イル、3-ブロモテトラヒドロピラン-2-イル、4-メトキシテトラヒドロピラン-4-イル、テトラヒドロチオピラン-2-イル、4-メトキシテトラヒドロチオピラン-4-イルのような「テトラヒドロピラニル又はテトラヒドロチオピラニル類」:

テトラヒドロフランー 2 ーイル、テトラヒドロチオフランー 2 ーイルのような 「テトラヒドロフラニル又はテトラヒドロチオフラニル類」;

前記「シリル類」:

メトキシメチル、1,1ージメチルー1ーメトキシメチル、エトキシメチル、プロポキシメチル、イソプロポキシメチル、ブトキシメチル、tーブトキシメチルのような低級アルコキシメチル基、2ーメトキシエトキシメチルのような低級アルコキシ化低級アルコキシメチル基、2,2,2ートリクロロエトキシメチル、ビス(2ークロロエトキシ)メチルのようなハロゲノ低級アルコキシメチル等の「アルコキシメチル基」;

1ーエトキシエチル、1ー(イソプロポキシ)エチルのような低級アルコキシ化エチル基、2,2,2ートリクロロエチルのようなハロゲン化エチル基等の「置換エチル類」:

前記「アラルキル類」;

前記「アルコキシカルボニル類」

前記「アルケニルオキシカルボニル類」;

前記「アラルキルオキシカルボニル基」を挙げることができる。

一方、「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護基」としては、例えば、エチルカルボニルオキシメチル、ピバロイルオキシメチル、ジメチルアミノアセチルキシメチル、1ーアセトキシエチルのようなアシルオキシアルキル類:

1- (メトキシカルボニルオキシ) エチル、1- (エトキシカルボニルオキシ) エチル、エトキシカルボニルオキシメチル、1- (イソプロポキシカルボニルオキシ) エチル、1- (エトキシカルボニルオキシ) エチル、1- (エトキシカルボニルオキシ) プロピル、1- (シクロヘキシルオキシカルボニルオキシ) エチルのような1- (アルコキシカルボニルオキシ) アルキル類:

フタリジル基:

4ーメチルーオキソジオキソレニルメチル、4ーフェニルーオキソジオキソレニルメチル、オキソジオキソレニルメチルのようなオキソジオキソレニルメチル基等の「カルボニルオキシアルキル類」:

前記「脂肪族アシル類」:

前記「芳香族アシル類」:

「コハク酸のハーフエステル塩残基」:

「燐酸エステル塩残基」:

「アミノ酸等のエステル形成残基」;

カルバモイル基:

ベンジリデンのようなアラルキリデン基;メトキシエチリデン、エトキシエチリデンのようなアルコキシエチリデン基;オキソメチレン;チオキソメチレンのような「2つのヒドロキシ基の保護基」:

及び、ピバロイルオキシメチルオキシカルボニルのような「カルボニルオキシア ルキルオキシカルボニル基」を挙げることができ、そのような誘導体か否かは、ラ ットやマウスのような実験動物に静脈注射により投与し、その後の動物の体液を調べ、元となる化合物又はその薬理学的に許容される塩を検出できることにより決定できる。このようなヒドロキシ基の保護基として、好適には、低級アルキル基、低級脂肪族アシル基、芳香族アシル基又は置換基群 a から選択される基で1万至3個で換された芳香族アシル基である。

上記において、R⁵の定義における「置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃 至3個置換されたシクロアルキル基」の具体例としては、例えば、2ーフルオロシ クロプロピル、2 - クロロシクロプロピル、2 - 若しくは3 - フルオロシクロペン チル、2-若しくは3-クロロシクロペンチル、2-, 3-若しくは4-フルオロ シクロヘキシル、2-,3-若しくは4-クロロシクロヘキシル、2-,3-若し くは4ープロモシクロヘキシル、2ー, 3ー若しくは4ーヨードシクロヘキシル、 ... 2-メチルシクロプロピル、2-エチルシクロプロピル、2-若しくは3-メチル シクロペンチル、2-若しくは3-エチルシクロペンチル、2-, 3-若しくは4 ーメチルシクロヘキシル、2-, 3-若しくは4-エチルシクロヘキシル、2-ト リフルオロメチルシクロプロピル、2 ―若しくは3 ― トリフルオロメチルシクロブ チル、2-若しくは3-トリフルオロメチルシクロペンチル、2-、3-若しくは 4-トリフルオロメチルシクロヘキシル、2-メトキシシクロプロピル、2-若し くは3-メトキシシクロプチル、2-若しくは3-メトキシシクロペンチル、2-, 3-若しくは4-メトキシシクロヘキシル、2-, 3-若しくは4-エトキシシク ロヘキシル、2-,3-若しくは4-プロポキシシクロヘキシル、2-,3-若し くは4ーイソプロポキシシクロヘキシル、2ー,3ー若しくは4ー(1-エチルプ ロポキシ)シクロヘキシル、2-,3-若しくは4-(2-エチルプロポキシ)シ クロヘキシル、2ーカルボキシルシクロプロピル、2 - 若しくは3 - カルボキシル シクロペンチル、2 - . . 3 - 若しくは4 - カルボキシルシクロヘキシル、2 - メト キシカルボニルシクロプロピル、2-若しくは3-メトキシカルボニルシクロペン

チル、2-,3-若しくは4-メトキシカルボニルシクロヘキシル、2-ヒドロキ シシクロプロピル、2ー若しくは3ーヒドロキシシクロペンチル、2ー、3ー若し くは4ーヒドロキシシクロヘキシル、2ーホルミルシクロプロピル、2ー若しくは 3-ホルミルシクロペンチル、2-,3-若しくは4-ホルミルシクロヘキシル、 2-アセチルシクロプロピル、2-若しくは3-アセチルシクロペンチル、2-, 3-若しくは4-アセチルシクロヘキシル、2-アミノシクロプロピル、2-若し くは3ーアミノシクロペンチル、2-,3-若しくは4-アミノシクロヘキシル、 2-メチルアミノシクロプロピル、2-若しくは3-メチルアミノシクロブチル、 2-若しくは3-メチルアミノシクロペンチル、2-,3-若しくは4-メチルア ミノシクロヘキシル、2ージメチルアミノシクロプロピル、2一若しくは3ージメ チルアミノシクロブチル、2-若しくは3-ジメチルアミノシクロペンチル、2-、 3-若しくは4-ジメチルアミノシクロヘキシル、2-シアノシクロプロピル、2 ー若しくは3-シアノシクロペンチル、2-.3-若しくは4-シアノシクロヘキ シル、2-若しくは3-シクロヘキシルシクロペンチル、2-、3-若しくは4-シクロヘキシルシクロヘキシル、2-フェニルシクロプロピル、2-若しくは3-フェニルシクロペンチル、2-、3-若しくは4-フェニルシクロヘキシル、3, 4ージフルオロシクロヘキシル、3,4ージクロロシクロヘキシル、2,3ージメ トキシシクロヘキシル、3、4ージメトキシシクロヘキシル、3、5ージメトキシ シクロヘキシル、3,4,5ートリメトキシシクロヘキシル基であり、好適には、 好適には、1乃至3個置換されたシクロアルキル基(該置換基は、ハロゲン原子、 低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、低級アルキルチオ 基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。) であり、更に好 …… 適には、1乃至3個置換されたシクロアルキル基(該置換基は、ハロゲン原子、低 級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル 基から成る群から選択される基である。) であり、より好適には、1乃至3個置換 されたシクロヘキシル基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ

低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)であり、最も好適には、1万至3個置換されたシクロヘキシル基 (該置換基は、弗素原子、塩素原子、メチル、トリフルオロメチル、メトキシ及びアセチル基から成る群から選択される基である。)である。

上記において、R⁵の定義における「置換基群 a 及び b から選択される基で1乃 至3個置換されたアリール基」の具体例としては、例えば、2-,3-若しくは4 ーフルオロフェニル、2-,3-若しくは4-クロロフェニル、2-,3-若しく は4-プロモフェニル、2-, 3-若しくは4-ヨードフェニル、2-, 3-若し くは4ーメチルフェニル、2ー,3-若しくは4-エチルフェニル、2ー,3-若 しくは4ープロピルフェニル、2-.3-若しくは4ーブチルフェニル、2-.3 -若しくは4ーペンチルフェニル、2ー、3ー若しくは4ートリフルオロメチルフ ェニル、2-, 3-若しくは4-メトキシフェニル、2-, 3-若しくは4-エト キシフェニル、2-,3-若しくは4-プロポキシフェニル、2-,3-若しくは 4-イソプロポキシフェニル、2-, 3-若しくは4-ブトキシフェニル、2-, 3-若しくは4-(1-エチルプロポキシ)フェニル、2-,3-若しくは4-(2 -エチルプロポキシ)フェニル、2-、3-若しくは4-メチルチオフェニル、2 -, 3-若しくは4-エチルチオフェニル、2-, 3-若しくは4-カルボキシル フェニル、2-,3-若しくは4-メトキシカルボニルフェニル、2-,3-若し くは4-エトキシカルボニルフェニル、2-,3-若しくは4-ヒドロキシフェニ ル、2-, 3-若しくは4-ホルミルフェニル、2-, 3-若しくは4-アセチル フェニル、2-、3-若しくは4-アミノフェニル、2-、3-若しくは4-メチ ルアミノフェニル、2一、3一若しくは4一ジメチルアミノフェニル、2一、3一 若しくは4-シアノフェニル、2-,3-若しくは4-シクロペンチルフェニル、 2-, 3-若しくは4-シクロヘキシルフェニル、2-, 3-若しくは4-ビフェ ニル、2、4ージフルオロフェニル、3、4ージフルオロフェニル、3、5ージフ

ルオロフェニル、2, 4ージクロロフェニル、3, 4ージクロロフェニル、3, 5 ージクロロフェニル、3、4ージブロモフェニル、2、3ージメチルフェニル、3、 4ージメチルフェニル、3,5ージメチルフェニル、2,3ージメトキシフェニル、 3, 4ージメトキシフェニル、3, 5ージメトキシフェニル、3, 4, 5ートリメ トキシフェニル、3 - フルオロー4 - メトキシフェニル、4 - メチルー2 - メトキ シフェニル、6-フルオロー4-メチルー2-メトキシフェニル、5-フルオロイ ンデンー3-イル、5-フルオロインデン-3-イル、5-メチルインデン-3-イル、5ーメトキシインデンー3ーイル、5ーフルオロインデンー2ーイル、5ー クロロインデンー2ーイル、5ーメチルインデンー2ーイル、5ーメトキシインデ ンー2ーイル、5ーヒドロキシインデンー3ーイル、5ーニトロインデンー3ーイ ル、5-シクロヘキシルインデン-3-イル、5-フェニルインデン-3-イル、 **5-フェノキシインデン-3-イル、5-ベンジルオキシインデン-3-イル、5** ーフェニルチオインデンー3ーイル、5ーヒドロキシインデンー2ーイル、5ーニ トロインデンー2ーイル、5ーシクロヘキシルインデン-2ーイル、5ーフェニル インデンー2ーイル、5ーフルオロナフタレンー2ーイル、5ーフルオロナフタレ ンー2ーイル、5ーメチルナフタレンー2ーイル、5ーメトキシナフタレンー2ー イル、5-フルオロナフタレン-1-イル、5-フルオロナフタレン-1-イル、 5ーメチルナフタレンー1ーイル、5ーメトキシナフタレンー1ーイル、5ーヒド ロキシナフタレンー2ーイル、5ーニトロナフタレンー2ーイル、5ーシクロヘキ シルナフタレンー2ーイル、5ーフェニルナフタレンー2ーイル、5ーフェノキシ ナフタレンー2ーイル、5 ーベンジルオキシナフタレンー2ーイル、5 ーフェニル チオナフタレンー 2 ーイル、5 ーヒドロキシナフタレンー 1 ーイル、5 ーニトロナ フタレンー1ーイル、5ーシクロヘキシルナフタレンー1ーイル、5ーフェニルナ フタレンー1ーイル基であり、好適には、1乃至3個置換されたアリール基(該置) 換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキ シ基、低級アルキルチオ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基で

ある。)であり、更に好適には、1乃至3個置換されたアリール基(該置換基は、 ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び 低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。) であり、より好適には、 1乃至3個置換されたフェニル基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、 ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群か ら選択される基である。) であり、更により好適には、1 乃至3 個置換されたフェ ニル基(該置換基は、弗素原子、塩素原子、メチル、トリフルオロメチル、メトキ シ及びアセチル基から成る群から選択される基である。)であり、最も好適には、 3-フルオロフェニル、4-フルオロフェニル、3,4-ジフルオロフェニル、3, 5-ジフルオロフェニル、3-クロロフェニル、4-クロロフェニル、3,4-ジ クロロフェニル、3,5-ジクロロフェニル、3-メチルフェニル、4-メチルフ エニル、3,4-ジメチルフェニル、3,5-ジメチルフェニル、3-トリフルオ ロメチルフェニル、4ートリフルオロメチルフェニル、3,4ージトリフルオロメ **チルフェニル、3,5-ジトリフルオロメチルフェニル、3-メトキシフェニル、** 4ーメトキシフェニル、3,4ージメトキシフェニル、3,5ージメトキシフェニ ル、3、4、5ートリメトキシフェニル、3ーアセチルフェニル又は4ーアセチル/ フェニル基である。

上記において、R⁵の定義における「置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された複素環基」の具体例としては、例えば、3 - , 4 - 若しくは5 - メチルフラン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - メチルフラン-3 - イル、3 - , 4 - 若しくは5 - フルオロチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - フルオロラン-3 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - ブロモフラン-3 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - ブロモフラン-3 - イル、3 - , 4 - 若しくは5 - ブロモフラン-3 - イル、3 - , 4 - 若しくは5 - ブロモフラン-3 - イル、3 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオフェン-2 - イル、2 - , 4 - 若しくは5 - エチルチオ

フェンー3ーイル、3ー、4ー若しくは5ーメトキシチオフェンー2ーイル、2ー、 4-若しくは5-メトキシチオフェン-3-イル、3-若しくは4-メチルチアゾ ールー5-イル、3-,4-若しくは5-フルオロベンゾチオフェンー2-イル、 3-, 4-若しくは5-ブロモベンゾチオフェン-2-イル、3-, 4-若しくは 5ーメチルベンゾチオフェン-2-イル、3-,4-若しくは5-メトキシベンゾ チオフェンー2ーイル、2ー、4ー若しくは5ーフルオロベンゾチオフェンー3ー イル、2-,4-若しくは5-プロモベンゾチオフェン-3-イル、2-,4-若 しくは5-メチルベンゾチオフェン-3-イル、2-, 4-若しくは5-メトキシ ベンゾチオフェンー3ーイル、4ー、5ー、6一若しくは7-メチルベンゾチオフ エンー2ーイル、3ー,4ー若しくは5ーヒドロキシフランー2ーイル、2ー,4 ー若しくは5ーヒドロキシフランー3ーイル、3ー, 4ー若しくは5ーヒドロキシ チオフェンー2ーイル、3ー、4ー若しくは5ーニトロチオフェンー2ーイル、3 ー, 4ー若しくは5-フェニルチオフェンー2ーイル、2ー, 4ー若しくは5ーヒ ドロキシチオフェンー3ーイル、2一、4一若しくは5-シアノチオフェンー3-イル、1-,2-若しくは3-ヒドロキシピリジン-4-イル、1-,2-若しく は3-シアノピリジン-4-イル、1-, 2-若しくは3-フェニルピリジン-4 ーイル基であり、好適には、3ー、4ー若しくは5ーフルオロチオフェンー2ーイ ル又は2-,4-若しくは5-フルオロフラン-3-イル基である。

上記において、 R^{40} 及び R^{11} の定義における「 C_1-C_{20} アルキル基」とは、例えば、前記「低級アルキル基」、ヘプチル、1-メチルヘキシル、2-メチルヘキシル、1-プロピル、3-メチルヘキシル、4-メチルヘキシル、5-メチルヘキシル、1-プロピルプチル、4, 4-ジメチルペンチル、オクチル、1-メチルヘプチル、2-メチルヘプチル、3-メチルヘプチル、4-メチルヘプチル、5-メチルヘプチル、6-メチルヘプチル、1-プロピルペンチル、2-エチルヘプチル、5, 5-ジメチルヘプチル、1-プロピルペンチル、1-プロピルペンチル、1-プロピルペンチル、1-プロピルペンチル、1-プロピルペンチル、1-

チル、6-メチルオクチル、1-プロピルへキシル、2-エチルへプチル、6, 6 -ジメチルへプチル、デシル、1-メチルノニル、3-メチルノニル、8-メチルノニル、3-エチルオクチル、3, 7-ジメチルオクチル、7, 7-ジメチルオクチル、7, 7-ジメチルオクチル、7, 7-ジメチルオクチル、7, 7-ジメチルオクチル、7, 7-ジメチルオクチル、7, 11-トリメチルドデシル、トリデシル、1, 1, 11-トリメチルドデシル、11, 11

上記において、 R^{4a} 及び R^{11} の定義における「ヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基」とは、前記「 C_1-C_{20} アルキル基」の内の「炭素数 2 乃至 2 0 個のアルキル基」が、同一又は異なって、1 又は 2 個の、硫黄原子、酸素原子、又は、窒素原子で介在されている基を示し、例えば、メチルチオメチル、1- メチルチオエチル、2- メチルチオエチル、1- メチルチオエチル、1- メチルチオエチル、1- メチルチオプロピル、2- メチルチオプロピル、1- メチルチオプロピル、1- メチルチオプロピル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプチル、1- メチルチオプロピル、1- メチルチオペンチル、1- メチルチオペンチル、1- メチルチオペンチル、1- メチルチオペンチル、1- メチルチオペンチル、1- メチルチオプチル、1- ジメチルチオプチル、1- ステルチオプチル、1- ステルチオプチル、1- ステルチオプチル、1- ステルチオプチル、1- ステルチオペキシル、1- ステルチスト

チルー4ーメチルチオペンチル、1ーメチルチオヘプチル、2ーメチルチオヘプチ ル、3 - メチルチオヘプチル、4 - メチルチオヘプチル、5 - メチルチオヘプチル、 6-メチルチオヘプチル、1-プロピルチオペンチル、2-エチルチオヘキシル、 5-メチル-5-メチルチオヘキシル、3-メチルチオオクチル、4-メチルチオ オクチル、5-メチルチオオクチル、6-メチルチオオクチル、1-プロピルチオ ヘキシル、2-エチルチオヘプチル、6-メチル-6-メチルチオヘプチル、1-メチルチオノニル、3ーメチルチオノニル、8ーメチルチオノニル、3ーエチルチ オオクチル、3 - メチルー7 - メチルチオオクチル、7, 7 - ジメチルチオオクチ ル、4ーメチルー8ーメチルチオノニル、3,7ージメチルー11ーメチルチオド デシル、4,8-ジメチルー12-メチルチオトリデシル、1 -メチルチオペンタ デシル、1 4 ーメチルチオペンタデシル、1 3 ーメチルー 1 3 ーメチルチオテトラ デシル、15-メチルチオヘキサデシル、1-メチルチオヘプタデシル、及び、3, 7,11-トリメチルー15-メチルチオヘキサデシルのような1又は2個の硫黄 原子で介在されている炭素数2乃至20個のアルキル基:メチルオキシメチル、1 ーメチルオキシエチル、2-メチルオキシエチル、エチルオキシメチル、1-メチ ルオキシプロピル、2-メチルオキシプロピル、3-メチルオキシプロピル、2-エチルオキシエチル、2-メチルー2-メチルオキシエチル、1-メチルオキシブ チル、2-メチルオキシブチル、3-メチルオキシブチル、2-エチルオキシプロ ピル、3 ーメチルー3 ーメチルオキシプロピル、4 ーメチルオキシペンチル、3 ー メチルオキシペンチル、2-メチルオキシペンチル、1-メチルオキシペンチル、 3, 3-ジメチルオキシプチル、2, 2-ジメチルオキシプチル、1, 1-ジメチ ルオキシブチル、1-メチル-2-メチルオキシブチル、1,3-ジメチルオキシ プチル、2,3ージメチルオキシブチル、2ーエチルオキシプチル、1ーメチルオ キシヘキシル、2ーメチルオキシヘキシル、3ーメチルオキシヘキシル、4ーメチ ルオキシヘキシル、5ーメチルオキシヘキシル、1ープロピルオキシブチル、4ー メチルー4ーメチルオキシペンチル、1ーメチルオキシヘプチル、2ーメチルオキ

シヘプチル、3ーメチルオキシヘプチル、4ーメチルオキシヘプチル、5ーメチル オキシヘプチル、6-メチルオキシヘプチル、1-プロピルオキシペンチル、2-エチルオキシヘキシル、5-メチル-5-メチルオキシヘキシル、3-メチルオキ シオクチル、4ーメチルオキシオクチル、5ーメチルオキシオクチル、6ーメチル オキシオクチル、1ープロピルオキシヘキシル、2ーエチルオキシヘプチル、6ー メチルー6-メチルオキシヘプチル、1-メチルオキシノニル、3-メチルオキシ ノニル、8-メチルオキシノニル、3-エチルオキシオクチル、3-メチル-7-メチルオキシオクチル、7,7ージメチルオキシオクチル、4ーメチルー8ーメチ ルオキシノニル、3,7ージメチルー11ーメチルオキシドデシル、4,8ージメ チルー12-メチルオキシトリデシル、1-メチルオキシペンタデシル、14-メ チルオキシペンタデシル、13-メチル-13-メチルオキシテトラデシル、15 ーメチルオキシヘキサデシル、1 ーメチルオキシヘプタデシル、及び、3, 7, 1 1ートリメチルー15ーメチルオキシヘキサデシルのような1又は2個の酸素原 子で介在されている炭素数2乃至20個のアルキル基:N-メチルアミノメチル、 1- (N-メチルアミノ) エチル、2- (N-メチルアミノ) エチル、N-エチル アミノメチル、1-(N-メチルアミノ)プロピル、2-(N-メチルアミノ)プ ロピル、3 - (N-メチルアミノ)プロピル、2 - (N-エチルアミノ)エチル、 2-(N, N-ジメチルアミノ) エチル、1-(N-メチルアミノ) プチル、2-(Nーメチルアミノ)ブチル、3-(Nーメチルアミノ)プチル、2-(Nーエチ ルアミノ)プロピル、3ー(N, Nージメチルアミノ)プロピル、4ー(Nーメチ ルアミノ) ペンチル、3ー (Nーメチルアミノ) ペンチル、2ー (Nーメチルアミ ノ)ペンチル、1-(N-メチルアミノ)ペンチル、3-(N,N-ジメチルアミ ノ) ブチル、2 - (N, N-ジメチルアミノ) ブチル、1 - (N, N-ジメチルア ミノ) プチル、1 ーメチルー2ー(N ーメチルアミノ) ブチル、1.3ージ(N ー メチルアミノ) ブチル、2, 3ージ (Nーメチルアミノ) ブチル、2ー (Nーエチ ルアミノ) ブチル、1 – (Nーメチルアミノ) ヘキシル、2 – (Nーメチルアミノ)

ヘキシル、3-(N-メチルアミノ) ヘキシル、4-(N-メチルアミノ) ヘキシ ル、5-(N-メチルアミノ) ヘキシル、1-(N-プロピルアミノ) ブチル、4 ーメチルー4-(N-メチルアミノ)ペンチル、1-(N-メチルアミノ)へプチ ル、2-(N-メチルアミノ) ヘプチル、3-(N-メチルアミノ) ヘプチル、4 - (N-メチルアミノ) ヘプチル、5- (N-メチルアミノ) ヘプチル、6- (N ーメチルアミノ) ヘプチル、1-(N-プロピルアミノ) ペンチル、2-(N-エ チルアミノ) ヘキシル、5-メチルー5-(N-メチルアミノ) ヘキシル、3-(N -メチルアミノ) オクチル、4ー(Nーメチルアミノ) オクチル、5ー(Nーメチ ルアミノ) オクチル、6-(N-メチルアミノ) オクチル、1 -(N-プロピルア ミノ) ヘキシル、2 - (N-エチルアミノ) ヘプチル、6 - メチル-6 - (N-メ チルアミノ) ヘプチル、1- (N-メチルアミノ) ノニル、3- (N-メチルアミ ノ)ノニル、8-(N-メチルアミノ)ノニル、3-(N-エチルアミノ)オクチ ル、3 ーメチルー7ー(Nーメチルアミノ)オクチル、7. 7 ージ(Nーメチルア ミノ) オクチル、4ーメチルー8ー (Nーメチルアミノ) ノニル、3, 7ージメチ ルアミノ) トリデシル、1-(N-メチルアミノ) ペンタデシル、14-(N-メ チルアミノ)ペンタデシル、13-メチル-13-(N-メチルアミノ)テトラデ シル、15-(N-メチルアミノ) ヘキサデシル、1-(N-メチルアミノ) ヘプ タデシル、及び、3,7,11-トリメチル-15-(N-メチルアミノ) ヘキサ デシルのような1又は2個の窒素原子で介在されている炭素数2乃至20個のア ルキル基を挙げることができ、好適には、ヘテロ原子が介在するC。ーC。アルキル 基である。

上記において、 R^4 及び R^1 の定義における「アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1 - C_2 のアルキル基」とは、前記「 C_1 - C_2 のアルキル基」が、同一又は異なって、1又は3個の前記「アリール基」又は前記「芳香族複素環基」で置換さ

れた基を示す。

上記において、R⁴及びR¹¹の定義における「C₂-C₂₀アルキニル基」とは、例 えば、エチニル、2ープロピニル、1ーメチルー2ープロピニル、2ーメチルー2 ープロピニル、2ーエチルー2ープロピニル、2ーブチニル、1ーメチルー2ーブ チニル、2ーメチルー2ーブチニル、1ーエチルー2ーブチニル、3ーブチニル、 1-メチル-3-ブチニル、2-メチル-3-ブチニル、1-エチル-3-プチニ ル、2ーペンチニル、1 -メチル-2-ペンチニル、2-メチル-2-ペンチニル、 3-ペンチニル、1-メチル-3-ペンチニル、2-メチル-3-ペンチニル、4 ・ペンチニル、1-メチルー4ーペンチニル、2-メチルー4ーペンチニル、2-ヘキシニル、3 ーヘキシニル、4 ーヘキシニル、5 ーヘキシニル、ヘプチニル、1 ーメチルヘキシニル、2ーメチルヘキシニル、3ーメチルヘキシニル、4ーメチル ヘキシニル、5ーメチルヘキシニル、1ープロピルブチニル、4, 4ージメチルペ ンチニル、オクチニル、1ーメチルヘプチニル、2ーメチルヘプチニル、3ーメチ ルヘプチニル、4ーメチルヘプチニル、5ーメチルヘプチニル、6ーメチルヘプチ ニル、1ープロピルペンチニル、2ーエチルヘキシニル、5, 5ージメチルヘキシ ニル、ノニニル、3-メチルオクチニル、4-メチルオクチニル、5-メチルオク チニル、6-メチルオクチニル、1-プロピルヘキシニル、2-エチルヘプチニル、 6,6-ジメチルヘプチニル、デシニル、1-メチルノニニル、3-メチルノニニ ル、8-メチルノニニル、3-エチルオクチニル、3、7-ジメチルオクチニル、 .7, 7ージメチルオクチニル、ウンデシニル、4, 8ージメチルノニニル、ドデシ ニル、トリデシニル、テトラデシニル、ペンタデシニル、3,7,11ートリメチ ルドデシニル、ヘキサデシニル、4,8,12-トリメチルトリデシニル、1-メ **チルペンタデシニル、14ーメチルペンタデシニル、13,13ージメチルテトラ デシニル、ヘプタデシニル、15ーメチルヘキサデシニル、オクタデシニル、1ー** メチルヘプタデシニル、ノナデシニル、アイコシニル、及び、3,7,11,15

ーテトラメチルへキサデシニル基のような炭素数2乃至20の直鎖又は分枝鎖アルキニル基を挙げることができ、好適には、C2-C10アルキニル基である。

上記において、R⁴⁴及びR¹¹の定義における「ヘテロ原子が介在するC₃ーC₂₀ア ルキニル基」とは、前記「CューCュアルキニル基」の内の「炭素数3万至20個 のアルキニル基」が、同一又は異なって、1又は2個の、硫黄原子、酸素原子、又 は、窒素原子で介在されている基を示し、例えば、1-メチルチオエチニル、2-メチルチオエチニル、1ーメチルチオプロピニル、2ーメチルチオプロピニル、3 ーメチルチオプロピニル、2-エチルチオエチニル、2-メチルー2-メチルチオ エチニル、1ーメチルチオプチニル、2ーメチルチオプチニル、3ーメチルチオブ チニル、2-エチルチオプロピニル、3-メチル-3-メチルチオプロピニル、4 ーメチルチオペンチニル、3 -メチルチオペンチニル、2 -メチルチオペンチニル、 1ーメチルチオペンチニル、3、3ージメチルチオプチニル、2、2ージメチルチ オブチニル、1, 1ージメチルチオブチニル、1ーメチルー2ーメチルチオプチニ ル、1,3-ジメチルチオブチニル、2,3-ジメチルチオブチニル、2-エチル チオブチニル、1 ーメチルチオヘキシニル、2 ーメチルチオヘキシニル、3 ーメチ ルチオヘキシニル、4ーメチルチオヘキシニル、5ーメチルチオヘキシニル、1ー プロピルチオブチニル、4 ーメチルー4ーメチルチオペンチニル、1 ーメチルチオ ヘプチニル、2-メチルチオヘプチニル、3-メチルチオヘプチニル、4-メチル チオヘプチニル、5ーメチルチオヘプチニル、6ーメチルチオヘプチニル、1ープ ロピルチオペンチニル、2-エチルチオヘキシニル、5-メチルー5-メチルチオ ヘキシニル、3ーメチルチオオクチニル、4ーメチルチオオクチニル、5ーメチル チオオクチニル、6ーメチルチオオクチニル、1ープロピルチオヘキシニル、2ー エチルチオヘプチニル、6ーメチルー6ーメチルチオヘプチニル、1ーメチルチオ ノニニル、3 -メチルチオノニニル、8 -メチルチオノニニル、3 -エチルチオオ クチニル、3ーメチルー7ーメチルチオオクチニル、7,7ージメチルチオオクチ

ニル、4ーメチルー8ーメチルチオノニニル、3,7ージメチルー11ーメチルチ オドデシニル、4,8-ジメチル-12-メチルチオトリデシニル、1-メチルチ オペンタデシニル、14-メチルチオペンタデシニル、13-メチル-13-メチ ルチオテトラデシニル、15-メチルチオヘキサデシニル、1-メチルチオヘプタ デシニル、及び、3,7,11-トリメチル-15-メチルチオヘキサデシニルの ような1又は2個の硫黄原子で介在されている炭素数3乃至20個のアルキニル 基;1-メチルオキシエチニル、2-メチルオキシエチニル、1-メチルオキシプ ロピニル、2ーメチルオキシプロピニル、3ーメチルオキシプロピニル、2ーエチ ルオキシエチニル、2-メチルー2-メチルオキシエチニル、1-メチルオキシブ チニル、2ーメチルオキシブチニル、3ーメチルオキシプチニル、2ーエチルオキ シプロピニル、3-メチル-3-メチルオキシプロピニル、4-メチルオキシペン チニル、3 – メチルオキシペンチニル、2 – メチルオキシペンチニル、1 – メチル オキシペンチニル、3,3ージメチルオキシブチニル、2,2ージメチルオキシブ チニル、1,1ージメチルオキシブチニル、1ーメチルー2ーメチルオキシブチニ ル、1,3ージメチルオキシブチニル、2,3ージメチルオキシプチニル、2ーエ チルオキシブチニル、1 – メチルオキシヘキシニル、2 – メチルオキシヘキシニル、" 3ーメチルオキシヘキシニル、4ーメチルオキシヘキシニル、5ーメチルオキシへ キシニル、1 ープロピルオキシブチニル、4 ーメチルー4 ーメチルオキシペンチニ ル、1ーメチルオキシヘプチニル、2ーメチルオキシヘプチニル、3ーメチルオキ シヘプチニル、4ーメチルオキシヘプチニル、5ーメチルオキシヘプチニル、6ー メチルオキシヘプチニル、1 ープロピルオキシペンチニル、2 ーエチルオキシヘキ シニル、5-メチル-5-メチルオキシヘキシニル、3-メチルオキシオクチニル、 4ーメチルオキシオクチニル、5ーメチルオキシオクチニル、6ーメチルオキシオ クチニル、1 ープロピルオキシヘキシニル、2 ーエチルオキシヘプチニル、6 ーメ チルー6ーメチルオキシヘプチニル、1ーメチルオキシノニニル、3ーメチルオキ シノニニル、8ーメチルオキシノニニル、3ーエチルオキシオクチニル、3ーメチ

ルー7-メチルオキシオクチニル、7、7-ジメチルオキシオクチニル、4-メチ ルー8-メチルオキシノニニル、3,7-ジメチル-11-メチルオキシドデシニ ル、4、8-ジメチルー12-メチルオキシトリデシニル、1-メチルオキシペン タデシニル、14-メチルオキシペンタデシニル、13-メチルー13-メチルオ キシテトラデシニル、15ーメチルオキシヘキサデシニル、1ーメチルオキシヘプ タデシニル、及び、3,7,11ートリメチルー15ーメチルオキシヘキサデシニ ルのような1又は2個の酸素原子で介在されている炭素数3乃至20個のアルキ ニル基;1 ー(Nーメチルアミノ) エチニル、2 ー(N ーメチルアミノ) エチニル、 1-(N-メチルアミノ)プロピニル、2-(N-メチルアミノ)プロピニル、3 - (N-メチルアミノ) プロピニル、2 - (N-エチルアミノ) エチニル、2 - (N, N-ジメチルアミノ) エチニル、1-(N-メチルアミノ) プチニル、2-(N-メチルアミノ) プチニル、3 - (N-メチルアミノ) ブチニル、2 - (N-エチル) アミノ) プロピニル、3 ー (N. Nージメチルアミノ) プロピニル、4 ー (Nーメ チルアミノ) ペンチニル、3 - (N-メチルアミノ) ペンチニル、2 - (N-メチ ルアミノ) ペンチニル、1-(N-メチルアミノ) ペンチニル、3-(N, N-ジ メチルアミノ) ブチニル、2-(N, N-ii)メチルアミノ) ブチニル、1-(N, i)N-ジメチルアミノ) ブチニル、1-メチル-2-(N-メチルアミノ) ブチニル、 1,3-ジ(N-メチルアミノ)プチニル、2,3-ジ(N-メチルアミノ)プチ ニル、2-(N-エチルアミノ) プチニル、1-(N-メチルアミノ) ヘキシニル、 2- (N-メチルアミノ) ヘキシニル、3- (N-メチルアミノ) ヘキシニル、4 ー(Nーメチルアミノ)ヘキシニル、5-(N-メチルアミノ)ヘキシニル、1-(Nープロピルアミノ) プチニル、4 ーメチルー4 - (Nーメチルアミノ) ペンチ ニル、1 - (N-メチルアミノ) ヘプチニル、2 - (N-メチルアミノ) ヘプチニ ル、3 ー(N – メチルアミノ)ヘプチニル、4 – (N – メチルアミノ)ヘプチニル、 5 – (Nーメチルアミノ) ヘプチニル、6 – (Nーメチルアミノ) ヘプチニル、1 (N-プロピルアミノ)ペンチニル、2-(N-エチルアミノ)へキシニル、5

ーメチルー5ー(Nーメチルアミノ) ヘキシニル、3 – (Nーメチルアミノ) オク チニル、4-(N-メチルアミノ) オクチニル、5-(N-メチルアミノ) オクチ ニル、6-(N-メチルアミノ) オクチニル、1-(N-プロピルアミノ) ヘキシ ニル、2-(N-エチルアミノ) ヘプチニル、6-メチル-6-(N-メチルアミ ノ) ヘプチニル、1 - (N-メチルアミノ) ノニニル、3 - (N-メチルアミノ) . ノニニル、8 - (Nーメチルアミノ) ノニニル、3 - (Nーエチルアミノ) オクチ ニル、3 - メチルー 7 - (N - メチルアミノ) オクチニル、7, 7 - ジ (N - メチ ルアミノ) オクチニル、4ーメチル-8- (N-メチルアミノ) ノニニル、3,7 ージメチルー11- (N-メチルアミノ) ドデシニル、4,8-ジメチル-12-(N-メチルアミノ) トリデシニル、1-(N-メチルアミノ) ペンタデシニル、 14- (N-メチルアミノ) ペンタデシニル、13-メチル-13- (N-メチル アミノ) テトラデシニル、15- (N-メチルアミノ) ヘキサデシニル、1- (N ーメチルアミノ) ヘプタデシニル、及び、3,7,11-トリメチルー15-(N ーメチルアミノ)ヘキサデシニルのような1又は2個の窒素原子で介在されている 炭素数3乃至20個のアルキニル基を挙げることができるが、好適には、ヘテロ原 子が介在するC3-C10アルキニル基である。

上記において、 R^{4a} 及び R^{11} の定義における「アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルキニル基」とは、前記「 C_2-C_{20} アルキニル基」が、同一又は異なって、1又は3個の、前記「アリール基」又は前記「芳香族複素環基」で置換された基を示す。

上記において、 R^{4a} 及び R^{11} の定義における「 C_2 - C_{20} アルケニル基」とは、例えば、エテニル、2-プロペニル、1-メチル-2-プロペニル、2-メチル-2-プロペニル、2-エチル-2-プロペニル、2-ブテニル、1-メチル-2-プテニル、2-ブテニル、3-ブテニル

1-メチルー3-ブテニル、2-メチルー3-ブテニル、1-エチルー3-ブテニ ル、2ーペンテニル、1ーメチルー2ーペンテニル、2ーメチルー2ーペンテニル、 3ーペンテニル、1ーメチルー3ーペンテニル、2ーメチルー3ーペンテニル、4 ーペンテニル、1ーメチルー4ーペンテニル、2ーメチルー4ーペンテニル、2ー ヘキセニル、3-ヘキセニル、4-ヘキセニル、5-ヘキセニル、ヘプテニル、1 ーメチルヘキセニル、2ーメチルヘキセニル、3-メチルヘキセニル、4-メチル ヘキセニル、5-メチルヘキセニル、1-プロピルブテニル、4.4-ジメチルペ ンテニル、オクテニル、1ーメチルヘプテニル、2ーメチルヘプテニル、3ーメチ ルヘプテニル、4ーメチルヘプテニル、5ーメチルヘプテニル、6ーメチルヘプテ ニル、1ープロピルペンテニル、2-エチルヘキセニル、5,5-ジメチルヘキセ ニル、ノネニル、3ーメチルオクテニル、4ーメチルオクテニル、5-メチルオク テニル、6-メチルオクテニル、1-プロピルヘキセニル、2-エチルヘプテニル、 6,6-ジメチルヘプテニル、デセニル、1-メチルノネニル、3-メチルノネニ ・ル、8-メチルノネニル、3-エチルオクテニル、3,7-ジメチルオクテニル、 7, 7ージメチルオクテニル、ウンデセニル、4, 8ージメチルノネニル、ドデセ ニル、トリデセニル、テトラデセニル、ペンタデセニル、3,7,11ートリメチ ルドデセニル、ヘキサデセニル、4、8、12-トリメチルトリデセニル、1-メ チルペンタデセニル、14-メチルペンタデセニル、13,13-ジメチルテトラ デセニル、ヘプタデセニル、15-メチルヘキサデセニル、オクタデセニル、1-メチルヘプタデセニル、ノナデセニル、アイコセニル、及び、3,7,11,15 ーテトラメチルヘキサデセニル基のような炭素数2乃至20の直鎖又は分枝鎖ア ルケニル基を挙げることができ、好適にはC₂-C10アルケニル基である。

上記において、 R^{4a} 及び R^{11} の定義における「ヘテロ原子が介在する $C_3 - C_{20}$ アルケニル基」とは、前記「 $C_2 - C_{20}$ アルケニル基」の内の「炭素数 3 乃至 2 0 個のアルケニル基」が、同一又は異なって、1 又は 2 個の、硫黄原子、酸素原子、又

は、窒素原子で介在されている基を示し、例えば、1-メチルチオエテニル、2-メチルチオエテニル、1-メチルチオプロペニル、2-メチルチオプロペニル、3 ーメチルチオプロペニル、2ーエチルチオエテニル、2ーメチルー2ーメチルチオ エテニル、1 -メチルチオプテニル、2 -メチルチオブテニル、3 -メチルチオブ テニル、2-エチルチオプロペニル、3-メチル-3-メチルチオプロペニル、4 ーメチルチオペンテニル、3-メチルチオペンテニル、2-メチルチオペンテニル、 **1ーメチルチオペンテニル、3,3-ジメチルチオブテニル、2,2-ジメチルチ** オプテニル、1 , 1ージメチルチオプテニル、1 – メチルー 2 – メチルチオプテニ ル、1,3-ジメチルチオブテニル、2,3-ジメチルチオブテニル、2-エチル チオブテニル、1-メチルチオヘキセニル、2-メチルチオヘキセニル、3-メチ ルチオヘキセニル、4ーメチルチオヘキセニル、5ーメチルチオヘキセニル、1 -プロピルチオブテニル、4ーメチルー4ーメチルチオペンテニル、1ーメチルチオ ヘプテニル、2 – メチルチオヘプテニル、3 – メチルチオヘプテニル、4 – メチル チオヘプテニル、5ーメチルチオヘプテニル、6ーメチルチオヘプテニル、1ープ ロピルチオペンテニル、2ーエチルチオヘキセニル、5ーメチルー5ーメチルチオ ヘキセニル、3-メチルチオオクテニル、4-メチルチオオクテニル、5-メチル チオオクテニル、6 ーメチルチオオクテニル、1 ープロピルチオヘキセニル、2 ー エチルチオヘプテニル、6 ーメチルー6 ーメチルチオヘプテニル、1 ーメチルチオ ノネニル、3 -メチルチオノネニル、8 -メチルチオノネニル、3 -エチルチオオ クテニル、3-メチルー7-メチルチオオクテニル、7,7-ジメチルチオオクテ ニル、4ーメチルー8ーメチルチオノネニル、3,7ージメチルー11ーメチルチ オドデセニル、4,8ージメチルー12ーメチルチオトリデセニル、1ーメチルチ オペンタデセニル、14-メチルチオペンタデセニル、13-メチル-13-メチ ルチオテトラデセニル、1 5 ーメチルチオヘキサデセニル、1 ーメチルチオヘプタ デセニル、及び、3,7,11-トリメチルー15-メチルチオヘキサデセニルの ような1又は2個の硫黄原子で介在されている炭素数3乃至20個のアルケニル

基;1-メチルオキシエテニル、2-メチルオキシエテニル、1-メチルオキシプ ロペニル、2 -メチルオキシプロペニル、3 -メチルオキシプロペニル、2 -エチ ルオキシエテニル、2ーメチルー2ーメチルオキシエテニル、1ーメチルオキシブ テニル、2-メチルオキシブテニル、3-メチルオキシブテニル、2-エチルオキ シプロペニル、3ーメチルー3ーメチルオキシプロペニル、4ーメチルオキシペン テニル、3 -メチルオキシペンテニル、2 -メチルオキシペンテニル、1 -メチル オキシペンテニル、3,3ージメチルオキシブテニル、2,2ージメチルオキシブ テニル、1,1-ジメチルオキシブテニル、1-メチル-2-メチルオキシプテニ ル、1,3-ジメチルオキシブテニル、2,3-ジメチルオキシブテニル、2-エ **チルオキシブテニル、1 ーメチルオキシヘキセニル、2 ーメチルオキシヘキセニル、** 3-メチルオキシヘキセニル、4-メチルオキシヘキセニル、5-メチルオキシヘ キセニル、1 ープロピルオキシブテニル、4 -メチル-4 -メチルオキシペンテニ ル、1 - メチルオキシヘプテニル、2 - メチルオキシヘプテニル、3 - メチルオキ シヘプテニル、4 ーメチルオキシヘプテニル、5 ーメチルオキシヘプテニル、6 ー メチルオキシヘプテニル、1-プロピルオキシペンテニル、2-エチルオキシヘキ セニル、5-メチル-5-メチルオキシヘキセニル、3-メチルオキシオクテニル、 4-メチルオキシオクテニル、5-メチルオキシオクテニル、6-メチルオキシオ クテニル、1 ープロピルオキシヘキセニル、2 ーエチルオキシヘプテニル、6 ーメ チルー6-メチルオキシヘプテニル、1-メチルオキシノネニル、3-メチルオキ シノネニル、8-メチルオキシノネニル、3-エチルオキシオクテニル、3-メチ ルー7-メチルオキシオクテニル、7.7-ジメチルオキシオクテニル、4-メチ ルー8-メチルオキシノネニル、3,7-ジメチル-11-メチルオキシドデセニ ル、4,8ージメチルー12ーメチルオキシトリデセニル、1ーメチルオキシペン タデセニル、1 4 ーメチルオキシペンタデセニル、1 3 ーメチルー 1 3 ーメチルオ キシテトラデセニル、15-メチルオキシヘキサデセニル、1-メチルオキシヘプ タデセニル、及び、3.7.11ートリメチルー15-メチルオキシヘキサデセニ

ルのような1又は2個の酸素原子で介在されている炭素数3乃至20個のアルケ ニル基;1-(N-メチルアミノ) エテニル、2-(N-メチルアミノ) エテニル、 1-(N-メチルアミノ)プロペニル、2-(N-メチルアミノ)プロペニル、3 ー (Nーメチルアミノ) プロペニル、2 ー (Nーエチルアミノ) エテニル、2 ー (N. N-ジメチルアミノ) エテニル、1-(N-メチルアミノ) プテニル、2-(N-メチルアミノ) プテニル、3 - (N-メチルアミノ) プテニル、2 - (N-エチル アミノ) プロペニル、3 ー(N,Nージメチルアミノ) プロペニル、4 ー(N ーメ チルアミノ) ペンテニル、3 ー(Nーメチルアミノ) ペンテニル、2 ー(Nーメチ ルアミノ) ペンテニル、1-(N-メチルアミノ) ペンテニル、3-(N.N-ジ メチルアミノ) ブテニル、2-(N,N-ジメチルアミノ) プテニル、1- (N, Nージメチルアミノ) ブテニル、1ーメチルー2ー(Nーメチルアミノ) ブテニル、 1, 3-ジ(N-メチルアミノ) プテニル、2, 3-ジ(N-メチルアミノ) プテ ニル、2-(N-エチルアミノ)プテニル、1-(N-メチルアミノ)ヘキセニル、 2- (N-メチルアミノ) ヘキセニル、3- (N-メチルアミノ) ヘキセニル、4 (N-メチルアミノ) ヘキセニル、5- (N-メチルアミノ) ヘキセニル、1-(N-プロピルアミノ) プテニル、4-メチル-4- (N-メチルアミノ) ペンテ ニル、1 – (N – メチルアミノ) ヘプテニル、2 – (N – メチルアミノ) ヘプテニ ル、3 - (N-メチルアミノ) ヘプテニル、4 - (N-メチルアミノ) ヘプテニル、 5-(N-メチルアミノ) ヘプテニル、6-(N-メチルアミノ) ヘプテニル、1 - (Nープロピルアミノ)ペンテニル、2-(N-エチルアミノ)へキセニル、5 ーメチルー5ー(Nーメチルアミノ) ヘキセニル、3 ー (Nーメチルアミノ) オク テニル、4 - (N-メチルアミノ) オクテニル、5 - (N-メチルアミノ) オクテ ニル、6-(N-メチルアミノ) オクテニル、1-(N-プロピルアミノ) ヘキセ ニル、2-(N-エチルアミノ) ヘプテニル、6-メチル-6-(N-メチルアミ **ノ)ヘプテニル、1-(N-メチルアミノ)ノネニル、3-(N-メチルアミノ)** ノネニル、8 - (N-メチルアミノ) ノネニル、3 - (N-エチルアミノ) オクテ

ニル、3-メチルー7-(N-メチルアミノ)オクテニル、7, 7-ジ(N-メチルアミノ)オクテニル、4-メチルー8-(N-メチルアミノ)ノネニル、3, 7-ジメチルー11-(N-メチルアミノ)ドデセニル、4, 8-ジメチルー12-(N-メチルアミノ)トリデセニル、1-(N-メチルアミノ)ペンタデセニル、14-(N-メチルアミノ)ペンタデセニル、13-メチルー13-(N-メチルアミノ)テトラデセニル、15-(N-メチルアミノ)ヘキサデセニル、1-(N-メチルアミノ)ヘプタデセニル、及び、3, 7, 11-トリメチルー15-(N-メチルアミノ)ヘナサデセニルのような1又は2個の窒素原子で介在されている 炭素数3乃至20個のアルケニル基を挙げることができ、好適には、N-中原子が介在するN-1のアルケニル基である。

上記において、 R^{4n} 及び R^{11} の定義における「アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルケニル基」とは、前記「 C_2-C_{20} アルケニル基」が、同一又は異なって、1又は3個の、前記「アリール基」又は前記「芳香族複素環基」で置換された基を示す。

上記において、 R^{4a} 及び R^{11} の定義における「アリール基又は芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基」とは、前記「ヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基」が、同一又は異なって、1又は3個の、前記「アリール基」又は前記「芳香族複素環基」で置換された基を示す。

本発明で用いられる「リパーゼ」は、特に限定はなく、原料化合物の種類により 最適なものが異なるが、好ましくは、Pseudomonas sp.、Pseudomonas fluorescens、 Pseudomonas cepacia、Chromobacterium viscosum、Aspergillus niger、Aspergillus oryzae、Candida antarctica、Candida cylindracea、Candida lipolytica、Candida rugosa、Candida utilis、Penicillium roqueforti、Rhizopus arrhizus、Rhizopus delemar、Rhizopus javanicus、Rhizomucor miehei、Rhizopus niveus、Humicola lanuginosa、Mucor javanicus、Mucor miehei、Thermus aquaticus、Thermus flavus、Thermus thermophilus 等や human pancreas、hog pancreas、porcine pancreas、wheat germ 由来のリパーゼである。酵素は部分的に又は完全に精製して用いることができるばかりではなく、固定化した形態で使用することができる。最も好適には、Pseudomonas sp. を固定化したもの(例えば、immobilized lip ase from Pseudomonas sp. (TOYOBO 社))である。

本発明で使用される、式(XLIII)を有するカルボン酸ビニルエステル誘導体($R^{"}COOCH=CH_2$)としては、原料化合物の種類により最適なものが異なるが、一般に好適には、n-ヘキサン酸 ビニルエステル、n-ヘプタン酸 ビニルエステル、n-ペンタン酸 ビニルエステル、酢酸 ビニルエステル等の直鎖状脂肪族カルボン酸 ビニルエステルであり、最も好適には、n-ヘキサン酸 ビニルエステルである。

「その薬理上許容される塩」とは、本発明の一般式 (I)を有する化合物は、アミノ基のような塩基性の基を有する場合には酸と反応させることにより、又、カルボキシル基のような酸性基を有する場合には塩基と反応させることにより、塩にすることができるので、その塩を示す。

塩基性基に基づく塩としては、好適には、弗化水素酸塩、塩酸塩、臭化水素酸塩、沃化水素酸塩のようなハロゲン化水素酸塩、硝酸塩、過塩素酸塩、硫酸塩、燐酸塩等の無機酸塩;メタンスルホン酸塩、トリフルオロメタンスルホン酸塩、エタンスルホン酸塩のような低級アルカンスルホン酸塩、ベンゼンスルホン酸塩、pートルエンスルホン酸塩のようなアリールスルホン酸塩、酢酸塩、りんご酸塩、フマール酸塩、コハク酸塩、クエン酸塩、アスコルビン酸塩、酒石酸塩、蓚酸塩、マレイン酸塩等の有機酸塩;及び、グリシン塩、リジン塩、アルギニン塩、オルニチン塩

、グルタミン酸塩、アスパラギン酸塩のようなアミノ酸塩を挙げることができ、最 も好適には有機酸塩を挙げることができる。

一方、酸性基に基づく塩としては、好適には、ナトリウム塩、カリウム塩、リチウム塩のようなアルカリ金属塩、カルシウム塩、マグネシウム塩のようなアルカリ土類金属塩、アルミニウム塩、鉄塩等の金属塩;アンモニウム塩のような無機塩、
tーオクチルアミン塩、ジベンジルアミン塩、モルホリン塩、グルコサミン塩、フェニルグリシンアルキルエステル塩、エチレンジアミン塩、Nーメチルグルカミン塩、グアニジン塩、ジエチルアミン塩、トリエチルアミン塩、ジシクロヘキシルアミン塩、N, N'ージベンジルエチレンジアミン塩、クロロプロカイン塩、プロカイン塩、ジエタノールアミン塩、Nーベンジルフェネチルアミン塩、ピペラジン塩、テトラメチルアンモニウム塩、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン塩のような有機塩等のアミン塩;及び、グリシン塩、リジン塩、アルギニン塩、オルニチン塩、グルタミン酸塩、アスパラギン酸塩のようなアミノ酸塩を挙げることができる。

本発明の一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル若しくはその他の誘導体は、大気中に放置したり、又は、再結晶をすることにより、水分を吸収し、吸着水が付いたり、水和物となる場合があり、そのような水和物も本発明の塩に包含される。

本発明の一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル若しくはその他の誘導体は、その分子内に不斉炭素原子を有するので、光学異性体が存在する。本発明の化合物においては、光学異性体および光学異性体の混合物がすべて単一の式、即ら一般式(I)で示されている。従って、本発明は光学異性体および光学異性体の任意の割合の混合物をもすべて含むものである。例えば、本発明の一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はそ

の他の誘導体は、下記式

上記式中、-NR¹R²基は不斉炭素原子に置換しているが、特にRの絶対配位を 有する化合物が好適である。

上記における「エステル」とは、本発明の化合物 (I) は、エステルにすることができるので、そのエステルをいい、そのようなエステルとしては、「ヒドロキシ基のエステル」及び「カルボキシ基のエステル」を挙げることができ、各々のエステル残基が「反応における一般的保護基」又は「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護基」であるエステルをいう。

「反応における一般的保護基」とは、加水素分解、加水分解、電気分解、光分解 のような化学的方法により開裂し得る保護基をいう。

「ヒドロキシ基のエステル」に斯かる「反応における一般的保護基」及び「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護基」としては、前記「ヒドロキシ基の保護基」と同意議を示す。

「カルボキシ基のエステル」に斯かる「反応における一般的保護基」としては、 好適には、前記「低級アルキル基」; エテニル、1ープロペニル、2ープロペニル 、1ーメチルー2ープロペニル、1ーメチルー1ープロペニル、2ーメチルー1ー プロペニル、2ーメチルー2ープロペニル、2ーエチルー2ープロペニル、1ープ テニル、2ープテニル、1ーメチルー2ープテニル、1ーメチルー1ープテニル、 3ーメチルー2ープテニル、1ーエチルー2ープテニル、3ープテニル、1ーメチ ルー3-ブテニル、2-メチルー3-ブテニル、1-エチルー3-ブテニル、1-ペンテニル、2ーペンテニル、1ーメチルー2ーペンテニル、2ーメチルー2ーペ ンテニル、3-ペンテニル、1-メチル-3-ペンテニル、2-メチル-3-ペン テニル、4ーペンテニル、1ーメチルー4ーペンテニル、2ーメチルー4ーペンテ ニル1-ヘキセニル、2-ヘキセニル、3-ヘキセニル、4-ヘキセニル、5-ヘ キセニルのような低級アルケニル基:エチニル、2-プロピニル、1ーメチルー2 ープロピニル、2-メチルー2-プロピニル、2-エチルー2-プロピニル、2-プチニル、1 – メチルー 2 – プチニル、2 – メチルー 2 – プチニル、1 – エチルー 2-ブチニル、3-ブチニル、1-メチル-3-ブチニル、2-メチル-3-ブチ ニル、1 ーエチルー3ープチニル、2 ーペンチニル、1 ーメチルー2ーペンチニル 2-メチル-2-ペンチニル、3-ペンチニル、1-メチル-3-ペンチニル、 2-メチル-3-ペンチニル、4-ペンチニル、1-メチル-4-ペンチニル、2 ーメチルー4-ペンチニル、2-ヘキシニル、3-ヘキシニル、4-ヘキシニル、 5-ヘキシニルのような低級アルキニル基;前記「ハロゲノ低級アルキル」;2-ヒドロキシエチル、2、3ージヒドロキシプロピル、3ーヒドロキシプロピル、3 ,4-ジヒドロキシブチル、4-ヒドロキシブチルのようなヒドロキシ「低級アル キル基」; アセチルメチルのような「低級脂肪族アシル」―「低級アルキル基」; 前 『記「アラルキル基」; 前記「シリル基」を挙げることができる。

「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護基」とは、人体内で加水分解等の生物学的方法により開裂し、フリーの酸又はその塩を生成する保護基をいい、そのような誘導体か否かは、ラットやマウスのような実験動物に静脈注射により投与し、その後の動物の体液を調べ、元となる化合物又はその薬理学的に許容される塩を検出できることにより決定でき、「カルボキシ基のエステル」に斯かる「生体内で加水分解のような生物学的方法により開裂し得る保護基」としては、好適には、メトキシエチル、1ーエトキシエチル、1ーメチルー1ーメトキシエチル、1ー(イソプロポキシ)エチル、2ーメトキシエチル、2ーエトキシエチ

ル、1、1ージメチルー1ーメトキシエチル、エトキシメチル、nープロポキシメ チル、イソプロポキシメチル、nープトキシメチル、tーブトキシメチルのような 低級アルコキシ低級アルキル基、2-メトキシエトキシメチルのような低級アルコ キシ化低級アルコキシ低級アルキル基、フェノキシメチルのような「アリール」オ キシ「低級アルキル基」、2,2,2ートリクロロエトキシメチル、ビス(2ーク ロロエトキシ)メチルのようなハロゲン化低級アルコキシ低級アルキル基等の「ア ルコキシアルキル基」; メトキシカルボニルメチルのような「「低級アルコキシ」 カ ルボニル「低級アルキル基」」; シアノメチル、2 – シアノエチルのような「シアノ 「低級アルキル基」: メチルチオメチル、エチルチオメチルのような「「低級アルキ ル」 チオメチル基」 ; フェニルチオメチル、ナフチルチオメチルのような「「アリー ル」チオメチル基」: 2-メタンスルホニルエチル、2-トリフルオロメタンスル ホニルエチルのような「ハロゲンで置換されていてもよい「低級アルキル」スルホ ニル「低級アルキル基口:2-ベンゼンスルホニルエチル、2-トルエンスルホニ ルエチルのような「「アリール」スルホニル「低級アルキル基」」; 前記「1-(ア シルオキシ)「低級アルキル基」」: 前記「フタリジル基」; 前記「アリール基」; 前 記「低級アルキル基」; カルボキシメチルのような 「カルボキシアルキル基」 ; 及び フェニルアラニンのような「アミノ酸のアミド形成残基」を挙げることができる。

「その他の誘導体」とは、本発明の一般式(I)を有する化合物が、アミノ基及び/又はカルボキシ基を有する場合、上記「薬理上許容される塩」及び上記「そのエステル」以外の誘導体にすることができるので、その誘導体を示す。そのような誘導体としては、例えばアシル基のようなアミド誘導体を挙げることができる。

本発明の一般式(I)を有する化合物の具体例としては、例えば、下記表1及び表2に記載の化合物を挙げることができ、本発明の一般式(La)及び(La-1)を有する化合物の具体例としては、例えば、下記表3及び表4に記載の化合物を挙

げることができるが、本発明は、これらの化合物に限定されるものではない。 表中の略号は以下の通りである。

Ac : アセチル基

Boc: tープトキシカルボニル基

Bpyrr : ベンゾピロリル基

Bu : ブチル基

iBu : イソプチル基

B 2 ベンジル基

Bzt : ベンゾチエニル基

E t : エチル基

Fur : フリル基

c H x : シクロヘキシル基

Me : メチル基

Np(1) : ナフタレンー1-イル基

Np (2) : ナフタレン-2-イル基

Ph : フェニル基

c P n : シクロペンチル基

Pr : プロピル基

iPr : イソプロピル基。

Pyr : ピリジル基

TBDMS: tープチルジメチルシリル基

The : チエニル基

[表1]

$$R^4$$
 $(CH_2)_n$ R^6 R^7 $X-Y-R^5$ (Ia)

Compd.	R ¹	R²	R³	R ⁴	n	-X-Y-R ⁵	R ⁶	R ⁷
1-1	Н	Н	H H	Ме	1	-(CH ₂) ₆ -сНх	, H	Н
1-2	Н	H	Н	Me	1	$-(CH_2)_6$ -cHx	Н	Н
1-3	Н	H	H	Ме	1	-СН=СН- (СН ₂) _з -сНх	Н	Н
1-4	Н	Н	Н	Ме	1	-CH=CH-(CH $_2$) $_4$ -cHx	Н	Н
1-5	Н	Н	Н	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
1–6	H.	Н	H .	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
1-7	·H	Н	Н	Ме	1	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
1–8	Н	H	H	Me	1	$-CO-(CH_2)_5-cHx$	Н	Н
1–9	H	H	H		1	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
1-10	Н	. Н	Н	Me	1	$-CH(OH)-(CH_2)_5-cHx$	Н	H.
1-11	Н	Н	Н	Ме	1	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	H
1-12	Н	Н	Н	Ме	1	-(4-Bz0-Ph)	Ĥ	H.
1-13	H	·.H	Н	Me	. 1	-C≡C-CH ₂ 0-cPn	Н	H
1-14	·H	Н	Н	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cPn$	Н	H
1-15	H	H	Н	Me	4	-C≡C-CH ₂ 0-cHx	· H	H
1-16	Н	Н	Н	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	H	Ή
1-17	H	Н	H	Ме	1	-C≡C-CH ₂ 0-Ph	. ·H	Н
1-18	Н	Н	Н	Ме	1	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-Ph	Н	Н
1-19	Н	Н	·H	Ме	2	-(CH ₂) ₂ -cHx	·H	Н

1-20	Н	Η.	Me	Me	2	-(CH ₂) ₂ -cHx	Н	Н
1-21	Me	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₂ -cHx	H	Н
1-22	CO ₂ Me	H·	H	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -cHx	Н	H.
1-23	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2-(4-F-cHx)$	H	Н
1-24	Н	Н	·H	Ме	2	$-(CH_2)_2-(4-Me-cH\dot{x})$	Н	Н
1-25	Н	Н	Н	Ме	2 .	$-(CH_2)_2$ - $(4-Et-cHx)$	Н	Н
1-26	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2-(4-CF_3-cHx)$	Н	H
1-27	Н	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₂ -(4-MeO-cHx)	Н	Н
1-28	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₂ -(4-Et0-cHx)	Н	Н
1-29	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -(4-MeS-cHx)	Н	Н
1-30	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)2-(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-31	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -(4-Ph-cHx)	H	H
1-32	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -Ph	H	H
1-33	Н	H	Me	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -Ph	Н	Н
1-34	Ме	Ĥ	Н	Ме		-(CH ₂) ₂ -Ph	Н	Н
1–35	CO₂Me	Н	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₂ -Ph	Н	H
1-36	Н	Н	·H	Me	2	-(CH2)2-(4-F-Ph)	H	Н
1-37	H	Н	·H	Ме	. 2	$-(CH_2)_2-(4-Me-Ph)$	H	:H
1-38	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2$ -(4-Et-Ph)	H	· #
1-39	Н	Н	Ή	Me	2	$-(CH_2)_2-(4-CF_3-Ph)$	H	Ή
1-40	Н	Н	Ή	Me	.2	$-(CH_2)_2$ -(4-MeO-Ph)	, H	H
1-41	Н	H,	Н	Me	2	$-(CH_2)_2-(4-Et0-Ph)$	Н	Н
1-42	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2-(4-MeS-Ph)$	H	H
1-43	Н	H	H	М́е	. 2	$-(CH_2)_2-(4-cHx-Ph)$	Н	Н
1-44	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_2-(4-Ph-Ph)$	H	Ή
1-45	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -cHx	. Н	H

1-46	Н	Н	Me	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Н
1-47	Me	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Н
1-48	CO₂Me	Н	Н	Мe	2	-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Н
1-49	Н .	H	Н	Me	2	-(CH2)3-(4-F-cHx)	Н	Н
1-50	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_3-(4-Me-cHx)$	Н	Н
1-51	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)3-(4-Et-cHx)	Н	Н
1-52	Н	Н	H	Me .	2	$-(CH_2)_3 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-53	H	Ĥ	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -(4-MeO-cHx)	Н	Н
1-54	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)3-(4-Et0-cHx)	H.	~Н
1-55	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)3-(4-MeS-cHx)	H	Н
1-56	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)3-(4-cHx-cHx)	H	Н
1-57	. H	H	Н	Me	2	-(CH2)3-(4-Ph-cHx)	H	H
1-58	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_3$ -Ph	H	Ĥ
1-59	H	H	Ме	Me	2	$-(CH_2)_3-Ph$	H	H
1-60	Ме	Н	Ĥ			-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	Н
"I–61	CO₂Me	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	H **
1-62	Н	H	H	Me	2	-(CH2)3-(4-F-Ph)	H	Н
1-63	H	Н	Н	Ме	. 2	-(CH2)3-(4-Me-Ph)	H	H
1-64	H	H	H	Ме	· 2	-(CH2)3-(4-Et-Ph)	H	Н
1–65	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-(4-CF_3-Ph)$	Н	H
1–66	H	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_3-(4-MeO-Ph)$	Н	·H
1-67	H	Н	Н	Мe	2	$-(CH_2)_3-(4-Et0-Ph)$	Н	H
1-68	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-(4-MeS-Ph)$	Н	H
1–69	H	·H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3 - (4-cHx-Ph)$	H	H
1-70	Ή	Н	·H	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -(4-Ph-Ph)	Н	H
1-71	·H·	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H

1-72	Н	Н	Me	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
1-73	Ме	Н	Н	Ме	2	(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-74	CO ₂ Mo	е Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-75	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4 - (4-F-cHx)$. Н	Н
1-76	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-Me-cHx)	Н	H
1-77	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)4-(4-Et-cHx)	Н	Н
1-78	Н	Н	Н	Ме	. 2	-(CH2)4-(4-CF3-cHx)	H	H-
1-79	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-cHx)	H	Н
1-80	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-Et0-cHx)	Н	Н
1-81	H	Н.	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-MeS-cHx)	Н	H _.
1-82	Н	Ή	Н	Ме	2	-(CH2)4-(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-83	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)4-(4-Ph-cHx)	H	₹H
1-84	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -Ph	. Н	Н
1-85	Н	Н	Ме	Ме	.2	-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1–86	Ме	Н	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -Ph	H	Н
1-87	CO ₂ M	еН	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1-88	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-F-Ph)	Н	Н
1-89	Ή	Н	H	Me	2	-(CH2)4-(4-Me-Ph)	Н	Н
1-90	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-(4-Et-Ph)	H	Н
1-91	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-(4-CF_3-Ph)$	H	Н
1-92	H	·H	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-(4-Me0-Ph)$. Н	Н.
1-93	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -(4-Et0-Ph)	H	Н
1-94	Н	H	Н	™e	.2	$-(CH_2)_4$ -(4-MeS-Ph)	Н	Н
1-95	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)4-(4-cHx-Ph)	Н	H
1-96	·H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-97	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5$ -cPn	Н	Н

1-98	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-cHx$	H	Н
1-99	Н	Ĥ.	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Me	Н
1-100	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5$ - cHx	Н	Ме
1-101	Н	Н	Н	'Me	2	$-(CH_2)_5$ -cHx	F	Н
1-102	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	F
1-103	H	H	Ме	[•] Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	H	Н
1-104	Ме	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
1–105	CO ₂ M	le H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	H	H
1–106	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-F-cHx)	Н	Н
1-107	Н	H	H	Me	2	$-(CH_2)_5 - (4-F-cHx)$	Н	Н
1-108	H	Н ,	Н	Me	2	$-(CH_2)_5 - (4-C1-cHx)$	Н	Н
1-109	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-Br-cHx)$. Н	H
1-110	H	Н	Ĥ	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-Me-cHx)$	Н	H
1-111	H	Н	Н	Me	2	-(CH2)5-(4-Me-cHx)	Н	Н
1-112	Н	Ĥ	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-Et-cHx)	H	H
1-113	H	Н	Ĥ	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Et-cHx)	H	Н
1-114	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_5-(3-Pr-cHx)$	H	Н
1-115	Н	Н	H	Me	2	-(CH2)5-(4-Pr-cHx)	Н	H
1-116	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-iPr-cHx)$	Н	Н
1-117	·H	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(3-Bu-cHx)	Н	Н
1-118	Н	Н	Ή	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Bu-cHx)$	Н	H
1-119	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5 - (3-CF_3-cHx)$	Н	Н
1-120	Н	Н	Ή	Me	2	$-(CH_2)_5 - (4-CF_3 - cHx)$	Н	H
1-121	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5 - (3-MeO-cHx)$	H	H
1-122	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-MeO-cHx)$	Н	Н
1-123	. Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(3-EtO-cHx)	·H	Н.

						•		
1-124	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Et0-cHx)$	H	H
1-125	·H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-Pr0-cHx)$	H	Н
1-126	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Pr0-cHx)$	H	Н
1-127	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-iPrO-cHx)	H	Н
1-128	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(4-iPr0-cHx)	H	Н
1-129	Н.	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-[3-(2-Et-Pr0)-cHx]$	H	Н
1-130	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-[4-(2-Et-Pr0)-cHx]$	H	Н
1-131	Н	Н		Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-iBu0-cHx)	Н	Н
1–132	Н	Ĥ	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-iBuO-cHx)	H	Н
1-133	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-MeS-cHx)	Н	Н
1-134	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)5-(4-MeS-cHx)	H	H
1-135	Н.	·H	Ή	Ме	2.	-(CH2)5-(3-EtS-cHx)	Н	Н
1-136	H	Н	H	Me	2	-(CH2)5-(4-EtS-cHx)	Н	Н
1-137	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(3-PrS-cHx)	H.	Н
1-138						-(CH ₂) -(4-PrS-cHx)	Н	H
1-139	H	Ĥ "	H	Me	2	-(CH ₂) ₅ -(3-iPrS-cHx)	Н	H
1-140	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-iPrS-cHx)$	Н	Н
1-141	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-[3-(2-Et-PrS)-cHx]	H	Ä
1-142	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-[4-(2-Et-PrS)-cHx]$	ĴΉ	H
1-143	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3-iBuS-cHx)$	H	Н
1-144	H	H .	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6$ -(4-iBuS-cHx)	H	H
1-145	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5 - (3-cHx-cHx)$	H	H
1-146	*H	H.	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-cHx-cHx)	Н.	Н
1-147	H	··H	.H	Мė	.2	$-(CH_2)_5-(3-Ph-cHx)$	H	Н
1-148	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-Ph-cHx)$	Н	Н
1-149	H	Ή	H	Me	2	-(CH2)5-(2, 4-diMe-cHx)	Η.	·H

1-150	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(3, 4-diMe-cHx)	H	H
1-151	Н	Н	Н .	Me	2	-(CH2)5-(3, 5-diMe-cHx)	H	H
1-152	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_5-Ph$	Н	Н
1-153	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6-Ph$	Me	Н
1-154	Н	Ħ.	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-Ph$	Н	Ме
1-155	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-Ph$	F	Н
1-156	Н	Н .	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-Ph$	Н	F
1-157	H	H	Мe	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	H
1-158	Ме	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5$ -Ph	Ĥ	H
1-159	CO ₂ M	е Н	Н	Me	2	-(CH₂) 5-Ph	H	, H _
1-160	Н	Н	H	Ме	. 2	$-(CH_2)_5-(3-F-Ph)$	Н	Н
1-161	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5 - (4-F-Ph)$. Н	H
1-162	H.	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-C1-Ph)$	Н	Н
1-163	Н	Н.	H	Ме	2	$-(CH_2)_5 - (4-Br-Ph)$	Н	Н
1-164	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-Me-Ph)	Н	Н
1-165	Н	H	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-Me-Ph)	Н	Н
1-166	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-Et-Ph)$	·H	Н
1-167	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-Et-Ph)	Н	H
1-168	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-Pr-Ph)$	Н	H
1-169	. H	H	Ή	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Pr-Ph)$	Н	Н
1-170	Η.	· H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-iPr-Ph)	H	Н
1-171	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-iPr-Ph)	Н	H
1-172	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-Bu-Ph)$	H	Н
1-173	H	Н	Ή	Me	2	-(CH2)5-(4-Bu-Ph)	-H	H
1-174	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3-CF_3-Ph)$	Н	Н
1-175	H	Н	H	Me	.2	$-(CH_2)_6-(4-CF_3-Ph)$	Н	H

1-176	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3-Me0-Ph)$	Н	H
1-177	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-MeO-Ph)	H	Н
1-178	Н	Н	Ĥ	Me	2	$-(CH_2)_5-(3-Et0-Ph)$	Н	Н
1-179	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)6-(4-EtO-Ph)	H	Н
1-180	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6-(3-PrO-Ph)$	H	Н
1-181	Н	. Н	H	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-PrO-Ph)$	Н	H
1-182	Н	·H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-iPrO-Ph)	Н	Н
1-183	Н	H	H.	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-iPrO-Ph)	H H	Н
1-184	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -[3-(2-Et-PrO)-Ph]	Н	Н
1-185	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-[4-(2-Et-Pr0)-Ph]$	Н	Н
1-186	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) _s -(3-iBuO-Ph)	H	Н
1-187	Ħ	H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-iBuO-Ph)	H	H
1-188	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-MeS-Ph)	Ή.	Ή
1~189	H	Н	H	Me	2		Н	Н
1-190						-(CH ₂)' ₅ -(3-EtS-Ph)	Н	Н
1-191	Н	Ĥ	Н	Me .	2	-(CH ₂) ₅ -(4-EtS-Ph)	H	Н
1-192	Н	Н	Ή	Ме	2	-(CH2)5-(3-PrS-Ph)	Н	H
1-193	·H	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-PrS-Ph)	Н	H
1-194	H	H	Н	Me	2	-(CH2)5-(3-iPrS-Ph)	Н	Н
1-195	Н	·H	H	Me	2	-(CH2)5-(4-iPrS-Ph)	H	Н.
1-196	Н	Ή	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-[3-(2-Et-PrS)-Ph]$	H	H
1-197	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)s-[4-(2-Et-PrS)-Ph]	Н	Н
1-198	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-iBuS-Ph)	Н	Н
1-199	H	H	.H	Me	2	-(CH ₂) ₅ -(4-iBuS-Ph)	H	Н
1-200	H	Н	Н	Me	2	-(CH2)5-(3-cHx-Ph)	Н	Н
1-201	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-cHx-Ph)$	Н	Н

1-202	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-Ph-Ph)	Н	Н
1-203	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Ph-Ph)$. Н	H
1-204	Н	H	H	Me	2	$-(CH_2)_5-(2,4-diMe-Ph)$	H	H
1-205	Н	H	Н.	Me	2	$-(CH_2)_5-(3, 4-diMe-Ph)$	Н	H
1-206	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3, 5-diMe-Ph)$	Н	Н
1-207	Н	H	H	Me	2	-(CH2)6-Np(1)	H	H
1-208	Н	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-Np(2)$	Н	Н
1-209	H	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₆ -cPn	H	Н
1-210	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Н
1-211	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Ме	H .
1-212	H	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_6$ -cHx	Н	Me
1-213	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	F	Н
1-214	H	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_6$ - cHx	H	F
1-215	Н	Н	Ме	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Ħ	Н
1-216	Me	Н	Н	Ме	2	-(СҢ ₂) ₆ -сНх	Н	Н
1-217	CO₂Me	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6$ -cHx	Н	Н
1-218	H ·	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-F-cHx)	Н	H
1-219	H	Ή	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-F-cHx)	Н	Н
1-220	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-C1-cHx)$	H	H
1-221	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Br-cHx)	Н	H
1-222	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (3-Me-cHx)$	H	H
1-223	• H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Me-cHx)	H	Н
1-224	H	H	H	Ме	2	-(CH2)6-(3-Et-cHx)	Н	H
1-225	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Et-cHx)	Н	Н
1-226	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (3-Pr-cHx)$	Н	H
1-227	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)6-(4-Pr-cHx)	Ĥ	H

1-228	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_6-(4-iPr-cHx)$	Н	H
1-229	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-Bu-cHx)	H	Н
1-230	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)8-(4-Bu-cHx)	H	H
1-231	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (3-CF_3-cHx)$	Н	H
1-232	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_6 - (4-CF_3-cHx)$	Н	H
1-233	Н	Н -	H	Me	2	$-(CH_2)_6 - (3-MeO-cHx)$	Н	Н
1-234	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-MeO-cHx)$	Н	H _.
1-235	Н	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(3-EtO-cHx)	H	H is alos vi
1-236	H .	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-Et0-cHx)$	Н	Н
1-237	H	H	H / 1889	Me	2	$-(CH_2)_6 - (3-Pr0-cHx)$	H	Н
1-238	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-Pr0-cHx)$	H	H
1-239	H	H	H	Me	2	-(CH2)6-(3-iPrO-cHx)	H	Н
1-240	H	Н	Н	Me	2	-(CH2)6-(4-iPrO-cHx)	Н	Н
1-241	. Н`	H.	Н	Ме	.2	$-(CH_2)_6-[3-(2-Et-Pr0)-cHx]$. H .	Н
1-242	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6-[4-(2-Et-Pr0)-cHx]$	Н	Н
1-243	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-iBu0-cHx)	Н	H
1-244	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-iBuO-cHx)	H	H.
1-245	H	H.	H	Ме	2	-(CH2)6-(3-MeS-cHx)	Н	Н
1-246	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-MeS-cHx)	Н	H
1-247	. Н	Н	H			-(CH2)6-(3-EtS-cHx)		H
1-248	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)6-(4-EtS-cHx)	Н	Η.
1-249	H	Н	H	Ме	2	-(CH2)6-(3-PrS-cHx)	, н	Н
.1-250	Ή	Н	H	Me	2	-(CH2)6-(4-PrS-cHx)	Н	Н.
1-251	Н	H	H	Ме	2	-(CH2)6-(3-iPrS-cHx)	H	H
1-252	Н	Η.	H	Me	2	-(CH2)6-(4-iPrS-cHx)	H	\mathbf{H}_{\perp}
1-253	Н	H	H	Ме	. 2	-(CH2)6-[3-(2-Et-PrS)-cHx]	Н	Н

1-254	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-[4-(2-Et-PrS)-cHx]$	Н	Н
1-255	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-iBuS-cHx)	Ή	H
1-256	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-iBuS-cHx)	H	Н
1-257	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (3-cHx-cHx)$	Н	H
1-258	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4 - cHx - cHx)$	Н	Н
1-259	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3-Ph-cHx)$	H	H
1-260	Н	Н	Н	Ме	2		Н	H
1-261	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(2, 4-diMe-cHx)	Н	Н
1-262	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(3, 4-diMe-cHx)	·H	Н
1-263	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(3,5-diMe-cHx)	Н	Н
1-264	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	Н
1-265	Н	Н	Н	Ме	. 2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Me	H
1-266	Н	Н	Н	Ме	.2	$-(CH_2)_6$ -Ph	Н	Ме
1-267	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	F	Н
1-268	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	F
1-269	Н	Н	Ме	Ме	2	$-(CH_2)_6$ -Ph	Н	H
1-270	Me	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6$ -Ph	H	Н
1-271	CO₂Me	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6$ -Ph	H	H
1-272	H	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_6-(3-F-Ph)$	Н	H
1-273	H	Н	:H	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-F-Ph)$	Н	Н
1-274	Н	Ή	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-C1-Ph)$	³ H	H
1-275	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Br-Ph)	H	H
1-276	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-Me-Ph)	Н	Н
1-277	Н	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Me-Ph)	H	H
1-278	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6$ -(3-Et-Ph)	H	Н
1-279	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Et-Ph)	Н	Н

1-280	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6 - (3-Pr-Ph)$	Н	Н	
1-281	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-Pr-Ph)$	Н	Н	;
1-282	H	Н	Н	Me	2	-(CH2)6-(3-iPr-Ph)	. н	Н	
1-283	Н	Н	Н	Me	_ 2·	-(CH2)6-(4-iPr-Ph)	Н	Н	
1-284	Н	Н	Н	Me	· 2	$-(CH_2)_6 - (3-Bu-Ph)$	Н	Н	
1-285	Н	Н	H	Me	2	-(CH2)6-(4-Bu-Ph)	Н	Н .	
1-286	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6^ (3-CF_3-Ph)$	H	н	
1-287	Н	H	H	Me	2 ^	-(CH ₂) ₆ -(4-CF ₃ -Ph)	H	H	y May to be
7. 1−288	esiste H	H	### #	Me	2	-(CH ₂) ₆ -(3-MeO-Ph)	surus Miss H	anu niesti H	
1-289	Н	TH.	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-MeO-Ph)	Н	Н	
1-290	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(3-EtO-Ph)	Н	Н	ogen englædik jordelige kom Til state
1-291	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-EtO-Ph)$	Н	Н	
1-292	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(3-Pr0-Ph)	Н	Н	41
1-293	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-Pr0-Ph)$	Н	H	
1-294	H.	H	H	Me .	2	-(CH ₂) ₆ -(3-iPr0-Ph)		H	
1-295	H	H	Ĥ	М́е	2	-(CH ₂) 6-(4-iPr0-Ph)	H	Н.	the second to
1-296.	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_6-[3-(2-Et-Pr0)-Ph]$	H	Н	·
1-297	Н	Н	Н	Ме	.2	$-(CH_2)_6-[4-(2-Et-Pr0)-Ph]$	Н	H	
1-298	H	Н	H	Ме	.2	-(CH2)6-(3-iBuO-Ph)	H	Н	
1-299	Ή	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-iBu0-Ph)	Н	Н	
1-300	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-MeS-Ph)	Н	Ħ	
1-301	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-MeS-Ph)	Н	Н	
1-302	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-EtS-Ph)	Н	H	
1-303	Н	Н	Ħ	Me	2	$-(CH_2)_6-(4-EtS-Ph)$	Н	H	
1-304	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-PrS-Ph)	н	Н	
1-305	Н	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₆ -(4-PrS-Ph)	Н	H.	

	1-306	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-iPrS-Ph)	. Н	H
	1-307	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-iPrS-Ph)	Н	Н
	1-308	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6-[3-(2-Et-PrS)-Ph]$	H	H
	1-309	Н	Н	Н	Me	2 .	-(CH2)6-[4-(2-Et-PrS)-Ph]	Н	Н
	1-310	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)6-(3-iBuS-Ph)	Н	Н
	1-311	Н	Н	Н .	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-iBuS-Ph)$	H	Н
	1-312	Н	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3-cHx-Ph)$	H	Н
	1-313	H	H	H	Мe	2	-(CH ₂) ₆ -(4-cHx-Ph)	H	H
	1-314	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(3-Ph-Ph)	Н	Н
in the standing to the local	1-315	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Ph-Ph)	H	Н
	1-316	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)6-(2, 4-diMe-Ph)	Н	H
	1-317	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)6-(3,4-diMe-Ph)	Н	Ή
	1-318	H	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₆ -(3,5-diMe-Ph)	H	Н
	1-319	Н	Н	H e	Me	2	2, 0, -	Н	Н
and the second s	1-320	CH %	H	H	Me	2		H	H
	1-321		Н	Н	Ме		-(CH ₂) ₇ -cHx	Н	Н
	1-322	Н	H.	Ме	Ме	2	$-(CH_2)_7$ -cHx	H	H
	1-323	Ме	Ή	H	Me	.2	$-(CH_2)_7$ - cHx	Н	H
	1-324	CO ₂ Me	H	H	Me	2	$-(CH_2)_7$ -cHx	Н	Н
	1-325	Н	Ή	Н	Ме	2	-(CH2)7-(4-F-cHx)	H	Н
	1-326	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_7 - (4-Me-cHx)$	H	H
	1-327	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)7-(4-Et-cHx)	H	H.
	1-328	Н	Ĥ	Н	Me	2	-(CH2)7-(4-CF3-cHx)	Н	Н
	1-329	Ħ	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -(4-Me0-cHx)	H	H
	1-330	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)7-(4-Et0-cHx)	Н	H
	1-331	·H	H	Н	Ме	2	-(CH2)7-(4-MeS-cHx)	Н	Н

1-332	Н	Н	Ħ	Ме	2	-(CH2)7-(4-cHx-cHx)	H	Н
1-333	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)7-(4-Ph-cHx)	Н	Н
1-334	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -Ph	Н	Н
1-335	Н	Н	Me	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -Ph	Н	Н
1-336	Ме	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₇ -Ph	Н	Н
1-337	CO ₂ Me	e H	Н	Me	2	-(CH ₂) ₇ -Ph	Н	Н
1-338	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -(4-F-Ph)	Н	Н
1-339	H	H	H	Me	2	-(CH ₂),-(4-Me-Ph)	H	H
1-340	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_7 - (4-Et-Ph)$	Н	H
1-341	H Maria da	Н	H.	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -(4-CF ₃ -Ph)	H	Ή
1-342	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_7 - (4-MeO-Ph)$	Н .	H
1-343	Н	. Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -(4-EtO-Ph)	Н	Н
1-344	·H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₇ -(4-MeS-Ph)	Н	. Н
1-345	Щ.	Н	Н	Ме		-(CH ₂) ₇ -(4-cHx-Ph)	Н	Н
1-346	H	H	H H	Me	2	-(CH ₂) ₇ -(4-Ph-Ph)	Н	H
1-347	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₈ -сНх	Н	Н
1-348	H	Н	Ме	Ме	2	$-(CH_2)_8$ -cHx	. Н	H
1-349	Me	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_8$ -cHx	Н	H
1-350	CO ₂ M	e H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_B-cHx$	Н	H
1-351	H	H	H	Ме	2.	-(CH2)8-(4-F-cHx)	H	H
1-352	Н	H	Ή	Ме	2	-(CH2)8-(4-Me-cHx)	H.	H
1-353	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)8-(4-Et-cHx)	· H	Н
1-354	Н	Н	Н	Ме	2 .	$-(CH_2)_8 - (4 - CF_3 - cHx)$	H	Н
1-355	ŀΗ	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_8 - (4-MeO-cHx)$	H-	H
1-356	Н	H	. Н	Ме	.2	$-(CH_2)_8-(4-Et0-cHx)$	H	Н
1-357	Н	Н	. Н	Ме	2	-(CH2)8-(4-MeS-cHx)	Н	H
						• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		

1-358	H .	Н	Н	Me	2	-(CH2)8-(4-cHx-cHx)	Н	H
1-359	Н	Н	Η.	Ме	2	-(CH2)8-(4-Ph-cHx)	H	Н
1-360	Н	H	H	Me	2	$-(CH_2)_8$ -Ph	Н	Н
1-361	Н	Н	Me	Me	2	$-(CH_2)_8-Ph$	Н	Н
1-362	Me	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_8$ -Ph	Н	Н
1-363	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_8$ -Ph	H	Н
1-364	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₈ -(4-F-Ph)	Н	H
1-365	H	H	Н	Me	2	-(CH ₂) ₈ -(4-Me-Ph)	H	H
1-366	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)8-(4-Et-Ph)	Н	Ή
1-367	H _e	H	H	Me	2	$-(CH_2)_8-(4-CF_3-Ph)$	$\prod_{N_{i+1}, \dots, N_{i+1} \in \mathcal{N}_{i}} \mathbf{H}_{i+N_{i}}$	Н.,,
1-368	Н	Н	Н	Me.	2	$-(CH_2)_8-(4-Me0-Ph)$. Н	Н
1-369	Н .	H	H	Me	2	-(CH2)8-(4-EtO-Ph)	H	Н
1-370	Н .	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₈ -(4-MeS-Ph)	Н	Н
1-371	Н	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_8-(4-cHx-Ph)$	Н	Н
1-372	Н	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₈ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-373	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-cHx	Н	H
1-374	Н	Н	Ме	Me	2	$-(CH_2)_3-0-cHx$	H	Н
1-375	Me	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-O-cHx$. Н	Н
1-376	CO ₂ Me	H	Н	Me	2	-(CH2)3-0-cHx	H	Н
1-377	Н	H	H	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(4-F-cHx)$	·H	Н
1-378	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -0-(4-Me-cHx)	Н	Н
1-379		H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Et-cHx)$	Н	H
1-380	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(4-CF_3-cHx)$	Н	Н
1-381	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -0-(4-Me0-cHx)	Ħ	H
1-382	Н	Н	Н,	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Et0-cHx)$	Н	Ή
1-383	H.	Н	- н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-MeS-cHx)$	Н	:H

1-384	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)3-0-(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-385	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Ph-cHx)$	H	H [.]
1-386	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-Ph$. H	Н
1-387	Н	Н	Ме	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-Ph$	H	Н
1-388	Ме	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_3-0-Ph$	Н	Н
1-389	CO ₂ Me	Ĥ	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-Ph	H	Н
1-390	H	H	H	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(4-F-Ph)$	Н	H
1-391	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-(4-F-Ph) -(CH ₂) ₃ -0-(4-Me-Ph) -(CH ₂) ₃ -0-(4-Et-Ph)	H	H
1-392	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Et-Ph)$	H	H
1-393	Н	H	H .	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-(4-CF ₃ -Ph)	Н	H
1-394	H.	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Me0-Ph)_{\cdot}$	H	Н
1-395	Н	Н	Н	Me .	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Et0-Ph)$	Н	H
1-396	Н	н ;	H .	Ме	2 (.	$-(CH_2)_3-0-(4-MeS-Ph)$	Н	Н
1-397	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-cHx-Ph)$	Н	Н
1-398	H	. Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₃ -0-(4-Ph-Ph)	H	H
1–399	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-cPn	Н	H
1-400	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-0-cHx	. H	Н
1-401	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)4-0-cHx	Ме	Н
1-402	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-cHx	Н	Me
1-403	Н	Н	H	⊪Me .	2	-(CH2)4-0-cHx	F	Н
1-404	Ĥ	H·	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-cHx$	H	F
1-405	H	Н	Ме	Ме	2	-(CH ₂),-0-cHx	Н	Н
1-406	Ме	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-cHx	· H ·	Н
1-407	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-cHx	Н	Н
1-408	H	Н				$-(CH_2)_4-0-(3-F-cHx)$	Ĥ	Н
1-409	H	Ĥ	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(4-F-cHx)$	H	H
								•

	1-410	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4^*-0-(4-C1-cHx)$	Н	Н
	1-411	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Br-cHx)	н .	Н
	1-412	Н	Н	Н	. Me	2	$-(CH_2)_4-0-(3-Me-cHx)$	Н	H
	1-413	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_4-0-(4-Me-cHx)$	Н	Н .
	1-414	Н	Н	н .	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Et-cHx)	Н	Н
•	1-415	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Et-cHx)	H	Н
	1-416	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(3-Pr-cHx)$	Н	H
en e	1-417	H	H	H		2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Pr-cHx)	H	To a serie de la companya de la comp
	1-418	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(4-iPr-cHx)$	Н	Н
	1-419	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_A - 0 - (3 - Bu - cHx)$	Н	H * Bayyeter - Alichan vi Yuri
	1-420	H.	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4^{-}-0-(4-Bu-cHx)$	Н	Н
	1-421	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-CF ₃ -cHx)	H	Н
	1-422	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-0-(4-CF3-cHx)	Н	Н
	1-423	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-Me0-cHx)	Н	Н
The state of public type in super-construction of the state of the sta	1-424	Andrew State H	H	H	Me	2	-(CH ₂),-0-(4-MeO-cHx)	Н	H
The state of the s	1-425	Н	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Et0-cHx)	Н	H
	1-426	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Et0-cHx)	Н	Н
	1-427	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-Pr0-cHx)	H	Н
	1-428	H	H	H	Me	.2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Pr0-cHx)	Н	Н
•	.1-429	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-iPr0-cHx)	H	Н.
	1-430	Η	H .	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-iPr0-cHx)	H	Н
in a second	1-431	Н	, Н.	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-[3-(2-Et-Pr0)-cHx]	Н	Н
	1-432	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-[4-(2-Et-Pr0)-cHx]	Н	Н
	1-433	Н	Ж	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-iBu0-cHx)	Н	H
	1-434	H	Н.	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-iBu0-cHx)	·Η	Н
	1-435	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-MeS-cHx)	. Н	Н

1-436	H	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_4-0-(4-MeS-cHx)$	Н	Н
1-437	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(3-EtS-cHx)$	Н	Н
1-438	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4-0-(4-EtS-cHx)$	Н	Н
1-439	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-PrS-cHx)	Н	Н ,
1-440	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-PrS-cHx)	H	Н
1-441	H	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-iPrS-cHx)	Н	Н
1-442	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-iPrS-cHx)	Н	H
1-443	H N 245	H	H	Me Me	2	-(CH ₂),-0-[3-(2-Et-PrS)-cHx]	Н	- H - TS 10:120 2007 (WAR)
1-444	Н	Н	Ĥ	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-[4-(2-Et-PrS)-cHx]	Н	Н
1-445	H.	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-iBuS-cHx)	H	H.
1-446	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-0-(4-iBuS-cHx)	Н	Н
1-447	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-cHx-cHx)	Н	Н
1-448	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(4-cHx-cHx)$	Н	Н
1-449	Н	Н	H	Ме		$-(CH_2)_4 - 0 - (3 - Ph - cHx)$	H	H
1-450	Н	H	H		2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Ph-cHx)	H	H
1-451	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(2, 4-diMe-cHx)$	H	A CONTRACTOR OF THE STATE OF TH
1-452	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(3, 4-diMe-cHx)$	Н	Н
1-453	Н	Н.	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3, 5-diMe-cHx)	Ψ	H
1-454	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	Н	Н
1-455	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	Ме	H
1-456	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	·H	Me
1-457	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂),-0-Ph	F	H
1-458	Н	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	Н	F
1-459	H	Н	Me	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	Н	Н
1-460	Ме	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	Н	Н
1-461	CO ₂ Me	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-Ph	·H	H.

•									
1-462	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)4-0-(3-F-Ph)	Н	Н	
1-463	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-F-Ph)	Н	Н	
1-464	Н	H	Н	Me	· 2	-(CH2)4-0-(4-C1-Ph)	·H	Н	·
1-465	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Br-Ph)	Н	Н	
1-466	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(3-Me-Ph)$	H	H	
1-467	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4-0-(4-Me-Ph)$	Н	Н	
1-468	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-Et-Ph)	Н	Н	
1-469	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Et-Ph)	H		and the second of the second o
1-470	Н	Н	Н			-(CH ₂) ₄ -0-(3-Pr-Ph)	Н	Н	
1-471	Н	H	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Pr-Ph)	Н,	H	and the second s
1-472	Н	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-iPr-Ph)	Н .	Н	,
1-473	Н	Н	Н	Me .	2	-(CH2)4-0-(4-iPr-Ph)	H .	Н	
1-474	Н	H	Н	Ме	2 .	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Bu-Ph)	Н	Н	•
1-475	Н	H .	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Bu-Ph)	Н	Н	
1-476	Н	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-CF ₃ -Ph)	Н	H	Andreadh a gu an an Airlean. An gairgean agus an 1941 feach
1-477	Ħ	H	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-CF ₃ -Ph)	tantastas (t. H	H .	
1-478	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-MeO-Ph)	Н	Н	
1-479	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-Me0-Ph)	Н	Н	
1-480	. Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Et0-Ph)	Н	·H	
1-481	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Et0-Ph)	H	H	
1-482	Н	: H	H.	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3-Pr0-Ph)	Н	Н	
1-483	·H	Н	H	Ме	.2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Pr0-Ph)	Н	Ή,,,	
1-484	Н	•	Ή	•		-(CH ₂) ₄ -0-(3-iPrO-Ph)	Н	Н	
1-485	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-iPr0-Ph)	··H ·	Н	
1-486	Н	·H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-[3-(2-Et-Pr0)-Ph]	Н	Н	
1–487	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-[4-(2-Et-Pr0)-Ph]	Н	H	

1-488	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-iBuO-Ph)	H	Н
1-489	H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-iBu0-Ph)	Н	Н
1-490	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-MeS-Ph)	. н	Н
1-491	H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-MeS-Ph)	Н	Н
1-492	H	Н	Н.	Me	2	$-(CH_2)_4-0-(3-EtS-Ph)$	Н	Н
1-493	H	H	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(4-EtS-Ph)	H	Н
1-494	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-PrS-Ph)	Н	H
1–495	H	H	H	Мe	2	-(CH ₂),-0-(4-PrS-Ph)	Н	H
1-496	Н	H	Ħ	Ме	2	-(CH2)4-0-(3-iPrS-Ph)	Н	Н
1-497	Н	Н	H	Me	2	-(CH ₂),-0-(4-iPrS-Ph)	H	Harrist of the second
1-498	Ħ	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-[3-(2-Et-PrS)-Ph]	H	Н
1-499	Н	H	H	Me	2 .	-(CH2)4-0-[4-(2-Et-PrS)-Ph]	H _.	Н
1-500	Н	Н	H	Ме		-(CH ₂) ₄ -0-(3-iBuS-Ph)	H	Н
1-501	H	Н	H	Me	. 2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-iBuS-Ph)	Н	H
1-502	Ĥ	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-cHx-Ph)	H	H
1-503	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4 - 0 - (4 - cHx - Ph)$	H	H
1-504	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Ph-Ph)	H	H
1-505	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Ph-Ph)	H	H
1-506	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(2, 4-diMe-Ph)	Н	H
1-507	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3, 4-diMe-Ph)	Ж	H
1-508	H	Н	· H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0-(3, 5-diMe-Ph)	H	H
1-509	Н						H	H was the same of the same
1-510	Н					-(CH2)5-O-Ph	Н	H
1-511	·H	Н	H	Ме	2	-(CH2)6-O-cHx	H	Н
1-512	H	Н	H	Ме	2	-(CH2)6-O-Ph	H	Н
1-513	H	. 'H	Н	Me	2	-(CH2)3-OCH2-cHx	Η.	H

1-514	H ·	H	Ме	Ме	2	-(CH2)3-OCH2-cHx	Н	H
1-515	Me	Н	H	Ме	2	-(CH2)3-OCH2-cHx	Н	Н
1-516	CO ₂ M	е Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-cHx$	Н	H
1-517	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-F-cHx)$	Н	Н
1-518	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_3$ -OCH ₂ -(4-Me-cH \bar{x})	Н	H
1-519	Н	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -OCH ₂ -(4-Et-cHx)	Н	Н
1-520	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-CF_3-cHx)$	Н	Н
1-521	Н	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-MeO-cHx)	Н	H
1-522	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Et0-cHx)$	Н	H
1-523′	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -0CH ₂ -(4-MeS-cHx)	Н	H
1-524	Н	. Н	H.	Ме	2	$-(CH_2)_3-0CH_2-(4-cHx-cHx)$	Н	Н
1-525	Н.	. Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Ph-cHx)$	Н	H
1-526	Н	Н	. H .	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-Ph$	Н	Н
1-527	Н	Н	Ме	Me	2	$-(CH_2)_3$ - $0CH_2$ - Ph	Н	Н
1-528	Ме	Walder H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	H	Н
1-529	CO₂M	е Н	Ĥ	Ме	2 .	-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	Н	Н
1-530	Н	Н	Η,	Ме	2 .	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-F-Ph)$	H	Н
1-531	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3$ -OCH ₂ -(4-Me-Ph)	H	H
1-532	Н	H.	Ή	Ме	2	$-(CH_2)_3$ - $0CH_2$ - $(4-Et-Ph)$	H	H
1-533	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)3-OCH2-(4-CF3-Ph)	Н	Н
1-534	H	H	H	Ме	2 .	$-(CH_2)_3$ -OCH ₂ -(4-MeO-Ph)	H	H
1-535	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-EtO-Ph)$	Н.	Н
1-536	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)3-OCH2-(4-MeS-Ph)	Н	Ή
1-537	Ħ	Ħ,	Ħ	Ме	. 2	$-(CH_2)_3$ - $0CH_2$ - $(4$ - cHx - $Ph)$	Н	H
1-538	H	H	Η.			$-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Ph-Ph)$	Н	Н
1-539	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - cPn	Н	H

	1-540	Н	Н.	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-cHx	H	Н
	1-541	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -cHx	Me	Н
·	1-542	Н	Н	Н	Ме	2 .	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -cHx	Н.	Me
	1-543	Н	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -cHx	F	Н
·	1-544	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -cHx	Н	F
	1-545	H	Н	Me	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -cHx	Н	Н
	1-546	Me	Н	H	Me		-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -cHx	Н	Н
	1-547	CO₂Me	H	geringerijsk H Transfrij	Ме		-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -cHx		H
	•	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-F-cHx)	Н	H
The specification of a survey (180) is	1-549	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-F-cHx)	Н	H service to the second of the service of the service of the second of the service of the servic
	1-550	H	H	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(4-C1-cHx)	Н	Н
	1-551	H, .	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4$ - Br - $cHx)$	H	H
÷ .	1-552	Н .	H · .	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(3-Me-cHx)	Н	Н
ing a series of the contract o	1-553	H	Н	H	Me	2	-(CH ₂);-0CH ₂ -(4-Me-cHx)	Н	H
Company of the state of the sta	1-554	H	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-Et-cHx)	H	Section of the Assessment Common Comm
omenda (j. 1861.), signi gravi de (iii) Tarihi kanan	1-555	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(4-Et-cHx)	Н	H
	1-556	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(3-Pr-cHx)$	H	Н
•	1–557	Ή	Ή	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4-Pr-cHx)$	Н	Н
	1-558	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4-iPr-cHx)$	Н	H
	1-559	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(3-Bu-cHx)$	Н	Н
	1-560	H .	·H	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4$ - Bu - $cHx)$	H	Н
androne State of the second of the	1-561	Н	H. 7	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(3-CF3-cHX)	: H	H
	1-562	Н	Η .	Н	Ме	2	-(CH2)4-0CH2-(4-CF3-cHX)	Н	Н
	1-563	H	H .	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ $-OCH_2$ $-(3-MeO-cHx)$	Н	Ĥ
	1-564	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4$ -Me 0 - $cHx)$	Н -	Н
	1-565	Н	Н	H	Ме	.2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-Et0-cHx)	Ή.	H

]	L - 566 _.	H	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-EtO-cHx)	H	Н
	L - 567	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3-PrO-cHx)	H	Н
•	1–568	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ $-OCH_2$ $-(4-PrO-cHx)$	Н	Н
	1-569	H .	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3-iPrO-cHx)	Н	H
	1-570	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-iPrO-cHx)	H	Н
	1-571	Н	Н	Н	Me.	2	-(CH2)4-0CH2-[3-(2-Et-Pr0)-cHx]	Н	H
£ 1.	1–572	Н	H	H Zenerala	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -[4-(2-Et-Pr0)-cHx]	H	H
F3 .	1–573	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0CH ₂ -(3-iBu0-cHx)	H	H
	1-574	H	H	Н	Ме	2	(112)	H .	H
-1:	1–575	Н	H	Н.,	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-MeS-cHx)	H Programme	H
	1-576	H	·H	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(4-MeS-cHx)	H	Н
	1-577	H	H .	Н	Ме	2	-(CH2)4-0CH2-(3-EtS-cHx)	Η .	H
•	1–578	Н.	Н .	Н	Me	2	-(CH2)4-0CH2-(4-EtS-cHx)	Н	Н
	1-579	H	H	: H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-PrS-cHx)	H Oscias	H
201	1-580	Н	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-PrS-cHx)	H	H Art
•	1-581	H .	H .	Н	Me	2	-(CH2)4-OCH2-(3-iPrS-cHx)	H	H
	1-582	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(4-iPrS-cHx)	H	Н
	1-583	Н	Н	·H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -[3-(2-Et-PrS)-cHx		Н
	1-584	H .		Н	Ме	.2	-(CH2)4-OCH2-[4-(2-Et-PrS)-cHx		Н
	1-585	Н					$-(CH2)_4$ $-OCH2$ $-(3-iBuS-cHx)$		Н
		H .		_			-(CH2)4-OCH2-(4-iBuS-cHx)		Н
	1-587		_				-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-cHx-cHx)		
	1-588						$-(CH_2)_4-OCH_2-(4-cHx-cHx)$	H	Н
			Н			•	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3-Ph-cHx)	H	Н
	1-590	H	Ή				-(CH2)4-0CH2-(4-Ph-cHx)	H	H
	1-591	Н	Н	H	Me	2	-(CH2)4-OCH2-(2, 4-diMe-cHx)	H	H

1-592	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3, 4-diMe-cHx)	Н	Н
1-593	Н	Н.	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(3, 5-diMe-cHx)	H	Н
1-594	Н	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -Ph	Н	Н
1-595	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-Ph	Me	Н
1-596	H	Н	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-Ph	Н	Ме
1-597	Н	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -Ph	F	H
1-598	Н	Н	· H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -Ph	Н	F
1-599	Ĥ	H	Ме	Ме	2	-(CH ₂),-OCH ₂ -Ph	H	H
1-600	Me	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂)	H	Н
1-601	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -Ph	H 2	Н
1-602	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-F-Ph)	Н	Н
1-603	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-F-Ph)	Н	Н
1-604	Н	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-C1-Ph)	Н	Н
1-605	Н	H	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-Br-Ph)	Н	H
1-606	H	Ĥ	H	Мe	2	-(CH2)4-OCH2-(3-Me-Ph)	H	Ĥ
1-607	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-Me-Ph)	H	Ĥ
1-608	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-Et-Ph)	Н	Н
1-609	Н	Ή	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-Et-Ph)	Н	Н
1-610	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-Pr-Ph)	H	Н
1-611	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ $-OCH_2$ $-(4-Pr-Ph)$	H	H
1-612	Н	. Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ $-OCH_2$ $-(3-iPr-Ph)$	Н	H
1-613	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-iPr-Ph)	Н	Н
1-614	Н	3.5 €. H	Н	Me		-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-Bu-Ph)	Н	H
1-615	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-Bu-Ph)	Н	Ħ
1-616	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-CF ₃ -Ph)	Н	H
1-617	Н	·H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н

	l-618	Н	Н	Н	Ме	2 .	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(3-MeO-Ph)$	H	H
	1-619	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4$ -MeO-Ph)	H	Н
	1-620	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -0CH ₂ -(3-EtO-Ph)	Н .	H
	1-621	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-EtO-Ph)	Н	Н
	1-622	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ $-0CH_2$ $-(3-PrO-Ph)$	Н	Н
	1-623	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-PrO-Ph)	H	H
	1–624	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-iPrO-Ph)	Н	Н
ۇ مار. ئارىقى	1–625	H	H.	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-iPrO-Ph)	H.	H
:::: :	1-626	H	Н	H	Ме	2	-(CH2)4-0CH2-[3-(2-Et-Pr0)-Ph]	Н	Н -
٠,	1-627	H Name of	H	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-[4-(2-Et-PrO)-Ph]	H	Н
	1–628	Н	H	H ,	Me	2	$-(CH_2)_4$ $-0CH_2$ $-(3-iBu0-Ph)$	Н	H
	1-629	H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(4-iBuO-Ph)	H	H
	1-630	Н .	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3-MeS-Ph)	H	Н
	1–631	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) _{cd} -OCH ₂ -(4-MeS-Ph)	Н	Н
Å.	1–632	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(3-EtS-Ph)	H	H
	1-633	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -(4-EtS-Ph)	H	H
•	1-634	H ·	Н	H .	Me .	2	-(CH2)4-OCH2-(3-PrS-Ph)	Н	Н
	1-635	H	H	H	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(4-PrS-Ph)	H	H
	1-636	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3-iPrS-Ph)	H	Н
	1–637	H	H	Н	Ме	2	-(CH2)4-OCH2-(4-iPrS-Ph)	H	H
	1–638	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ $-0CH_2$ $-[3-(2-Et-PrS)-Ph]$	H	H
	1–639	Н	Н	Н			$-(CH_2)_4$ -OCH_2-[4-(2-Et-PrS)-Ph]		H
	1-640	H	Н	H	Ме	.2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-iBuS-Ph)	Н	Н
	1-641	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ - $0CH_2$ - $(4-iBuS-Ph)$	H	Н
	1-642	H	Н	Н	Ме		-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(3-cHx-Ph)	Н	Н
	1-643	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0CH ₂ -(4-cHx-Ph)	H	H

1-644	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ $-OCH_2$ $-(3-Ph-Ph)$	Н	Н
1-645	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-646	Ĥ	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4-OCH_2-(2, 4-diMe-Ph)$	H	H
1-647	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3, 4-diMe-Ph)	Н	Н
1-648	Н	Н	Н	Мe	2	$-(CH_2)_4$ -OCH ₂ -(3,5-diMe-Ph)	H	Н
1-649	Н	H	Н	Me	2	-(CH2)5-OCH2-cHx	Н	H
1-650	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -OCH ₂ -Ph	H	Н
1-651	H	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₆ -OCH ₂ -cHx	H	Н
1-652	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -OCH ₂ -Ph	H	Η
1-653	H	Н	H	Ме	2	-CH=CH-cHx	H	H
1-654	H	H	H	Ме	2	-CH=CH-Ph	Ή	Н
1-655	Н	H .	H.	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_2-cHx$	Н.	Н
1–656	Н	Н	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₂ -Ph	Н	Н
1-657	H	Н	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	H	Н
1–658	Ĥ	H	Me	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	Ή	H
1-659	Me	H	H	Ме	2	-CH=CH-(CH2)3-cHx	H	H
1–660	CO ₂ Me	Н	Ĥ	Me	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-cHx$	H	. Н
1–661	Н	Н	H	Ме	. 2	$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-F-cHx)$	H	H
1-662	H	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-Me-cHx)	H	H
1-663	Н	H	Ħ	Ме	2	-CH=CH-(CH_2) ₃ -(4-Et-cHx)	H	Н
1-664	Н	H	H			$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-CF_3-cHx)$,	Н
1-665	Н .	H	H			-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-MeO-cHx)		Н
1-666	Н	H	H			$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-Et0-cHx)$		H
1–667	Н	Н	H			-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-McS-cHx)		. H
1-668	Н	· H	H	• •		$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-cHx-cHx)$	Н	H
1-669	Н	H	Н	Me	.2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-Ph-cHx)	H	Н

1-670	Н	H	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-Ph$	Н	. Н
1-671	Н	Н	Ме	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-Ph$	Н	Н
1-672	Me	H	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	H	H
1-673	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-Ph$	Н	H
1-674	.H	Н	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-F-Ph)$	Н	Н
1-675	H	Н	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-Me-Ph)$	Н	H
1-676	Н	Н	Н	Ме	2	-CH=CH- $(CH_2)_3$ - $(4-Et-Ph)$	Н	Н
1–677	Ĥ	H	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н
1-678	Н	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-MeO-Ph)	H	Н
1-679	Н	Н	H 	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -(4-Et0-Ph)	Н	
1-680	Н	Н	Н	Ме	2	-CH=CH- $(CH_2)_3$ - $(4$ -MeS-Ph)	Н	H
1-681	H.	Н	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-cHx-Ph)$	Н	H
1-682	Н	H	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_3-(4-Ph-Ph)$	Н .	Н
1-683	Н	Ĥ	H _é	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
ì−684	Ĥ	Ĥ.	Ме	Me	2 *	-CH=CH-(CH ₂)₄-cHx	Н	H
1-685	Me	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH₂)₄-cHx	Н	Н
1-686	CO₂Me	H	H	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-687	H	H _.	Н.	Me	2	$-CH=CH-(CH_2)_4-(4-F-cHx)$	Ή	H
1-688	Н	H	H	Ме	2	-CH=CH-(CH $_2$) $_4$ -(4-Me-cHx)	Н	Н
1-689	·H	H	H	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-Et-cHx)	. Н	Н
1-690	Н	Н	H	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_4-(4-CF_3-cHx)$	H	Ή
1-691	Н	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-cHx)	H _.	. Н
1-692	Н	Ή	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-cHx) -CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-EtO-cHx)	Н	Н
1-693	H	Н	H	Ме	. 2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-MeS-cHx)	Н	H
1-694	H ·	·H	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-cHx-cHx)	H	H
1-695	Н	Н	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-Ph-cHx)	H	Н

1-696	Н	Н	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1-697	Н	Н	Me	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1-698	Ме	Н	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	H
1-699	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	H
1-700	H	Н	Н	Me	2	$-CH=CH-(CH_2)_4-(4-F-Ph)$	Н	H
1-701	Н	Н	Н	Мe	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-Me-Ph)	Н	Н
1-702	H	Н	Н	Ме	2	$-CH=CH-(CH_2)_4-(4-Et-Ph)$	H	H
1-703	H	Н	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂),-(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н
1-704	Н	H	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-Ph)	H	Н
1-705	H	H	H	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-EtO-Ph)	H	H
1-706	H	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH2)4-(4-MeS-Ph)	H	H
1-707	H	Н	H	Me	2	-CH=CH- $(CH_2)_4$ - $(4$ -cHx-Ph)	Н	H
1-708	Н	Н	H	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -(4-Ph-Ph)	H	H
1-709	H An antico	H ≾3. √3	H	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₅ -cHx	H 1	H
1-710	H	H	H	Me	* 2	Marie Washington and Market in	H	H
1-711	H	H	Н	Me	2		Н	Н
1-712	H	H	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₆ -Ph	H	.Н
1-713	Н	Н	H	Ме	2	-C=C-CH ₂ 0-cHx	Н.	Н
1-714	H	H	Н	Ме	2	-C=C-CH ₂ 0-Ph	Н	H
1-715	H	H	H	Ме	2	$-C=C-(CH_2)_2O-cHx$	·H	H
1-716	Н	H	Н			-C=C-(CH ₂) ₂ 0-Ph	H	H
1-717	Н	Н	Н	Ме	, 2	-С≡С-сНx	, H	H
1-718	Н	Н	Ме	Ме	2	-С≡С-еНх	Ή	Н
1-719	Me	H	Ħ	М́е	2	-C≡C-cHx	H	H
1-720	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2 .	-С≅С-сНх	Н	Н
1-721	Н	H	Н	Ме	2	-C≡C-(4-F-cHx)	H	Н

. . .

1-722	H·	Н	Н	Ме	2	-C≡C-(4-Me-cHx)	Н	Н
1-723	H	Н	H	Ме	2	-C≡C-(4-Et-cHx)	H	Н
1-724	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-725	H	Н	Н	Me	2	-C≡C-(4-MeO-cHx)	H	Н
1-726	Н	Н	Н	Мe	2	$-C \equiv C - (4 - Et0 - cHx)$	Н	H
1-727	H	H	Н	Me	2	-C≡C-(4-MeS-cHx)	Н	Н
1-728	Н	Н	Н	Ме	. 2	-C≡C-(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-729	tk.s.⊶€ . H	Н	H	Ие	2	–C≡C-(4-Ph-cHx)	Н	H
1-730	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-Ph	Н	Н
1-731	Н	Н	Me.	Me	2	-C≡C-Ph	H	Н
1-732	Ме	Н	Н	Ме	2	-C≡C-Ph	Н	Н
1-733	CO₂Me	H	Н	Ме	. 2	-C≡C-Ph	Н.	Н
1-734	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-(4-F-Ph)	H	H
1-735	Н	Н	H	Ме	2	-C≡C-(4-Me-Ph)	H	H
1-736	H	Н	H	Мe	2	-C≡C-(4-Pr-Ph)	Н	
1-737	Н	H	H	Ме	2	-C≡C-(4-Bu-Ph)	Н	Н
1-738	Н	Н	Н	Me	2	-C≡C-(4-MeO-Ph)	Н	H
1-739	Н	·H	Ή·	Ме	2	-C≡C-(4-EtO-Ph)	H	Н
1-740	Н	H	H	Ме	2	-C≡C-(4-Pr0-Ph)	H	Н
1-741	Н	·H	H	Ме	2	-C≡C-(4-cHx-Ph)	H	H
1-742	Н	H	Н	Ме	2	-C≡C-(4-Ph-Ph)	H	Н
1-743	.ц н ,	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	Н	Н
1-744	Н	H	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	Н	
•						$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	H	Н
•						$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	H	H
1-747	Н	·	·H	Ме	2	-C≡C-(CH _a) - (4-F-cHx)	H	H

1-748	Н	Н	H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
1-749	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Et - cHx)$	Н	H
1-750	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-751	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - MeO - cHx)$	Н	Н
1-752	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	Н
1-753	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - MeS - cHx)$	Н	H
1-754	Н	H-	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - cHx - cHx)$	Н	Н
	Н	H	Н	Ме	. 2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Ph - cHx)$	Н	Н.
1-756	Н	. Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	Н	Н
1-757	H		Me	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	H
1-758	Ме	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Н
1-759	CO ₂	Me H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	Н	H
1-760	Н	H	Н	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4-F-Ph)$	Ή	H
1-761	H	H	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -(4-Me-Ph)	H	H
1-762	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Et - Ph)$	Н	H
1-763	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	Н
1-764	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4-Me0-Ph)$	Н	H .
1-765	H	H	Н	Me	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Et0 - Ph)$	Н	H
1-766	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - MeS - Ph)$	Н	Н
1-767	H	H	H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - cHx - Ph)$	Ή	Н
1-768	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Ph - Ph)$	H	H
1-769	Н.	H	Н	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cPn$	H	Н
. 1-770	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Ή
1-771	H	Ή	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Ме	Н
1-772	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Me
1-773	. Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	F	H

1-774	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	H	F
1-775	H	Н	Me	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
1-776	Me	H	. Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
i-777	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
1-778	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - F - cHx)$	H	Н
1-779	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - cHx)$	H	H
1-780	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - C1 - cHx)$	Н	Н
1–781	H.	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Br - cHx)$	Н	H
1-782	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Me - cHx)$	Н	H
1-783	Н	Н.	H	Ме	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
1-784	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Et - cHx)$	H	H
1-785	Н	Η,.	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - cHx)$. Н	Н
1-786	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Pr - cHx)$. Н	Н
1-787	H	. Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - cHx)$	Н	Н
1-788	H	H .	H	Me	2	_C≡C-(CH ₂),-(4-iPr-cHx)	Н	H
1-789	Н	Н	H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Bu - cHx)$	Н	H
1-790	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Bu - cHx)$	Н.	Н
1-791	H	Ή	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-792	H	Н	. Н	Ме	_2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	H
1-793	·H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeO - cHx)$	H	H
1-794	Н	Н	·H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - cHx)$	Н	Н
1-795	Н	Н	Н	. Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Et0 - cHx)$	Н	H
1-796	H	H	. Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	Н
1-797	Н	Ħ	H	Мe	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - PrO - cHx)$	H	H
1-798	Н	Н	Н	Me ·	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrO - cHx)$	H	H
1-799	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - i Pr O - cHx)$. Н	Н

					_	(arr) (4 th; 0 tr)	**	
1-800	Н	H	H	Ме	2		Н .	H
1-801	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [3 - (2 - Et - Pr0) - cHx]$	H	Н
1-802	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [4 - (2 - Et - Pr0) - cHx]$	Н	H
1-803	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iBu0 - cHx)$	H	Н
1-804	Н	Ή	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iBuO - cHx)$	Н	Н
1-805	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeS - cHx)$	Н	Н
1-806	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeS - cHx)$	Н	H
1–807	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - EtS - cHx)$	H	Н
1-808	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - EtS - cHx)$	H	Н
1-809	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - PrS - cHx)$	Н	Н
1-810	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrS - cHx)$	Н	Н
1-811	H .	Н	Ħ	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - i Pr S - cHx)$	Н	Н
1-812	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPrS - cHx)$	Н	H
1-813	Н	Н	Н	Me	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [3 - (2 - Et - PrS) - cHx]$] H	H.
1–814	H	H	i H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [4 - (2 - Et - PrS) - cHx]$] H	H H
1–815	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iBuS - cHx)$	Н	H
1-816	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iBuS - cHx)$	H	H
1-817	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - cHx - cHx)$	Н	Н
1-818	Н	H	Ĥ	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - cHx - cHx)$	Н .	Н
1-819	H	. Н	. Т Н			$-C \equiv C - (CH2)3 - (3-Ph-cHx)$	Н	Н
1-820	Н	Н				$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Ph - cHx)$	·H	Н
				•		•		
•						$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - cHx)$		Н
1-822		•				$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - cHx)$		H
1-823	H	. H	Ή			$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe - cHx)$	•	Ĥ
1-824	H	. Н	Н			$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	H	H
1-825	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Me	Н

1-826	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH^5)^3 - b\dot{P}$	Н	Me
1-827	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	$\cdot \mathbf{F}$	Н
1-828	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	F
1-829	H	H	Ме	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Н
1-830	Ме	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	H
1-831	CO ₂ Me	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	H
1-832	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - F - Ph)$	Н	Н
1-833	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - Ph)$	Н	H
1-834	Н	Н	Н	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - C1 - Ph)$	H	H
1-835	H	Н	J.H.	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Br - Ph)$	H	H
1-836	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Me - Ph)$	H	Ή
1-837	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - Ph)$. Н	H
1-838	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Et - Ph)$	Н	H
1-839	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
1-840	Н	Ĥ	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Pr - Ph)$	Н	H
1–841	Н	Ĥ	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - Ph)$	Н	Ĥ
1-842	Н	Н	Н	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iPr - Ph)$	Н	H
1-843	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPr - Ph)$	• H	H
1-844	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Bu - Ph)$	Н	Н
1-845	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Bu - Ph)$	• Н	Н
1-846	Н		Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - CP_3 - Ph)$	H	Ή
1-847	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	Н
1-848	Н	Ή	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeO - Ph)$	H	H
1-849	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H
1-850	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Et0 - Ph)$	Н	Н
1-851	H	Н	H	. Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - EtO - Ph)$	H	H

	1-852	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - PrO - Ph)$	Н	H
	1-853	Н	Н	Н	Me ·	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrO - Ph)$	Н	Н
	1-854	Н	Н.	H	М́е	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iPrO - Ph)$	Н	Н
	1-855	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPrO - Ph)$	Н	Н
	1-856	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [3 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$	Н	Н
	1-857	Н	Н	H .	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [4 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$	Н	Н
•	1-858	H .	H :	Н .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iBuO - Ph)$	Н	Н
	1-859	H ****	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iBuO - Ph)$	H	Н
	1-860	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeS - Ph)$	Н	Н
	1-861	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeS - Ph)$	H	H
•	1-862	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - EtS - Ph)$	Н	H
	1-863	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - EtS - Ph)$	Н	H
-	1-864	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - PrS - Ph)$	Н	Н
	1-865	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrS - Ph)$	H	Н
- 1	1-866	H	Ĥ	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(3-iPrS-Ph)	H	H
٠.	1-867	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - i PrS - Ph)$	H	Н
	1-868	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [3 - (2 - Et - PrS) - Ph]$	H	Н
	1-869	H	Ή	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - [4 - (2 - Et - PrS) - Ph]$	Н	H
	1-870	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - iBuS - Ph)$	H	H
	1-871	Ħ	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iBuS - Ph)$	Н	H
	1-872	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - cHx - Ph)$	H	H
	1-873	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - cHx - Ph)$	H	Н
•	1-874	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3-Ph-Ph)$	H	H
	1-875	H	Н	Н	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Ph - Ph)$	H	H
	1-876	Н	Ħ	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - Ph)$	H	H
	1-877	Н	Н	:H	Me	2 ·	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - Ph)$	H	·H

1-878	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe-Ph)$	Н	Н
1-879	Н	H.	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Np(1)$	H	H
1-880	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Np(2)$	Н	H
1-881	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cPn$	Н	Ĥ
1-882	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
1-883	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Me	Н
1-884	Н	H	Ħ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Ме
1-885	H	Н	Н	Me	2.	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	F	Н
1-886	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н.	·F
1-887	H	H	Me	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	H	Н
1-888	Ме	H.	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
1-889	CO ₂ M	е Н	Щ	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	H.	Н
1-890	Н	Н	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - F - cHx)$	Н	Н
1-891	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - cHx)$	Н	Н
1-892	H	·H	H	Me	2	_C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-C1-cH _x)	Н	Н
1-893	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Br - cHx)$	H	Н
1-894	Н	H.	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Me - cHx)$	·H	Н
1-895	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me - cHx)$	Н	H
1-896	Н	Н	Н	:Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Et - cHx)$	H	-Н
1-897	H	Н	H	Ме	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
1-898	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Pr-cHx)$	Н	H
1-899	Н	H	H	Ме	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Pr - cHx)$	Н	Н
1-900	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)4 - (4-Pr-cHx)$ $-C \equiv C - (CH2)4 - (4-iPr-cHx)$	Н	Н
1-901	·H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Bu - cHx)$		Н
1-902	Н	Н	H	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Bu - cHx)$	H	H
1-903	Н	Н	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - CF_3 - cHx)$	·H	H

1-904	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - CF_3 - cHx)$	H	Н
1-905	Ħ	·H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Me0 - cHx)$	Ĥ	Н
1-906	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me0 - cHx)$	Н	Н
1-907	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Et0 - cHx)$	Н	H
1-908	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	Н
1-909	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - PrO - cHx)$	Н	Н
1-910	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Pr0 - cHx)$	Н	Н
1-911	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - iPrO - cHx)$	Н	H
1-912	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - i Pr O - cHx)$	H	·H
1-913	Н	H .	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [3 - (2 - Et - Pr0) - c]$	Hx] H	, Н
1-914	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [4 - (2 - Et - Pr0) - c]$	Hx] H	H
1-915	Н	Н	Н	Ме	2 ,	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - iBuO - cHx)$	Н ,	H
1-916	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iBuO - cHx)$	Н	H
1-917	Н	H	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂),-(3-MeS-cHx)	H	H
1-918	H	H	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂),-(4-MeS-cHx)	H	Н
1-919	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - EtS - cHx)$	Н	Н
1-920	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - EtS - cHx)$	Н	Н
1-921	H	•Н	Н	Me	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - PrS - cHx)$	Н	Н
1-922	H	Н	·H	∴Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - PrS - cHx)$	H	Н
1-923	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - i Pr S - cHx)$	· H	Н
1-924	H	·H	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - i Pr S - cHx)$. Н	Н
1-925	Н	Н		Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [3 - (2 - Et - PrS) - (2 - Et - PrS)]$	Hx] H	Н
1-926	Н	Н	Н	Me	2.	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [4 - (2 - Et - PrS) - (2 - Et - PrS)]$	cHx] H	Н
1-927	Н	Н	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - iBuS - cHx)$	Ħ	H
1-928	Н	Н	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iBuS - cHx)$	H	H
1-929	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - cHx - cHx)$	Н	H

1-930	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - cHx - cHx)$	H	Н
1-931	• Н	H .	H	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Ph-cHx)$	Н	Н
1-932	Н	H .	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Ph - cHx)$	Н	H
1-933	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - diMe - cHx)$	Н	Н
1-934	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 4 - diMe - cHx)$	Н	Н
1-935	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)4 - (3, 5 - diMe - cHx)$	H	H
1-936	H	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂),-Ph	Н	H
1–937	H	н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Ме	H
1-938	Н	Н	H	Ме	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н.	Me
1-939	. Н	ļΉ	Н	Me	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	F	H
1-940	· H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	F
1-941	Н	Н	Ме	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	H
1-942	Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	Н
1-943	CO₂Me	H	H	Мe	2	-C≡C-(CH₂),-Ph	H	H District
1-944	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - F - Ph)$	Н	H
1–945	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - Ph)$	H	Н
1-946	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - C1 - Ph)$	Н	Н
1-947	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4-Br-Ph)$	H	H
1-948	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - Me - Ph)$	H	· H
1-949	H	Н	Н	Ме	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me - Ph)$	H	Н
1-950	Н	·H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Et-Ph)$	Н	Н
1-951	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - Ph)$	H	H
1-952	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Pr-Ph)$	Н	H
1-953	:H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Pr - \bar{P}h)$	H	Н
1-954	Н	Н	Н			$-C \cong C - (CH_2)_4 - (3 - iPr - Ph)$	Н	Н
1-955	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iPr - Ph)$	H	Ή
						•		

1-956	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Bu-Ph)$	Н	Н
1-957	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Bu - Ph)$	H	H .
1-958	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - CF_3 - Ph)$	Н	H
1-959	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH2)4 - (4 - CF3 - Ph)$	Н	H
1-960	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - MeO - Ph)$	Н	Н
1–961	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeO - Ph)$	Н	Н
1-962	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - EtO - Ph)$	H	Н
1-963	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - EtO - Ph)$	Н	H
1-964	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Pr0-Ph)$	Н	Н
1-965	Н	H	H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-Pr0-Ph)	Н	H
1-966	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - i Pr 0 - Ph)$	H	Н
1-967	Н	Н	Н	Me .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - i Pr 0 - Ph)$	Н	Н
1-968	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [3 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$	H	Н
1-969	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - [4 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$	Н	Н
1–970	H	H	H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - iBu0 - Ph)$	Н	H
1-971	H	H	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-iBu0-Ph)	Н	Н
1-972	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - MeS - Ph)$	Н	H
1-973	Н	Н	H.	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeS - Ph)$	·H·	Н
1-974	Н	Н	H.	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - EtS - Ph)$	Н	Н
1-975	H.	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - EtS - Ph)$	Н	Н
1-976	Н.	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(3-PrS-Ph)	Н	Н
1-977	Н	Н				-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-PrS-Ph)	Н	Н
1-978	H	Н		in the second		-C≡C-(CH ₂) ₄ -(3-iPrS-Ph)	Н	Н
1-979	Н	Н				-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-iPrS-Ph)	Н	H
1-980						-C≡C-(CH ₂) ₄ -[3-(2-Et-PrS)-Ph]	•	H
				•		-C≡C-(CH ₂) ₄ -[4-(2-Et-PrS)-Ph]		
1-981	n ·	H.	H	ме	4	$0 = 0 - (0n_2)_4 - (4 - (2 - 1 - 1 - 1 - 1) - 1 - 1$	ן ו	H

1-982	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - iBuS - Ph)$	H	Н
1-983	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4-iBuS-Ph)$	Н	H
1-984	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3 - cHx - Ph)$	H	H
1-985	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - cHx - Ph)$	H	H
1-986	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3-Ph-Ph)$	Н	. H -
1-987	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4-Ph-Ph)$	H	H
1-988	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - diMe - Ph)$	Н	H
1-989	H	Ĥ	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 4 - diMe-Ph)$	H	H
1-990	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 5 - diMe-Ph)$	Н	Н
1-991	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - N_D (1)$	H , , ,	Н
1-992	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Np(2)$	Н	·H
1-993	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	H _.	Н
1-994	H	Н	Ме	Ме	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	Н
1-995	Ме	H	H 47	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	Ĥ
1–996	CO₂Me	H	H	Me	2	-C≡C-(CH₂) 5-cHx	Н	H
1–997	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - F - cHx)$	H	Н
1-998	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Me - cHx)$	Н	Ή
1-999	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Et - cHx)$	H	Н
1-1000	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-1001	Н	, H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$	H	Н
1-1002	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	H
1-1003	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - MeS - cHx)$	Н	Н
1-1004		Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - cHx - cHx)$	Н	H
1-1005	Ж	Ħ	H	М́е	2	$-C \equiv C - (CH_2)_{\delta} - (4 - Ph - cHx)$	H	Н
1-1006	Ĥ	Н	Н	'Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	Н	Н
1-1007	Н	Н	Ме	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	H.	Н

1-1008	Ме	Н	Н	Me _、	2	$-C \equiv C - (CH_2)_s - Ph$	Н	Н
1-1009	CO ₂ Me	н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	Н	Н
1-1010	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - F - Ph)$	Н	Н
1-1011	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Me - Ph)$	Н	Н
1-1012	Н	H	H.	Me .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
1-1013	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	H
1-1014	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H
1-1015	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - EtO - Ph)$	Н	Н
1-1016	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - MeS - Ph)$	Н	H
1-1017	H	$\mathbf{H}_{\mathbf{x}_{t+1}}$	H A	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - cHx - Ph)$	·H	. Н
1-1018	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - (4 - Ph - Ph)$	H	Н
1-1019	Η.	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Η.	, H
1-1020	H	H	Ме	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	H	Н
1-1021	Ме	H NAM	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	H STA	H
1-1022	CO₂Me	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
1-1023	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - F - cHx)$	H	H
1-1024	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Me - cHx)$	Н	·H
1-1025	Н	Н	Н	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Et - cHx)$	Н	H
1-1026	H	H	H .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - CF_3 - cHx)$	H	H
1-1027	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - MeO - cHx)$	H.	Н
1-1028	Ή	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - EtO - cHx)$	H	H
1-1029	H .	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - MeS - cHx)$	Н	H
1-1030	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - cHx - cHx)$	Н	Н
1-1031	Ĥ	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Ph - cH_X)$	H	H
1-1032	·H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$, н	Н
1-1033	Н	H.	Me	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	H.	, H.

1-1034	Ме	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	H	Н
1-1035	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_{\dot{\theta}} - Ph$	Н	Н
1-1036	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - F - Ph)$	Н	Н
1-1037	Н	H	Н	Me	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Me - Ph)$. Н	Н
1-1038	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
1-1039	Н	. Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - CF_3 - Ph)$	H	Н
1-1040	Н	Н	Ĥ	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H
1-1041	H	H	Ĥ	Me`´	2	$= C = C - (CH_2)_6 - (4 - EtO - Ph)$	H	H
1-1042	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - MeS - Ph)$	H.	H
1-1043	Н	Н	H H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - cHx - Ph)$	Н	Н
1-1044	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - (4 - Ph - Ph)$	H	Н
1-1045	Н	Н	Ĥ.	Me	2	-C≡C-CH ₂ -0-cHx	H	Н
1-1046	Н	Н	Мe	Ме	2	-C≡C CH ₂ -0-cHx	Н	Ĥ
1-1047	Me	Н	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -0-cHx	Н	Н
1-1048	CO ₂ Me	H	H	Me	2	-C≡C-CH₂-0-cHx	Н	H
1-1049	Н	H	H	Me	2	-C≡C-CH ₂ -0-(4-F-cHx)	Н	Н
1-1050	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
1-1051	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Et - cHx)$	H	H
1-1052	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - CF_3 - cHx)$	H	H
. 1–1053	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - MeO - cHx)$	Ή	H
1-1054	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Et0 - cHx)$	Η.	Н
1-1055	Н	Н	Н,	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - MeS - cHx)$	Н	H
1-1056		Н				$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - cHx - cHx)$		
1-1057	Н	Н	·H·	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - O - (4 - Ph - cHx)$, H	H
1-1058	H	H	·H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - Ph$	·H	. Н
1-1059	H	Н	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - Ph$	H	Н
•								

	1-1060	Me	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - Ph$	Н	Н
	1-1061	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - O - Ph$	Н	H
	1-1062	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - O - (4 - F - Ph)$	Н	Н
	1-1063	Н	Н	H	Me	. 2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Me - Ph)$	Н	Н
	1-1064	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
	1-1065	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	Н
	1-1066	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Me0 - Ph)$	Н	Н
	1-1067	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Et0 - Ph)$	Н	Н
	1-1068	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - MeS - Ph)$	Н	Н
٠.,	1-1069	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - O - (4 - cHx - Ph)$	Н	Н
	1-1070	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - Ph - Ph)$	H	Н
	1-1071	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cPn$	Н	Д.Н
	1-1072	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cHx$	Н	H
	1-1073	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Me	Н
*	1-1074	H	Ĥ	H	Ме	2	-С≡С-(СН ₂) ₂ 0-сНх	Н	Ме
	1-1075	H	Н	e (felige). Se H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-cHx	F	Н
•	1-1076	Н	Ĥ	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	H	F
	1-1077	H	H	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cHx$	H	H
	1-1078	Ме	Н	H	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cHx$	Н	Н
	1-1079	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	H	H
	1-1080	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - F - cHx)$	Н	Н
ъ.	1-1081	H .	Н	"Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - F - cHx)$	Н.	Н
	1-1082	H	Н	H	Ме		$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - C1 - cHx)$	Н	Н
	1-1083	Н	Н	Н	Ме	•	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-(4-Br-cHx)	н.	H
	1-1084	H	Н	Ή	Ме		$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - Me - cHx)$	· H	H
•	1-1085	Н	Н	Н	Ме		-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-(4-Me-cHx)	Н	Н

1-1086	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - Et - cHx)$	H	Н
1-1087	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
1-1088	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - Pr - cHx)$	Н	Н
1-1089	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr - cHx)$	Н	H
1-1090	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr - cHx)$	Н	Н
1-1091	H	Н	·H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - Bu - cHx)$	Н	Н
1-1092	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Bu - cHx)$	Н	' Н
1-1093	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - CF_3 - cHx)$	Н	H
1-1094	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-1095	H	H .	Н	Ме	2 ,	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - MeO - cHx)$	H	H
1-1096	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me0 - cHx)$	Н	Н
1-1097	.Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Et0 - cHx)$	Н	Ĥ
1-1098	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - EtO - cHx)$	Н	H
1-1099	H	H	H O	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - PrO - cHx)$	H	H
1-1100	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr0 - cHx)$	Н	Н
1-1101	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - i Pr O - cHx)$	Н	H
1-1102	Н -	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr O - cHx)$	Н -	H
1-1103	H	H	H	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - [3 - (2 - Et - PrO) - cF$	Ix] H	H
1-1104	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - [4 - (2 - Et - PrO) - cH_2]_2 O - [4 - (2 - Et - P$	Ix] H	Н
1-1105	H	H	H .	Ме	. 2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - iBuO - cHx)$	H	Н
1-1106	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - iBuO - cHx)$	H	H
1-1107	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - MeS - cHx)$	H	H
1-1108	H	H	Н	Ме	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - MeS - cHx)$	· H	H
1-1109	Н	H	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - EtS - cHx)$	H	Н
1-1110	H	H	H				H	H
1-1111	H	Ħ	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - PrS - cHx)$	H	H

	1-1112	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - PrS - cHx)$	Н	Н
	1-1113	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - i Pr S - c Hx)$	Н	Н
	1-1114	H	H	н .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr S - c Hx)$	Н	H
	1-1115	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - [3 - (2 - Et - PrS) - cHx]$	c] H	H
	1-1116	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - [4 - (2 - Et - PrS) - cH_2]_2 + (2 - Et - PrS) - cH_2$	k] H	H
	1-1117	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - iBuS - cHx)$	Н	Н
•	1-1118	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - iBuS - cHx)$	H .	H .
	1-1119	Н	Н	Ĥ	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - cHx - cHx)$	H	Н
	1-1120	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - cHx - cHx)$	H	H
	1-1121	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Ph - cHx)$	H	H
	1-1122	H .	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Ph - cHx)$	H	H
	1-1123	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (2, 4 - diMe - cHx)$	H	H
	1-1124	Н	H	Ĥ	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 4 - diMe - cHx)$	H	Н
·	1-1125	H George	H Ballieri	H A	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 5 - diMe - cHx)$	Н	Н
	ì-1126	H	Н	H	Ме	2	–C≡C−(CҢ₂) ₂0–Ph	Н	H
	1-1127	Н	Н	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Ме	Н
	1-1128	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	Ме
	1-1129	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	F	Н
	1-1130	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Н	F
	1-1131	Н	Н	Ме	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	H	Н
	1-1132	Ме	H	Н	Ме	· 2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	H .	Ή
	1-1133	CO₂Me	H	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-Ph	H ;	H
	1-1134	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - F - Ph)$	·H	H
	1-1135	Н	H	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-(4-F-Ph)	H	H.
	1 1100			٠, ٠,			$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - C1 - Ph)$	п	Н
	1-1136	Ή	Н	H	Ме	2	$-C = C - (Cn_2)_2 O - (4 - C1 - P1)$	H	41

1-1138	H	H	H	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - Me - Ph)$	Н	Н
1-1139	H	Н	H.	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me - Ph)$	H	H
1-1140	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Et - Ph)$	Н	H
1-1141	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et - Ph)$	Н	H
1-1142	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Pr - Ph)$	Н	H
1-1143	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr - Ph)$	Н	H
1-1144	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - iPr - Ph)$	H	Н
1-1145	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr - Ph)$	H	H
1-1146	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Bu - Ph)$	Н	Н
1-1147	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Bu - Ph)$	Н	H
1-1148	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - CF_3 - Ph)$	Н	Н
1-1149	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - CF_3 - Ph)$	H	H
1-1150	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Me0 - Ph)$	H	H
1-1151	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me0 - Ph)$	H (SL ST	H.
1-1152	Н	Ĥ	Н	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Et0 - Ph)$	H	Н
1-1153	Н	H	Н	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et0 - Ph)$	Н	H
1-1154	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Pr0 - Ph)$	H	Н
1-1155	Н	Н.	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr 0 - Ph)$	H :	H
1-1156	H .	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - i Pr O - Ph)$	H	Ή.
1-1157	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr 0 - Ph)$	H	Н
1-1158	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - [3 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$] H	. Н
1-1159	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - [4 - (2 - Et - Pr0) - Ph]$]. H	Н
1-1160	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - iBu 0 - Ph)$	H	Н
1-1161	H	Н	H	. Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - iBu 0 - Ph)$	H	H
1-1162	Н	Н	H	Me	• 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - MeS - Ph)$	H	Н
1-1163	Н	· H	H	Me	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - MeS - Ph)$	H	H

	1-1164	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - EtS - Ph)$	H	H
	1-1,165	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - EtS - Ph)$	Н	Н
	1-1166	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3 - PrS - Ph)$	H .	Н
	1-1167	Н .	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - PrS - Ph)$	Н	Η.
	1-1168	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - i Pr S - Ph)$	Н	Н
	1-1169	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr S - Ph)$	Н	Н
	1-1170	H contract	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - [3 - (2 - Et - PrS) - Ph]$	Н	H
٠.	1-1171	H	H	H	Ме	2 _	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - [4 - (2 - Et - PrS) - Ph]$	H	H
ı	1-1172	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - iBuS - Ph)$	H	Н
	1-1173	H	H.,,,,	H ,	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - iBuS - Ph)$	H	H
	1-1174	H	H :	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - cHx - Ph)$	H	Н
	1-1175	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)20 - (4 - cHx - Ph)$	H	, H ,
	1-1176	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - Ph - Ph)$	Н	Н
· \$,	1-1177	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Ph - Ph)$	H	H
35	1-1178	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (2, 4 - diMe-Ph)$	H	Н
,	1-1179	H :	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 4 - diMe - Ph)$	Н	H
	1-1180	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 5 - diMe-Ph)$	Н	H
	1-1181	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 0 - cHx$	H	H
	1-1182	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 0 - Ph$	H	H.
	1-1183	H .	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 0 - cHx$	H	H
	1-1184	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 0 - Ph$	Н	Н.
j.	1-1185	H	Н.,	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -cHx		H
	1-1186	Н	H	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - cHx$	H.	Н
	1-1187	Ме	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - cHx$	H	Н
	1-1188	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0CH_2 - cHx$	Н	Н
٠	1-1189	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - P - cH_X)$	H	H

			•					
1-1190	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0CH_2 - (4 - Me - cHx)$	H.	H
1-1191	н -	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - Et - cHx)$	H	Н
1-1192	Н	H	H	Ме	· 2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Ĥ
1-1193	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - MeO - cHx)$	Н	Н
1-1194	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - EtO - cHx)$	Н	Н
1-1195	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0CH_2 - (4 - MeS - cHx)$	Н	Н
1-1196	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -(4-cHx-cHx)	H	Н
1-1197	Н	Ή	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0CH_2 - (4 - Ph - cHx)$	H	Н
1-1198	H	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -Ph	H	Н
1-1199	Н	Н	Me	Me	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -Ph	H	H
1-1200	Me	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - Ph$	Н	Н
1-1201	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -Ph	H	H
1-1202	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - F - Ph)$	Н	Ĥ
1-1203	H	Н	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -(4-Me-Ph)	Н	H
1-1204	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - Et - Ph)$	Н	H
1-1205	Н	Н	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -OCH ₂ -(4-CF ₃ -Ph)	H	H
1-1206	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - MeO - Ph)$	Н	Н
1-1207	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - EtO - Ph)$	Н	Н
1-1208	·H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - MeS - Ph)$	H	H
1-1209	H _.	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - OCH_2 - (4 - cHx - Ph)$	H	Н
1-1210	Н	H	H.	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0CH_2 - (4 - Ph - Ph)$	Ή	Н
1-1211	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cPn$	H	Н
1-1212				Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cHx$	Н	Н
1-1213	$\mathbf{H} \rightarrow$	Ħ	Ħ	М́е	2	-C≡C-(CIL2)2-OCH2-cHx	Me	H
1-1214	Н	:H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cHx$	Н	Ме
1-1215	Н	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -cHx	F	- H

1-1216	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cHx$	Н	F
1-1217	Н	H	Me	Ме	2	$C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - CH_2 - cHx$	Н	Н
1-1218	Ме	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cHx$	H	Н
1-1219	CO ₂ Me	H	Н	Me	2 ·	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - cHx$	Н	Н
1-1220	Н	Н	Н	Ме	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - F - cHx)$	Н	Н
1-1221	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - F - cHx)$	Н	Н
1-1222	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - C1 - cHx)$	H	H
1-1223	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Br - cHx)$	H	Н
1-1224	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Me - cHx)$	Н	Н
1-1225	₩	. H .	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Me - cHx)$	Н	H
1-1226	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - Et - cHx)$	H	H
1-1227	H 1000	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
1-1228	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - Pr - cHx)$	Н	Н
1-1229	H Shiring	H Solati	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Pr - cHx)$	Ĥ	H
1-1230	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iPr - cHx)$	Н	Н
1-1231	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Bu - cHx)$	Н	H
1-1232	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Bu - cHx)$	H	H
1-1233	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - CF_3 - cHx)$	H .	Н
1-1234	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - CF_3 - cHx)$	H	Н
1-1235	Ή	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - MeO - cHx)$	H	H
1-1236	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - MeO - cHx)$	H	H
1-1237	H ************************************	H	H ×	Ме	,2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - Et0 - cHx)$	Н	H
1-1238	H	Н	H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - EtO - cHx)$	Н	H
1-1239	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3-PrO-cHx)$	H	H
1-1240	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Pr0 - cHx)$	Н	H
1-1241	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - iPrO - cHx)$) Н	H

1-12	242	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iPrO - cHx)$	H	Н
1-12	243	Н	H	Н	Ме	2 -($C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - [3 - (2 - Et - Pr0) cH]$	x] H	Н
1-12	244	Н	H	Н	Me .	2 -($C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - [4 - (2 - Et - Pr0) cH]$	x] H	Н
1-12	245	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - iBuO - cHx)$	H	H
1-12	246	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iBuO - cHx)$	Н .	Н
1-12	247	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - MeS - cHx)$	Н	Н
1-12	248	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - MeS - cHx)$	H	Н
1-12	249	Н	Н	H,	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - EtS - cHx)$	H ,	H
1-12	250	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - EtS - cHx)$	H	Н
1-12	251	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - PrS - cHx)$	н '	H
1-12	252	Н	Н.	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH2)2 - OCH2 - (4 - PrS - cHx)$	Н	Н
1-12	253	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - i PrS - cHx)$	H	H.
1-12	254	Н	Н	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)2 - OCH2 - (4 - i PrS - cHx)$	Н	H
1-12	255	Н	H	H	Ме	2 -	C≡C-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -[3-(2-Et-PrS)cH	x] H	H
1-12	256	H	H	Ĥ	Ме	2 -	C≡C-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -[4-(2-Et-PrS)cH	x] H	H
1-12	257	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - iBuS - cHx)$	Н	Н
1-12	258	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iBuS - cHx)$	H	Н
1-12	259	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (3 - cHx - cHx)$	H	H
1-12	260	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)2 - OCH2 - (4 - cHx - cHx)$	H	H
1-12	261	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Ph - cHx)$	H	H
1-12	262	H	H	H .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - Ph - cHx)$	H	H
1-12	263	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (2, 4 - diMe - cHx)$), H,	H
1-12	264		H.	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3, 4 - diMe - cHx)$) H	H
1-12	265	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3, 5 - diMe - cHx)$) H	H
1-12	266	Н.	Н.	Н .	Ме	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Н	H
1-12	267	H	Н	H _[Ме	2 ,	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Ме	H

1-1268	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Н	Ме
1-1269	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	F	Н
1-1270	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Н	F
1-1271	Н	Н	Ме	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - CH_2 - Ph$	Н	H.
1-1272	Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Н	. Н
1-1273	CO ₂ Me	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$	Н	Н
1-1274	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - F - Ph)$	Н	Н
1-1275	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - F - Ph)$	Н	Н
1-1276	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - C1 - Ph)$	Н	Н
1-1277	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - Br - Ph)$	H	Н
1-1278	Н	Ħ	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Me - Ph)$	Н	Н
1-1279	Ĥ	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - Me - Ph)$	Н	H
1-1280	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Et - Ph)$	Н	Н
1-1281	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - Et - Ph)$	H	H
1-1282	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH2)2 - OCH2 - (3 - Pr - Ph)$	Н	H
1-1283	Н	Н.	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - Pr - Ph)$	Н	Н
1-1284	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - iPr - Ph)$	Н	Н
1-1285	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iPr - Ph)$	Н	Н
1-1286	•Н	Н	H	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - Bu - Ph)$	Ή	H
1-1287	Ħ	:H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - Bu - Ph)$	Н	Н
1-1288	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - CF_3 - Ph)$	Н	H
1-1289	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	H
1-1290	H :	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - MeO - Ph)$	Н	Н
1-1291	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - MeO - Ph)$	Ħ	Ħ
1-1292	Н	;. H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - EtO - Ph)$	Н	H
1-1293	Н	Н	\mathbf{H}_{\geq}	Me ·	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - EtO - Ph)$	Н	Η.

1-1294	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - PrO - Ph)$ H	H
1-1295	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - PrO - Ph)$ H	H
1-1296	Н	Н	H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(3-iPrO-Ph) H	Н
1-1297	Н.	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iPrO - Ph) H$	H
1-1298	Н	Н.	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - [3 - (2 - Et - Pr0)Ph] H$	Н
1-1299	.Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - [4 - (2 - Et - Pro)Ph] H$	H
1-1300	H	H	H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(3-iBuO-Ph) H	H
1-1301	Ĥ	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4 - iBuO - Ph)$ H	Н
1-1302	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - MeS - Ph)$ H	H
1-1303	Н.	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - MeS - Ph) \qquad H$	Н.,
1-1304	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - EtS - Ph) \qquad H$	H
1-1305	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv \hat{C} - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - EtS - Ph) \qquad H$	H _. .
1-1306	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - PrS - Ph)$ H	H
1-1307	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - PrS - Ph) \qquad H$	H
1-1308	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - iPrS - Ph) H$	H
1-1309	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iPrS - Ph) H$	Н
1-1310	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - [3 - (2 - Et - PrS)Ph] H$	Н
1-1311	H	H	H	Me ·	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - [4 - (2 - Et - PrS)Ph] H$	H **
1-1312	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - iBuS - Ph) H$	H
1-1313	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - iBuS - Ph) H$	Н
1-1314	Н	:H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3 - cHx - Ph)$ H	H
1-1315	H	Н	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (4 - cHx - Ph)$ H	Н
1-1316	Ħ	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3-Ph-Ph)$ H	Н
1-1317	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (4-Ph-Ph)$ H	Ή
1-1318	H	:H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - (2, 4 - diMe - Ph)$ H	H
1-1319	Н .	H	H	Ме	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3, 4 - diMe - Ph)$ H	·H

1-1320	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - (3, 5 - diMe - Ph$) H	H
1-1321	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - OCH_2 - cHx$	Н	Н
1-1322	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - OCH_2 - Ph$	Н	Н
1-1323	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - OCH_2 - cHx$	H	Н
1-1324	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - OCH_2 - Ph$	Н	Н
1-1325	Н	Н	Ή	Ме	2	-CO-CH ₂ -(4-cHx-Ph)	Н	Н
1-1326	H	Н	Н	Ме	2	-CO-CH ₂ -(4-Ph-Ph)	H	Н
1-1327	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -сHx	Н	Н
1-1328	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -Ph	H	Н
1-1329	Н	Н	H	Ме	2	-CO- (CH ₂) ₃ -сНх	Н	Н
1-1330	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -Ph	H	Н
1-1331	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н.
1-1332	H	H	Me	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	H	H
1-1333	Ме	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-1334	CO₂Me	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
1-1335	Н	H	Н	Ме	2	-C0-(CH ₂) ₄ -(4-F-cHx)	H	H
1-1336	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Me-cHx)	H	Н
1-1337	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH2)4-(4-Et-cHx)	Н	Н
1-1338	Н	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_4-(4-CF_3-cHx)$	H	Н
1-1339	H	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_4-(4-MeO-cHx)$	Н	Н
1-1340	H	·H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_4-(4-EtO-cHx)$. Н	H
1-1341	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-MeS-cHx)	Н	Н
1-1342	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-cHx-cHx)	H	Н
1-1343	H	H	H	Me	· 2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Ph-cHx)	Н	Н
1-1344	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	H	Н
1-1345	Н	Н	Ме	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н

1-1346	Me	Н	Н	Ме	2	-CO- (CH ₂) ₄ -Ph	H	Н
1-1347	CO₂Me		Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1-1348	H	H	Н	Ме	2	-C0-(CH ₂) ₄ -(4-F-Ph)	Н .	Н
1-1349	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Me-Ph)	Н	Н
1-1350	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Et-Ph)	Н	Н
1-1351	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-CF ₃ -Ph)	H	Н
1-1352	Н	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-Ph)	Н	Н
1-1353	Н	Н	.H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-EtO-Ph)	H	Н
1-1354	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-MeS-Ph)	H	Н
1-1355	Н.	H	Ĥ,	Ме	.2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-cHx-Ph)	H	H
1-1356	H	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Ph-Ph)	H	H
1-1357	Н.,,	Н	Ĥ	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	H _.
1-1358	н	Н	Мe	Me	2	-CO-(CU)U-		TI.
1 1000			III.C		4.	-CO-(CH2)5-cHx	Н	H
1-1359	Me		H.	٠		-co-(ch ₂) ₅ -chx -co-(ch ₂) ₅ -chx	H H	H
· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	:	H Y	1 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	٠			H H	
1-1359	Ме	H Y	1 T 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Me	2 2	-CO-(CH ₂) ₅ -сНх	H H H	H
1-1359 1-1360	Me CO₂Me	H H	H H	Me Me	2 2	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx -CO-(CH ₄) ₅ -cHx	H H	H H
1-1359 1-1360 1-1361	Me CO₂Me H	H H	H H	Me Me Me	2 2 2	-C0-(CH ₂) ₅ -cHx -C0-(CH ₂) ₅ -cHx -C0-(CH ₂) ₅ -(4-F-cHx)	H H H	Н Н Н
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362	Me CO₂Me H	H H H	H H H	Me Me Me	2 2 2 2	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx -CO-(CH ₂) ₅ -cHx -CO-(CH ₂) ₅ -(4-F-cHx) -CO-(CH ₂) ₅ -(4-Me-cHx)	H H H	H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363	Me CO₂Me H H H	H H H	H H H	Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2	-CO-(CH2)5-cHx $-CO-(CH2)5-cHx$ $-CO-(CH2)5-(4-F-cHx)$ $-CO-(CH2)5-(4-Me-cHx)$ $-CO-(CH2)5-(4-Et-cHx)$ $-CO-(CH2)5-(4-CF3-cHx)$	H H H	H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366	Me CO₂Me H H H H	H H H H	H H H H	Me Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2 2 2	$-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - F - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Me - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Et - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - CF_3 - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - EtO - cHx)$	H H H H H	H H H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366	Me CO₂Me H H H H	H H H H	H H H H	Me Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2 2 2	$-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - F - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Me - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Et - cHx)$ $-CO - (CH_2)_6 - (4 - CF_3 - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$	H H H H H	H H H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366	Me CO₂Me H H H H	H H H H	H H H H H	Me Me Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2 2 2 2	$-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - cHx$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - F - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Me - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - Et - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - CF_3 - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - MeO - cHx)$ $-CO - (CH_2)_5 - (4 - EtO - cHx)$	H H H H H	H H H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366 1-1367	Me CO₂Me H H H H	H H H H H	H H H H H	Me Me Me Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2 2 2 2 2	$-CO-(CH_{2})_{5}-cHx$ $-CO-(CH_{2})_{5}-cHx$ $-CO-(CH_{2})_{5}-(4-F-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{5}-(4-Me-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{6}-(4-Et-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{6}-(4-CF_{3}-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{6}-(4-MeO-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{5}-(4-MeO-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{5}-(4-EtO-cHx)$ $-CO-(CH_{2})_{5}-(4-MeS-cHx)$	H H H H H	H H H H H
1-1359 1-1360 1-1361 1-1362 1-1363 1-1364 1-1365 1-1366 1-1367 1-1368	Me CO₂Me H H H H H	H H H H H H H	H H H H H	Me Me Me Me Me Me Me Me Me	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	$-CO-(CH_2)_5-cHx$ $-CO-(CH_2)_5-cHx$ $-CO-(CH_2)_5-(4-F-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-Me-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-Et-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-CF_3-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-MeO-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-EtO-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-EtO-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-MeS-cHx)$ $-CO-(CH_2)_5-(4-MeS-cHx)$	H H H H H	H H H H H H H

1-1372	Me	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Н
1-1373	CO₂Me	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	Н
1-1374	Н	H	Н .	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-F-Ph)	H	Н
1-1375	Н	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_5-(4-Me-Ph)$	H	H
1-1376	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_5-(4-Et-Ph)$	Н	H
1-1377	H	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_5-(4-CF_3-Ph)$	H	Н
1-1378	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-MeO-Ph)	Н	Н
1-1379	Н	Н	Н	Mé	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-EtO-Ph)	Н	H
1-1380	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-MeS-Ph)	H	H
1-1381	Н	H Accepted	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-cHx-Ph)	Н	H
1-1382	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-1383	H	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_6$ -cHx	H	H
1-1384	Н	Ĥ	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	H
1-1385	H a e s	H	H editetra	Me	2	-C0-(CH ₂),-cHx	H.	H
1-1386	H	H	H	Me	2	–CO−(CH ₂) ₇ –Ph	Н	Н
1-1387	Н	H	Н	Мe	2	-C0-(CH ₂) ₂ -0-cHx	H	H
1-1388	Н	Н	Ме	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-cHx	Н	Н
1-1389	Me	·H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-O-cHx$	Н	H
1-1390	CO₂Me	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-cHx$	Н	H
1-1391	H	Н .	Н	Ме	2`	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-F-cHx)$	H	H
1-1392	H	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-Me-cHx)$. Н	H
1-1393	H	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-Et-cHx)$	Н	Н
1-1394	Н	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-CF_3-cHx)$	Н	H
1-1395	H	H	Ή	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-MeO-cHx)	H	H
1-1396	Н	H	H	Ме	2	$-C0-(CH_2)_2-0-(4-Et0-cHx)$	Н	Н
1-1397	H	·H	H	Ме	.2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-MeS-cHx)	Н	H

PCT/JP01/05988

1-1398	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-cHx-cHx)$	Н	Н
1-1399	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-Ph-cHx)$	Н	Н
1-1400	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-Ph	H	Н
1-1401	Н	Н	Ме	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-O-Ph$	Н	Н
1-1402	Ме	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-Ph	Н	H
1-1403	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-Ph	Н	Н
1-1404	H :	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-F-Ph)	Н	Н
1-1405	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-Me-Ph)	Н	H
1-1406	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-Et-Ph)	Н	Н
1-1407	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-CF ₃ -Ph)	Н,	H
1-1408	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-O-(4-MeO-Ph)$	H	Н
1-1409	H	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-EtO-Ph)	H	Н
1-1410	Н	H -	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-MeS-Ph)	H	Н
1-1411	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-cHx-Ph)	. H	H
1-1412	H	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₂ -O-(4-Ph-Ph)	H	H
1-1413	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-cPn	H	H
1-1414	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	Н	Н
1-1415	H	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	Ме	Н
1-1416	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	Н	Ме
1-1417	H	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	F	Н
1-1418	H	Ή	Н	Ме	2 .	-CO-(CH ₂) ₃ -O-cHx	H	F
1-1419	H	H	Me	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-cHx	H	H
1-1420	Ме	H .	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	•	Н
1-1421	CO ₂ Me	Н	Ή	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-cHx$	Н	Ħ
1-1422	H	H .	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-F-cHx)$	Н	H
1-1423	Н	Н	H	Ме	.2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-F-cHx)$	Н	H

1-1424	H	Н	H	Ме	2	$-C0-(CH_2)_3-0-(4-C1-cHx)$	Н	Н
1-1425	H	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Br-cHx)$	Н	Н
1-1426	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-Me-cHx)$	Н	Н
1-1427	H	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Me-cHx)$	Н	Н
1-1428	Н	Н	Н	. Me	2	$-C0-(CH_2)_3-0-(3-Et-cHx)$	Н	Н
1-1429	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Et-cHx)$	H	Н
1-1430	Н	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-Pr-cHx)$	Н	Н
1-1431	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Pr-cHx)	Н	H
1-1432	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-iPr-cHx)$	Н	Н
1-1433	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-Bu-cHx)$	Н	H
1-1434	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Bu-cHx)$	Н	Н
1-1435	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-CF ₃ -cHx)	Н	H
1-1436	H	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-CF ₃ -cHx)	H	H
1-1437	Н	H	Н	Me .	. 2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-MeO-cHx)	H	H
1-1438	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-MeO-cHx)	Н	H
1-1439	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-EtO-cHx)	H.	
1-1440	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-EtO-cHx)	H	H
1-1441	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-PrO-cHx)$	H	Н .
1-1442	Н	H	H	Ме	2	$-C0-(CH_2)_3-0-(4-Pr0-cHx)$	Н	Н
1-1443	H	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-iPrO-cHx)$	H	Н
		•				$-C0-(CH_2)_3-0-(4-iPr0-cHx)$		
1-1445	, Н.	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-[3-(2-Et-PrO) cHx]$] H	H
1-1446						$-CO-(CH_2)_3-O-[4-(2-Et-PrO) cHx]$		
1-1447	. H	Н	Н	Me	Ž .	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-iBuO-cHx)	H	Н
1-1448	H	Н	Н	Me	, 2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-iBuO-cHx)$	Н	Н
1-1449	H	H	Н	Ме	2 -	$-C0-(CH_2)_3-0-(3-MeS-cHx)$	Н	Н

1	-1450	Н	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-MeS-cHx)$	H	H
1	-1451	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-EtS-cHx)$	Н	H
1	-1452	. Н 🖖	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-EtS-cHx)	Н	Н
1	-1453	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-PrS-cHx)	Н	Н
1	-1454	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-PrS-cHx)$	H	Н
1	1455	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-iPrS-cHx)$	Н	Н
1	-1456	Н	H	H.	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iPrS-cHx)	Н	Н
1	-1457	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-[3-(2-Et-PrS)cHx]	H	Н
. 1	L-1458	H	Н	H	Ме	2	$-C0-(CH_2)_3-0-[4-(2-Et-PrS)cHx]$	H	Н
1	L-1459	H	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-iBuS-cHx)	Н	H
]	1-1460	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iBuS-cHx)	Н	Н
] ~·.	1-1461	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-cHx-cHx)	H	Н
1	l−1462	Н	Н	Ĥ	Ме	2	-C0-(CH ₂) ₃ -0-(4-cHx-cHx)	H	Ĥ
·.]	1-1463	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-Ph-cHx)	H	H.
	1-1464		Ĥ	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Ph-cHx)	Н	H
, A	1-1465	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(2, 4-diMe-cHx)	Н	Ĥ
	1-1466	Н	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3,4-diMe-cHx)$	1 H	Ή
	1-1467	Н.	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3,5-diMe-cHx)$	Н	H
	1-1468	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	Н	H
:	1-1469	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	Ме	H
:	1-1470	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	H	Ме
	1-1471	Н	Н	H	Ме	2	-CO- (CH ₂) ₃ -O-Ph	F	Н
	1-1472	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	Н	F
	1-1473		H	Me	Mc	.2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	Н	Н
•	1-1474	Ме	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-Ph	H	·H
	1-1475	CO ₂ Me	Н	H	Ме	2		Н	Н

1-1476	Н .	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-F-Ph)	H	Н
1-1477	H	Н.	H	Me .	2.	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-F-Ph)$	Н	Н
1-1478	Н	Н	Н	Ме	2 .	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-C1-Ph)$	H	Н
1-1479	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Br-Ph)$	Н .	H
1-1480	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-Me-Ph)$	Н	Н
1-1481	H	. Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-Me-Ph)$	Н	Н
1-1482	H	H	Н,	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-Et-Ph)	H	Н
1-1483	Н "	Н	H .	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Et-Ph)	H	Η
1-1484	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH2)3-O-(3-Pr-Ph)	H	Н
1-1485	, Н .	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Pr-Ph)	·H	H
1-1486	Н	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-iPr-Ph)$	H	Н
1-1487	, H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iPr-Ph)	H	H
1-1488	Н	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-Bu-Ph)	H	Н
1-1489	H	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Bu-Ph)	H	H
1-1490	H	H	H Ya	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-CF ₃ -Ph)	H	H
1-1491	Н	H	Н	Me	2 .	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-CF ₃ -Ph)	H	Н
1-1492	Н .	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-MeO-Ph)	H	H.
1-1493	H	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-MeO-Ph)$	H	. H
1-1494	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-EtO-Ph)$	H	H
1-1495	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-EtO-Ph)	H.	H
1-1496	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-PrO-Ph)	Н	Н
1-1497	H 🔫	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-PrO-Ph)	Н	H .
1-1498	Н	Н	Н			-CO-(CH2)3-O-(3-iPrO-Ph)	H	Н
1-1499	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-iPrO-Ph)$	Н	Ħ
1-1500	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-[3-(2-Et-PrO)-Ph]$	Н	Ή

	1-1501	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-[4-(2-Et-PrO)-Ph]$	Н	Н
	1-1502	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-iBuO-Ph)	Н	Н
	1-1503	H	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iBuO-Ph)	Н	H
	1-1504	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(3-MeS-Ph)$	Н	Н
	1-1505	H	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-MeS-Ph)$	Н	Н
	1-1506	H	Н	Н .	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-EtS-Ph)	Н	Н
[*.	1-1507	H	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-EtS-Ph)	H	Н
	1-1508	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-PrS-Ph)	Ħ.	Н
•	1-1509	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-PrS-Ph)	Н	Н
Ŧ.	1-1510	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-iPrS-Ph)	Н	Н
	1-1511	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iPrS-Ph)	Н	Н
	1-1512	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-[3-(2-Et-PrS)-Ph]	.H	H
١.,	1-1513	Н	Н	Н	Ме	2	$-C0-(CH_2)_3-0-[4-(2-Et-PrS)-Ph]$	Н	H
	1-1514	Н	H	H Star yal	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-iBuS-Ph)	Н	Н
	1-1515	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-iBuS-Ph)	H	Н
È.	1-1516	Н	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-cHx-Ph)	Н	H
•	1-1517	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-O-(4-cHx-Ph)$	H	Н
	1-1518	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3-Ph-Ph)	Н	H
	1-1519	Н	Η .	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(4-Ph-Ph)	Н	Н
	1-1520	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -O-(2, 4-diMe-Ph)	H	H
	1-1521	H	Н	Н	Ме	2	-co-(CH2)3-o-(3, 4-diMe-Ph)	Н	Н
	1-1522	Н	Н	H	Me		-CO-(CH ₂) ₃ -O-(3,5-diMe-Ph)	Н	Н
.*	1-1523	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -0-cHx	Н	Н
	1-1524	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂),-O-Ph	H	· H
	1-1525	Н	H	H .	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -O-cHx	H	Н
	1-1526	H .	H .	Н	Ме	2	CO(CH ₂) ₅ OPh	H	Н

1-1527	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-cHX$	Н	Н
1-1528	Н	Н	Ме	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-cH_X$	Н	Н
1-1529	Ме	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -cH _X	H	Н
1-1530	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-cHx$	Н	Н
1-1531	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-F-cHx)$	H	Н
1-1532	Н	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-Me-cHx)$	H	Н
1-1533	H	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-Et-cHx)$	Н	Н
1-1534	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-CF_3-cHx)$	Н	H
1-1535	H.	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-MeO-cHx)$	Н	Н
1-1536	H . •	H	Н	Ме	. 2	$-\text{CO-(CH}_2)_2$ $-\text{OCH}_2$ -(4-Et0-cHx)	Н	H
1-1537	Н	H-:	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-MeS-cHx)$	Н	Н
1-1538	H	Н		Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-1539	H	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-Ph-cHx)$	Н	H
1-1540	H	H	H	Me		-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -Ph	Н	H
1-1541	Н	H	Ме	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -Ph	Н	H
1-1542	Me	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -Ph	Н	Н
1-1543	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -Ph	Н	Н
1-1544	H	Н.	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(4-F-Ph)	H	Н
1-1545	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-Me-Ph)$	H	Н
1-1546	H	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-Et-Ph)$	H	Н
1-1547	Н	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-CF_3-Ph)$	Н	Н
1-1548	$\{w_i,v_j,w_j\}_{j=1}^n$	H	H .	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(4-MeO-Ph)	Н	Н
1-1549	Н	Н	Н			-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(4-EtO-Ph)	Н	Н
1-1550	H	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_2-OCH_2-(4-MeS-Ph)$	H	. Н
1-1551	Н	H :	H	Me	2	$-C0-(CH_2)_2-0CH_2-(4-cHx-Ph)$: H	Н
1-1552	H	Н	Н .	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₂ -OCH ₂ -(4-Ph-Ph)	Н	H .

1-1553	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH2)3-OCH2-CH2-cPn	Н	Н
1-1554	Н	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Н	Н
1-1555	Н ,	· H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Ме	Н .
1-1556	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Н	Ме
1-1557	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-cHx$	F	Н
1-1558	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Н	F·
1-1559	Н	Н	Me	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Н	H
1-1560	Ме	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -cHx	Н	Н
1-1561	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -ОСH ₂ -сНх	H	Н
1-1562	Н	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-F-cHx)$	Н	Н
1-1563	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-F-cHx)$	$^{-}$ H	Н
1-1564	H	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-C1-cHx)	Н	Н
1-1565	Н	. Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Br-cHx)$	H	Н
1-1566	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-Me-cHx)	H .	H Technologic
1-1567	Н	H	H ********	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-Me-cHx)	Н	H
1-1568	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-Et-cHx)	Н	Н
1-1569	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Et-cHx)$	Н	н
1-1570	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Pr-cHx)$	Н	H
1-1571	Н	Н	H	Ме	2 .	$-\text{CO-(CH}_2)_3 - \text{OCH}_2 - (4 - \text{Pr-cHx})$	H	H
1-1572	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iPr-cHx)$	·H	Н
1-1573	H	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Bu-cHx)$	Н	H
1-1574		Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-Bu-cH _x)	H	H
1-1575	Н	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-CF_3-cHx)$	Н	H
1-1576	Н	H	H	Me	.2	$-C0-(CH_{z})_{3}-OCH_{z}-(4-CF_{3}-cHx)$	Н	Н
1-1577	Н	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-MeO-cHx)$	H.	Н
1-1578	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-MeO-cHx)$	Н	Н

1-1579	H	H	Н.	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-EtO-cHx)$	Н	Н
1-1580	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-EtO-cHx)$	H	Н
1-1581	Н	Н .	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-PrO-cHx)$	H.	Н
1-1582	Н	Н	Н	Me .	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-PrO-cHx)$	Н	Н
1-1583	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iPrO-cHx)$	Н	Н
1-1584	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iPrO-cHx)$	H	H
1-1585	H	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-[3-(2-Et-PrO)cHx]$	H	Н
1-1586	Н	H	Ĥ	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-[4-(2-Et-PrO)cHx]$	H	Ĥ
1-1587	H	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iBuO-cHx)$	Н	H
1-1588	H	H	H \$44, - 3	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iBuO-cHx)$	Н	Н
1-1589	Н	H	H	Me ·	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-MeS-cHx)$	Н	H
1-1590	H *	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-MeS-cHx)	H	Н
1-1591	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-EtS-cHx)$	H	Н
1-1592	. H . (1)	H Ar grijas	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-EtS-cHx)	H	Н
1-1593	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-PrS-cHx)	H	Н
1-1594	Н	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-PrS-cHx)$	Н	Н
1-1595	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iPrS-cHx)$	Н	Н
1-1596	Н	Н	H	Ме	2 ·	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iPrS-cHx)$	H	H
1-1597	H	H	Н	Ме	2 -	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-[3-(2-Et-PrS)_{cHx}]$	Н	Ή
1-1598	H	Ή	H	Me	2 -	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-[4-(2-Et-PrS)cHx]$	Н	H
1-1599	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iBuS-cHx)$	Н	H
1-1600	H	Н.	H	Me	.2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iBuS-cHx)$	H	H
1-1601	H	H	Н	Мe	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-cHx-cHx)$	Н	·H
1-1602	Ĥ.	Н	Ħ	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-cHx-cHx)	H	H
1-1603	Н	H.	:Н.	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Ph-cHx)$	H	Н
1-1604	H .	H	H .	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Ph-cHx)$	Н	H

	1-1605	H	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(2,4-diMe-cHx)$	Н	H
	1-1606	Н	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3,4-diMe-cHx)$	Н	Н
	1-1607	H	Н	Н	Me	2	$-\text{CO-(CH}_2)_3$ $-\text{OCH}_2$ $-(3, 5-\text{diMe-cHx})$	H	Н
	1-1608	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-Ph$	Н	H
	1-1609	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	Ме	Н
	1-1610	Н	Н	H	Me .	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	H	Me
٠	1-1611	H	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	F	Н
	1-1612	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	H	F
•	1-1613	Н	Н	Ме	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	H	·H
,,	1-1614	Ме	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	H	Н
	1-1615	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -Ph	Н	Н
	1-1616	H 	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-F-Ph)	H	Н
•	1-1617	H	H	Ĥ	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-F-Ph)	H	Н
1.	1-1618	i H sagailsaken	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-C1-Ph)	H	H
	1-1619	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-Br-Ph)	Н	Н
-5	1-1620	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-Me-Ph)	Н	Н
	1-1621	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-Me-Ph)	. Н	H
	1-1622	Н	Н	Η.	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Et-Ph)$	Н	H
	1-1623	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Et-Ph)$	H	Ħ
	1-1624	H.	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Pr-Ph)$	Н	Н
	1-1625	H	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Pr-Ph)$	Н	H
	1-1626	H	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-iPr-Ph)	H	Н.
•	2	Н		•			$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iPr-Ph)$,	
	1-1628	H	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-Bu-Ph)$	H	H
	1-1629	H	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-Bu-Ph)$	Н	H
	1-1630	H	Н .	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-CF ₃ -Ph)	H	H

1-1631	Н	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-CF_3-Ph)$	H	H
1-1632	H	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-MeO-Ph)$	Н	Н
1-1633	H .	Н.	Н .	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-MeO-Ph)$	Ή	H
1-1634	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-EtO-Ph)$	H	H
1-1635	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-EtO-Ph)$	Н	Н
1-1636	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-PrO-Ph)$	H	H
1-1637	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-PrO-Ph)	Н	$\mathbf{H}_{:}$
1-1638	H	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-iPrO-Ph)	Н	Н
1-1639	H	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-iPrO-Ph)	Н	H
1-1640	H	H	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -[3-(2-Et-Pr0)Ph]	H	H
1-1641	H	H	H	Ме	. 2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-[4-(2-Et-PrO)Ph]$	H	Н
1-1642	H	H We to the	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-iBuO-Ph)	H	H
1-1643	H	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-iBuO-Ph)	Н	Н
1-1644	H Verseyete	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-MeS-Ph)	Н	Н
1-1645	H	H	Ĥ	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-MeS-Ph)	Н	Н
1-1646	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-EtS-Ph)$	H	Н
1-1647	H	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-EtS-Ph)	Н	H
1-1648	AH:	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-PrS-Ph)$	Н	H
1-1649	H	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-PrS-Ph)$	Н	H
1-1650	Н	H .	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iPrS-Ph)$	Н	H _.
1-1651	H	H	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-iPrS-Ph)$	H	Н
1-1652	H.	H	H.	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -[3-(2-Et-PrS)Ph]	H	Н.
1-1653	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -[4-(2-Et-PrS)Ph]	Н	Н
1-1654	Н	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-iBuS-Ph)$	Ħ	H
1-1655	Н	H :	Н	Ме	2	-CO-(CH2)3-OCH2-(4-iBuS-Ph)	H	·H
1-1656	Н	H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3-cHx-Ph)$	Н	: H

						•		•
1-1657	Н	Н	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(4-cHx-Ph)$	Н	H
1-1658	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3-Ph-Ph)	Н	H
1-1659	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-1660	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(2, 4-diMe-Ph)	H	Н
1-1661	H `	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -OCH ₂ -(3, 4-diMe-Ph)	Н	H
1-1662	Н	Н	Ħ	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-OCH_2-(3,5-diMe-Ph)$	H	H
1-1663	H	Н	H - 13 - 14 - 15	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -cHx	Н	H
1-1664	H	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -OCH ₂ -Ph	H	Н
1-1665	Н	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₅ -OCH ₂ -cHx	Н	Н
1-1666	Н	H	H	Ме	2 .	-CO-(CH ₂) ₅ -OCH ₂ -Ph	H	. Н
1-1667	H	H	H	Ме	2	-CH (OH) -CH ₂ -cHx	Н	Н
1-1668	H	H	 H	Ме	2	-CH (OH) -CHPh	H	H
1-1669	Н	H	H	Ме	2	_CH(0H)-(CH ₂) ₂ -cHx	Н	Н
1-1670	H	H	H	Ме	2 ,	-CH (OH) - (CH ₂) ₂ -Ph	H	Н
1-1671	Н	H	#. H \$050 : 12	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Н
1-1672	Н	H	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	Н
1-1673	Н	Н	H	Ме	.2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -cHx	H	Н
1-1674	H	Н	Ме	Ме	2	-CH(OH) - (CH2)4 - cHx	Н	H
1-1675	Ме	Н	Н	Ме	2	$-CH(OH)-(CH_2)_4-cHx$	H	H
1-1676	CO ₂ Me	H	Н	Me .	2	$-CH(OH)-(CH_2)_4-cHx$	Н	Н
1-1677	·H	Н	H	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-F-cHx)$	H	H
1-1678	H	H	H	Ме	2.	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-Me-cHx)	· H.	Н
1-1679	H	Н	Н	Ме	2	-CH(OH) - (CH2)4 - (4-Et-cHx)	Н	H
1-1680	H	Н	H.	Me	Ž	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-CF ₃ -cH _x)	H	Н
1-1681	H	Н	Н	⊪Mè	· 2	-CH(OH) - (CH2)4 - (4-MeO-cHx)	H	Н
1-1682	H.	·H	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-EtO-cHx)$	Н	Н

1-1683 -	н .	Н	Н	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-MeS-cHx)$	Н	Н
1-1684	Н	Н	Н	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -(4-cHx-cHx)	Н	Н
1-1685	H	H	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-Ph-cHx)$	Н	Н
1-1686	Н	Н	Н	Ме	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
1-1687	Н	H	Ме	Ме	2	-CH(OH)-(CH2)4-Ph	Ĥ	H
1-1688	Me	H	Н	Ме	2	-CH(OH)-(CH2)4-Ph	Н	Н
1-1689	CO ₂ Me	H	Н	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	Н	. H
1-1690	H	Н	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-F-Ph)	Н	Н
1-1691	Н	H	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-Me-Ph)$	Н	Н
1-1692	Н	H	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-Et-Ph)$	Н	Н
1-1693	Н	Н	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-CF_3-Ph)$	Н	Н
1-1694	H State of Super-co	H	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-MeO-Ph)	Н	H
1-1695	Н	Ĥ	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-EtO-Ph)	Н	Н
1-1696	H.	H	H	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-MeS-Ph)	H	H
1-1697	H	H Sec	Н	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - (4-cHx-Ph)$	Н	H
1-1698	Н	Н	Н	Мe	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -(4-Ph-Ph)	Н	Н
1-1699	Н	H	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - cHx$	Н	H
1-1700	H	Н	Ме	Ме	2	-CH(OH) - (CH2)5 - cHx	H	Н
1-1701	• Me	Н	H	Ме	2	-CH(OH) - (CH2)5 - cHx	H	Н
1-1702	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	$-CH(OH)-(CH_2)_5-cHx$, Н .	Н
1-1703	· H	·H	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - (4-F-cHx)$	H	Н
1-1704	H	H	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₅ -(4-Me-cHx)	H .	Н
1-1705	Н	Н	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - (4-Et-cHx)$	Н	Н
1-1706	H	H	Ħ	Мe	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - (4-CP_3-cHx)$	H	H.
1-1707	H	Ĥ	H	Mè	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - (4-MeO-cHx)$	H	H
1-1708	H	H	H	Me	2	-CH(OH) - (CH2)5 - (4-EtO-cHx)	Н	H

1-1761	Н	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-1762	H	· H	Н	Et	2	$-(CH_2)_4-Ph$	H	Н
1-1763	Н	Н	H.	Et	2	$-(CH_2)_5$ -cPn	Н	Н
1-1764	Н	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_5-cHx$	Н	H
1-1765	H	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_5-cHx$	Me	H
1-1766	Н	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_5-cHx$,H	Me
1-1767	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	F	Н
1-1768	H	H	Н	Et	. . 2	-(CH ₂) ₅ -cHx	, . H .	. F
1-1769	Н	Н	Ме	Et	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	H
1-1770	Me	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
1-1771	CO ₂ Me	H	Н	Et	2	$-(CH_2)_5$ -cHx	H	Н
1-1772	H	Ή.,,	H.	Et.	2	-(CH ₂) ₅ -(4-F-cHx)	, H.	, H.,
1-1773	H	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -(4-C1-cHx)	Н	Н
1-1774	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Br-cHx)	Н	Н,
1-1775	Н	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Me-cHx)	H	H
1-1776	Н	Н	Н	Et	2	-(CH2)5-(4-Et-cHx)	Н	Н
1-1777	Ħ	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_5-(4-Pr-cHx)$	Н.	Н
1-1778	Ħ	Н	H .	Et	2	$-(CH_2)_5-(4-iPr-cHx)$	Н	Н
1-1779	Н	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_5-(4-CF_3-cH_X)$	Н	Н
						$-(CH_2)_5 - (4-MeO-cHx)$		Н
1-1781	H	H	H	Et	· 2	$-(CH_2)_5-(4-EtO-cHx)$	Н	Н
1-1782	H 😹	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₅ -(4-PrO-cHx)	Н	H
1-1783	H	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_5-(4-iPr0-cHx)$		Н
1-1784	H ·	Н	Н	Et	2.	$-(CH_2)_5-(3-MeS-cHx)$	Ħ	Н
1-1785	H	H	H	Et	2	-(CH2)5-(4-MeS-cHx)	Н	Н
1-1786	Н .	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_5-(2, 4-diMe-cHx)$	H	Н

	1-1787	Н	H	H	Et	2	-(CH2)5-(3, 4-diMe-cHx)	H	Н
	1-1788	Н	Н	H	Et	2	-(CH2)5-(3, 5-diMe-cHx)	H	Н
	1-1789	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Н
	1-1790	Н	Н	Н	Et	2	-(CH2)5-Ph	Ме	Н
	. 1–1791	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Ме
	1-1792	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	F	Н
- - 2411 (1714年) 1224年(173	1-1793	Н	Н	Н.	Et	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	For the state of t
original of the Middle of the Control of the Contro	1-1794	H	Н	Мe	Et.	.2	– (СН ₂) ₅ –Ph – (СН ₂) ₅ –Ph	Н	H
	1-1795	Me	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Н
							-(CH ₂) ₅ -Ph		
· .	1-1797	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) _e -(4-F-Ph)	Н	• Н
en de la companya de	1-1798	H	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Cl-Ph)	H.,,	ing Hermonian series and a series of the ser
	1-1799	H	Н	H	Et	2	-(CH ₂), = (4-Br-Ph)	Н	eding on we do not be a lower or H omography on his in the side
							-(CH ₂) ₅ -(4-Me-Ph)		
•							-(CH ₂) ₅ -(4-Et-Ph)	Н	H
	1-1802	H	Н	Н	Et	.2	_ (CU) _ (A D- DL)	Н	e de la Companya de La companya de la Com
	1–1803							.H	H
	1-1804	Н	H	н	Et	. 2	-(CH ₂) ₅ -(4-Bu-Ph)	Н	Н
	1-1805	н	Н	H			-(CH ₂) ₅ -(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н
. •	1-1806	Н	Н	Н			-(CH ₂) ₅ -(4-MeO-Ph)	Н	Н
	1-1807	Н	Н	Н				Н	•
and the second s	1-1808	Н ,	Н				-(CH ₂) ₆ -(4-PrO-Ph)		•
	1-1809						-(CH ₂) ₅ -(4-iPr0-Ph)		
	1-1810							Н	
	1-1811	•						Н	
	1-1812		Н	-			-(CH2)5-(2, 4-diMe-Ph)	Н	Н
•	_						2-0		••

	•								
	1-1813	H	H	H	Et	2	$-(CH_2)_5-(3, 4-diMe-Ph)$	H	H
	1-1814	Н	H	Н	Et	2	-(CH2)5-(3, 5-diMe-Ph)	H	H
	1-1815	H =	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_6-cPn$	Н	H
	1-1816	Н	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_6$ -cHx	Н	H
	1-1817	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Ме	Н
	1-1818	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Ме
	1-1819	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	F	H
	1-1820	Н	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	H	F
	1-1821	H	Н.	Ме	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Н
	1-1822	Ме	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	H	Н
	1-1823	CO ₂ Me	H	Н	Et	2	$-(CH_2)_6$ -cHx	Н	H
	1-1824	H	H	H	Et.	2	-(CH ₂) ₆ -(4-F-cHx)	H	H.
	1-1825	Ĥ	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-C1-cHx)	Н	Н
	1-1826	H	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Br-cHx)	H	Н
	1-1827	Н	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Ме-сНх)	Н	Н
٠.	1-1828	Н	H	Н	Ét	2	-(CH2)6-(4-Et-cHx)	Н	Н
•	1-1829	Н	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_6 - (4-Pr-cHx)$	Н	Н
	1-1830	Н	Н	H	Et.	2	$-(CH_2)_6-(4-iP_T-cH_X)$	Н	Н
	1-1831	H .	Н	H	Et	2	-(CH2)6-(4-Bu-cHx)	H	H
	1-1832	H	Н	H	Et	2 .	$-(CH_2)_6 - (4-CF_3-cHx)$	Η .	H.
	1-1833	H	Н	H	Et	2	-(CH2)6-(4-MeO-cHx)	Н	Н
.:. غند	1-1834	H	Н	H	Et	2	$-(CH_2)_6-(4-Et0-cHx)$	H	Н
9	1-1835	H	H	H	Et	2	-(CH2)8-(4-Et0-cHx) -(CH2)8-(4-Pr0-cHx)	Н	Н
							$-(CH_2)_6-(4-iPr0-cHx)$	Ħ	H
	•				_		-(CH ₂) ₈ -(3-MeS-cHx)	H	H
	1-1838		H				-(CH2)e-(4-MeS-cHx)	Н	H
							•.•		

1-1839	Н	Н .	Н	Et	2	-(CH2)6-(2, 4-diMe-cHx)	Н	Н .
1-1840	Н	Н	Н	Et	2	-(CH2)6-(3, 4-diMe-cHx)	Н	Н
1-1841	Н	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_6 - (3, 5-diMe-cHx)$	Н	Н
1-1842	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	Н
1-1843	Н	Н	H.	Et	2	$-(CH_2)_6-Ph$	Ме	Н
1-1844	Н	H	H	Et	2	$-(CH_2)_6-Ph$	H	Me
1-1845	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	F	H
1-1846	Н	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	F
1-1847	Н	Н	Ме	Et	2	$-(CH_2)_6$ -Ph	Н	Н
1-1848	Ме	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	H agreement weren
1-1849	CO ₂ Me	Ή	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	Н
1-1850	H	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-F-Ph)	H	H Control Harry of Englanded and Section 1
1-1851	H	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Cl-Ph)	Н	garangan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Bang Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan di Kabupatèn Banggan Ban
1-1852	Н	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Br-Ph)	Н	H. Santa and Santa and Santa
1-1853	Н	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Me-Ph)	Н	H
1-1854	Ĥ	H	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Et-Ph)	H	uu liintaren 1990ako 9 erentiko H
1-1855	Н	Н	Н	Et	2	-(CH2)6-(4-Pr-Ph)	Н	Н
1-1856	H	H	Н	Et	2	-(CH2)6-(4-iPr-Ph)	H	Н
1-1857	Н	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Bu-Ph)	: H	Н
1-1858	H	Н	·H	Et	.2	$-(CH_2)_6-(4-CF_3-Ph)$	Н	H ·
1-1859	H	H	H	Et	2	$-(CH_2)_6-(4-MeO-Ph)$	H	Н
1-1860	H	H	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-EtO-Ph)	H	H
1-1861	Н	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(4-Pr0-Ph)		Н
1-1862	H	H	Н	Et	2	$-(CH_2)_6-(4-iPrO-Ph)$	H.	Н
1-1863	Н	H	H	Ęt	2	-(CH2)6-(3-MeS-Ph)	H	Н
1-1864	Н	H	H	Et	2	$-(CH_2)_6-(4-MeS-Ph)$	Н	H

							•			
	1-1865	Н	Н	Н	Et	2	-(CH2)6-(2, 4-diMe-Ph)	Н	Н	
	1-1866	Н	Н	Н	Et	2	$-(CH_2)_6-(3,4-diMe-Ph)$	H	Н	
· **	1-1867	Н :	Н	H	Et	2	-(CH ₂) ₆ -(3,5-diMe-Ph)	Н.	: Н	•
.··	1-1868	н .	Н	Н	Et	2	-(CH ₂) ₇ -cHx	Н	Н	
	1–1869	H	Н	Н	Et	2	-(CH₂) ₇ -Ph	Н	Н	
	1-1870	Н	Н	Н	Et	2	СН=СНсНх	Н	Н	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1-1871	H ₁	Н	Н	Et	2	-CH=CH-Ph	Н	Н	
	1-1872	Н					-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	H	
	1-1873		Н	:.	Et		-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	Н		
	1-1874		•	î	•				Н	
	1-1875	·		H	Et			H	H	
and the second	1–1876	- 1 Territor	-				-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	н	. ** :	
e in the second	one services		្រីខេ ម	erii de Mo	~~~~~ 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	ະດີ. : - ງ	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	u u	្រាស់	्राच्या वर्षे क्षेत्र क स्थान
	1-1877			•			Control of the second second	u u	u u	
The second secon	•			•	٠.			. п.,	Н	Together to the The
langula paka 1959	1-1879		1 - 1 - 1	H			-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	n T	Н ,,	
and the second s	1-1880	,	Н	Н			-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H 	
	1-1881						-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	Н .	H	•
	1-1882		Н	H	Et		-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	H·	H	
•	1-1883			Н	Et		-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	·H	H	
. •	1-1884	Н	H	Ή	Et	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	·H	Ή	•
	1-1885	Н	Н	Ме	Et	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	·H	H	
	1-1886	Me	Н,	H	Et	2	-CH=CH-(CH ₂),-Ph	Н	Н :	
	1-1887	CO ₂ Me	Н	Н	Et	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	H	
	1-1888	·H	Н .	Н	Et	2	-CH=CH-CH ₂ O-cHx	H	Ħ	
	1-1889	·H	H	Н.	Et	2	-CH=CH-CH ₂ O-Ph	Н	H	
	1-1890	Н	Н	H	Et	2	-CH=CH-(CH ₂) ₂ 0-cHx	. Н	Н	

		1-1891	Н	Н	Н	Et	2	-CH=CH- $(CH_2)_2$ O-Ph	H	н.
		1-1892	Н	H	H	Et	· 2	-C≡C-CH ₂ -cHx	Н	Н
•	garas '	1-1893	Н	Н	Me	Et	2	-C≡C-CH ₂ -cHx	H	H
		1-1894	Me	Н	H.	Et	2	-C≡C-CH ₂ -cHx	Н	H
		1-1895	CO ₂ Me	H	H	Bt	2	$-C \equiv C - CH_2 - cHx$	Н	Н
		1-1896	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - CH_2 - Ph$	Н	Н
	er de	1-1897	Н	H	Ме	Et	2	-C≡C-CH₂-Ph	H	Н
		1-1898	Me	Н	Н	Et	2	-С≡С-СН₂-Ph	Н	Н
		1-1899	CO ₂ Me	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - CH_2 - Ph$	Н	H
	ing the second section of the	1-1900	Н	Н	Н	Et	2		Н	Н
,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1-1901	H	Н	ਜ਼ Me	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	Н	Н
of Songer soner.	क्षा र सुर्वेष्टीय । अस्तु स्टब्स्ट्रस्ट	1-1902	Ме	H	H	Et		$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	H	Н
ergi i sa	ga shiji mara sa sa sa sakili Sa sa sahiji ji sa sa sakili	1-1903	CO₂Me	क का देखा की H के का कारी	H	Et	2	_C≡C-(CH ₂) ₂ -cHx	Н	H
	and San	1-1904		1. 1. 1.23	H	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -Ph	Н	H _z
		1-1905	Н	H	Ме	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Н
		1-1906	Me	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Н
and the same of	e e de la compaña	1-1907	CO₂Me	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	Н	H
·		1-1908	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cPn$	Н	H
;		1-1909	H	,H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	H	· :H
		1-1910	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Ме	H
		1-1911	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	·H	Me
i. Visita en 1		1-1912	H	Н	Н	Æt	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	F	Н
. 4		1-1913					•	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	F
		1-1914	Н	Н	Ме	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	H.	Н
•		1-1915	Ме	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	H	Н
		1-1916	CO₂Me	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	·H	Н
	•						•	•		-

								•	
	1-1917	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - cHx)$	H	Н
	1-1918	H .	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - C1 - cHx)$	H	Н
e de la composición	1-1919	H	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Br - cHx)$	Н	H
	1-1920	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
	1-1921	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - cHx)$	Н	H _s
	1-1922	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - cHx)$	Н	н
r var var var værte var v	1-1923	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - i Pr - cHx)$	H	in the state of t
	1-1924	Н	H.	Н	Et	2			
	1-1925	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
	1-1926	Н	Н	Н			$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - cHx)$.,Н
	1-1927	Н	Н	Н	Et	2		Н	Н
Angle of the Charles	1-1928	H	Н	Ĥ	Et	2	ali ya Maka ili sana aya Mariya wa wa k	Н,	o de la company de la comp La company de la company d
	1–1929		Н	H	. maxe six		de la company de		H. A.
	1–1930		Н	H				;	H gasan and a second
	1-1931		Н	H		٠.	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeS - cHx)$	Н	H
	1-1932	(m.) (m.)	H H	H	Salat A	ه. دونها د دوره	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - cHx)$	H	a dinga Makaba kada H
	1-1933		Н	; : H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - cHx)$.H	H
	1-1934		Н		Et			Н	H
	1-1935		H	Ή		2	2.3	Н	H
•	1-1936					•	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Me	Н
	1-1937			H			$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Me
e de la compania del compania del compania de la compania del compania de la compania del compania de la compania de la compania de la compania de la compania del compania	1-1938	•					$C = C - (CH_2)_3 - Ph$		
	1-1939		H		Et		$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	٠	All the second of the second o
	1-1940		n H				• •	Н	F
				Me	Et	·		Н	H
	1-1941		Н				-C≡C-(CH ₂) ₃ -Ph	H	Н
	1-1942	. CU₂Me.	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Ή	Н

		1-1943	H	Н	H	Et	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - Ph)$	H	Н
		1-1944	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Cl - Ph)$	H .	Н
		1-1945	H	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4-Br-Ph)$	Н	Н
		1-1946	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - Ph)$	H	H
		1-1947	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
		1-1948	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - Ph)$	Н	Н
		1-1949	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPr - Ph)$	Н	Н
		1-1950	Н	Н	Н	Eţ	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Bu - Ph)$	Н	H
	· .	1-1951	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	H
en e	. •	1-1952	H	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - Ph)$	Н	Н
We will be the first		1-1953	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - EtO - Ph)$	Н	H
in the second of	r. Franciscopa	1-1954	Н	H	Ĥ	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrO - Ph)$	H (1)	H
	the Atomas in	1–1955	H	H H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPrO - Ph)$	H	H
	:	1-1956		Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeS - Ph)$	Н	Н
		1-1957	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeS - Ph)$	H	Н
The state of the s	(3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	1-1958	H	Ĥ	න් ය . H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - Ph)$	Н	Н
	• : • • •	1-1959	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - Ph)$	H	Н
		1-1960	·H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe - Ph)$	H	Н
		1-1961	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cPn$	Ή	Н
		1-1962	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
·		1-1963	Н	Н	Н.	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Ме	Н
e in Maria		1-1964	H.	H	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -cHx	Н.,	Me
	F 3-	1-1965	H	Н	Н	Et		-C≡C-(CH₂)₄-cHx	F	Н
		1-1966	Ħ	Н	H	Έt	••	-C≡C-(CH ₂) ₄ -cHx	Ж	F
		1-1967	H ·	Н	Ме	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
•		1-1968	Me	Н	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂),-cHx	Н	Н

1-1969	CO ₂ Me	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	H	Н
1-1970	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - cHx)$	Н	Н
1-1971	$\mathbf{H} \leftarrow 0$	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - C1 - cHx)$	Н	Н
1-1972	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Br - cHx)$	Н	Н
1-1973	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
1-1974	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
1-1975	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2) - (4 - Pr - cHx)$	H	Н
1-1976	Н	H	H	Et	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iPr - cHx)$	Н	Н
1-1977	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Bu - cHx)$	Н	H
1-1978	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH2)_4 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
1-1979	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeO - cHx)$	Н	Н
1-1980	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2) - (4 - EtO - cHx)$	H.	H
1-1981	Ĥ	Ĥ	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2) - (4 - Pr0 - cHx)$	Н	Н
1-1982	H	Ĥ	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - i Pr 0 - cHx)$	Н	Н
1-1983	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeS - cHx)$	H	Н
1-1984	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - diMe - cHx)$	Н	Н
1-1985	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 4 - diMe - cHx)$	Н	Н
1-1986	H	Н	H	Et	. 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 5 - diMe - cHx)$	Н	Н
1-1987	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	H	Н
1-1988	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Me	H
1-1989	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	Me
1-1990	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	·F	Н
1-1991	H	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	F
• •						•	Н	H
•						•	Н	Н
							Н	H
	1-1970 1-1971 1-1972 1-1973 1-1974 1-1975 1-1976 1-1977 1-1980 1-1981 1-1982 1-1983 1-1983 1-1984 1-1985 1-1986 1-1987 1-1988 1-1989 1-1990 1-1991 1-1992 1-1993	1-1970 H 1-1971 H 1-1972 H 1-1973 H 1-1974 H 1-1975 H 1-1976 H 1-1977 H 1-1979 H 1-1980 H 1-1981 H 1-1981 H 1-1982 H 1-1984 H 1-1985 H 1-1986 H 1-1987 H 1-1987 H 1-1989 H 1-1989 H 1-1991 H 1-1991 H 1-1991 H 1-1992 H	1-1970 H H 1-1971 H H 1-1972 H H 1-1973 H H 1-1974 H H 1-1975 H H 1-1976 H H 1-1977 H H 1-1979 H H 1-1980 H H 1-1981 H H 1-1981 H H 1-1982 H H 1-1983 H H 1-1984 H H 1-1985 H H 1-1986 H H 1-1987 H H 1-1987 H H 1-1989 H H 1-1989 H H 1-1990 H H 1-1991 H H 1-1991 H H 1-1992 H H	1-1970 H H H 1-1971 H H H 1-1972 H H H 1-1973 H H H 1-1974 H H H 1-1975 H H H 1-1976 H H H 1-1977 H H H 1-1979 H H H 1-1980 H H H 1-1981 H H H 1-1982 H H H 1-1983 H H H 1-1984 H H H 1-1985 H H H 1-1986 H H H 1-1987 H H H 1-1988 H H H 1-1988 H H H 1-1989 H H H 1-1989 H H H 1-1990 H H H 1-1990 H H H 1-1991 H H H 1-1991 H H H 1-1992 H Me	1-1970 H H H Et 1-1971 H H H Et 1-1972 H H H Et 1-1973 H H H Et 1-1974 H H Et 1-1975 H H H Et 1-1976 H H H Et 1-1977 H H Et 1-1978 H H Et 1-1979 H H Et 1-1980 H H H Et 1-1981 H H H Et 1-1981 H H H Et 1-1983 H H H Et 1-1983 H H H Et 1-1984 H H H Et 1-1985 H H H Et 1-1985 H H H Et 1-1986 H H H Et 1-1987 H H Et 1-1988 H H H Et 1-1989 H H Et 1-1989 H H Et 1-1990 H H Et 1-1990 H H Et 1-1990 H H Et 1-1991 H H Et	1-1970 H H H Et 2 1-1971 H H H Et 2 1-1972 H H H Et 2 1-1973 H H H Et 2 1-1974 H H H Et 2 1-1975 H H H Et 2 1-1976 H H H Et 2 1-1977 H H H Et 2 1-1978 H H H Et 2 1-1979 H H H Et 2 1-1980 H H H Et 2 1-1981 H H H Et 2 1-1982 H H H Et 2 1-1983 H H H Et 2 1-1984 H H H Et 2 1-1985 H H H Et 2 1-1986 H H H Et 2 1-1987 H H H Et 2 1-1988 H H H Et 2 1-1988 H H H Et 2 1-1989 H H H Et 2 1-1989 H H H Et 2 1-1990 H H H Et 2 1-1990 H H H Et 2 1-1991 H H H Et 2 1-1991 H H H Et 2 1-1992 H H Me Et 2 1-1993 Me H H Et 2	1-1970 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-F-cHx) 1-1971 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-F-cHx) 1-1972 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Br-cHx) 1-1973 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Me-cHx) 1-1974 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Me-cHx) 1-1975 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Pr-cHx) 1-1976 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Pr-cHx) 1-1976 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Pr-cHx) 1-1977 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-Bu-cHx) 1-1978 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1979 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1980 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-PrO-cHx) 1-1981 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-PrO-cHx) 1-1982 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1983 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1984 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1985 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1986 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (4-MeO-cHx) 1-1987 H H B Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (3, 4-diMe-cHx) 1-1988 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (3, 5-diMe-cHx) 1-1989 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (3, 6-diMe-cHx) 1-1989 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - (3, 6-diMe-cHx) 1-1989 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - Ph 1-1990 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - Ph 1-1991 H H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - Ph 1-1992 H H Me Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - Ph 1-1993 Me H H Et 2 -C = C - (CH ₂) ₄ - Ph	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$

							i		
	1-1995	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - Ph)$	Н	Н
	1-1996	Н	Н .	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - C1 - Ph)$	Н	Н
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1-1997	Н	Ĥ	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Br - Ph)$	Н	Н
	1-1998	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me - Ph)$	Н	Н
	1-1999	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
	1-2000	Н	H	Н	Et	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_{4} - (4 - Pr - Ph)$	Н	Н
1970.5	1-2001	Н	Н	н.	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iPr - Ph)$	Н	H
	1-2002	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Bu - Ph)$	H	H
	1-2003	Ĥ	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	Н
	1-2004	H	Н	∄ H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H
	1-2005	Н	Н	H H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et0 - Ph)$	Н	Н
	1-2006	Н	H	H	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-Pr0-Ph)	Н	
All the street was the street of the	1–2007	H	H	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂),-(4-iPrO-Ph)	H	H
	1-2008	Н	Н	H	Et	2	-C≡C-(CH ₂),-(3-MeS-Ph)	Н	H
	1-2009		Н	Н	Et	2		· H	Н
	1-2010	H	H	H	Et		$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - diMe - Ph)$	H	
The second section of the second	1-2011	H	, Н	Н	Et	2 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 4 - diMe - Ph)$	Н	
	1-2012	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 5 - diMe - Ph)$	Н	Н
	1-2013	Н	Н	Ή	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_s - cHx$	H	Н
			•				$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	H
	1-2015						$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	Н
	•	•				•	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	н	
	1-2017			• • • • •		1.	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	H	H
	1-2018		Н	Ме			$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	H	H
	1-2019		Н	H			$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$ $-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$		
	1-2020				•			H	H
	1-2020	-COSIME	11	H	Et	4	$-C \equiv C - (CH_2)_s - Ph$	H	H

	1-2021	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	H·
	1-2022	Н	Н	Me	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
du l	1-2023	Ме	H	H	Et	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	H `	H
	1-2024	CO ₂ Me	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
	1-2025	Н	H	Н	Et .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н	Н
	1-2026	Н	Н	Ме	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н	Н
	1-2027	Me	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н	H
	1-2028	CO ₂ Me	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н	H
	1-2029	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - CH_2O - cHx$	Н	H
	1-2030	Н	Н	Me	Et	2	-C≡C-CH ₂ 0-cHx	Н	H
- 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19 - 19	1-2031	Me	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - CH_2O - cHx$	Н	Н
general states and the state of	1-2032	CO₂Me	Н	Ή	Et	2	-С≡С-СН ₂ О-сНх	H	H
a the world of the former with a some and	1-2033	H H	H	H	Et	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	H	H
	1-2034	H	Н	Me	Et	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	Н	H
	1-2035	Ме	H	Н	Et	2	-C≡C-CH₂O-Ph	H	H
	1-2036	CO ₂ Me	H	H	Et	2	−C≡C−CH₂0−Ph	Н	Andria de la laco de l La laco de la laco de laco de la laco de laco de la laco de laco
grade and the state of the stat	1-2037	Н	Н	Н	Et -		$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cPn$	Н	H
	1-2038	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	Н
	1-2039	Н	H 🖘	H H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Me	Н
	1-2040	н .	Н	Ή	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ O-cHx	Н	Ме
							$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	F	Н
	1-2043	#	iri (j. 40) H	Me	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$ $-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	H	H
							-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-eHx		
				•			-C≡C-(CH ₂) ₂ O-cHx		
							$-C \equiv C - (CH2)20 - (4 - F - cHx)$		
·	I 2010	••	••	•		.	0-0 (ong/ 20 (+ 1 onk)	34'	A1

	1-2047	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - C1 - cHx)$	Н	Н
	1-2048	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Br - cHx)$	Н	Н
1. To 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	1-2049	Н .	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
	1-2050	H.	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
	1-2051	Н	H	H	Et	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Pr - cHx)$	Н	Н
	1-2052	Н	H	н .	Et	.2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr - c Hx)$	Н	Н
twice Visit	1-2053	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Bu - cHx)$	Н	H
	1-2054	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Н
	1-2055	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me0 - cHx)$	Н	Н
e Tarak	1-2056	H	H	H,	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et 0 - cHx)$	Н	H
	1-2057	Н	Н	Н	Et	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr0 - cHx)$	Н	Н
ter er er en de skipper skrivet en	1-2058	Н	H	H	Eţ	2	$-C \equiv C - (CH2)20 - (4 - iPrO - cHx)$	H	$old H_{A_{i}}^{(i)}$, which is a substitute of $old H_{A_{i}}^{(i)}$, where $old H_{A_{i}}^{(i)}$
o og skille for kallengerefe skæret. Til skille skolen er en skæret er skelen er en elle	1-2059		H		Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - MeS - cHx)$	H	e samen i komunikatika kata biringan. H
and the state of t	1-2060	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - MeS - cHx)$	Н	Market and the second of the s
and the second s	1-2061	Н	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (2, 4 - diMe - cHx)$	Н	H Harriston and Marian and Salar
	1-2062	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH2)20 - (3, 4 - diMe - cHx)$	Н	ne vilkay order ordayd dia 1240 aris o H
	1-2063	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 5 - diMe - cHx)$	Н	H
	1-2064	H·	Н	Ή	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Н	-H-
	1-2065	H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Ме	H
	1-2066	H	H	·H	Et	· 2 ·	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Н	Me
	1-2067	· H	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	F	Н
	1-2068	H	H	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-Ph	H.	. Paragraph of the same
	1-2069	Н					$-C \equiv C - (CH_2)_2 - OCH_2 - Ph$		Н
*	1-2070	Me	Н	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ O-Ph	Н	Н
	1-2071	CO ₂ Me	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	н
	1-2072	. н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - F - Ph)$	Н	Н

PCT/JP01/05988 WO 02/06268

147

	1-2073	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - C1 - Ph)$	Н	H
	1-2074	H.	Н	Н	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ O-(4-Br-Ph)	. н	Н
42.1	1-2075	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Me - Ph)$	Н	Н
	1-2076	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Et - Ph)$	Н	Н
	1-2077	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Pr - Ph)$	Н	Н .
	1-2078	Н	Н	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr - Ph)$	Н	Н .
	1-2079	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Bu - Ph)$, Н	H
	1-2080	H	H	Н	Et.	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	esefficience of local configuration. House of the specimens of the configuration of the conf
	1-2081	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2O - (4-MeO-Ph)$	Н	H
	1-2082	H	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - EtO - Ph)$	H	H. C. Carlotte and C.
	1-2083	н .	Н	ŧ H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - PrO - Ph)$	Н	Н
engelige of the first section was approximate an applicable of the first section of	1-2084	H	H	H	Et	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-(4-iPr0-Ph)	Н	en de verdenskiper en de
The state of the s	1-2085	H	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - MeS - Ph)$	H H	ar partition of the same section is a second of the second
and the second of the second o	1-2086	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (2, 4 - diMe - Ph)$	H	
en de la companya de La companya de la co	1-2087	Н	H	Н	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3, 4 - diMe - Ph)$	Н	The state of the s
	1-2088	H, .	H	Н	Et.	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3, 5 - diMe - Ph)$	Н	e la companya de la c
er en	1-2089	H	Н	Н	Et	2	$-CO-(CH_2)_3-cHx$	Н	H
	1-2090	H	Ή	Ме	Et	2	-CO-(CH ₂) ₃ -cHx	Н :	Н
	1-2091	Ме	Н	Н	Et	2	$-CO-(CH_2)_3-cHx$	H	H
:	1-2092	CO ₂ Me	H	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	H
	1-2093	Н	Н	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	Н
	1-2094	H	Н	Me	Et :	2	-CO-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	A. H. J. M. S. M. S. J. A.
	1-2095						-CO-(CH ₂) ₃ -Ph	• .	н
	1-2096	CO ₂ Me	Н	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₃ -Ph	H	H
	1-2097	Н					-CO-(CH ₂) ₄ -cHx		H
	1-2098	H	Н	Me	Et	2	$-CO-(CH_2)_4-cHx$, . H	H

,	1-2099	Ме	Н	H	Et	2	$-CO-(CH_2)_4$ -cHx	H	.Н
	1-2100	CO ₂ Me	Н	Н	Et	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	H.	Н
14 mg (14 mg)	1-2101	Н	H	Н	Et	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
	1-2102	Н	Н	Ме	Et	2 ·	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	H
	1-2103	Me	Н	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	. н	Н
	1-2104	CO ₂ Me	Н	Н	Et	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
الله الله الله الله الله الله الله الله	1-2105	Н	H	H	Et	2	-CO- (CH ₂) _s -сНх	H	H
	1-2106	Н					-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	H,	Harris Communication
	1-2107	•		Н		•	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	H
	1-2108	CO ₂ Me	H ,	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
· ·	1-2109	Н	Н	Н	Et	2	-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	H	Н
	1-2110	H 18 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	H	Me	Et	2	-CO-(CH2)5-Ph	H.	H
And the second second	1-2111	Ме	H	H	Et	2	-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	Y see H	H
					N. J		-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Harry Carlotte
	1-2113		Н	H			-CH(OH)-(CH ₂),-cHx	Н	H was a superior and the superior and th
The world of the factor	1-2114	.H	H H	.Me		S	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -cHx	H	H
To the state of th	1-2115			ч , Н	Et	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -cHx	H	H
·	1-2116	CO₂Me	Н	H	Et	2	$-CH(OH)-(CH_2)_4-cHx$	Н	H
	1-2117	Н	Н	Н	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
	1-2118	H	Н	Me	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	Н	H
	1-2119	Me	Ħ	Н	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	· н	Н
a la sala a la la companione de la compa	1-2120	CO₂Me	Н	Н	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	H.,	. H ore was a second
	1-2121	H	H	Н	Et	2	-CH(OH)-(CH ₂)' ₅ -cHx	Н	H
	1-2122	Н	Н	Me	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
	1-2123	:Me	Н	H	Et	2		.H	Н
	1-2124	CO ₂ Me	Η.	Н	Eţ	2 .	$-CH(OH)-(CH_2)_5-cHx$	·H	Н

•									
	1-2125	Н	Н	H	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₅ -Ph	H	Н
	1-2126	Н	Н	Me	Et	2	$-CH(OH)-(CH_2)_5-Ph$	H	Н
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1-2127	Йe	Ĥ	Н	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₅ -Ph	H	H
	1-2128	CO ₂ Me	H	Н	Et	2	-CH (OH) - (CH ₂) 5-Ph	Н	Н
	1-2129	H	Н	,H	Et .	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	H	Н
	1-2130	Н	Н	Ме	Et	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	H .
	1-2131	Me	Н	H	Et	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	H
	1-2132	CO₂Me	H	H		1.	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	.H	H
25	1-2133	Н	Н	H	Et		-4-[cHx-(CH2)20]Ph	H	Ĥ
•	1-2134	Н	Н	Н	Et	2	-4-[cHx-(CH ₂) ₃ 0]Ph	H .	Н
	 1–2135		H	Н	Et		-(4-BzO-Ph)	Н	Н
e with the second of the secon	1-2136	Н	Н	Ме	Et	2	-(4-Bz0-Ph)	Н	Harris and the second of the s
	1-2137	Me	₩ H	H	Et	2	– (4–BzÖ–Ph)	H	Harris Company of the State of
 Mills of the control of	1-2138		5000	H	Et	2	- (4-BzO-Ph) - (4-BzO-Ph)	Н	. H
Majorina di Santa da Santa da Majorina da Santa da	1-2139	in si t i.	Ĥ		Et	2	-(4-Bz0-2-F-Ph)	Н	H
		. <u> </u>			Et		-(4-Bz0-3-F-Ph)		eri talsi derika dirike dele. H
15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1-2141	on English	. Н	H	Et			н	 Н
	1-2142		 H	H	·	. 2	-(4-Bz0-2-C1-Ph)	H	н
	1-2143		H	н .		2	-(4-Bz0-3-C1-Ph)	Н	H
	1-2144		Н	H		2	-(4-Bz0-2, 3-diCl-Ph)	Н	
	1-2145		Н	H		2	-(4-Bz0-2-Me-Ph)	H	H
		47 1400	*	H		2			
	1-2147	•	Н	·H		2	•	H 	Н
	1-2148		H .		Et			H	Н
	1-2149		H	Н	Et	2	-4-[Ph-(CH ₂) ₃ 0]-Ph	H	Н
•	1-2150	H	H	H	\Pr	2	$-(CH_2)_5$ - CH_X	Η	H

1-	-2151	Н	Н	Н	Pr	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Н
1-	-2152	Н	Н	Н	Pr	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	H	Н
1-	-2153	H	H	Н	Pr	2	-(CH ₂) ₆ Ph	Н	Н
. 1-	-2154	Н	Н	Н	Pr	2	$-C \equiv C - CH_2 - cHx$	Н	Н
1-	-2155	Н	Н	Н	Pr	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
1-	-2156	Н	Н	Н	Pr	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Н
1-	-2157	H	H sies	Н	Pr	2	_C≡C-(CH ₂),cHx	H	Н
1-	-2158	H	H	Ĥ	Pr	2	-C≡C-(CH₂) ₄-Ph	H	H
1-	-2159	Ме	Н	H H	Pr	2	-C≡C-CH ₂ 0-Ph	Н	H
1-	-2160	CO ₂ Me	Н		Pr	2	-C≡C-CH ₂ 0-Ph	Н	Н
ा १५% के राज्य के जा करते हैं है । 	-2161	Н	H f	्र H	Pr	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ O-cHx	Н	H
with the second of the second of the second	-2162	H	H	H	Pr	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-Ph	H	. Program is a series of the s
A STATE OF S	-2163	H	H	H	Pr		–4– (cHx–CH₂0) Ph	H	en en still announce en en en en sin sin sin sin sin sin sin sin sin si
T-	-2164	Н	H	H	N 7		-(4-BzO-Ph)	Н	H
The state of the s	-2165		Н	Ĥ	Me	3	$-(CH_2)_5$ -cHx	Ĥ	H
The was a second of the second	-2166		H	H	Ме	3	−(CH ₂) _e −cHx	Н	and the state of t
in the second of the second		Ĥ	H	Н	Ме	3 3	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	H	. T H
	-2168		H	Н	Ме	3	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	H	н
•	-2169		Н	Н		3	-C≡C-(CH ₂) ₃ -cHx		
	-2170	,					$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	 Н	Н
	-2171		Н	H	Ме	3	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
	-2172					3			
		100	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	H	Me	3 3	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	H
	-2173		H	H	Ме		-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	H	Н
	-2174		H .	H	Ме	3	-CO-(CH ₂) ₆ -Ph	H	H
	-2175		Н	H	Ме	3	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
1-	-2176	H	Н	Η	Ме	3	-CH(OH) - (CH2)5 - cHx	H	Н

1-	-2177	Н	Н	Н	Me	3	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	Н
1-	-2178	Н	Н	Н	Ме	3	-(4-Bz0-Ph)	H	Н
1-	-2179	H :	Н	H	Ме	3	$-C \equiv C - CH_2O - cPn$: H	H**
`1-	-2180	Н	Н	Н	Ме	3	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cPn$	Н	Н
1-	-2181	Н	·H	Н	Me	3	-C≡C-CH ₂ O-cHx	Н	Н
1-	-2182	H	Н	Н	Me	3	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cHx$	Н	Н
1-	-2183	Н	Н	H	Ме	3	-C≡C-CH ₂ O-Ph	Н	H
1-	2184	H	Н	H	Me	3	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Н	H
	-2185	Н	Н	Н	Мe	2	$-(CH_2)_4-(3-F-Ph)$	Н	H
1-	2186	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diF-Ph)	Н	H
1-	2187	H	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -(3, 5-diF-Ph)	Н	Н
The state of the second st	2188	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂),-(3-C1-Ph)	H	is legistro de estado estado en la estada en La estada en la esta
All the second of the second o	2189	H	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₄ -(4-C1-Ph)		H
1-	2190	Н	Ĥ	Ĥ	Мe	2	-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diCl-Ph)	H	H
1	2191	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(3, 5-diCl-Ph)	Н	H
	2192	H	H	H-	Ме	2	-(CH2)4-(3-Me-Ph)	H	or kulfi stediška objeci. H
1-	2193	H	H A	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diMe-Ph)	Н	H
1-	2194	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4-(3,5-diMe-Ph)$	Н	Н
1-	2195	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -(3-CF ₃ -Ph)	Н	Н
1-	2196	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_4$ -(3, 4-diCF ₃ -Ph)	Н	Н
1	2197	Н	H	Н	Ме		e.	·H	Н
1=	2198	H	Н	Н	Ме	·. ·2	$-(CH_2)_4-(3-MeO-Ph)$		H (*) 121 * (122 11) * (1) 1
	2199		H	Н	Ме		-(CH ₂) ₄ -(3,4-diMeO-Ph)		H
1-:	2200	Н	Н	Н	Ме			Н	•
1-:	2201	Н	Н	Н	Me		-(CH ₂) ₄ -(3, 4, 5-triMeO-Ph)		·H
.,1-	2202	Н	Н	Н	Ме		-(CH ₂) ₄ -(3-Ac-Ph)		Н

	1-2203	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)4-(4-Ac-Ph)	Н	Н
	1-2204	H	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3, 4-diF-Ph)$	Н	Н .
*	1-2205	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3,5-diF-Ph)$	H	. н
	1-2206	H	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3-C1-Ph)$	Н	Н
	1-2207	Н	Н	Н	Me	2 ·	$-(CH_2)_5-(3, 4-diCl-Ph)$	Н	Н
•	1-2208	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3, 5-diCl-Ph)	Н	Н
en e	1-2209	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3, 4-diCF3-Ph)	H	$\mathbf{H}_{\mathbf{H}_{\mathbf{A}}}$
John Start S	1-2210	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3,5-diCF_3-Ph)$	H	H
	1-2211	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3,4-diMeO-Ph)$	H	Н
	1-2212	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3,5-diMeO-Ph)$	Н	Н
	1-2213	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3, 4, 5-triMeO-Ph)	Н	Н
a talah yang salampa dalah san Salah dalah mengani dalah salah san	1-2214	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3-Ac-Ph)	H	y nya kapili na makamban nyaéta sa H majan kapin na kapin dan manahasi
and the second second second	1-2215	H	H	H	Мe	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Ac-Ph)	H	Carrier and American States
and the second of the second o	1-2216	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3-F-Ph)	H	
	1-2217	H	H	Н	Мe	2	$-(CH_2)_3-0-(3,4-diF-Ph)$	Н	Ĥ
	1-2218	Н	Н	H	Мe	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3,5-diF-Ph)	Н	AM CONTROL AND THE CANADA CONTROL AND
e we grand the second of the s	1-2219	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(3-Me-Ph)$	·H	Н
	1-2220	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(3, 4-diMe-Ph)$	H	Н
	1-2221	H	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(3,5-diMe-Ph)$	Н	Н
	1-2222	:H' -	Н	Н	Ме	.2	$-(CH_2)_3-0-(3-CF_3-Ph)$	H	Н
	1-2223	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3, 4-diCF ₃ -Ph)	H	Н
	1-2224	H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3,5-diCF ₃ -Ph)	Н	H. J. Marketter
	1-2225							Н	
	1-2226	н	Н	H	Me	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3, 4-diMeO-Ph)	н	Н
	1-2227	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3,5-diMeO-Ph)	Н	Н
	1-2228	H	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₃ -0-(3, 4, 5-triMeO-Ph)	Н	Н

WO 02/06268 PCT/JP01/05988

	1-2229	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_3-0-(3-Ac-Ph)^{-1}$	Н	Н
	1-2230	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_3-0-(4-Ac-Ph)$	H	Н
	1-2231	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3, 4-diF-Ph)	H 12.	н
	1-2232	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3,5-diF-Ph)	Н	Н
	1-2233	Н	Н .	Н	Me	2	-(CH2)4-0-(3, 4-diMeO-Ph)	Н	н .
	1-2234	H	Н	H	. Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3,5-diMeO-Ph)	Н	Н
	1-2235	H	H	Н	Me	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3, 4, 5-triMeO-Ph)	. Н.	\mathbf{H}_{c_1}
The second secon	1-2236	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -0-(3-Ac-Ph)	Н.	Harris de la companya del companya del companya de la companya de
*	1-2237	 Н	Н	H	Me	2 .	-(CH ₂) ₄ -0-(4-Ac-Ph)	H.	H
	1-2238	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3 - F - Ph)$	Н	H
	1-2239	Н		H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4 - diF - Ph)$	Н	Н
The state of the s	1-2240	H	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 5 - diF - Ph)$	H.	za eliza este al este de segue el
A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	1-2241	H	H	H	Me	2	CONTROL OF THE CONTRO	H	H
	1-2242	Н	H	H		2	The second secon	Н	H
	1-2243	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4 - diCl - Ph)$	Н	
	1-2244	H	H	н <u>Н</u>	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -(3, 5-diCl-Ph)	H	The first that the second of t
gradient de la company de la c	1-2245	. — 👯 Н	Н	H	Me	2		·. H	tijn sektor e governoord. O H
	1-2246		Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4 - diMe - Ph)$	Н	Н
•	1-2247	Н	Н	Н	Me	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 5 - diMe - Ph)$	Н	Н .
	1-2248	Н	Н	H				Н	Н
							$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4 - diCF_3 - Ph)$		
<u></u>							$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 5 - diCF_3 - Ph)$		
						•	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3-MeO-Ph)$:
	1-2252		•				$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4 - diMeO - Ph)$	•	
	1-2253		Н				,		
		•	<u>-</u> '			•	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 5 - diMeO - Ph)$	•	
	1-2254	n ·	. п	п	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3, 4, 5 - triMeO - F)$	'n) H	н

	1-2255	Н	H.	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (3 - Ac - Ph)$	Н	Н
	1-2256	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - (4 - Ac - Ph)$	Н	Н
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1-2257	Н	Н	. Н .	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diF - Ph)$	\mathbf{H}_{\cdot}	Н
i	1-2258	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diF - Ph)$	H	Н
	1-2259	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - C1 - Ph)$	Н	Н
·	1-2260	Н	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(3, 4-diC1-Ph)	Н	Н
	1-2261	H	н .	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diCl - Ph)$	H	Н
	1-2262	Н	Н	H	Ме	2 ~	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(3, 4-diCF ₃ -Ph)	Н	H (1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.
	1-2263	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH2)3 - (3, 5 - diCF3 - Ph)$	Н	H
	1-2264	Н .	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMeO - Ph)$	H	Н
The state of the s	1-2265	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMeO - Ph)$	Н	Н
e and the second period of the entire continued	1-2266	67 H 31,775	· · · H	₩ H	Me .	2**	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(3,4,5-triMeO-Ph) H ^{r.}	Handa and the same of the same
and the second of the second o	Property of	Association	2 1 " " * " * T * 2			5. 4. 5. 5.	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - Ac - Ph)$	H	e villa despetation est de la proposition della proposition della proposition della proposition della proposition della proposition della
	1-2268	्रेट र स्टेंड	in punchas III H	\$ 7 t in 2 to 2		1 July 19	"-C≡C-(CH ₂) ₃ -(4-Ac-Ph)	Н	ing the Arthur School and the Arthur School
	1-2269	Н	т ату (2) Материя	A			-C≡C-CH ₂ -0-(3-F-Ph)	Н	er H
Control and Spirite	1-2270						-C≡C-CH ₂ -0-(3, 4-diF-Ph)	Н	History of the state of the sta
	1-2271		Н	H	Ме	٠.	-C≡C-CH ₂ -O-(3, 5-diF-Ph)	Н	H
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1-2272	Н	H	Н	Me	2	-C≡C-CH ₂ -O-(3-C1-Ph)	H	Н
	1-2273	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -O-(4-C1-Ph)	. н.	H :
·	1-2274	H	Н	•		•	-C≡C-CH ₂ -0-(3, 4-diCl-Ph)	H	Н
	1-2275		Н		Ме			н	н
	1-2276		Н	Н			-C≡C-CH ₂ -O-(3-Me-Ph)	н	Н
	1-2277			ares.			-C≡C-CH ₂ -O-(2, 4-diMe-Ph)	• • •	
	1-2278		H	Н		2		Ĥ	Н
	1-2279	٠	H	H	Ме	2		H	Н
	1-2280		Н	н	ме	2 2		Н	Н
	* 5500	141	11	11	we.	4	$-C \equiv C - CH_2 - O - (3 - CF_3 - Ph)$	H	Н

WO 02/06268 PCT/JP01/05988

155

	1-2281	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (3, 4 - diCF_3 - Ph)$	Н	Н
	1-2282	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (3, 5 - diCF_3 - Ph)$	Н	Н
.ar	1-2283	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (3 - MeO - Ph)$	Н	Н
	1-2284	н .	H	Н	Me	2	-C≡C-CH ₂ -O-(3,4-diMeO-Ph)	Н	H.
	1-2285	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (3, 5 - diMeO - Ph)$	Н	Н
	1-2286	Ή	Н	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -O-(3, 4, 5-triMeO-Ph)	Н	н
en de la companya de	1-2287	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (3 - Ac - Ph)$	Н	H
	1-2288	Н	Ĥ	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ -0-(4-Ac-Ph)	Н	
	1-2289	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - CH_2 - 0 - (4 - CO_2H - Ph)$	Н	H (*)
	1-2290	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 4 - diF - Ph)$	Н	H _{industrial} States
	1-2291	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 5 - diF - Ph)$	Н	Н
in terrorial in the protect file the late of the company of the control of the first before which the	1-2292	H	H	H H	Мe	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ -0-(3-C1-Ph)	Н	n da i na sani na satan kasa ng mga balan andan in na Magazing na magalan na magalan na mga mga mga mga mga mga mga mga mga mg
- Marianto antigra de Mariante de la compansión de la compansión de la compansión de la compansión de la compa La compansión de la compa	1-2293	Н	H	H H	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 4 - diCl - Ph)$	H	top skala til prodig flattenski til palet. Ri 🖁 og og skriver påre koloniske til skal
ang kabupatèn kabupatèn Kabupatèn Kabupatèn Kabupatèn	1-2294	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 5 - diCl - Ph)$	Н	
	1-2295	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 4 - diCF_3 - Ph)$	H	Н
	1-2296	Н	H H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 5 - diCF_3 - Ph)$	Н.	H
	1-2297	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 4 - diMeO - Ph)$	Н	H
	1-2298	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 5 - diMeO - Ph)$	Н	H
	1-2299	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3, 4, 5 - triMeO - 6)$	Ph)	н н
	1-2300	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (3 - Ac - Ph)$	Н	H
	1-2301	H	Н	·H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0 - (4 - Ac - Ph)$	Н	H
	1-2302	Н	Н	Н	Ме	2	-co-(cH ₂) ₃ -(3-F-Ph)	. H %	A particular and the particular
							-CO-(CH ₂) ₃ -(4-F-Ph)	Н	H
•	1-2304	Н	·H	Н	Ме	2 .	$-CO-(CH_2)_3-(3,4-diF-Ph)$	Ή	H
	1-2305	H	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3, 5-diF-Ph)	Н	Н
	1-2306	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3-C1-Ph)	H	H

	1-2307	Н	Н	H	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-(4-C1-Ph)^{-1}$	Н	Н
	1-2308	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-(3, 4-diCl-Ph)$	Н	Н
***	1-2309	H	H	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3, 5-diCl-Ph)	H	Н
	1-2310	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_3-(3-Me-Ph)$	Ĥ	Н
	1-2311	Н	Н	Н .	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(4-Me-Ph)	Н	Н
	1-2312	H	Н	Н -	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-(3, 4-diMe-Ph)$	Н	Н
	1-2313	Н	 H	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-(3, 5-diMe-Ph)$	Н	Н
	1-2314	Н	H	Н	Ме	2	$-CO-(CH_2)_3-(3-Et-Ph)$	Н	H
	1-2315	Н	H.	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(4-Et-Ph)	Н	H
	1-2316	Н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3-CF ₃ -Ph)	Н	Н
	1-2317	H H	Н	H	Me	•	-CO-(CH ₂) ₃ -(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н
en wege was energy of the	1-2318	H S	H ² '	¥ H	Ме	2 `	The state of the s	H	gus Tanggeron disas an ing Kabupatèn H
The first term of the Control of the	1-2319	Ĥ	H	Ĥ	Me	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3, 5-diCF ₃ -Ph)	Н	er i i er 🗫 er i i i i er i er i er i er i er i er
The control of the co	1-2320	Margin Ar Linearing	H	H	racio reĝiji st	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(3-MeO-Ph)	Н	(Marie 1994) de la companya del companya de la companya del companya de la compan
	1-2321	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₃ -(4-MeO-Ph)	Н	ing the state of t
	1-2322	egin, i ja	H.	H	. F [1	- 2	-C0-(CH2)3-(3, 4-diMeO-Ph)	H	Tidak Tidak Terreta Tidak
The state of the s	1-2323		Н		Me	2	-CO-(CH2)3-(3, 5-diMeO-Ph)	Н	H
	1-2324		н	·H	Ме	2		н Н	Н
	1-2325		н .		Me.	2 · 2 ·	-CO-(CH ₂) ₃ -(3, 4, 5-triMeO-Ph)		
		: -					-CO-(CH ₂) ₃ -(4-MeS-Ph)	H	Н
							-CO-(CH ₂) ₃ -(3-Ac-Ph)	H 	
	1-2327	•	Н	Н		2		Н	H
	1-2328		H		Ме	2		H	H
	1-2329		Н		Ме	2		Н	Н
	1-2330		Н	H	Ме	Ž	•	H	Н
	1-2331		Н	H	Ме	2		H .	Н
	1-2332	H	. H	Н	Me	2	-C0-(CH ₂) ₄ -(4-C1-Ph)	Н	Н

	1-2333	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂),-(3, 4-diCl-Ph)	Н	Н
	1-2334	Н	H	Н	Ме	2.	-CO-(CH ₂) ₄ -(3,5-diCl-Ph)	H	H .
N6-	1-2335	Н	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3-Me-Ph)	Н	Н
	1-2336	H	H	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_4-(3,4-diMe-Ph)$	Н	Н
	1-2337	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3,5-diMe-Ph)	Н	Н .
	1-2338	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3-CF ₃ -Ph)	Н	Н
	1-2339	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diCF ₃ -Ph)	Н	H
	1-2340	Н	H	H	Me	2	_CO-(CH ₂) ₄ -(3, 5-diCF ₃ -Ph)	H	H
	1-2341	н	Н	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3-MeO-Ph)	Н	Н
en e	1-2342	H.	Н.	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diMeO-Ph)	Н	H
	1-2343	Н	H	H	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3, 5-diMeO-Ph)	٠Н	Н
Marija ja kalundarja Arabina dang Marija dan kampungan berada dan	1-2344	H	Ĥ	Ĥ	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(3, 4, 5-triMeO-Ph)	Н	
ja ja saraja kalendra kan saraja Kanan di Saraja kan saraja kan saraja	1-2345	H	Ĥ	H	Me	2	-C0-(CH ₂) ₄ -(3-Ac-Ph)	H	
The state of the s	1-2346	Н	H	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -(4-Ac-Ph)	Н	H
	1-2347	Н	Н	Н	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3-F-Ph)$	Н	H
	1-2348	Н	Н	<u>Н</u>	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (4-F-Ph)$	H	and The Conference Conservation H
	1-2349	H	Н	Н	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(3, 4-diF-Ph)	Н	H
	1-2350	-H	Н	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3, 5 - diF - Ph)$	Н	Н
	1-2351	Ή	Н	Н	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3-C1-Ph)$	Н	Н
	1-2352	Н	H	H	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (4-C1-Ph)$	Н	Н
	1-2353	H _.	Ħ	H	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3, 4-diC1-Ph)$	Н	Н
e e de la companya del companya de la companya del companya de la companya del companya de la companya de la companya de la companya de la companya del companya de la comp	1-2354	H	Н	Н	Me	2 .	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(3, 5-diC1-Ph)	H.	in <mark>h</mark> in ing pangangan
A1038	1-2355	٠		٠	• • •		$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3-Me-Ph)$	Н	
	1-2356	Н	Н	H	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(4-Me-Ph)	H	Н
	1-2357	Н	H	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(3, 4-diMe-Ph)	Н	Н
	1-2358	Н	Н	Н	:Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe - Ph)$	H	Н

WO 02/06268 PCT/JP01/05988

		•							
	1-2359	H	Н	Н	Me	2	$-CH(OH)-(CH_2)_3-(3-Et-Ph)$	H	Н
	1-2360	Н	Н	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (4-Et-Ph)$	Н	Н
	1-2361	H	. Н	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3-CF_3-Ph)$	H .	Н
•	1-2362	Н	Н	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (4-CF_3-Ph)$	Н	Н
	1-2363	Н	Н	Н	Ме	2	-CH (OH) - $(CH_2)_3$ - $(3, 4$ - $diCF_3$ - $Ph)$	Н	Н
	1-2364	Н	Н	Н	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3, 5 - diCF_3 - Ph)$	Н	H .
en e	1-2365	H .	Н	H	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₃ - (3-MeO-Ph)	H.	H
	1-2366	.H	Н	. Н	_Ме	. 2	CH (ОН) - (CH ₂) _з - (4-MeO-Ph)	 	H
	1-2367	H	Н	₹ H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(3, 4-diMeO-Ph)	Н	Н
	1-2368	H	H	H	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_3 - (3, 5-diMeO-Ph)$	Н.	H ₁
	1-2369		Н	Н	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(3, 4, 5-triMeO-H	Ph) H	H
and the second s	1-2370	Н	Н	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(4-MeS-Ph)	Н	garante en la companya de la Capita de la Cap Capita de la Capita
	1-2371	Ĥ.	H	H	Me	2		Н	ga an la stront a grent a como de colabora. La como como como como como como como com
	1-2372	H	Ĥ				-CH(OH)-(CH ₂) ₃ -(4-Ac-Ph)	Н	H
	1-2373	Н	H	Н			-CH (OH) - (CH ₂) (- (3-F-Ph)	Н	H
(中) (1975年) (1976年) (1977年)	1-2374	H	H H	H	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diF-Ph)	H	(1995年) (東京の東京の H
en e	1-2375	H	Н	H	Ме	1.7	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3,5-diF-Ph)	Н	H
•	1-2376	Н	Н	Н	Ме	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ - (3-C1-Ph)	Н	Н
	1-2377	Н	Н	H.	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-C1-Ph)	н	Н
•	1-2378	H	Н	Н	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diC1-Ph)	Н	H
	1-2379	·H					• • •	Н	Н
	1-2380	Н					-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3-Me-Ph)	Н	ing terminal distriction of the second of t
	1-2381	•• • • • •					-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diMe-Ph)		H
	1-2382	H	Н	_			-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3,5-diMe-Ph)		Н
	1-2383	ΞH					-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3-CF ₃ -Ph)		Н
	1-2384		·H	. Н		· 2			Н

WO 02/06268

	1-2385	Н	Н	Н	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3,5-diCF ₃ -Ph)	Н	Н
	1-2386	Н	Н	H	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3-MeO-Ph)	Н	. Н
ti i guar e e e e	1-2387	H	Н	Н .	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3, 4-diMeO-Ph)	H	Н
	1-2388	Н	Н	Н	Me	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3,5-diMeO-Ph)	Н	Н
	1-2389	Н	Н -	Н	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3, 4, 5-triMeO-	Ph) I	н н
·	1-2390	Н	Н	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(3-Ac-Ph)	Н	Н.
The second secon	1-2391	Н	Н	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -(4-Ac-Ph)	Н	Н
The second secon	1-2392	H	Н	H	Ме	2	-0-(CH ₂) ₃ -cHx	H	H,
	1-2393	Н	Н	Н	Me .	2.	-0-(CH ₂) ₄ -cHx	H	Ĥ
en e	1-2394	Н .	H	Н	Ме	2	-0-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
	1-2395	н .	Н	Н	Ме	2	-0-(CH ₂) ₃ -Ph	H	Н
and the second s	1-2396	H 177	Ĥ	Н	Ме	2	-0-(CH) ₄ -Ph	H	Н
ાં કે માત્ર કિંતાના માત્ર માત્ર કે માત્ર કે છે. - કે માત્ર કે માત્ર માત્ર માત્ર કે માત્ર	1-2397	H	H 4	H	Ме	2	-0-(CH ₂) ₅ -Ph	H H	H

Compd.	R ¹	R²	R ³	R ⁴	n	-X-Y-R ⁵	R ⁶	R ⁷	
2-1	Н	Н	Н	Ме	1	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н	•
2-2		H	H			$-(CH_2)_6-cHx$	Н	Н	٠
2-3	Ħ	Ħ	H	Мe	1	-C≡C-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Н	
2-4	Ή.	H	Н	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$. Ĥ	Н.	
2-5	H	H-	H	Ме	1	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	Н	

•	2-6	Н	H	H	Me	1	-(4-BzO-Ph)	Н	Н
	2-7	Н	H	H	Ме	· 1	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - cHx$	H	Н
	2-8	Н	H	Н	Ме	1	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Н	Н
	2-9	·H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	H ·
•	2-10	Н	Н	Н	Ме	2.	-(CH2)3-Ph	Н	н .
	2-11	Н .	Н	Н	Me	.2	-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
ên yaş t	2-12	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	er of the Marketter of
	2-13	Н	Н.	Н.	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cPn	Н	. H . — 1
	2-14	Н			•		÷ą.	Н	Н
en e	2-15	H.	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Ме	H
	2-16	H	4.7	H	Ме	2	$-(CH_2)_6$ -cHx	H,	
and the second of the second o	2-17	H	H	H.	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	F .	en de en
 หั้งโดย (หลังสาราชาวิทย์) (หลังสิทธิ์) เปลี่ยว (พระการาชาวิทย์) (หลังสิทธิ์) 	2-18	H	H	H	Мe	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	H	gan abgalifi etikalik onakisi. Pomak asali asalam muk
		H	H	Me	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Harris Company
	2-20	Ме	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
	2-21	CO₂Me	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	H	The state of the substitute of the state of
	2-22	H	H	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-F-cHx)$	Н	$\frac{\partial \mathcal{L}}{\partial \mathbf{H}} = \frac{\partial \mathcal{L}}{\partial \mathbf{H}} + \partial $
	2-23	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-C1-cHx)$	H	Н
• •	2-24	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-Br-cHx)	Н	Н
	2-25	Ή -	H	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-Me-cHx)	Н	Н
	2-26	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-Et-cHx)$	Н	Н
	2-27	$\mathbf{H}_{\mathrm{local}}^{\mathrm{local}}$	Н	Н	Ме	. , 2		. H	
	2-28	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	Н	Н	Me	2		Н	H
	2-29	Н	Н	н	Ме		$-(CH_2)_5-(4-CF_3-cHx)$	H	Н
	2-30	. Н	Н	Н		2	•	Н	Н
•	2-31	H.	Н	Н	Ме	2		:Н	Н

	2-32	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-PrO-cHx)$	H	Н
	2-33	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-iPrO-cHx)	Н	Н
e and the	2-34	Н	H	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(3-MeS-cHx)$	Н	Н
·	2-35	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-MeS-cHx)$	Н.	Н
	2-36	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(2, 4-diMe-cHx)$	Н	Н
	2-37	Н	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₅ -(3, 4-diMe-cHx)	Н	Н
	2-38	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(3,5-diMe-cHx)$	Н	H
	2-39	H	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	H
	2-40	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ Ph	Ме	H
.	2-41	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂)₅-Ph	Н	Me
	2-42	Н	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	F	H
a sugar maka maka maka at mengalah salah sebagai sebagai sebagai sebagai sebagai sebagai sebagai sebagai sebag Maka sebagai s	2-43	History	Н	H	"Me	2	-(CH ₂) _s -Ph	Ĥ	to Proceedings to the sale of the company of the co
Regions of the profit of the	2-44	H	H	Ме	Me	2	–(CH ₂)₅–Ph	Н	H
	2-45	Ме	H	Н	Me	2	–(CH₂)₅–Ph	Н	H
	2-46	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	H
	2-47	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(4-F-Ph)	Н	ininger of a System of a street o H
	2-48	H	H	H	Me	2	-(CH ₂) ₅ -(4-C1-Ph)	Н	H
	2-49	H .	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Br-Ph)$	H	H ·
	2-50	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-Me-Ph)$	Н	H
•	2-51	·H	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-Et-Ph)$	Н	Н
	2-52	H .	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-Pr-Ph)$.Н	H
	2-53	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-iPr-Ph)$	Н	Н
	2-54	Н	Н	Н	+		$-(CH_2)_{\delta}-(4-Bu-Ph)$	Н	Н
	2-55	H	Н	H		2		H	Н
	2-56	Н	H.	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(4-MeO-Ph)$	Н	Н
	2-57	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(4-Et0-Ph)	.'H'	Н.

							•		1
	2-58	Н	Н	H	Me	2	$-(CH_2)_5-(4-PrO-Ph)$	H	Н
•	2-59	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(4-iPrO-Ph)	H.	Н
	2-60	H · ·	Н	Н	Ме	2	-(CH2)5-(3-MeS-Ph)	H	Н
	2-61	Н	Н	H	Ме	2	-(CH2)5-(4-MeS-Ph)	Н	Н
	2-62	Н	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_5-(2, 4-diMe-Ph)$	Н	Н
·	2-63	Н	Н	Н	Me	2	-(CH ₂) ₅ -(3, 4-diMe-Ph)	H	H
en e	2-64	Н	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₅ -(3, 5-diMe-Ph)	H.	H The State of the
	2-65	Н	H	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cPn	Н.	
	2-66	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Н
en e	2–67	Н	Н	•	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Me	H Constant
	2-68	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Me
 Standburgs krausers om genomereting min til dør det seretaret genom en er en fill forfattergen tydette. 	2-69	H	H	H	Ме	2	(CH ₂) ₆ _cHx	F	where the property of the pro
	2-70	H	H.	Н	Me	2	(CH ₂) ₆ -cHx	H	o de la composição de la c La composição de la compo
	2-71	H	Н	Ме	Me	2	_(CH ₂) ₆ -cHx	Н	
The second secon	2-72	Me	Н	Н	Ме		and the same	н.	、Thus a Magagin throught in it is Minis Augusti Andalog in is ・ 甘
	2-73	CO₂Me		H		2		:	
	2 10 kana awasa	CO2ME		п 7 г.	. Me	Z .	-(CH ₂) ₆ -cHx	.Н	n The state of the
•	2-74	H .	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-F-cHx)	Н	Н
	2-75	H	H	H	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-C1-cHx)$	H	H
: :	2-76	Н	H	H	Ме	2	-(CH2)6-(4-Br-cHx)	H	Н
	2-77	H.	H	Ή	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-Me-cHx)$	Н	Н
	2-78	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Et-cHx)	Н	Н
	2-79	. H	Ĥ	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-Pr-cHx)$	Н	H
	2-80	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-iPr-cHx)$	Н	
- Contraction	2-81	Н	·H	H	Me	Ž	-(CH ₂) ₆ -(4-Bu-cHx)	Н	H
	2-82	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6 - (4-CF_3-cHx)$	H	Н
	2-83	Н	Н	H	Ме	2	$-(CH_2)_6 - (4-MeO-cHx)$	H	Н

WO 02/06268

163

PCT/JP01/05988

	2-84	Н	H	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-Et0-cHx)	Н	Н .
	2-85	Н	Н	Н	Me .	2	$-(CH_2)_6 - (4-Pr0-cHx)$	Н	Н
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2-86	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-iPr0-cHx)$	Н	Н
	2-87	Н	Н	Н	Ме	2	(CH ₂) ₆ -(3-MeS-cHx)	Н	Н
	2-88	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)6-(4-MeS-cHx)	Н	H :
	2-89	H	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6-(2, 4-diMe-cHx)$	Ή	Н
(2)	2-90	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3, 4-diMe-cHx)$	Н	H
	2-91	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3, 5-diMe-cHx)$. Н	H
	2-92	н	Н	H	Ме		-(CH ₂) ₆ -Ph	:	H
	2-93	Н	Н	H	Ме		-(CH ₂) ₆ -Ph	Ме	Н
	2–94	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6-Ph$	Н	Me
	2-95	H	H	H	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	F	
	2-96	H	H	Н	Me	2	– (CH ₂) _e –Ph	Н	• F
 Section 1982 and 1982 and	2-97	Н	Sec. 2 14	Ме	Ме	2	– (СН ₂) ₆ –Ph – (СН ₂) ₆ –Ph		H
	2–98	Ме	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	H
	2–99	•	Н		Ме	· <u>i</u> .	-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	राष्ट्रात्त । विक्रीक्ष्मानगांकः (ति
	2-100		H	Н	Me	2	$-(CH_2)_6 - (4-F-Ph)$	H	e Maria de la compositione de la Maria de la Compositione de la Compos
· sas	2-101	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₆ -(4-C1-Ph)	Н	Н
	2-102	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) _e -(4-Br-Ph)	Н	Н
	2-103	Н	Н	H			(Н	
	2-104	н	Н	Н	Me.			Н	H
<u>.</u>	2-105						·		
			H		•		-(CH2)6-(4-Pr-Ph)	Н	
	2-106		H	H	Ме		-(CH ₂) ₆ -(4-iPr-Ph)	Н	H
: •:	2-107	H	H		Me	2		Н	Н.
•	2-108	H 	.Н	H	Ме		-(CH ₂) ₆ -(4-CF ₃ -Ph)	•	Н
•	2-109	H	H	H	Мe	2	$-(CH_2)_6 - (4-Me0-Ph)$	H	Н

	2-110	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH2)6-(4-EtO-Ph)	H	Н
	2-111	Н	Н	Н	Me	2	$-(CH_2)_6-(4-PrO-Ph)$	Н	Н
, to the second of the second	2-112	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-iPrO-Ph)$	Н	Н
	2-113	Н	Н	Н	Me	2	-(CH2)6-(3-MeS-Ph)	Н	Н
	2-114	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(4-MeS-Ph)$	Н	Н
	2-115	Н	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(2,4-diMe-Ph)$	Н	Н
energia de la companya de la company	2-116	H	Н	Н	Ме	2	$-(CH_2)_6-(3,4-diMe-Ph)$	Н	H
	2-117	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₈ -(3,5-diMe-Ph)	Н	H
	2-118	Н	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -cHx	Н	Н
en e	2-119	H	Н	Н	Ме	2	-(CH ₂) ₇ -Ph	Н.	H
	2-120	H	Н	H	Ме	2	-(CH ₂) ₈ -cHx	H	Н
and the second second section of the second	2-121	H	H	H	Ме	2	~(CH ₂) ₈ -Ph	H	a di kanada da kamada kanada kana Manada kanada
The state of the s	2-122	H	H	H	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -сНх	H	H
 See State of the second section of the s	2-123	Н	Н	Me	Ме		-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	H	
	2-124	Me	H	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	H	H
	2-125	CO₂Me	H	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	and the second s
	2-126	H	Ĥ	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	н	er en la mendige alvega ett egynt. Litt
	2-127	Н	Н	Ме	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	H I
	2-128	Me	Н	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	Н
	2-129	CO₂Me	Н	Н		2	-CH=CH-(CH ₂) ₃ -Ph	Н	Н
		Н		Н	Ме	2		•	Н
	.2-131	Н					-CH=CH-(CH ₂) ₄ -cHx	H	
	2-132	Me	H		Мe			en en Alex H	អស់មិនស្គាល់ប្រជាជាក្រុម ប្រជាជា ក្រុ∰
	2-133	CO₂Me				•		Н	Н
	2-134	Н	H		Ме	•	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	н	H
	2-135	Н	H	Me			-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph		н
	2 100	11		11/10	nre.		on on (only)4 th	11	11

	2-136	Me	H	Н	Ме	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	н
	2-137	CO ₂ Me	Н	Н	Me	2	-CH=CH-(CH ₂) ₄ -Ph	Η.	Н
	2-138	H	Н	Н	Ме	2	-C=C-CH ₂ 0-cHx	H	H
	2-139	Н	Н	Н	Me	2	-C=C-CH ₂ 0-Ph	Н	Н
	2-140	Н	Н	Н	Ме	2	$-C=C-(CH_2)_2O-cHx$	Н	Н
	2-141	Н	Н	Н	Ме	2 .	-C=C-(CH ₂) ₂ O-Ph	Н	Н
	2-142	H	Н	Н	Me		$-C \equiv C - CH_2 - cHx$ $-C \equiv C - CH_2 - cHx$	Н	H
				•	•			Н.	
	2-144	Me	7	Н	Me		-C≡C-CH ₂ -cHx	Н	
$(x_1, \dots, x_n) \in \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n \times \mathbb{R}^n$		•		•			-C≡C-CH ₂ -cHx	Н	
و في المراجع ا	2-146.	H valor vota	H prosentable	H ×{gaara	Me		-C≡C-CH2-Ph	H 1 Standard September	
A project on aparticle property entered out to a resigned their project.	2-147	H Silvenija Silvenija	H North	Me	Me		-C≡C-CH-Ph		
The second of the property	2 140	ME	ista eng Na nas		ME	sa Gran	Water Company	H.	H. And Charles Son Ophys, the solution of the Depote Son Commission (1997)
and the second s	2-149	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	−C≡C−CH₂−Ph	H	
	2-150	H .	H	H	Me	2 1.03	-C≡C-(CH ₂) ₂ -cHx	Н	.H 2 22年2月2日 - 128月2日 - 128月21日 - 128111日 - 1281111日 - 1281111111111111111111111111111111111
	2-151	H	Н	Me	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	Н	H services and the services of
	2-152	Ме	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	H	Н
	2-153	CO₂Me	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - cHx$	Н	Н
	2-154	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Н
	2-155	Н	Н	Ме	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Н
	2-156	Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	H
	2-157	CO₂Me	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - Ph$	H	Home and a second second
	2-158	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cPn$. Н	Н
	2-159	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	H :	н
	2-160	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$: М е	Н
	2-161	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₃ -cHx	Н	Ме

ger desert i de la mende de la capital

	2-162	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	F	Н
	2-163	H	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	F
	2-164	H	Ĥ	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$. Н	H
	2-165	Me	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
	2-166	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
	2-167	H	H .	H .	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - cHx)$	Н	Н
:	2-168	Н	H .	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - C1 - cHx)$	Н	Н
	2-169	Н.	H	H	Me ,	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Br - cHx)$	Н	Н
•	2-170	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н
ć	2-171	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - cHx)$	Н	H
	2-172	Н.	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - cHx)$	Н	H
, ;	2-173	'H	Н	Н		" V.H.	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(4-iPr-cHx)	* H	Н
	2-174	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Bu - cHx)$	Н	H
4	2-175	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	Ĥ
	2-176	H	Н.	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - cHx)$	H	H
•	2-177	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - EtO - cHx)$	H	H
ž	2-178	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - PrO - cHx)$	H	H
	2-179	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - i Pr O - cHx)$	H	H
	2-180	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeS - cHx)$	Н.	H
	2-181	Н	·H	Н.	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeS - cHx)$	H	H
	2-182	H .	Н	Н .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - cHx)$	H.	H.
	2-183	H.	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - cHx)$	H	Н
	2-184	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe - cHx)$	Н	Н
	2-185	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)^3 - Ph$	Ħ	Н
	2-186	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Ме	·H
	2-187	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	H .	Ме

	2-188	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	F	Н
	2-189	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_{3} - Ph$	Н	F
.÷	2-190	Н	Н	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Н
	2-191	Me	Н.	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Н
	2-192	CO ₂ Me	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - Ph$	Н	Н
,	2-193	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - F - Ph)$	H	Н
e de la companya del companya de la companya del companya de la co	2-194	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - C1 - Ph)$	Н	Ĥ .
	2-195	H					$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Br - Ph)$	Н	Harris Angles
	2-196	Н	H	H	: Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Me - Ph)$	Н	H ,
	2-197	H .	9,		Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Et - Ph)$	Н	H
	2-198		Н	Н	Ме		$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - Pr - Ph)$	H	H
a da a d	2-199	H	H ,	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - iPr - Ph)$	Н	en e
	2-200	H	Н		Me		-C≡C-(CH ₂) ₃ -(4-Bu-Ph)	Н	er eller film og er er er eller film er
	2-201	Н		Survey 15	er Ligger	14.	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - CF_3 - Ph)$	Н	H
	2-202	H	Н	Н	Me	. · . · · ·	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H
	2-203	H	Н	Н	Me	2	A CARREL MATTER OF THE TOP OF THE	Н	n i daga matang bermalah dari G H e
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2-204		H	H	Ме	ः स 2	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(4-Pr0-Ph)	Н	H
	2-205	Ж	H	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₃ -(4-iPr0-Ph)	Н	. · Н
	2-206	⁻ H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3 - MeS - Ph)$	Н	Н
	2-207	H	•					Н	
	2-208		: H				$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (2, 4 - diMe - Ph)$		Н
							$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 4 - diMe - Ph)$		
		H		H H	Ме		$-C \equiv C - (CH_2)_3 - (3, 5 - diMe-Ph)$		uthir common financial and a second s
	2-211		Н				$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cPn$	Н	ii
			Н	Н					•
		Н					•	H	H
	2-213	Н	H	Ή	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cH_X$	Me	Н

2-214	Ĥ	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Ме
2-215	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	F	H
2-216	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	H.	F
2-217	Н	H.	Me	Ме	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н ,
2-218	Ме	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
2-219	CO₂Me	H	Н	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
2-220	H	Н	Н	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - cHx)$	H	H
2-221	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - C1 - cHx)$	H	·· Ĥ
2-222	Н	Н	Ħ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Br - cHx)$	Н	Н
2-223	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Me - cHx)$	H	H
2-224	Н	Н	Ĥ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - cHx)$	Н	Н
2-225	H	Lagrantica H Mariantiya	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2) - (4 - Pr - cHx)$	H	poka i sa nakakana sa kata kata da na Kata na nasa ngata sa kata pagalan sa ngaka
2-226	Н	H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - iPr - cHx)$	H	origina originalization (il selection), emple Home originalization (in the contraction) in the contraction of the contraction
2-227	H	H	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂) (-(4-Bu-cHx)	Н	arregio de la Adriador de la compansión de La compansión de la compa
2-228	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2)_4 - (4 - CF_3 - cHx)$	Н	H
2-229	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeO - cHx)$: H	Н
2-230	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	Н
2-231	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4-Pr0-cHx)$	H	Н
2-232	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2) - (4 - i Pr O - cHx)$	H	Н
2-233	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeS - cHx)$	Н	Н
2-234	Н	H	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - diMe - cHx)_4$) н	H
2-235	H	Н	Н	Me:	. 2	-C≡C-(CH ₂),-(3,4-diMe-cHx) - H	
2-236	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 5 - diMe - cHx)$) н	H
2-237	Н	· H	Н	Me .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	H.	К
2-238	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Ме	Н
2-239	H	·H	·H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	H	Me

A CONTRACTOR SPECIAL SECTION

2-240	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	F	Н		
2-241	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	H	F		
2-242	Ĥ	Н	Me	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)$, $-Ph$	H.	J.H		
2-243	Me	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	Н	Н		
2-244	CO ₂ Me	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - Ph$	H	Н		
2-245	H	Н	Н	Me	· 2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - F - Ph)$	Н	Н		
2-246	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH2) - (4 - C1 - Ph)$	Н	Н		
2-247	Н	H	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂),-(4-Br-Ph)	Н	Н		
2-248	Н	. н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH2)_4 - (4 - Me - Ph)$	Н	H		•
2-249	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et - Ph)$	Н	H .	÷ `	
2-250	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Pr - Ph)$	Н	Н		
2-251	Н	Н	H	Me	2	-C≡C-(CH₂)4-(4-iPr-Ph)	H	Ħ	e destruit de la companya de la comp	
2-252	Н	Н	H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-Bu-Ph)	Н	Н	W. Carrier	
2-253	Н	H	H	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-CF ₃ -Ph)	Н	Н	in a subsequent of the subsequ	•
2-254	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeO - Ph)$	Н	H		
2-255	Н	Н	H	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - Et0 - Ph)$	H.	Н	m of the first fir	
2-256	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - PrO - Ph)$. Н	Н	e property of the	•
2-257	Н	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(4-iPr0-Ph)	Н	Н		
2-258	Н	Н	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₄ -(3-MeS-Ph)	Н	Н		
2-259	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (4 - MeS - Ph)$	H	Н		
2-260	Н	· H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (2, 4 - \text{diMe-Ph})$) Н	Н		
2-261	.H	H.	H	Ме	•	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - (3, 4 - diMe - Ph$			•	
2-262	H	Н	Ĥ	Me		-C≡C-(CH ₂),-(3,5-diMe-Ph	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			÷.
2-263	Н	Н	H .	Me		$-C \equiv C - (CH_2)_{\varsigma} - cHx$	Н	· ·H		
2-264	Н	Н	Me	Me		$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	H		
2-265	Мe	Н	Н	Ме		$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н			•
									, · ·	

2-266	CO₂Me	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - cHx$	Н	Н
2-267	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н.	н .
2-268	Н :	Н	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	H	Н
2-269	Me	Н	H .	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph$	Н	Н
2-270	CO ₂ Me	Н	Н	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_5 - Ph \qquad .$	Н	H
2-271	Н	Н	H ·	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
2-272	н	H	Ме	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	H
2-273	Ме	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
2-274	CO₂Me	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - cHx$	Н	Н
2-275	Н	• Щ	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	Н	Н
2-276	Н	Н	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_6 - Ph$	H	Н
2-277	Me	H	H	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	Ĥ
2-278	CO₂Me	Н	Н	Me	2	-C≡C-(CH ₂) ₆ -Ph	H	Н
2-279	Н	H	Н	Me	2	-С≡С-СН₂0-сНх	Н	H
2-280	Н	H.	Ме	Ме	2	-С≡С-СН ₂ 0-сНх	Н	Н
2-281	Ме	Н	H	Ме	2	-С≡С-СҢ_О-сНх	Н	H
2-282	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ 0-cHx	Н	Н
2-283	H	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	Н	Н
2-284	H	H	Me	Ме	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	H	Н
2-285	Me	Н	Н	Ме	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	Н	H
2-286	CO₂Me	Н	H	Ме	2	-C≡C-CH ₂ O-Ph	H	Н
2-287	H	Н	Н	Ме	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-cPn	Н	H
	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	
2-289	Ħ	H	H	Ме	.2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Ме	Ħ
2-290	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	Ме
2-291	H -	. Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	·F	Н

2-292	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	F	
2-293	Н	Н	Ме	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - cHx$		Н	Н
2-294	Me	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	Н	
2÷295	CO ₂ M	le H	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	Н	
2-296	Н	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - F - cHx)$	H	H	Í
2-297	Н .	. Н	, H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - C1 - cHx)$	Н	H	[
2-298	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Br - cHx)$	Н	H	
2-299	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me - cHx)$	Н	Н	I
2-300	H	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et - cHx)$	Ή	Ή	
2-301	H	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Pr - cHx)$	Н	F	I
2-302	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr - cHx)$	Н	F	Ī
2-303	AH .	Н	Ĥ	Me	2.	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Bu - cHx)$	H	I	I
2-304	Н	Ĥ	H	Мe	2	-C≡C-(CH ₂) ₂ 0-(4-CF ₃ -cHx)	H	H	
2-305	H	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me0 - cHx)$	Н	I	i
2-306	Н	· H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et0 - cHx)$	Н	~ I	I
2-307	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr 0 - cHx)$	H	ŀ	Ī
2-308	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr 0 - cHx)$	Н	1	I
2-309	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3 - MeS - cHx)$	H	ł	H
2-310	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - MeS - cHx)$	٠Н	ı.	H
.2-311	H	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (2, 4 - diMe - cH)_2$	x) I	1 1	H
2-312	H	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 4 - diMe - cH)_2$	x) I	H . I	H
2-313	Н	ss H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 5 - diMe - cH)_2 $	x) I	1 1	H
2-314	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	. 1	H.
2-315	Н	H	*H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Me	,	Ħ.
2-316	Н	Н	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - Ph$	Ή	[Ме
2-317	H	H	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	F	ì	H

a sa gredjer i i

2-318	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	H	F
2-319	Н	Н	Me	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 - 0CH_2 - Ph$	Н	Н
2-320	Ме	H	.Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	H .	Н
2-321	CO₂Me	Н	Н	Me .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	Н.
2-322	Н	Н .,	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - F - Ph)$	Н	Н
2-323	Н	H-	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - C1 - Ph)$	Н	Н
2-324	Н	Н	Ħ	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Br - Ph)$	H	Н
2-325	H	Н	Н	Мe	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - Me - Ph)$	Н	H
2-326	Н	Н	H	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et - Ph)$	H	Н
2-327	н .	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr - Ph)$	H .	Н
2-328	H	Н	H.	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - i Pr - Ph)$	Н.	Н
2-329	Н	Н	H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Bu - Ph)$	H	Н
2-330	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - CF_3 - Ph)$	H	Н
2-331	Н	H	Н	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Me0 - Ph)$	H	Н
2-332	Н	Н	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Et0 - Ph)$	H :	H
2-333	Н	Н	H ~	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - Pr0 - Ph)$	Н	Н
2-334	Н	Н	: H	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (4 - i Pr O - Ph)$	Н	H :
2-335	Ή	Н	Ή	Ме	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (4 - MeS - Ph)$	Н	Н
2-336	H	H	:H	Me	2 .	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (2, 4 - diMe - Ph)$	Н	H
2-337	Н	H	Н	Me	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 0 - (3, 4 - diMe - Ph)$	Н	Н
2-338	Н	H	H .	Me .	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - (3, 5 - diMe - Ph)$	Н	Н
2-339	Н	Н	H·	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
2-340	Н					-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
2-341	Ме	Н	Ħ	Me.	2	-CO-(CH ₂) ₄ -cH x	H	H
2-342	CO ₂ Me	Н	H	Me	2 .	-CO-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	Н
2-343	Н	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н

	2-344	Н	Н	Me	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
	2-345	Ме	Н	H	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	2-346	CO ₂ Me	Н	Н	Me	2	-CO-(CH ₂) ₄ -Ph	Н	Н
	2-347	Н	Н	Н	Me	2	$-CO-(CH_2)_5-cHx$	Н	Н
	2-348	Н	Н .	Ме	Ме	2	$-CO-(CH_2)_5-cHx$	H	Н
	2-349	Me	Н	H	Ме	2	$-CO-(CH_2)_5-cHx$	Н	Н
	2-350	CO ₂ Me	Н	Н	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	H Carlo Mag 1
	2-351	Н.	.H	Н	Ме	2	-CO-(CH₂) ₅ -Ph	Н	H
	2-352	Н.	Н	Ме	Me	2	-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	Ή	Н
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	2-353	Me ·	Н	ε _ε Η	Me	2	-CO-(CH ₂) ₆ -Ph	Н	H
:	2-354	CO₂Me		Ή	Ме	2	-CO-(CH ₂) ₅ -Ph	Н	Н
o delle sommer delle med Oktober promotive som	2-355	Н	H	H	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -cHx	Н	
্ৰত স্থাপিতি বিশ্বস্থাত তেওঁ চাইছে তেওু হোকী মাজি তেওঁ তেওঁ প্ৰতিষ্ঠান	2-356	H	H	Me	Ме	2	-CH(OH)-(CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
and the second of the second o	2-357	Me.	H	Н	Ме	2	-CH (OH) - (CH ₂), -cHx	Н	H
	2-358	CO ₂ Me	H	H	Ме	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -cHx	Н	H
	2-359	H	Н	Н	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₄ -Ph	H	H
	2-360	Н	Н	Me	Me	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - Ph$	Н	Н
	2-361	Me	Н	H	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_4 - Ph$	H	Н
	2-362	CO ₂ Me	Η .	Ĥ	Ме	2	$-CH(OH)-(CH_2)_4-Ph$	H	H
	2-363	Н	H	H	Ме	2	-CH(OH)-(CH2)6-cHx	Н	Н
	2-364	Н	H .	Me	Ме	2 .	$-CH(OH)-(CH_2)_5-cHx$	H	Н
	2-365	Ме	H	, Н	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₅ -cHx	Н	H
	2-366	CO ₂ Me	Ή	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - cHx$	Н	Н
	2-367	Н	· H .	Н	Ме	2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - Ph$	H	Ħ
	2-368	Н:	Н	Ме	Ме	2 ·	$-CH(OH) - (CH_2)_6 - Ph$	Н	H
·	2-369	Me	Н	Η	Ме	. 2	$-CH(OH) - (CH_2)_5 - Ph$	H	Н

·	2-370	CO₂Me	Н	Н	Me	2	-CH (OH) - (CH ₂) ₅ -Ph	H	Н	
	2-371	Н	Н	Н	Me	2	-4- (cHx-CH ₂ 0) Ph	H	Н	
w e	2-372	н	Н	Me	Me	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	H	Н	•
	2-373	Me	Н	H	Me	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	Н	
	2-374	CO ₂ Me	Н	Н	М́е	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	Н	
	2-375	Н	Н	Н	Ме	2	-4-[cHx-(CH2)20]Ph	H	Н	
N	2-376	Н	Н	H	Ме	2	-4-[cHx-(CH ₂) ₃ 0]Ph	Н	Н	
factors and the second	2-377	H	Н	Ή	Me	2	-(4-B20-Ph)	Н	Н	
	2-378	Н	Н	Me	Me	2	-(4-Bz0-Ph)	Н	Н	
·	2-379	Ме	Н	Н	Ме	2	-(4-Bz0-Ph)	Н	: H	
	2-380	CO ₂ Me	H	Н	Ме	2	- (4-Bz0-Ph)	Н	Н	
en de la companya de La companya de la co	2-381	Н	H	Ή	Me	2	-(4-B20-2-F-Ph)	Н	H	erange gewalte dae in die Die New Arange and
	2-382	H	Ή	Н	Ме	2	-(4-Bz0-3-F-Ph)	H	Н	
	2-383	Н	Н	H	Ме	2	-(4-B20-2, 3-diF-Ph)	Н	Н	
	2-384	Н	H	Н	Me	2	- (4-Bz0-2-C1-Ph)	Н	Н	
	2-385	Н	H	Н	Me	2	-(4-Bz0-3-C1-Ph)	Н	Н	
	2-386	Н	H	Н	Ме	2	-(4-Bz0-2, 3-diCl-Ph)	. Н	Н	en e
	2-387	H -	Н.	H	Me	2	-(4-Bz0-2-Me-Ph)	. Н	H	
	2-388	H	H	H	Me	2	-(4-Bz0-3-Me-Ph)	Н	Н	
	2-389	.Н .	Н	Н	Me	2	-(4-Bz0-2, 3-diMe-Ph)	Н	H	
	2-390	Н	H	H	Me	2	-4-[Ph-(CH ₂) ₂ 0]-Ph	Н	Н	:.
and the same of th	2-391	Н	Н	Н	Me	2	-4-[Ph-(CH ₂) ₃ 0]-Ph	Н	Н	
	2-392	H	H	Н	Et	2	$-(CH_2)_5$ -cHx	Н	H	
-	2-393	Н	H	Н	Et	2	-(CH ₂) _c -cHx	H	H	
	2-394	H	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н	
	2-395	H	Н	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	H	

2-396	H	Н	Н	Et	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	H	H
2-397	Ή	Н	Н	Et	2	-(4-Bz0-Ph)	Н	Н
2-398	·H -	H	·H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	H
2-399	Н	H	H	Et	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	H
2-400	H	Н	Н	Pr	2	$-(CH_2)_5$ -cHx	Н	H
2-401	Н	Н	Н	Pr	2	$-(CH_2)_6$ -CHx	Н	H
2-402	Н	Н	. H.	${\tt Pr}$	2	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$. н	Н
2-403	Н	Н	H	Pr	2	$-C \equiv C - (CH_2)_4 - cHx$	Н	Н
2-404	Н	Н	H	Pr	2	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	H
2-405	Н	Н	H	Pr	2.	-(4-Bz0-Ph)	Н	. Н
2-406	Н	Н	H	Pr	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	Н	H
2-407	Н	Н.	Н	Pr	2	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	H
2-408	H	H	Н	Мe	3	-(CH ₂) ₅ -cHx	Н	Н
2-409	Н	H	Н	Мe	3	-(CH ₂) ₆ -cHx	Н	Н
2-410	Н	H	Н	Ме	3	$-C \equiv C - (CH_2)_3 - cHx$	Н	Н
2-411	H	Н	Н	Me	3	-C≡C [±] (CH ₂)₄-cHx	Н	Н
2-412	Н	Ĥ	H	Me	3	-4-(cHx-CH ₂ 0)Ph	Н	Н
2-413	Н	· H	Н	Ме	3	-(4-Bz0-Ph)	H	Ή
2-414	Н	H	H	Me	3	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - cHx$	H	Н
2-415	Н	Н	H	Me	3	$-C \equiv C - (CH_2)_2 O - Ph$	Н	Н
	•							

上記表1及び2において、

本発明の化合物(I)として好適には、

例示化合物番号: 1-19, 1-23~1-32, 1-36~1-45, 1-49~1-58, 1-62~1-71, 1-75 ~1-84, 1-88~1-102, 1-106~1-156, 1-160~1-214, 1-218~1-268, 1-272~1-322, 1-325~1-334, 1-338~1-347, 1-351~1-360, 1-364~1-373, 1-377~1-386, 1-390

 \sim 1-404, 1-408 \sim 1-458, 1-462 \sim 1-513, 1-517 \sim 1-526, 1-530 \sim 1-544, 1-548 \sim 1-598, $1-602\sim1-657$, 1-670, $1-674\sim1-683$, 1-696, $1-700\sim1-717$, $1-721\sim1-730$, $1-734\sim1-743$, $1-747\sim1-756$, $1-760\sim1-774$, $1-778\sim1-828$, $1-832\sim1-886$, 1-890 \sim 1-940, 1-944 \sim 1-993, 1-997 \sim 1-1006, 1-1010 \sim 1-1019, 1-1045, 1-1049 \sim 1-1058, $1-1062\sim1-1076$, $1-1080\sim1-1130$, $1-1134\sim1-1185$, $1-1189\sim1-1198$, $1-1199\sim1-1198$, $1-1189\sim1-1198$, $1-1189\sim1-1199$ $1202 \sim 1-1208$, $1-1212 \sim 1-1216$, $1-1220 \sim 1-1270$, $1-1274 \sim 1-1331$, $1-1335 \sim 1-1212 \sim 1-1216$ 1344, $1-1348 \sim 1-1357$, $1-1361 \sim 1-1370$, $1-1374 \sim 1-1387$, $1-1391 \sim 1-1400$, $1-1391 \sim 1-1400$ $1404 \sim 1 - 1418$, $1 - 1422 \sim 1 - 1472$, $1 - 1476 \sim 1 - 1527$, $1 - 1531 \sim 1 - 1540$, $1 - 1544 \sim 1 - 1540$ 1558, $1-1562\sim1-1612$, $1-1616\sim1-1673$, $1-1677\sim1-1686$, $1-1690\sim1-1699$, 1-1699 $1703 \sim 1-1712$, $1-1716 \sim 1-1729$, $1-1733 \sim 1-1744$, $1-1748 \sim 1-1767$, $1-1772 \sim 1-1700$ $1793, 1-1797 \sim 1-1818, 1-1824 \sim 1-1846, 1-1850 \sim 1-1869, 1-1872, 1-1876, 1-1880,$ 1–1884, 1–1888 \sim 1–1892, 1–1896, 1–1900, 1–1908 \sim 1–1913, 1–1917 \sim 1–1939 $1-1943\sim 1-1966$, $1-1970\sim 1-1991$, $1-1995\sim 1-2013$, 1-2017, 1-2021, 1-2025, 1-2029, 1-2033, $1-2037 \sim 1-2042$, $1-2045 \sim 1-2068$, $1-2072 \sim 1-2089$, 1-2093, 1-2097, 1-2101, 1-2105, 1-2109, 1-2113, 1-2117, 1-2121, 1-2125, 1-2129, 1-2133, 1-2135, $1-2139 \sim 1-2158$, $1-2161 \sim 1-2164$, $1-2184 \sim 1-2346$, $2-9\sim2-18$, $2-22\sim2-43$, $2-47\sim2-70$, $2-74\sim2-96$, $2-100\sim2-119$, 2-142, 2-146, 2-150, 2-154, $2-158\sim2-163$, $2-167\sim2-183$, $2-185\sim2-189$, $2-193\sim2-216$, 2-220 \sim 2-241, 2-245 \sim 2-263, 2-267, 2-271, 2-275, 2-279, 2-283, 2-287 \sim 2-292, 2-296 \sim 2-318, 2-322 \sim 2-338, 2-343, 2-347, 2-351, 2-371, 2-375 \sim 2-377, 2-381 \sim 2-407

を挙げることができ、更に好適には、

1-19, 1-32, 1-36 \sim 1-45, 1-57, 1-62 \sim 1-71, 1-84, 1-88, 1-97 \sim 1-100, 1-152 \sim 1-154, 1-160 \sim 1-214, 1-218 \sim 1-227, 1-264 \sim 1-268, 1-272 \sim 1-322, 1-334, 1-347, 1-360, 1-373, 1-386, 1-390 \sim 1-402, 1-454 \sim 1-458, 1-462 \sim 1-513, 1-526, 1-530 \sim 1-542, 1-594 \sim 1-598, 1-602 \sim 1-653, 1-743, 1-756, 1-760 \sim 1-768, 1-770

 $\sim 1-774$, $1-778\sim 1-828$, $1-832\sim 1-886$, $1-890\sim 1-940$, $1-944\sim 1-993$, 1-1045, 1-1058, $1-1062\sim 1-1074$, $1-1126\sim 1-1130$, $1-1134\sim 1-1185$, 1-1198, $1-1202\sim 1-1208$, 1-1212, 1-1213, 1-1214, $1-1266\sim 1-1270$, $1-1274\sim 1-1331$, 1-1344, $1-1348\sim 1-1357$, 1-1370, $1-1374\sim 1-1387$, 1-1400, $1-1404\sim 1-1416$, $1-1468\sim 1-1472$, $1-1476\sim 1-1527$, 1-1540, $1-1544\sim 1-1556$, $1-1608\sim 1-1612$, $1-1616\sim 1-1666$, 1-1729, 1-1742, 1-1744, $1-1759\sim 1-1767$, $1-1789\sim 1-1793$, $1-1797\sim 1-1818$, $1-1842\sim 1-1846$, 1-1900, $1-1908\sim 1-1913$, $1-1935\sim 1-1939$, $1-1943\sim 1-1966$, $1-1987\sim 1-1991$, 1-2013, 1-2017, 1-2029, 1-2033, $1-2037\sim 1-2042$, $1-2064\sim 1-2068$, $1-2072\sim 1-2089$, 1-2093, 1-2097, 1-2101, 1-2105, 1-2109, 1-2129, 1-2133, 1-2135, $1-2184\sim 1-2346$,

 $2-11\sim2-18$, $2-39\sim2-43$, $2-47\sim2-70$, $2-185\sim2-189$, $2-193\sim2-216$, $2-287\sim2-292$, 2-338, 2-343, 2-347, 2-351,

を挙げることができ、より好適には、

1-45, 1-71, 1-84, 1-88, 1-97 \sim 1-100, 1-152 \sim 1-154, 1-160 \sim 1-206, 1-209 \sim 1-212, 1-264 \sim 1-266, 1-334, 1-373, 1-386, 1-390 \sim 1-402, 1-454 \sim 1-458, 1-462 \sim 1-485, 1-509, 1-510, 1-513, 1-526, 1-530 \sim 1-542, 1-594 \sim 1-598, 1-602 \sim 1-613, 1-649, 1-650, 1-743, 1-756, 1-760 \sim 1-768, 1-770 \sim 1-772, 1-824 \sim 1-828, 1-832 \sim 1-884, 1-936, 1-1045, 1-1058, 1-1062 \sim 1-1074, 1-1126 \sim 1-1130, 1-1134 \sim 1-1145, 1-1148 \sim 1-1151, 1-1162, 1-1163, 1-1179 \sim 1-1182, 1-1185, 1-1198, 1-1202 \sim 1-1208, 1-1212, 1-1213, 1-1214, 1-1266 \sim 1-1270, 1-1274 \sim 1-1285, 1-1288 \sim 1-1291, 1-1319 \sim 1-1322, 1-1329 \sim 1-1331, 1-1344, 1-1348 \sim 1-1357, 1-1370, 1-1387, 1-1400, 1-1404 \sim 1-1416, 1-1468 \sim 1-1472, 1-1476 \sim 1-1487, 1-1556, 1-1608 \sim 1-1612, 1-1616 \sim 1-1627, 1-1663, 1-1664, 1-1729, 1-1742, 1-1744, 1-1761 \sim 1-1766, 1-1789 \sim 1-1791, 1-1815 \sim 1-1818, 1-1900, 1-1909, 1-1962, 1-2064 \sim 1-2066, 1-2089, 1-2093, 1-2097, 1-2105, 1-2133, 1-2216 \sim

1-2288, $1-2290\sim1-2346$

を挙げることができ、

更により好適な化合物としては、

例示化合物番号 1-71:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-84: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-98:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-152:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン 2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-210:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-264:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-373 : 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-386: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピル)チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-400:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブチル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-454:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシブチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-509: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンチル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-510:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンチル)チオフェン

-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-513:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロピル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-743: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル) チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-756:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-770:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル) チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-824:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-882:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル) チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-936:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1045:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1058:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1072:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1126:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1181:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1182:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペント-1-イニル)チ

オフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1185:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルメトキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1329:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブタノイル)チ オフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1330:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1331:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1344: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1357: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル) チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1370:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1387:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1400: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1414:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1468:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシプタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1523:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1524:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンタノイル)チオ

フェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1527: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロパ ノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1729:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシフェニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1742:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルエトキシフェニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1744: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシフェニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1761: 2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1764:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1816:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1900 : 2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブト-1-イニル) チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1909:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1962:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2089: 2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チ オフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2097: 2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル) チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、及び

例示化合物番号 1-2105:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)

チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

及び

例示化合物番号 1-463: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)ブチル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-479: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェノキシ)プチル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-594:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシブチル)チオ フェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-760:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-761:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-762:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-エチルフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-763:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-トリフルオロメチルフェニル) プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-764:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-765: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-エトキシフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-766:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルチオフェニル)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-832:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-833:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル|チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-834: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-クロロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-836:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-メチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-837: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-846:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-トリフルオロメチルフェニル) ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-847:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-トリフルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-848:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-849:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-860:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-メチルチオフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-861:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-877:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジメチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-878:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジメチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1050:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルシクロヘキシルオキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1062: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-フルオロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1063: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1064:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1065:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-トリフルオロメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1066:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メトキシフェノキシ)プロピ ニル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1067: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1068: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルチオフェノキシ)プロ ピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1134:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-フルオロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1135:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イルブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1136:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-クロロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1138:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1139:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1148:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-トリフルオロメチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1149:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-トリフルオロメチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1150: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メトキシフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1151: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-{4-(4-メトキシフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1162:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メチルチオフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1163:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルチオフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1179:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジメチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1180:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジメチルフェノキシ)ブト-1-イニル|チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1198:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェニルメトキシプロピニル) チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1202: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-フルオロフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1203: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1204: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エチルフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1205:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-トリフルオロメチルフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1206: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メトキシフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1207: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エトキシフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1208: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルチオフェニル)メトキシプロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1212:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1266:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルメトキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1274: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-フルオロフェニル)メトキシプト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1275: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェニル)メトキシプト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1276: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-クロロフェニル)メトキシブト-1-イニル]チオフェン-2-イル/ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1278:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メチルフェニル)メトキシフト-1-イニル]チオフェン-2-イル/プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1279: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェニル)メトキシブト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1288:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-トリフルオロメチルフェニル)メトキシブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1289:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-トリフルオロメチルフェニル)メトキシブト-1-イニル|チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1290: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メトキシフェニル)メトキシプト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1291: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェニル)メトキシプト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1319: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジメチルフェニル)メトキシプト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1320: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジメチルフェニル)メトキシブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1348: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

· 例示化合物番号 1-1349 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1350: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-エチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1351:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-トリフルオロメチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1352 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペンタノ イル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1353 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-エトキシフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1354 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メチルチオフェニル)ペンタ ノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1476: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-フルオロフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1477: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)ブタノ イル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1478: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-クロロフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1480: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メチルフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1481: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)プタノイル|チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

PCT/JP01/05988

例示化合物番号 1-1490:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-トリフルオロメチルフェノキシ)ブタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1491:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-トリフルオロメチルフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1492: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メトキシフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1493: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェノキシ)プタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1504 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-メチルチオフェノキシ)ブタ ノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1505: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルチオフェノキシ)ブタ ノイル]チオフェン-2-イルブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1521 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジメチルフェノキシ)ブタ ノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1522:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジメチルフェノキシ)ブタ ノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2093:2-アミノーエチルー4-[5-(4-フェニルプタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2101:2-アミノーエチルー4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2109:2-アミノーエチルー4-[5-(6-フェニルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2257: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジフルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2258: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-{5-(3,5-ジフルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2259: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-クロロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2260: 2-アミノ-2-メチル-4-(5-[5-(3,4-ジクロロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2261: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-{5-(3,5-ジクロロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2262:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジトリフルオロメチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2263:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジトリフルオロメチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2264: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジメトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2265:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジメトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2266:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4,5-トリメトキシフェニル) ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル)ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2267: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-アセチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2268: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-アセチルフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル)ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2269: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-フルオロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2270: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジフルオロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2271: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジフルオロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2272 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2273: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニ ル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2274: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジクロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2275 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジクロロフェノキシ)プロ ピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール

例示化合物番号 1-2276: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2278: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメチルフェノキシ)プロ ピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2279:2-アミノ-2-メチル4-{5-[3-(3,5-ジメチルフェノキシ)プロ ピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2280:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-トリフルオロメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2281:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジトリフルオロメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2282: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジトリフルオロメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2283: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2284: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2285: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2286: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4,5-トリメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2287: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-アセチルフェノキシ)プロピ ニル]チオフェン-2-イル/ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2288: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2290:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジフルオロフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2291:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジフルオロフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2292:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-クロロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2293:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジクロロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2294:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジクロロフェノキシ)プト -1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2295: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジトリフルオロメチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2296:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジトリフルオロメチルフェノキシ)プト-1-イニル|チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2297: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4-ジメトキシフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2298: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,5-ジメトキシフェノキジ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2299: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3,4,5-トリメトキシフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2300:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(3-アセチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2301:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-アセチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2328: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-フルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル|ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2329:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3, 4-ジフルオロフェニル)ペ ンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2330:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3, 5-ジフルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2331: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-クロロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2332 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-クロロフェニル)ペンタノィル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2333:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジクロロフェニル)ペンタ ノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2334:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジクロロフェニル)ペンタ ノイル]チオフェン-2-イル/ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2335: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-メチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2336: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジメチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2337: 2-アミノ-2-メチル-4-(5-[5-(3,5-ジメチルフェニル)ペンタ ノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2338:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-トリフルオロメチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2339: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3, 4-ジトリフルオロメチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2340:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジトリフルオロメチルフェニル)ペンタノイル|チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2341: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-メトキシフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2342 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,4-ジメトキシフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2343: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3,5-ジメトキシフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2344: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3, 4, 5-トリメトキシフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2345 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(3-アセチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、及び

例示化合物番号 1-2346: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-アセチルフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール

であり、最も好適には、

例示化合物番号 1-71:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-98: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-152:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-400:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブチル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-463:2-アミノ-2-メチル-4-(5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プチ

ル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-479 : 2-アミノ-2-メチル-4-(5-[4-(4-メトキシフェノキシ)プチル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-594: 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシブチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-743:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブト-1-イニル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-756:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-770:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-824:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-833:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル/プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-849: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1050: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルシクロヘキシルオキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1063: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1064: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1068: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルチオフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル/ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1072:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプト-1-

イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1135:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1139:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)ブト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1185:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルメトキシプロピ ニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1266:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルメトキシブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1329:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブタノイル)チ オフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1330:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1331:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1344:2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1348: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1764:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-1909:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2097:2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2273:2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニ

ル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2276: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2278: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル|プタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2283: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メトキシフェノキシ)プロピ ニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2284:2-アミノ-2-メチル-4-(5-[3-(3,4-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2285: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

例示化合物番号 1-2287 : 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-アセチルフェノキシ)プロピ ニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、及び

例示化合物番号 1-2288: 2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール を挙げることができる。

[表 3]

$$R^{3a}O$$

$$\begin{array}{c}
R^{4a} \\
\hline
NR^{1}R^{2}
\end{array}$$
(CH₂)_m—Ar

Compd		R¹	R²	R ^{3a}	Ar	m
3-1	Me	Н	Вос	TBDMS	Ph	.0
3-2	Me	H	Bz	TBDMS	Ph	0

	3-3	Me	Н	Ac	TBDMS	Ph	0	
•	3-4	Me	Н	Вос	Н	2-Fur	0	
	3-5	Ме	Н	Вос	H	2-The	0	
	3-6	Me	Н	Ac	Н	2-The	0	
	3-7	Me	H	Bz ·	H	2-The	Ø	
	3-8	Me	Н	Вос	Н	6-Bzt	0	
	3-9	Et	Н	Вос	TBDMS	Ph	0	en de la companya de La companya de la co
and the second of the second o	3-10	Et	H	Ac	H	2-Fur	0	remote the surprise and surprise of the control of
	3-11	Et	Н	Вос	Н	2-The	0	
en de la companya de	3-12	Et	H	Вос	H	6-Bzt	0	en e
÷ .	3 -13	`Me	H	Ac	Ac	2-The	.(0	
and the state of t	3-14	Мe	n	AC.	AC	z-rur	, U	and the seeman and the second of the control of the
i Mariana, awasa kabaja. Mariana mpambana mpamban		Me	H	Aç	Ac	2-Bzt	0	

Compd.	R ^{4a}	Ar	·m	
4-1	Me	Ph	0	-
4-2	Мe	2–Fur	0	
4-3	Me	3-Fur	.0	
4-4	Ме	2-The	0	

PCT/JP01/05988 WO 02/06268

198

	4-5	Me	3-The	0
	4-6	Me	4-Br-2-The	0
Astronomical Control	4-7	Me	4-Br-3-The	0
·	4-8	Me	5-Br-2-The	0
	4-9	Me	5-Br-3-The	0
	4-10	Ме	4-C1-2-The	0
e de la composition de la composition La composition de la	4-11	Me	4-C1-3-The	
and the second second second second	4-12	Me	5-C1-2-The	and the state of the second control of the second s
	4-13	Me	5-C1-3-The	
en e	4-14	Ме	2-Pyr	
	4-15	Ме	3-Pyr	0
esta esta elegación de la compositiva de la compositiva de la compositiva de la compositiva de la compositiva Esta esta elegación de la compositiva	4-16	Me	4-Pyr	terigina espektrolori en la procesa de la compania de la compania de la compania de la compania de la compania O suche procesa compania por especial de la compania de la compania de la compania de la compania de la compan O suche procesa de la compania de l
n ing katang lining at pagan Kal Lining at paganahan ing menggah	4-17	Me	6-Bzt	
e digeral e dispetit a sissi e de le persone de le company	4-18	М́е	Np (1)	and the second of the second o
in the second	4-19	Me	Np (2)	
	4-20	Ме	6-Bpyrr	0
	4-21	Et	Ph	0
	4-22	Et	2-Fur	0
	4-23	Et	2-The	0
	4-24	Et .	6-Bzt	0
	4-25	Pr	Ph	0
	4-26	Pr	2-Fur	
	4-27	Et	2-The	0
	4-28	Et	6-Bzt	0
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4-29	Bu	Ph	0
	4-30	Bu	2-Fur	0

and an artist hand to have the manine of

199

4-31	Et	2-The	o
4-32	Et	6-Bzt	0

上記表3及び4において、好適には、

3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-11, 3-12, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7, 4-8, 4-9, 4-10, 4-11, 4-12, 4-13, 4-17, 4-23, 4-24, 4-27, 4-28, 4-31 及び 4-32 の化合物であり、

最も好適なものは、

例示化合物番号 4-4: 4-メチル-4-[(チオフェン-イル)エチル]オキサゾリジン-オ

ン、

例示化合物番号 4-5: 4-メチル-4-[(チオフェン-3-イル)エチル]オキサゾリジン-オン、

例示化合物番号 4-8: 4-メチル-4-[(5-プロモチオフェン-イル)エチル]オキサゾリ ジン-オン及び

例示化合物番号 4-9:4-メチル-4-[(5-プロモチオフェン-3-イル)エチル]オキサゾリジン-オンである。

本発明の化合物(I)、(XLIVa)、(XLIVb)、(La)及び(Lb)は、以下に記載する方法に従って製造することができる。

A法は、化合物(I)、及び、化合物(I)において、R¹が水素原子であり、R²が低級アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基又は置換基群 a から選択される基で1万至3個置換されたアラルキルオキシカルボニル基である 化合物(Ic)を製造する方法である。

上記式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、X、Y及Un は、前述したものと同意義を示し、 R^8 は、ホルミル基、カルボキシル基又は低級アルコキシカルボニル基を示し、 R^8 及U R^{9a} は、同一又は異なって、水素原子又は低級アルキル基を示し、 R^{10} は、低級アルキル基、アラルキル基又は置換基群 a から選択される基で

1乃至3個置換されたアラルキル基であり、R^{5a}、R^{6a}及びR^{7a}は、各々R⁵、R⁶及びR⁷基において置換基として含まれるアミノ、ヒドロキシ及び/又はカルボキシル基が、保護されてもよいアミノ、ヒドロキシ及び/又はカルボキシル基である他R⁵、R⁶及びR⁷基の基の定義における基と同様の基を示す。

上記において、R⁵⁶、R⁶⁶及びR⁷⁶の定義における「保護されてもよいアミノ基」の「保護基」は、有機合成化学の分野で使用されるアミノ基の保護基であれば特に限定はされないが、前述したものと同意儀を示し、好適には、低級アルコキシカルボニル基であり、最も好適には、t-プトキシカルボニル基である。

上記において、R⁵⁶、R⁵⁶及びR⁷⁶の定義における「保護されてもよいヒドロキシ基」の「保護基」は、有機合成化学の分野で使用されるヒドロキシ基の保護基であれば特に限定はされないが、例えば、前記「ヒドロキシ基のエステルに斯かる反応における一般的保護基」と同意義を示し、好適には、低級脂肪族アシル基、芳香族アシル基、低級アルコキシカルボニル基又は(低級アルコキシ)メチル基であり、更に好適には、低級脂肪族アシル基又は(低級アルコキシ)メチル基であり、最も好適にはアセチル基又はメトキシメチル基である。

上記において、R⁵⁰、R⁵⁰及びR⁷⁰の定義における「保護されてもよいカルボキシル基」の「保護基」は、有機合成化学の分野で使用されるカルボキシル基の保護基であれば特に限定はされないが、例えば、前記「カルボキシ基のエステルに斯かる反応における一般的保護基」と同意義を示し、好適には低級アルキル基であり、最も好適には、メチル基である。

第A1工程は、一般式(III)を有する化合物を製造する工程であり、一般式(II)を有する化合物を、不活性溶媒中、塩基の存在下又は非存在下(好適には存在下)、還元剤と反応させることにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような

脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;酢酸、酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソブタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;水;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適にはエーテル類(最も好適には、テトラヒドロフラン)である。

上記反応に使用される還元剤は、例えば、水素化ホウ素ナトリウム、水素化ホウ素リチウム、水素化シアノホウ素ナトリウムのような水素化ホウ素アルカリ金属類;水素化ジイソプチルアルミニウム、水素化アルミニウムリチウム、水素化トリエトキシアルミニウムリチウムのような水素化アルミニウム化合物;であり、好適には水素化ホウ素アルカリ金属類(最も好適には水素化ホウ素ナトリウム)である。

反応温度は、原料化合物、使用される還元剤、溶媒の種類等によって異なるが、 通常、-50℃乃至100℃ (好適には0℃乃至50℃) である。

反応時間は、原料化合物、使用される還元剤、溶媒、反応温度等により異なるが、 通常、15分乃至150時間(好適には1時間乃至100時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物(III)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A2工程は、一般式(IV)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、塩基の存在下、化合物(III)のヒドロキシ基を脱離基に変換した後、沃素化剤と反応させ脱離基を沃素化することにより行われる。

脱離基を形成する試薬としては、例えば、メタンスルホニルクロリド、Pートルエンスルホニルクロリドのようなスルホニルハライド;チオニルクロリド、チオニルブロミド、チオニルアイオダイドのようなチオニルハライド類;スルフリルクロリド、スルフリルブロミド、スルフリルアイオダイドのようなスルフリルハライド類;三塩化燐、三臭化燐、三沃化燐のような三ハロゲン化燐類;五塩化燐、五臭化燐、五沃化燐のような五ハロゲン化燐類;オキシ塩化燐、オキシ美化燐、オキシ沃化燐のようなオキシハロゲン化燐類;のようなハロゲン化剤;メチルトリオキソレニウム(VII)のようなレニウム試薬;を挙げることができ、好適には、スルホニルハライドである。

ヒドロキシ基を脱離基に変換させる際に使用される塩基としては、例えば、炭酸リチウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属炭酸塩類;炭酸水素リチウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウムのようなアルカリ金属重炭酸塩類;水素化リチウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属水素化物類;水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属水素化物類;リチウムメトキシド、ナトリウムメトキシド、ナトリウムエトキシド、カリウム・ロプトキシドのようなアルカリ金属アルコキシド類;トリエチルアミン、トリプチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン、Nーメチルモルホリン、ピリジン、4ー(N, Nージメチルアミノ)ピリジン、N, Nージメチルアニリン、N, Nージエチルアニリン、1, 5ージアザビシクロ[4.3.0]ノナー5ーエン、1, 4ージアザビシクロ[2.2.2]オクタン(DABCO)、1,8ージアザビシクロ[5.4.0]ー7ーウンデセン(DBU)のような有機アミン類;であり、好適には有機アミン類(最も好適にはトリエチルアミン)である。

ヒドロキシ基を脱離基に変換させる際に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類:ペンゼン、トルエン、キシレンのよ

うな芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、 四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエ ーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコ ールジメチルエーテルのようなエーテル類;アセトン、2ーブタノンのようなケト ン類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチ ルリン酸トリアミドのようなアミド類;ジメチルスルホキシドのようなスルホキシ ド類;スルホラン;であり、好適には、ハロゲン化炭化水素類(最も好適には、ジ クロロメタン)である。

ヒドロキシ基を脱離基に変換させる際の反応温度は、原料化合物、使用される試 薬、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-50℃乃至200℃(好適には-1 0℃乃至150℃)である。

ヒドロキシ基を脱離基に変換させる際の反応時間は、原料化合物、使用される試薬、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、15分乃至24時間(好適には30分乃至12時間)である。

上記反応に使用される沃素化剤は、例えば、五沃化燐、オキシ沃化燐、沃化ナト リウム、沃化カリウムであり、好適には沃化ナトリウムである。

脱離基を沃素化する際の反応温度は、原料化合物、使用される試薬、溶媒の種類等によって異なるが、通常、0℃乃至200℃(好適には10℃乃至150℃)である。

脱離基を沃素化する際の反応時間は、原料化合物、使用される試薬、溶媒、反応 温度等により異なるが、通常、15分乃至24時間(好適には30分乃至12時間) である。

反応終了後、本反応の目的化合物 (IV) は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、

適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A3工程は、一般式(VI)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(IV)を、塩基の存在下、一般式(V)を有する化合物と反応させることにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソプタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;水;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、アルコール類又はアミド類(最も好適には、ジメチルホルムアミド)である。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、アルカリ金属水素化物類又はアルカリ金属アルコキシド類(最も好適には、 水素化ナトリウム)である。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、- 78℃ 乃至100℃ (好適には0℃乃至50℃) である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、15 分乃至48時間(好適には30分乃至12時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物 (VI) は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不容物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化

合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、 適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A4工程は、一般式(VII)を有する化合物を製造する工程であり、不活性 溶媒中、化合物(VI)を塩基と反応させ、エステル基をカルボキシ基に加水分解 することにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;ジェチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソブタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、アルコール類(最も好適には、エタノール)である。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、アルカリ金属水酸化物類(最も好適には、水酸化カリウム)である。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-20℃ 乃至200℃ (好適には0℃乃至50℃) である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、30 分乃至120時間(好適には1時間乃至80時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物 (VII) は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化

合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、 適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A5工程は、一般式(IX)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(VII)のカルボキシル基をクルチウス転位反応に付し、カルバメートに変換する方法であり、化合物(VII)を、不活性溶媒中、塩基の存在下、ジフェニルリン酸アジドのようなジアリール燐酸アジド誘導体と反応させた後、一般式(VIII)を有する化合物と加熱反応させることにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には芳香族炭化水素類(最も好適には、ベンゼン)である。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、有機アミン類(最も好適には、トリエチルアミン)である。

化合物 (VII) をジアリール燐酸アジド誘導体と反応させる際の反応温度及び化合物 (VIII) と反応させる際の反応温度ともに、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、0℃乃至200℃ (好適には20℃乃至150℃) である。

化合物 (VII) をジアリール燐酸アジド誘導体と反応させる際の反応温度及 び化合物 (VIII) と反応させる際の反応温度ともに、原料化合物、塩基、溶媒、 反応温度等により異なるが、通常、15分乃至24時間(好適には30分乃至12 時間)である。

また、化合物 (VII) をジアリール燐酸アジド誘導体と反応させる際に、化合物 (VIII) のうち、ジアリール燐酸アジド誘導体と直接反応しにくいもの

を一緒に反応させることにより、カルボキシル基を一気にカルバメートに変換する ことができる。

反応終了後、本反応の目的化合物(IX)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A6工程は、一般式(X)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(IX)のエステルを還元することにより行なわれ、不活性溶媒中、化合物(IX)を、還元剤と反応させることにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソプタノール、ナーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類或は上記溶媒の混合溶媒であり、好適には、アルコール類及びエーテル類の混合溶媒(最も好適には、エタノール及びテトラヒドロフランの混合溶媒)である。

上記反応に使用される還元剤としては、例えば、前記A法第A1工程で用いられるものと同様なものを挙げることができ、好適には、水素化ホウ素アルカリ金属類 (最も好適には、水素化ホウ素ナトリウム又は水素化ホウ素リチウム) である。

反応温度は、原料化合物、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-78℃乃至 150℃(好適には-20℃乃至50℃)である。

反応時間は、原料化合物、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、5分間乃至 48時間(好適には30分間乃至24時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物(X)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A7工程は、一般式(XI)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(X) を塩基と反応させオキサゾリジン環に閉環することにより行なわれる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソプタノール、tープタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;水;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、アルコール類又はアミド類(最も好適には、ジメチルホルムアミド)である。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、アルカリ金属アルコキシド類(最も好適には、カリウム t ープトキシド) である。 反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-78℃ 乃至100℃(好適には-50℃乃至50℃)である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、15 分乃至48時間(好適には30分乃至12時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物(XI)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A8工程は、一般式(I)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(XI)を塩基と反応させ加水分解した後、所望により R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^{5a} 、 R^{6a} 及び R^{7a} におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、 R^1 及び/若しくは R^2 におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、 R^3 におけるヒドロキシ基を保護することにより行われる。

化合物(XI)を塩基と反応させる際に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソプタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;水;或は上記溶媒の混合溶媒であり、好適には、アルコール類及びエーテル類の混合溶媒(最も好適には、

メタノール及びテトラヒドロフランの混合溶媒)である。

化合物 (X I) を塩基と反応させる際に使用される塩基としては、例えば、前記 A法第A2工程のヒドロキシ基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様 なものを挙げることができ、好適には、アルカリ金属水素化物類(最も好適には、水酸化カリウム)である。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-20℃ 乃至200℃(好適には0℃乃至100℃)である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒の種類、反応温度等により異なるが、通常、 30分間乃至48時間(好適には1時間乃至24時間)である。

アミノ、ヒドロキシ及びカルボキシル基の保護基の除去はその種類によって異なるが、一般に有機合成化学の技術において周知の方法、例えば、T.W. Green, (Protective Groups in Organic Synthesis), John Wiley & Sons: J. F. W. McOmis, (Protective Groups in OrganicChemistry), Plenum Press に記載の方法により以下のように行うことができる。

アミノ基の保護基が、シリル類である場合には、通常、弗化テトラブチルアンモニウム、弗化水素酸、弗化水素酸ーピリジン、弗化カリウムのような弗素アニオンを生成する化合物で処理することにより除去される。

上記反応に使用される溶媒は、反応を阻害しないものであれば特に限定はないが、例えば、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類が好適である。

反応温度及び反応時間は、特に限定はないが、通常、0℃乃至50℃で10分間 乃至18時間実施される。

アミノ基の保護基が、脂肪族アシル類、芳香族アシル類、アルコキシカルボニル 類又はシッフ塩基を形成する置換されたメチレン基である場合には、水性溶媒の存 在下に、酸又は塩基で処理することにより除去することができる。 上記反応に使用される酸としては、通常酸として使用されるもので反応を阻害しないものであれば特に限定はないが、例えば、臭化水素酸、塩酸、硫酸、過塩素酸、 燐酸、硝酸のような無機酸であり、好適には塩酸である。

上記反応に使用される塩基としては、化合物の他の部分に影響を与えないものであれば特に限定はないが、好適には、炭酸リチウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属炭酸塩類;水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属水酸化物類;リチウムメトキシド、ナトリウムメトキシド、ナトリウムメトキシド、カリウムー t ープトキシドのような金属アルコキシド類;アンモニア水、濃アンモニアーメタノールのようなアンモニア類;が用いられる。

上記反応に使用される溶媒としては、通常の加水分解反応に使用されるものであれば特に限定はないが、例えば、メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソプタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロへキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;水;水と上記有機溶媒との混合溶媒;であり、好適にはエーテル類(最も好適にはジオキサン)である。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、溶媒及び使用される酸若しくは塩基等により異なり、特に限定はないが、副反応を抑制するために、通常、0℃乃至150℃で、1時間乃至10時間反応させる。

アミノ基の保護基が、アラルキル類又はアラルキルオキシカルボニル類である場合には、通常、不活性溶媒中、還元剤と接触させることにより(好適には、触媒下、常温にて接触還元)除去する方法又は酸化剤を用いて除去する方法が好適である。

接触還元による除去に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば 特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのよ うな脂肪族炭化水素類;トルエン、ベンゼン、キシレンのような芳香族炭化水素類; 酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエス テル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソブタノール、tープタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;酢酸のような有機酸類;水;上記溶媒と水との混合溶媒;であり、好適には、アルコール類、エーテル類、有機酸類又は水(最も好適には、アルコール類又は有機酸類)である。

接触還元による除去に使用される使用される触媒としては、通常、接触還元反応 に使用されるものであれば、特に限定はないが、好適には、パラジウムー炭素、ラ ネーニッケル、酸化白金、白金黒、ロジウムー酸化アルミニウム、トリフェニルホ スフィンー塩化ロジウム、パラジウムー硫酸バリウムが用いられる。

圧力は、特に限定はないが、通常1万至10気圧で行なわれる。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒等により異なるが、通常、0℃ 乃至100℃で、5分間乃至24時間実施される。

酸化による除去において使用される溶媒としては、本反応に関与しないものであれば特に限定はないが、好適には、含水有機溶媒である。

このような有機溶媒としては、例えば、クロロホルム、ジクロロメタン、1,2 ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;アセトニトリルの ようなニトリル類、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフ ラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルの ようなエーテル類;アセトンのようなケトン類;ホルムアミド、ジメチルホルムア ミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類; 及びジメチルスルホキシドのようなスルホキシド類;スルホラン;であり、好適に は、ハロゲン化炭化水素類、エーテル類又はスルホキシド類(最も好適には、ハロ ゲン化炭化水素類又はスルホキシド類)である。

使用される酸化剤としては、酸化に使用される化合物であれば特に限定はないが、 好適には、過硫酸カリウム、過硫酸ナトリウム、アンモニウムセリウムナイトレイト (CAN)、2、3-ジクロロ-5、6-ジシアノーp-ベンゾキノン (DDQ) が用いられる。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒等により異なるが、通常、0℃ 乃至150℃で、10分間乃至24時間実施される。

また、アミノ基の保護基が、アラルキル類である場合には、酸を用いて保護基を 除去することもできる。

上記反応に使用される酸は、通常の反応において酸触媒として使用されるものであれば特に限定はないが、例えば、塩酸、臭化水素酸、硫酸、過塩素酸、燐酸のような無機酸;酢酸、蟻酸、蓚酸、メタンスルホン酸、pートルエンスルホン酸、カンファースルホン酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸のような有機酸等のプレンステッド酸;塩化亜鉛、四塩化スズ、ボロントリクロリド、ボロントリフルオリド、ボロントリプロミドのようなルイス酸;酸性イオン交換樹脂;であり、好適には、無機酸又は有機酸(最も好適には、塩酸、酢酸又はトリフルオロ酢酸)である。

上記前段の反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、ロープロパノール、イソプロパノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;水;或は水又は上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、エーテル類、アルコール類又は水(最も好適には、ジオキサン、テトラヒドロフラン、エタノール又は水)である。

反応温度は、原料化合物、使用される酸、溶媒等により異なるが、通常、-20℃ 乃至沸点温度(好適には、0℃乃至100℃)である。

反応時間は、原料化合物、使用される酸、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、15分間乃至48時間(好適には、30分間乃至20時間)である。

アミノ基の保護基がアルケニルオキシカルボニル類である場合は、通常、アミノの保護基が前記の脂肪族アシル類、芳香族アシル類、アルコキシカルボニル類又はシッフ塩基を形成する置換されたメチレン基である場合の除去反応の条件と同様にして、塩基と処理することにより行われる。

尚、アリルオキシカルボニル基の場合は、特に、パラジウム、及びトリフェニル ホスフィン若しくはニッケルテトラカルボニルを使用して除去する方法が簡便で、 副反応が少なく実施することができる。

ヒドロキシ基の保護基として、シリル類を使用した場合には、通常、弗化テトラプチルアンモニウム、弗化水素酸、弗化水素酸ーピリジン、弗化カリウムのような弗素アニオンを生成する化合物で処理するか、又は、塩酸、臭化水素酸、硫酸、過塩素酸、燐酸のような無機酸又は酢酸、蟻酸、蓚酸、メタンスルホン酸、pートルエンスルホン酸、カンファースルホン酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸のような有機酸で処理することにより除去できる。

尚、弗素アニオンにより除去する場合に、蟻酸、酢酸、プロピオン酸のような有 機酸を加えることによって、反応が促進することがある。

上記反応に使用される不活性溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はされないが、好適には、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;アセトニトリル、イソブチロニトリルのようなニトリル類;酢酸のような有機酸;水;上記溶媒の混合溶媒;である。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒等により異なるが、通常、0℃ 乃至100℃(好適には、10℃乃至50℃)で、1時間乃至24時間実施される。 ヒドロキシ基の保護基が、アラルキル類又はアラルキルオキシカルボニル類である場合には、通常、不活性溶媒中、還元剤と接触させることにより(好適には、触媒下、常温にて接触還元)除去する方法又は酸化剤を用いて除去する方法が好適である。

接触還元による除去に使用される溶媒としては、本反応に関与しないものであれば特に限定はないが、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;トルエン、ベンゼン、キシレンのような芳香族炭化水素類;酢酸エチル、酢酸プロピルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソブタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、Nーメチルー2ーピロリドン、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;蟻酸、酢酸のような脂肪酸類;水;上記容媒の混合溶媒;であり、好適にはアルコール類(最も好適にはメタノール)である。

接触還元による除去に使用される触媒としては、通常、接触還元反応に使用されるものであれば、特に限定はないが、例えば、パラジウムー炭素、パラジウムー黒、ラネーニッケル、酸化白金、白金黒、ロジウムー酸化アルミニウム、トリフェニルホスフィンー塩化ロジウム、パラジウムー硫酸バリウムであり、好適にはパラジウムー炭素である。

・圧力は、特に限定はないが、通常1万至10気圧で行なわれる。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒等により異なるが、通常、0℃ 乃至100℃(好適には、20℃乃至70℃)、5分間乃至48時間(好適には、 1時間乃至24時間)である。

酸化による除去において使用される溶媒としては、本反応に関与しないものであれば特に限定はないが、好適には、含水有機溶媒である。

このような有機溶媒として好適には、アセトンのようなケトン類;メチレンクロ

リド、クロロホルム、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;アセトニトリルのようなニトリル類;ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;及びジメチルスルホキシドのようなスルホキシド類;を挙げることができる。

使用される酸化剤としては、酸化に使用される化合物であれば特に限定はないが、 好適には、過硫酸カリウム、過硫酸ナトリウム、アンモニウムセリウムナイトレイト (CAN)、2,3-ジクロロ-5,6-ジシアノーpーベングキノン (DDQ) が用いられる。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒等により異なるが、通常、0℃ 乃至150℃で、10分間乃至24時間実施される。

また、液体アンモニア中若しくはメタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソブタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類中において、-78℃乃至0℃で、金属リチウム、金属ナトリウムのようなアルカリ金属類を作用させることによっても除去できる。

更に、溶媒中、塩化アルミニウムー沃化ナトリウム又はトリメチルシリルイオダイドのようなアルキルシリルハライド類を用いて除去することができる。

使用される溶媒としては、本反応に関与しないものであれば特に限定はないが、 好適には、メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化 水素類:アセトニトリルのようなニトリル類:上記溶媒の混合溶媒が挙げられる。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、溶媒等により異なるが、通常は0℃乃至 50℃で、5分間乃至72時間実施される。

尚、反応基質が硫黄原子を有する場合は、好適には、塩化アルミニウムー沃化ナ トリウムが用いられる。

ヒドロキシ基の保護基が、脂肪族アシル類、芳香族アシル類又はアルコキシカル ボニル基類である場合には、溶媒中、塩基で処理することにより除去される。 上記反応において使用される塩基としては、化合物の他の部分に影響を与えないものであれば特に限定はないが、例えば、炭酸リチウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属炭酸塩類;炭酸水素リチウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウムのようなアルカリ金属重炭酸塩類;水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属水酸化物類;リチウムメトキシド、ナトリウムメトキシド、ナトリウムメトキシド、ナトリウムエトキシド、カリウムー t ープトキシドのような金属アルコキシド類;アンモニア水、濃アンモニアー0メタノールのようなアンモニア類;であり、好適には、アルカリ金属水酸化物類、金属アルコキシド類又はアンモニア類(最も好適には、アルカリ金属水酸化物類又は金属アルコキシド類)である。

使用される溶媒としては、通常の加水分解反応に使用されるものであれば特に限定はないが、例えば、ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソブタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;水:上記容媒の混合溶媒が好適である。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、使用される塩基、溶媒等により異なり特に限定はないが、副反応を抑制するために、通常、-20℃乃至150℃で、1時間乃至10時間実施される。

ヒドロキシ基の保護基が、アルコキシメチル類、テトラヒドロピラニル類、テトラヒドロチオピラニル類、テトラヒドロフラニル類、テトラヒドロチオフラニル類 又は置換されたエチル類である場合には、通常、溶媒中、酸で処理することにより 除去される。

使用される酸としては、通常、ブレンステッド酸又はルイス酸として使用される ものであれば特に限定はなく、好適には、塩化水素;塩酸、硫酸、硝酸のような無 機酸;又は酢酸、トリフルオロ酢酸、メタンスルホン酸、pートルエンスルホン酸 のような有機酸等のブレンステッド酸:三弗化ホウ素のようなルイス酸であるが、 ダウエックス50Wのような強酸性の陽イオン交換樹脂も使用することができる。

上記反応に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;蟻酸エチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、ロープロパノール、イソプロパノール、ローブタノール、イソプタノール、シクロへキサノール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロへキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;アセトン、メチルエチルケトン、メチルイソプチルケトン、イソホロン、シクロへキサノンのようなケトン類;水;上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、エーテル類(最も好適には、メタノール)である。

反応温度及び反応時間は、原料化合物、使用される酸、溶媒等により異なるが、 通常、-10℃乃至200℃ (好適には、0℃乃至150℃) で、5分間乃至48 時間 (好適には、30分間乃至10時間) である。

ヒドロキシ基の保護基が、アルケニルオキシカルボニル類である場合は、通常、 ヒドロキシ基の保護基が前記の脂肪族アシル類、芳香族アシル類又はアルコキシカ ルボニル類である場合の除去反応の条件と同様にして、塩基と処理することにより 達成される。

尚、アリルオキシカルボニル基の場合は、特にパラジウム、及びトリフェニルホスフィン、又はビス (メチルジフェニルホスフィン) (1, 5ーシクロオクタジエン) イリジウム (I)・ヘキサフルオロホスフェートを使用して除去する方法が簡便で、副反応が少なく実施することができる。

カルボキシル基の保護基が、 C_1-C_6 アルキル基又は C_1-C_6 アルキル、 C_1-C_6 アルコキシ、ニトロ、ハロゲン若しくはシアノで置換されてもよい1万至3個の C_6-C_{10} アリールで置換された C_1-C_6 アルキル基である場合は、通常、ヒドロキシ基の保護基が前記の脂肪族アシル類、芳香族アシル類又はアルコキシカルボニル類である場合の除去反応の条件と同様にして、塩基と処理することにより達成される。

また、アミノ、ヒドロキシ及び/又はカルボキシル基の保護基の除去は、順不同 で希望する除去反応を順次実施することができる。

アミノ及びヒドロキシ基を保護する方法は、その保護基の種類によって異なるが、 一般に有機合成化学の技術において周知の方法により以下のように行うことがで きる。

アミノ基を保護する方法は、化合物(I)において、 R^1 及び R^2 が水素原子である化合物を、不活性溶媒中(好適には、ジェチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジェチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、n-プロパノール、イソプロパノール、n-プタノール、イソプタノール、t-プタノール、イソアミルアルコール、ジェチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類;である。)、塩基(トリエチルアミン、トリプチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン、N-メチルモルホリン、ピリジンのような有機アミン類)の存在下又は非存在下、下記化合物 $R^{16}-Z$ (X I I)

[上記式中、R¹*はアミノ基の保護基(前述したものと同意儀を示す。)を示し、 Zはハロゲン原子を示す。]

と、0℃乃至50℃(好適には室温付近)で30分間乃至10時間(好適には1時間乃至5時間)反応させることにより行なわれる。

ヒドロキシ基を保護する方法は、化合物 (I) において、R³が水素原子である 化合物を、不活性溶媒中(好適には、クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージ クロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;ジメチルスルホキシドのようなスルホキシド類)、塩基の存在下(好適には、水素化リチウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属水素化物類;トリエチルアミン、トリブチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン、Nーメチルモルホリン、ピリジンのような有機アミン類)、下記化合物 R³a-Z (XIII)

[上記式中、R^{3a}は水酸基の保護基(前述したものと同意儀を示す。)を示し、Z は前述したものと同意儀を示す。]

と、0℃乃至50℃ (好適には室温付近) で30分間乃至24時間 (好適には1時間乃至24時間) 反応させることにより行なわれる。

また、アミノ、ヒドロキシ及び/又はカルボキシル基の保護基の除去、並びにアミノ及び/又はヒドロキシ基を保護する反応は、順不同で希望する反応を順次実施することができる。

反応終了後、本反応の目的化合物(I)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不容物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第A9工程は、化合物(X)から一般式(I)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(X)を塩基と反応させ加水分解した後、所望により

 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^{56} 及び R^{76} におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、 R^1 及び/若しくは R^2 におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、 R^3 におけるヒドロキシ基を保護することにより行われ、本工程は前記 A 法第 A 8 工程と同様に行われる。

第A10工程は、化合物(Ic)を製造する工程であり、化合物(IX)のエステルを還元した後、所望によりR¹、R²、R³、R⁵、R⁵を及びR¹をにおけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、R¹及び/若しくはR²におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、R³におけるヒドロキシ基を保護することにより行われ、化合物(IX)のエステルを還元する方法は、本工程は前記A法第A6工程と同様に行われる。

B法は、化合物 (I) において、Xがエチニレン基である化合物 (Id)、Xがビニレン基である化合物 (Ie)、Xがエチレン基である化合物 (If)、Xが一CO-CH₂-を有する基である化合物 (Ig)、Xが-CO-CH₂-を有する基であり、 R^1 が-CO₂ R^{10} である化合物 (Ig-I)、Xが-CH (OH) -CH₂-を有する基である化合物 (Ih)、Xがアリール基又は置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基である化合物 (Ii) 及び、Xが酸素原子又は窒素原子である化合物 (Ij) を製造する方法である。

$$R^{6a} R^{7a}$$
 R^{7a} $R^{6a} R^{7a}$ $R^$

$$W-(CH_2)n$$
 R^{6a} R^{7a} R^{7a} R^{6a} R^{7a} R^{7a} R^{6a} R^{7a} R^{7a}

上記式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^{5a} 、 R^6 、 R^{5a} 、 R^7 、 R^{7a} 、 R^{10} 、Y及Un は、前述したものと同意義を示し、 X_a は、酸素原子又は硫黄原子を示し、Yaは、 C_1-C_{10} アルキレン基又は置換基群 a 及Ub から選択される基で1乃至3個置換された C_1-C_{10} アルキレン基であり、環Aは、アリール基又は置換基群 a から選択される基で1万至3個置換されたアリール基を示し、Wは、下記一般式

[上記式中、R'及びR'は、前述したものと同意義を示し、R'及びR'は、同一又は異なって、低級アルキル基、アリール基又は置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基を示す。」を有する基を示す。

第B1工程は、一般式(XVI)を有する化合物を製造する工程であり、一般式 (XIV)を有する化合物を、不活性溶媒中、塩基及びパラジウム触媒の存在下、一般式 (XV)を有する化合物と Sonogashira coupling 反応させることにより行なわれる。

上記反応に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロ

ロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類; 蟻酸エチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸ブチル、炭酸ジエチルのようなエステル類; ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類; アセトン、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン、イソホロン、シクロヘキサノンのようなケトン類; アセトニトリル、イソブチルビトリルのようなニトリル類; ホルムアミド、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類; ジメチルスルホキシド、スルホランのようなスルホキシド類; であり、好適には、エーテル類、アミド類又はスルホキシド類(最も好適には、アミド類又はエーテル類) である。また、反応溶媒中に少量の水を添加することで、反応の進行が促進されることがある。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、有機アミン類(最も好適には、トリエチルアミン)である。

上記反応に使用されるパラジウム触媒としては、通常の Sönogashira coupling 反応に使用されるものであれば特に限定はないが、例えば、酢酸パラジウム、塩化パラジウム、炭酸パラジウムのようなパラジウム塩類、配位子と錯体を形成している塩化ビストリフェニルホスフィンパラジウム錯体のようなパラジウム塩錯体類を挙げることができる。

また、添加物として、沃化第一銅、塩化ベンジルトリエチルアンモニウムを使用 することにより、収率を向上させることができる。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-20℃ 乃至200℃(好適には0℃乃至120℃)である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、5分 乃至48時間(好適には15分乃至24時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物(XVI)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリ

ウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。 得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化 合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、 適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第B2工程は、一般式(Id)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XVI)のWが(W-1)基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、化合物(XVI)のWが(W-2)又は(W-3)基である場合前記A法第A8工程と同様に反応させることにより一般式(Id)を有する化合物を製造することができる。

第B3工程は、一般式(XVII)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XV)をカテコールボランと反応させた後、化合物(XIV)とSuzuki coupling 反応させることにより行なわれる。

化合物 (XV) をカテコールボランと反応させる際の反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、0℃乃至150℃ (好適には10℃乃至100℃) である。

化合物(XV)をカテコールボランと反応させる際の反応時間は、原料化合物、 塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、15分乃至24時間(好適には30分乃至12時間)である。

その後、Suzuki coupling 反応させる方法は、前記B法第B1工程の Sonogash ira coupling 反応と同様に行われる。

上記反応に使用される溶媒としては、前記B法第B1工程で用いられるものと同様なものを挙げることができ、好適には、芳香族炭化水素類(最も好適には、トルエン)である。

上記反応に使用される塩基としては、例えば、前記A法第A2工程のヒドロキシ 基を脱離基に変換させる際に使用されるものと同様なものを挙げることができ、好 適には、アルカリ金属アルコキシド類(最も好適には、ナトリウムエトキシド)で ある。

上記反応に使用されるパラジウム触媒としては、前記B法第B1工程で用いられるものと同様なものを挙げることができ、好適には、パラジウム塩錯体類(最も好適には、塩化ビストリフェニルホスフィンパラジウム)である。.

第84工程は、一般式(Ie)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XVII)のWが(W-1)基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、化合物(XVII)のWが(W-2)又は(W-3)基である場合前記A法第A8工程と同様に反応させることにより一般式(Ie)を有する化合物を製造することができる。

第B5工程は、一般式(XVIII)を有する化合物を製造する工程であり、不 活性溶媒中、化合物(XVI)を還元する(好適には、触媒下、常温にて接触還元) ことにより行なわれる。

接触還元による除去に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;トルエン、ベンゼン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、ロープロパノール、イソプロパノール、ローブタノール、イソブタノール、オクタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;酢酸、塩酸のような有機酸類;水;上記溶媒と水との混合溶媒;であり、好適には、アルコール類又はエーテル類(最も好適には、メタノール)である。

接触還元による除去に使用される使用される触媒としては、通常、接触還元反応

に使用されるものであれば、特に限定はないが、好適には、パラジウムー炭素、ラネーニッケル、酸化白金、白金黒、ロジウムー酸化アルミニウム、トリフェニルホスフィンー塩化ロジウム、パラジウムー硫酸バリウムが用いられる。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-20℃ 乃至200℃ (好適には0℃乃至100℃) である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、5分 乃至96時間(好適には15分乃至72時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物 (XVIII) は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には 濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的 化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第B6工程は、一般式 (If)を有する化合物を製造する工程であり、化合物 (XVIII) のWが (W-1) 基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、化合物 (XVIII) のWが (W-2) 又は (W-3) 基である場合前記A法第A8 工程と同様に反応させることにより一般式 (If)を有する化合物を製造することができる。

第B7工程は、一般式(XIX)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XVI)のWが(W-1)基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、化合物(XVI)のWが(W-2)又は(W-3)基である場合前記A法第A8工程と同様に反応させることにより一般式(XIX)を有する化合物を製造することができる。

第B8工程は、一般式(Ig)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XIX)を、不活性溶媒中、酸触媒を用いた水の付加反応又は酸化水銀を用いたオキシマーキュレイション反応を経由した方法により行なわれ、所望により R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^{5a} 、 R^{6a} 及び R^{7a} におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、 R^1 及び/若しくは R^2 におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、 R^3 におけるヒドロキシ基を保護することにより行われる。

上記反応に使用される容媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;蟻酸エチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸ブチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、ロープロパノール、イソプロパノール、nーブタノール、イソプタノール、tーブタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルブのようなアルコール類;アセトン、メチルエチルケトン、メチルイソプチルケトン、イソホロン、シクロヘキサノンのようなケトン類;水;上記溶媒の混合溶媒;であり、好適には、アルコール類(最も好適には、メタノール)である。

上記反応に使用される酸触媒としては、通常の反応において酸触媒として使用されるものであれば特に限定はないが、例えば、塩酸、臭化水素酸、硫酸、過塩素酸、燐酸のような無機酸又は酢酸、蟻酸、蓚酸、メタンスルホン酸、pートルエンスルホン酸、カンファースルホン酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸のような有機酸等のブレンステッド酸或いは塩化亜鉛、四塩化スズ、ボロントリクロリド、ボロントリフルオリド、ボロントリブロミドのようなルイス酸又は、酸性イオン交換樹脂を挙げることができ、好適には無機酸(最も好適には、硫酸)である。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、−20℃

乃至200℃ (好適には0℃乃至100℃) である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、5分 乃至96時間(好適には15分乃至72時間)である。

所望により行なわれる R¹、R²、R³、R⁵⁶、R⁶⁶及び R⁷⁶ におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去する方法、R¹及び/若しくはR²におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、R³におけるヒドロキシ基を保護する方法は、前記 A 法第 A 8 工程と同様に行われる。

第B9工程は、一般式(Ig-1)を有する化合物を製造する工程であり、化合物 (XVIa)を、不活性溶媒中、酸触媒を用いた水の付加反応又は酸化水銀を用いたオキシマーキュレイション反応を経由した方法により行なわれ、所望により R^3 、 R^{5a} 、 R^{5a} 、 R^{5a

第B10工程は、一般式(XX)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XIX)を、不活性溶媒中、酸触媒を用いた水の付加反応又は酸化水銀を用いたオキシマーキュレイション反応を経由した方法により行なわれ、所望により R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^{5a} 、 R^{5a} 及び R^{7a} におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、 R^1 及び/若しくは R^2 におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、 R^3 におけるヒドロキシ基を保護することにより行われ、本工程は、前記B法第B8工程と同様に行なわれる。

第B11工程は、一般式(Ih)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(XX)を還元した後、所望により R^1 、 R^2 、 R^3 、 R^{5a} 、 R^{5a} 及び R^{7a} におけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去すること、 R^1 及び/若しくは R^2 におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、 R^3 におけるヒドロキシ基を保護することにより行われる。

上記反応に使用される不活性溶媒は、本反応に不活性なものであれば特に限定

はされないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような 脂肪族炭化水素類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;クロロホルム、ジクロロメタン、1,2ージクロロエタン、四塩化炭素のようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;メタノール、エタノール、nープロパノール、イソプロパノール、nープタノール、イソプタノール、tープタノール、イソアミルアルコール、ジエチレングリコール、グリセリン、オクタノール、シクロヘキサノール、メチルセロソルプのようなアルコール類或は上記溶媒の混合溶媒であり、好適には、エーテル類又はアルコール類(最も好適には、メタノール又はエタノール)である。

上記反応に使用される還元剤としては、例えば、水素化ホウ素ナトリウム、水素 化ホウ素リチウム、水素化シアノホウ素ナトリウムのような水素化ホウ素アルカリ 金属類;水素化ジイソブチルアルミニウム、水素化アルミニウムリチウム、水素化 トリエトキシアルミニウムリチウムのような水素化アルミニウム化合物;であり、 好適には水素化ホウ素アルカリ金属類(水素化シアノホウ素ナトリウム)である。

反応温度は、原料化合物、塩基、溶媒の種類等によって異なるが、通常、-10℃ 乃至100℃ (好適には-20℃乃至20℃) である。

反応時間は、原料化合物、塩基、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、10 分間乃至48時間(好適には30分間乃至12時間)である。

所望により行なわれるR¹、R²、R³、R⁵、R⁶ 及びRⁿにおけるアミノ、ヒドロキシ及び/若しくはカルボキシル基の保護基を除去する方法、R¹及び/若しくはR²におけるアミノ基を保護すること、並びに/又は、R³におけるヒドロキシ基を保護する方法は、前記A法第A8工程と同様に行われる。

反応終了後、本反応の目的化合物(Ih)は常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナトリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有機化

合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応用し、 適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第B12工程は、一般式(XXII)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XXI)を化合物(XIV)と Suzuki coupling 反応させることにより行なわれ、本工程は、前記B法第B3工程の Sonogashira coupling 反応部分と同様に行なわれる。

第B13工程は、一般式 (I i) を有する化合物を製造する工程であり、化合物 (XXII) のWが (W-1) 基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、化合物 (XXII) のWが (W-2) 又は (W-3) 基である場合前記A法第A8工程と同様に反応させることにより一般式 (I i) を有する化合物を製造することができる。

第B14工程は、一般式 (XXIV) を有する化合物を製造する工程であり、一般式 (XIV) を有する化合物を、無溶媒若しくは不活性溶媒中に銅触媒存在下、一般式 (XXIII) を有する化合物のアルカリ金属塩と反応させることにより行なわれる。本工程は例えば、J. Heterocyclic. Chem., 20, 1557 (1983)に記載されているような方法を利用することができる。

上記反応に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定されないが、例えばジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類、ピリジン、ピコリン、ルチジン、コリジンのようなピリジン類;であり好適には無溶媒である。上記反応に使用される銅触媒としては、例えば沃化第一銅、臭化第一銅、酸化第一銅、酸化第二銅が挙げることができ、好適には酸化第一銅である。

上記反応に使用される化合物(XXIII)のアルカリ金属塩は一般式(XXII)とアルカリ金属若しくはアルカリ金属化合物から調整される。アルカリ金属としては、例えば、リチウム、ナトリウム、カリウムが挙げられ、アルカリ金属化

合物としては、例えば水素化リチウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのよう, なアルカリ金属水素化物が挙げられる。好適には金属ナトリウムを用いて調整される。また添加物として、沃化カリウムを使用することにより、収率を向上させることができる。

反応温度は、原料化合物、触媒、溶媒の種類によって異なるが、通常、室温乃至 150℃(好適には60℃乃至120℃)である。

反応時間は、原料化合物、触媒、溶媒の種類によって異なるが、通常、1時間乃至7日(好適には3時間乃至72時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物 (XXIV) は常法に従って、反応混合物から 採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には適 過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化 合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナト リウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られ る。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有 機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応 用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第B15工程は、一般式 (Ij)を有する化合物を製造する工程であり、化合物 (XXIV)のWが (W-1)基である場合、前記A法第A7工程及び第A8工程、 又は前記A法第A9工程と同様に反応させることにより製造することができる。又、 化合物 (XXIV)のWが (W-2)又は (W-3)基である場合前記A法第A8工程と同様に反応させることにより一般式 (Ij)を有する化合物を製造することができる。

第B16工程は、一般式(XXVI)を有する化合物を製造する工程であり、一般式(XIV)を有する化合物を一般式(XXV)を有する化合物と反応させることにより行なわれ、本工程は前記B法第B1工程と同様に行なわれる。

第B17工程は、化合物(XVI)においてYが式-Ya-O-R⁵ を有する基

である化合物(XVIb)を製造する工程であり、化合物(XXVI)を一般式(XXVII)を有する化合物と、不活性溶媒中、光延反応により縮合することにより行なわれる。

光延反応に使用される試薬としては、通常、光延反応に使用できる試薬であれば特に限定はないが、好適には、ジエチルアゾジカルボキシレート、ジイソプロピルアゾジカルボキシレートのようなジ低級アルキルアゾジカルボキシレート類又は1,1'-(アゾジカルボニル)ジピペリジンのようなアゾジカルボニル類等のアゾ化合物とトリフェニルホスフィンのようなトリアリールホスフィン類又はトリ n-ブチルホスフィンのようなトリ低級アルキルホスフィン類等のホスフィン類との組み合わせであり、更に好適には、ジ低級アルキルアゾジカルボキシレート類とトリアリールホスフィン類の組み合わせである。

使用される溶媒としては、反応を阻害せず、出発原料をある程度溶解するものであれば特に限定はないが、好適には、ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロボルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;蟻酸エチル、酢酸エチル、酢酸プロピル、酢酸プチル、炭酸ジエチルのようなエステル類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;アセトニトリル、イソプチロニトリルのようなニトリル類、ホルムアミド、N,N-ジメチルホルムアミド、N,N-ジメチルアセトアミド、N-メチル-2-ピロリドン、N-メチルピロリジノン、ヘキサメチルホスホロトリアミドのようなアミド類;ジメチルスルホキシド、スルホランのようなスルホキシド類を挙げることができ、好適には、芳香族炭化水素類及びエーテル類である。

反応温度は、-20℃乃至100℃で行なわれるが、好適には、0℃乃至50℃である。

反応時間は、主に、反応温度、原料化合物、反応試薬又は使用される溶媒の種類によって異なるが、通常、10分間乃至3日間であり、好適には、30分間乃至12時間である。

反応終了後、本反応の目的化合物(XVIb) は常法に従って、反応混合物から

採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には適 過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化 合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナト リウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られ る。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有 機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応 用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

また、本方法とは別途に、化合物(X I V)のW基を加水分解した後に、化合物 (X V)、(X X I)、(X X I I I) 又は(X X V) と反応させることにより、化合物 (I d) \sim (I j) を製造することもできる。

原料化合物 (II)、(V)、(VIII)、(XII)、(XIII)、(XIV)、(XV)、(XXI)、(XXIII)、(XXV) 及び(XXVII) は、公知か、公知の 方法又はそれに類似した方法に従って容易に製造される。

原料化合物(II)及び(XIV)は、以下の方法でも製造することができる。

C法は、化合物 (X I V) 及び、化合物 (X I V) においてチオフェン基の 2 位に臭素原子を置換基として有し、チオフェン基の 5 位にー (CH_2) n -Wを有する基を有する化合物 (X I V a) を製造する方法である。

上記式中、R⁴、R^{6a}、R^{7a}、R⁸、R⁹、R⁹、R¹⁰、n及びWは、前述したものと

同意儀を示す。

第C1工程は、一般式(XXIX)を有する化合物を製造する工程であり、一般式(XXVIII)を有する化合物を、不活性溶媒中、塩基の存在下又は非存在下(好適には存在下)、還元剤と反応させることにより行われ、本工程は、前記A法第A1工程と同様に行われる。

第C2工程は、一般式(XXX)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、塩基の存在下、化合物(XXIX)のヒドロキシ基を脱離基に変換した後、 沃素化することにより行われ、本工程は、前記A法第A2工程と同様に行われる。

第C3工程は、一般式(XXXI)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(XXX)を、塩基の存在下、化合物(V)と反応させることにより行われ、本工程は、前記A法第A3工程と同様に行われる。

第C4工程は、一般式(XXXII)を有する化合物を製造する工程であり、不 活性溶媒中、化合物(XXXI)を塩基と反応させ、加水分解することにより行わ れ、本工程は、前記A法第A4工程と同様に行われる。

第C5工程は、一般式(XXXIII)を有する化合物を製造する工程であり、 化合物(XXXII)のカルボキシル基をクルチウス転位反応に付し、カルバメートに変換する方法であり、化合物(XXXII)を、不活性溶媒中、塩基の存在下、ジフェニルリン酸アジドのようなジアリール燐酸アジド誘導体と反応させた後、 化合物(VIII)と反応させることにより行われ、本工程は、前記A法第A5工程と同様に行われる。

第C6工程は、化合物 (XIV) を製造する工程であり、化合物 (XXXIII) のエステルを還元することにより行なわれ、本工程は、前記A法第A6工程と同様に行われる。

反応終了後、本反応の目的化合物(XIV)は、常法に従って、反応混合物から 採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には滤 過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化 合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナト リウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得られ る。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、有 機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを応 用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第C7工程は、一般式(XXXV)を有する化合物を製造する工程であり、一般式(XXXIV)を有する化合物を、不活性溶媒中、塩基の存在下又は非存在下(好適には存在下)、還元剤と反応させることにより行われ、本工程は、前記A法第A1工程と同様に行われる。

第C8工程は、一般式(XXXVI)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、塩基の存在下、化合物(XXXV)のヒドロキシ基を脱離基に変換した後、沃素化することにより行われ、本工程は、前記A法第A2工程と同様に行われる。

第C9工程は、一般式(XXXVII)を有する化合物を製造する工程であり、 不活性溶媒中、化合物(XXXVI)を、塩基の存在下、化合物(V)と反応させることにより行われ、本工程は、前記A法第A3工程と同様に行われる。

第C10工程は、一般式 (XXXVIII) を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物 (XXXVII) を塩基と反応させ、加水分解することにより行われ、本工程は、前記A法第A4工程と同様に行われる。

第C11工程は、一般式 (XXXIX) を有する化合物を製造する工程であり、 化合物 (XXXVIII) のカルボキシル基をクルチウス転位反応に付し、カルバ メートに変換する方法であり、化合物(XXXVIII)を、不活性溶媒中、塩基の存在下、ジフェニルリン酸アジドのようなジアリール燐酸アジド誘導体と反応させた後、化合物(VIII)と反応させることにより行われ、本工程は、前記A 法第A5工程と同様に行われる。

第C12工程は、一般式(XL)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XXXIX)のエステルを還元することにより行なわれ、本工程は、前記A法第A6工程と同様に行われる。

第C13工程は、化合物(XIVa)を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(XL)を臭素化剤と反応させることにより行なわれる。

上記反応に使用される溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタンクロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類;ホルムアミドジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド、ヘキサメチルリン酸トリアミドのようなアミド類;であり、好適にはアミド類(最も好適には、ジメチルホルムアミド)である。

上記反応に使用される臭素化剤としては、特に限定はないが、例えば、"Compre hensive Organic Transformations" (Larock, VCH, p316-317)に記載されているような臭素化剤を挙げることができ、好適には、Nープロムスクイシンイミド又は臭素である。

反応温度は、原料化合物、臭素化剤、溶媒の種類等によって異なるが、通常、ー78℃乃至150℃(好適には-20℃乃至100℃)である。

反応時間は、原料化合物、臭素化剤、溶媒、反応温度等により異なるが、通常、 5分間乃至48時間(好適には30分間乃至24時間)である。

反応終了後、本反応の目的化合物(XIVa)は、常法に従って、反応混合物から採取される。例えば、反応混合物を適宜中和し、又、不溶物が存在する場合には

濾過により除去した後、水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的 化合物を含む有機層を分離し、水等で洗浄後、無水硫酸マグネシウム、無水硫酸ナ トリウム、無水炭酸水素ナトリウム等で乾燥後、溶剤を留去することによって得ら れる。得られた目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等の通常、 有機化合物の分離精製に慣用されている方法を適宜組合せ、クロマトグラフィーを 応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

D法は、化合物(II)において、Xがエチニレン基である化合物(IIa)、Xがエチレン基である化合物(IIb)、Xがピニレン基である化合物(IIc)、Xが一 $CO-CH_2$ ーを有する基である化合物(IId)、Xが一CH(OH)ー CH_2 ーを有する基である化合物(IIe)、Xがアリール基又は置換基群 a から選択される基で 1 乃至 3 個置換されたアリール基である化合物(IIf)及びXが酸素原子又は硫黄原子である化合物(IIg)を製造する方法である。

$$R^{6a}$$
 R^{7a} R^{6a} R^{7a} R^{7a}

上記式中、R^{5a}、R^{5a}、R^{7a}、R⁸、n、X_a、Y、Ya及び環Aは、前述したものと同意儀を示す。

第D1工程は、化合物(IIa)を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(XXVIII)を、塩基及びパラジウム触媒の存在下、化合物(XV)を有する化合物とSonogashira coupling 反応させることにより行なわれ、本工程は前記B法第B1工程と同様に行われる。

第D2工程は、化合物(IIb)を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(IIa)を還元する(好適には、触媒下、常温にて接触還元)ことにより行なわれ、本工程は前記B法第B5工程と同様に行われる。

第D3工程は、化合物(IIc)を製造する工程であり、化合物(XV)をカテコールボランと反応させた後、化合物(XXVIII)とSuzuki coupling 反応させることにより行なわれ、本工程は前記B法第B3工程と同様に行われる。

第D4工程は、化合物(IId)を製造する工程であり、化合物(IIa)を、不活性溶媒中、酸触媒を用いた水の付加反応又は酸化水銀を用いたオキシマーキュレイション反応を経由した方法により行なわれ、本工程は前記B法第B8工程と同様に行われる。

第D5工程は、化合物(IIe)を製造する工程であり、不活性溶媒中、化合物(IId)を還元することにより行なわれ、本工程は前記B法第B11工程と同様

に行われる。

第D6工程は、化合物(IIf)を製造する工程であり、化合物(XXI)を化合物(XXVIII)と Suzuki coupling 反応させることにより行なわれ、本工程は、前記B法第B3工程と同様に行なわれる。

第D7工程は、化合物 (IIg)を製造する工程であり、化合物 (XXVIII) を、無溶媒若しくは不活性溶媒中に銅触媒存在下、化合物 (XXIII) のアルカリ金属塩と反応させることにより行なわれ、本工程は、前記B法第B14工程と同様に行なわれる。

第D8工程は、一般式(XLI)を有する化合物を製造する工程であり、化合物(XXVIII)を、化合物(XXV)と反応させることにより行なわれ、本工程は、前記B法第B1工程と同様に行なわれる。

第D9工程は、化合物(IIa)においてYが式ーYa-O-を有する基である 化合物(IIa-1)を製造する工程であり、化合物(XLI)を、化合物(XX VII)と反応させることにより行なわれ、本工程は、前記B法第B17工程と同 様に行なわれる。

E法は、本願発明の化合物 (I) の中間体である化合物 (XLIVa)、(XLI Vb)、(La) 及び (Lb) 及びを製造する方法である。

(La-2)

上記式中、R¹、R²、R³、R⁴、R¹¹、Ar、m及びZは、前述したものと同意儀を示す。

(La-3)

第E1工程は、一般式 (XLIVa) 又は (XLIVb) を製造する工程であり、一般式 (XLII) を有する化合物の一方の水酸基のみを、溶媒の存在又は非存在下、リパーゼの存在下に、一般式 (XLIII) を有する化合物を用いて選択的に

アシル化することにより行なわれる。

本発明で使用される溶媒は特に限定はなく、化合物(XLIII)のみでも良いし、また原料化合物の種類により最適なものが異なるが、各種有機溶媒、含水有機溶媒を使用することができ、好適には、ジイソプロピルエーテル、tープチルメチルエーテル、ジエチルエーテル、テトラヒドロフランのようなエーテル類; nーへキサン、nーペンタンのような脂肪族炭化水素類; ベンゼン、トルエンのような芳香族炭化水素類; 及びジクロロメタン、1, 2ージクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類を挙げることができ、更に好適には、エーテル類であり、最も好適には、ジイソプロピルエーテルである。

反応温度は、原料化合物、使用される溶媒、使用されるリパーゼ、及び、化合物 (XLIII) の種類等によって異なるが、通常、 $-50\sim50$ ℃であり、好適に は、 $0\sim40$ ℃である。

反応時間も、原料化合物、使用される溶媒、使用されるリパーゼ、及び、化合物 (XLIII)の種類等によって異なるが、通常、15分乃至150時間であり、 好適には30分乃至24時間である。

反応終了後、本反応の目的化合物(XLIVa)又は(XLIVb)は常法に従って反応混合物から採取される。例えば、不溶物が存在する場合には、濾過により除去後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウム、無水硫酸マグネシウム等で乾燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E2工程は、一般式(XLV)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶剤中、酸化剤の存在下、化合物(XLIVa)のアルコール部分をアルデヒドに酸化することにより行なわれる。

本工程で使用する酸化反応としては、一級アルコールからアルデヒドを生成する 酸化反応であれば、特に限定はないが、例えば、塩化メチレン中、ピリジン及びク ロム酸を用いて行われる Collins 酸化;塩化メチレン中、塩化クロム酸ピリジニウム (PCC)を用いて行われる PCC 酸化;塩化メチレン中、二クロム酸ピリジニウム (PDC)を用いて行われる PDC 酸化;塩化メチレン中、親電子剤 (例えば無水酢酸、無水トリフルオロ酢酸、塩化チオニル、塩化スルフリル、塩化オキザリル、ジシクロヘキシルカルボジイミド、ジフェニルケテン-p-トリルイミン、N,N-ジエチルアミノアセチレン、三酸化硫黄・ピリジン錯体など)及びジメチルスルホキシド (DMSO)を用いて行われる、Swern 酸化のような、DMSO 酸化;及び塩化メチレン若しくはベンゼン中、二酸化マンガンを用いて行われる二酸化マンガン酸化などをあげることができ、

好適には、塩化メチレン中で行われる、PCC酸化又は Swern酸化である。

反応温度は、原料化合物、溶剤、酸化剤の種類等によって異なるが、通常、-5 0℃乃至50℃で行われるが、好適には、-10℃乃至30℃である。

反応時間は、原料化合物、溶媒、酸化剤の種類、反応温度等によって異なるが、 通常10分間乃至2日間であり、好適には、30分間乃至24時間である。

例えば、酸化剤を亜硫酸水素ナトリウム水等で中和し、不溶物が存在する場合に は濾過により除去後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような混和しない有機 溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウム、無水硫酸マ グネシウム等で乾燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は、必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E3工程は、一般式(XLVII)を有する化合物を製造する工程であり、不 活性溶剤中、塩基の存在下、化合物(XLV)のアルデヒドに、一般式(XLVI) を有する化合物を反応させることにより行なわれる。

使用される溶剤としては、反応を阻害せず、出発物質をある程度溶解するものであれば、特に限定はないが、好適には、ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;ジエチル

エーテル、ジイソプロピルエーテル、t-ブチルメチルエーテル、テトラヒドロフランのようなエーテル類;アセトニトリル、イソブチロニトリルのようなニトリル類;ホルムアミド、N,N-ジメチルホレムアミド、ヘキサメチルホスホロトリアミドのようなアミド類;ジメチルスルホキシド、スルホランのようなスルホキシド類を挙げることができ、さらに好適には、エーテル類である。

使用される塩基としては、通常の反応において塩基として使用されるものであれ ば、特に限定はないが、好適には、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸リチウム のようなアルカリ金属炭酸塩類:炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウム、炭酸水 素リチウムのようなアルカリ金属炭酸水素塩類 ; 水素化リチウム、水素化ナトリウ ム、 水素化カリウムのようなアルカリ金属水素化物類 ; 水酸化ナトリウム、 水酸化 カリウム、水酸化バリウム、水酸化リチウムのようなアルカリ金属水酸化物類;弗 化ナトリウム、弗化カリウムのようなアルカリ金属弗化物類等の無機塩基類;ナト リウムメトキシド、ナトリウムエトキシド、カリウムメトキシド、カリウムエトキ シド、カリウム t-ブトキシド、リチウムメトキシドのようなアルカリ金属アルコ キシド類 : N-メチルモルホリン、トリエチルアミン、トリプロピルアミン、トリブ チルアミン、ジイソプロピルエチルアミン、ジシクロヘキシルアミン、N-メチルピ ペリジン、4-ピロリジノピリジン、ピコリン、4-(N, N-ジメチルアミノ) ピリジン、 2,6-ジ(t-ブチル)-4-メチルピリジン、N,N-ジメチルアニリン、N,N-ジエチルアニ リン、1,4-ジアザビシクロ[4.3.0]オクタン(DABCO)、1,8-ジアザビシクロ [5. 4. 0]-7-ウンデセン(DBU)、1, 5-ジアザビシクロ[4. 3. 0]-5-ノネン(DBN) のような 有機アミン類;又はブチルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド、リチウム ビ ス(トリメチルシリル)アミドのような有機金属塩基類を挙げることができ、さら に好適には、アルカリ金属アルコキシド類、アルカリ金属水素化物類及び有機金属 塩基類である。

反応温度は、原料化合物、溶剤、ホスホニウム塩の種類、塩基の種類等によって 異なるが、通常、-80℃乃至100℃で行われるが、好適には、-20℃乃至50℃である。

反応時間は、原料化合物、溶剤、ホスホニウム塩の種類、塩基の種類等によって

異なるが、通常10分間乃至2日間であり、好適には、30分間乃至12時間である。

例えば、反応液を希塩酸等で中和し、不溶物が存在する場合には濾過により除去後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的 化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウム、無水硫酸マグネシウム等で乾燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は、必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E4工程は、一般式(XLVIII)を有する化合物を製造する工程であり、、 不活性溶剤中、塩基の存在下、化合物(XLVII)を加水分解することにより行なわれる。

使用される溶剤としては、反応を阻害せず、出発原料をある程度溶解するものであれば特に限定はないが、好適にはメタノール、エタノールのようなアルコール類、ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類、塩化メチレン、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタンのようなハロゲン化炭化水素類、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類、又は、これら溶媒の混合溶媒、或いはこれら溶媒と水との混合溶媒を挙げることができ、さらに好適には、アルコール類及びエーテル類である。

使用される塩基としては、通常の反応において塩基として使用されるものであれば、特に限定はないが、好適には、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウム、水酸化バリウム等のようなアルカリ金属水酸化物類をあげることができる。 反応温度は、原料化合物、溶剤、塩基の種類等によって異なるが、通常、-20℃

反心温度は、原料化合物、溶剤、塩基の種類等によって異なるが、通常、-20℃ 乃至200℃であり、好適には、0℃乃至20℃である。

反応時間は、原料化合物、反応温度、溶剤、塩基の種類によって異なるが、通常、30分間乃至48時間であり、好適には、1時間乃至24時間である。

例えば、反応液を希塩酸等で中和し、不溶物が存在する場合には濾過により除去

後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的 化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウム、無水硫酸マグネシウム等で乾 燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は、必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E5工程は、一般式(IL)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶剤中、塩基の存在下、化合物(XLVIII)を、化合物(IL)に変換する工程である。

使用される溶剤としては、反応を阻害せず、出発原料をある程度溶解するものであれば、特に限定はないが、好適には、ジエチルエーテル、ジオキサン、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジエチレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類; N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチル-2-ピロリドン、N-メチルピロリジノン、ヘキサメチルホスホロトリアミドのようなアミド類; ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類であり、さらに好適には、エーテル類、アミド類である。

使用される塩基としては、通常の反応において塩基として使用されるものであれば、特に限定はないが、好適には、水素化リチウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属水素化物類; 弗化ナトリウム、弗化カリウムのようなアルカリ金属弗化物類等の無機塩基類; ナトリウムメトキシド、ナトリウムエトキシド、カリウムメトキシド、カリウムエトキシド、カリウムメトキシド、カリウムエトキシド、カリウムメトキシド、カリウムエトキシド、カリウム・レブトキシド、リチウムメトキシドのようなアルカリ金属アルコキシド類; 又はブチルリチウム、リチウムジイソプロピルアミド、リチウム ビス (トリメチルシリル) アミドのような有機金属塩基類を挙げることができる。さらに好適には、アルカリ金属アルコキシド類、アルカリ金属水素化物類である。

反応温度は、原料化合物、溶剤、塩基の種類等によって異なるが、通常、-80℃ 乃至100℃であり、好適には、0℃乃至50℃である。

反応時間は、原料化合物、反応温度、溶剤、塩基の種類によって異なるが、通常、

5分間乃至48時間である

例えば、反応液を希塩酸等で中和し、不溶物が存在する場合には濾過により除去後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウム、無水硫酸マグネシウム等で乾燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は、必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E6工程は、化合物(La)において、R¹が水素原子であり、かつR²及びR ³ⁿが、一緒になって、式(-(C=O)-)基を有する化合物(La-1)を製造する工程であり、不活性溶剤中、還元剤の存在下、化合物(IL)を目的化合物(La-1)に変換する工程である。

使用される溶剤としては、反応を阻害せず、出発物質をある程度溶解するものであれば、特に限定はないが、好適には、メタノール、エタノール、イソプロパノールのようなアルコール類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、tープチルメチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンのようなエーテル類;ベンゼン、トルエン、キシレンのような芳香族炭化水素類;へキサン、シクロヘキサンのような脂肪族炭化水素類;酢酸エチル、酢酸プロピルのようなエステル類を挙げることができ、さらに好適には、アルコール類である。

使用される還元剤としては、通常、接触還元反応に使用されるものであれば、特に限定はないが、好適には、パラジウム炭素、酸化白金、白金黒、ロジウム-酸化アルミニウム、トリフェニルホスフィン-塩化ロジウム(Wilkinson 錯体)、パラジウム-硫酸パリウム、ラネーニッケルが用いられる。さらに好適には、パラジウム炭素である。

圧力は、特に限定はないが、通常1乃至10気圧で行われる。

反応温度は、原料化合物、溶剤、塩基の種類等によって異なるが、通常、0℃乃 至100℃である。

反応時間は、原料化合物、反応温度、溶剤、塩基の種類によって異なるが、通常、

5分間乃至48時間である。

例えば、触媒を濾過により除去後、そのまま濃縮或いは水と酢酸エチルのような 混和しない有機溶媒を加え、目的化合物を含む有機層を分離し、無水硫酸ナトリウ ム、無水硫酸マグネシウム等で乾燥後、溶媒を留去することによって得られる。

得られた目的物は、必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿等、或いはクロマトグラフィーを応用し、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

第E7工程は、一般式(LI)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶剤中、還元剤の存在下、化合物(XLVII)を化合物(LI)に変換する工程であり、本工程は、前記E法第E6工程に準じて行うことができる。

第E8工程は、化合物(La)においてR30が水素原子である化合物(La-2)を有する化合物を製造する工程であり、不活性溶剤中、塩基の存在下、化合物(LI)を加水分解し、化合物(La-2)を製造する工程であり、本工程は、前記E法第E4工程に準じて行うことができる。

第E9工程は、化合物(La-1)を製造する工程であり、不活性溶剤中、塩基の存在下、化合物(La-2)から目的化合物(La-1)を製造する工程であり、本工程は、前記E法第E5工程に準じて行うことができる。

第E10工程は、化合物(La)において、R²及びR^{3a}が一緒になって式(一(C=O)一)基を示さない化合物(La-3)を製造する工程であり、所望により、化合物(La-2)の水酸基を保護することにより行なわれ、本工程は、ヒドロキシ基の保護基によって異なるが、通常行われる方法、例えば、Protective Groups in Organic Synthesis (Third Edition, 1999, John Wiley & Sons, Inc. 社発行)に記載された方法により行うことができる。

また、化合物 (XLIVa) の代わりに化合物 (XLIVb) を用いて、上記E

法第E 2~E 1 0 工程を行うことにより、化合物(L b)を製造することができる。 F法は、化合物(X L V I)を製造する方法である。 F法

上記式中、Ar及び乙は、前述したものと同意義を示す。

第F1工程は、化合物(XLVI)を製造する工程であり、不活性溶媒中、一般式(LII)を有する化合物をトリフェニルホスフィンと反応させることにより行なわれる。

上記反応に使用される不活性溶媒としては、本反応に不活性なものであれば特に限定はないが、例えば、ヘキサン、ヘプタン、リグロイン、石油エーテルのような脂肪族炭化水素類;トルエン、ベンゼン、キシレンのような芳香族炭化水素類;メチレンクロリド、クロロホルム、四塩化炭素、ジクロロエタン、クロロベンゼン、ジクロロベンゼンのようなハロゲン化炭化水素類;ジエチルエーテル、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエテレングリコールジメチルエーテルのようなエーテル類であり好適には芳香族炭化水素類(最も好適にはベンゼン)である。

反応温度は、原料化合物、溶媒の種類等によって異なるが、通常、室温乃至20 0℃で行われ、好適には0℃乃至150℃(最も好適には110℃)である。

反応時間は、主に反応温度、原料化合物、使用される溶媒の種類等によって異なるが、通常、5分間乃至96時間であり、好適には15分乃至48時間(最も好適には24時間)である。

本下法の各工程の目的化合物は必要ならば、常法、例えば再結晶、再沈殿、又は、通常、有機化合物の分離精製に慣用されている方法、例えば、シリカゲル、アルミナ、マグネシウムーシリカゲル系のフロリジルのような担体を用いた吸着カラムクロマトグラフィー法;セファデックスLHー20(ファルマシア社製)、アンバーライトXAD-11(ローム・アンド・

ハース社製)、ダイヤイオンHP-20 (三菱化成社製)ような担体を用いた分配カラムクロマトグラフィー等の合成吸着剤を使用する方法、イオン交換クロマトを使用する方法、又は、シリカゲル若しくはアルキル化シリカゲルによる順相・逆相カラムクロマトグラフィー法 (好適には、高速液体クロマトグラフィーである。)を適宜組合せ、適切な溶離剤で溶出することによって分離、精製することができる。

尚、異性体を分離する必要がある場合には、上記各工程の反応終了後、 ・又は、所望工程の終了後の適切な時期に、上記分離精製手段によって行な うことができる。

原料化合物(XXVIII)、(XXXIV)、(XLII)、(XLIII)及び(LII)は、公知か、公知の方法又はそれに類似した方法に従って容易に製造される。

発明の効果

本発明の一般式(I)を有するアミノアルコール誘導体、その薬理上許容される塩、そのエステル若しくはその他の誘導体は、毒性が低く優れた免疫抑制作用を有し、本発明の一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩又はそのエステル若しくはその他の誘導体を有効成分として含有する医薬組成物、特に、全身性エリトマトーデス、慢性関節リウマチ、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、ベーチェット病、Chron病、潰瘍性大腸炎、自己免疫性肝炎、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、自己免疫性溶血性貧血、多発性硬化症、自己免疫性水疱症、尋常性乾癬、血管炎症群、Wegener肉芽腫、ぶどう膜炎、特発性間質性肺炎、Goodpasture症候群、サルコイドーシス、アレルギー性肉芽腫性血管炎、気管支喘息、心筋炎、心筋症、大動脈炎症候群、心筋梗塞後症候群、原発性肺高血圧症、微小変化型ネフローゼ、膜性腎症、膜性増殖性腎炎、巣状糸球体硬化症、半月体形成性腎炎、重症筋無力症、炎症性ニューロパチー、アトピー性皮膚炎、慢性光線性皮膚炎、急性多発性関節炎、Sydenham舞踏病、全身性硬化症、成人発症糖尿病、インスリン依存性糖尿病、若年性糖尿病、アテローム性動脈硬化症、糸球体

腎炎、尿細管間質性腎炎、原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、劇症肝炎、 ウイルス性肝炎、GVHD、各種臓器移植での拒絶反応、接触皮膚炎、敗血症等の自 己免疫疾患又はその他免疫関連疾患の予防剤若しくは治療剤として有用である。

また、本発明の新規な光学活性アミノアルコール化合物 (La)及び (Lb) は、 医薬品の製造中間体として有用である。

また、上記光学活性アミノアルコール化合物(La)及び(Lb)の合成中間体として、光学活性な2ー置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体(XLIVa)又は(XLIVb)が好ましく、かかる光学活性な2ー置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体(XLIVa)及び(XLIVb)は、2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール誘導体(XLIVb)は、2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール誘導体(XLII)を原料として用い、リパーゼの存在下に、カルボン酸 ビニルエステル誘導体(XLII)を使用することによる、一方の水酸基のみの選択的アシル化により、容易かつ簡便に、収率良く製造できる。

産業上の利用可能性

本発明の一般式(I)を有する化合物、その薬理上許容される塩又はそのエステルを、上記治療剤又は予防剤として使用する場合には、それ自体或は適宜の薬理学的に許容される、賦形剤、希釈剤等と混合し、例えば、錠剤、カプセル剤、顆粒剤、散剤若しくはシロップ剤等による経口的又は注射剤若しくは坐剤等による非経口的に投与することができる。

これらの製剤は、賦形剤(例えば、乳糖、白糖、葡萄糖、マンニトール、ソルビトールのような糖誘導体;トウモロコシデンプン、バレイショデンプン、α 澱粉、デキストリンのような澱粉誘導体;結晶セルロースのようなセルロース誘導体;アラビアゴム;デキストラン;プルランのような有機系賦形剤:及び、軽質無水珪酸、合成珪酸アルミニウム、珪酸カルシウム、メタ珪酸アルミン酸マグネシウムのような珪酸塩誘導体;燐酸水素カルシウムのような燐酸塩;炭酸カルシウムのような炭

酸塩 : 硫酸カルシウムのような硫酸塩等の無機系賦形剤を挙げることができる。)、 滑沢剤(例えば、ステアリン酸、ステアリン酸カルシウム、ステアリン酸マグネシ ウムのようなステアリン酸金属塩:タルク:コロイドシリカ:ビーガム、ゲイ蝋の ようなワックス類:硼酸:アジピン酸:硫酸ナトリウムのような硫酸塩:グリコー ル;フマル酸;安息香酸ナトリウム;DLロイシン;脂肪酸ナトリウム塩;ラウリ ル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸マグネシウムのようなラウリル硫酸塩;無水珪酸、 珪酸水和物のような珪酸類;及び、上記澱粉誘導体を挙げることができる。)、結合 剤(例えば、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロー ス、ポリビニルピロリドン、マクロゴール、及び、前記賦形剤と同様の化合物を挙 げることができる。)、崩壊剤(例えば、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、 カルボキシルメチルセルロース、カルボキシルメチルセルロースカルシウム、内部 架橋カルボキシルメチルセルロースナトリウムのようなセルロース誘導体:カルボ キシルメチルスターチ、カルボキシルメチルスターチナトリウム、架橋ポリビニル ピロリドンのような化学修飾されたデンプン・セルロース類を挙げることができ る。)、安定剤 (メチルパラベン、プロピルパラベンのようなパラオキシ安息香酸エ ステル類: クロロブタノール、ベンジルアルコール、フェニルエチルアルコールの ようなアルコール類;塩化ベンザルコニウム;フェノール、クレゾールのようなフ ェノール類;チメロサール:デヒドロ酢酸;及び、ソルビン酸を挙げることができ る。)、矯味矯臭剤(例えば、通常使用される、甘味料、酸味料、香料等を挙げるこ とができる。)、希釈剤等の添加剤を用いて周知の方法で製造される。

その使用量は症状、年齢等により異なるが、経口投与の場合には、1回当り1日下限0.05mg (好適には、5mg)、上限200mg (好適には、40mg)を、静脈内投与の場合には、1回当り1日下限0.01mg (好適には、1mg)、上限100mg (好適には、10mg)を成人に対して、1日当り1乃至6回症状に応じて投与することが望ましい。

【発明を実施するための最良の形態】

以下に、実施例及び試験例を示し、本発明を更に詳細に説明するが、本発明の範囲はこれらに限定するものではない。

実施例1

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール (例示化合物番号1-770)

実施例1(a)

2-メチル-2-(2-チエニル)エチルマロン酸 ジエチルエステル

水素化ナトリウム (55%) 18.8 g (0.43モル) をジメチルホルムアミド (200 m 1) 中に懸濁させ、氷冷下、メチルマロン酸 ジエチルエステル50.0 g (0.29モル 2.30分間かけてゆっくりと加え、さらに30分撹拌した。次いで、2-(2-ヨードエチル)チオフェン75.2 g (0.32モル)をジメチルホルムアミド (200 ml) に溶かした溶液を窒素雰囲気下、15分かけて加え、さらに室温にて4時間撹拌した。反応混合物を氷冷した10%塩酸(500 ml)中に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出溶媒; ヘキサン:酢酸エチルー10:1~5:1) にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として、53.1 g (65%)得た。

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 2986, 1726, 1271, 1252 マススペクトル (FAB) m/z: 285 ((M+H) +)。

実施例1(b)

2-メチル-2-(2-チエニル)エチルマロン酸 モノエチルエステル

実施例1(a)で得られた2-メチル-2-(2-チエニル)エチルマロン酸 ジエチルエス テル52.7 g(0.19モル)をエタノール(240 ml)及び水(80 ml)中に溶解し、氷冷下、 水酸化カリウム11.4 g(0.20モル)を加え、2時間撹拌した。さらに1時間ごとに水酸化カリウム5.7 g(0.1モル)を3回加え、計6時間撹拌した。水(300 ml)及び氷冷した10%塩酸(500 ml)を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=2:1~0:1)にて精製を行い、標記化合物を淡黄色油状物として、28.6 g(60%)得た。赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃):2987, 1732, 1712, 1251, 1109 マススペクトル (FAB) m/z:257 ((M+H) +)。

実施例1(c)

実施例1(b)で得られた2-メチル-2-(2-チエニル)エチルマロン酸 モノエチルエステル19.0 g (74.3ミリモル)をベンゼン(450 ml)中に溶解し、トリエチルアミン1 1.4 ml (81.7ミリモル)及びジフェニルリン酸アジド17.6 ml (81.7ミリモル)を加え、室温にて10分間撹拌後、さらに80℃にて1時間半撹拌した。次いでメタノール6 0.3 ml (1.49モル)を同温にて30分かけてゆっくりと滴下し、さらに8時間撹拌した。反応混合物を水(500 ml)中に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=8:1~4:1)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として、14.7 g (69%)得た

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 7.11 (1H, d, J = 5.1 Hz), 6.90 (1H, dd, J = 5.1, 3.5 Hz), 6.77 (1H, d, J = 3.5 Hz), 5.69 (1H, brs), 4.1 9 (2H, q. J = 7.3 Hz), 3.66 (3H, s), 2.84 (2H, dd, J = 10.5, 10.5 Hz), 2.64 (2H, m), 2.20 (2H, dd, J = 10.5, 8.4 Hz), 1.61 (3H, s), 1.28 (3H, t, J

259

= 7.3 Hz

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 3417, 2987, 1719, 1503, 1453, 1081 マススペクトル (FAB) m/z: 286 ((M+H)+)。

実施例1(d)

2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(2-チエニル) ブタン-1-オール

実施例1(c)で得られた2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(2-チエニル)ブタン酸 エチルエステル14.7 g (51.6ミリモル)をエタノール(150 ml)及びテトラヒドロフラン(100 ml)中に溶解し、水素化ホウ素ナトリウム5.07 g (0.13モル)及び塩化リチウム5.68 g (0.13モル)を加え、窒素雰囲気下、室温で一晩撹拌した。翌朝、同様にして、水素化ホウ素ナトリウム5.07 g (0.13モル)及び塩化リチウム5.68 g (0.13モル)を加え、窒素雰囲気下、室温でさらに一晩撹拌した。これと同様の操作をさらに2日間行った。反応混合物を氷冷した10%塩酸(500 ml)中に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=2:1~1:5)にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として、11.7 g (93%)得た。

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3406, 3244, 1687, 1562, 1264, 1089 マススペクトル (FAB) m/z: 244 ((M+H)⁺)

元素分析値;(C₁₁H₁₇NO₃Sとして%)

計算値:C : 54.30, H : 7.04, N : 5.76, S: 13.18

実測値:C : 54.18, H : 6.98, N : 5.78, S: 13.34。

実施例1(e)

2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(5-プロモチオフェン-2-イル)プタン-1 -オール 実施例1(d)で得られた2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(2-チエニル) ブタン-1-オール11.7 g(48.0ミリモル)をジメチルホルムアミド(120 ml)中に溶解し、氷冷下、N-ブロモスクシンイミド10.8 g(60.8ミリモル)を加え、窒素雰囲気下、室温にて4時間撹拌した。反応混合物を氷冷した10%塩酸(300 ml)中に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=4:1~1:3) にて精製を行い、標記化合物を淡黄色油状物として、12.4 g(80%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.84 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6.5 7 (1H, d, J = 3.7 Hz), 4.80 (1H, brs), 3.68 (2H, m), 3.64 (3H, s), 2.80 (2H, m), 1.9-2.2 (2H, m), 1.24 (3H, s)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 3627, 3436, 2956, 1722, 1711, 1513, 1 259, 1087, 1048

マススペクトル (FAB) m/z:322 ((M+H)+)。

実施例1(f)

4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン

実施例1(e)で得られた2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(5-プロモチオフェン-2-イル)ブタン-1-オール12.4 g (38.6ミリモル)をジメチルホルムアミド(125 ml)中に溶解し、氷冷下、窒素雰囲気下にカリウムt-プトキシド6.50 g (57.9ミリモル)を加え、さらに同温にて3時間撹拌した。反応混合物を氷冷した10%塩酸(300 ml)中に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=4:1~1:2)にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として、10.7 g (95%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.86 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6.58

(1H, d, J = 3.7 Hz), 5.73 (1H, brs), 4.18 (1H, d, J = 8.6 Hz), 4.08 (1H, d, J = 8.6 Hz), 2.84 (2H, m), 1.94 (2H, m), 1.41 (3H, s) 赤外吸収スペクトル ν_{sax} cm⁻¹ (KBr): 3211, 1749, 1399, 1037, 798

マススペクトル (FAB) m/z:290 ((M+H) $^+$)

元素分析値;(C₁₀H₁,NO₂SBrとして%)

. 計算値:C : 41.39, H : 4.17, N : 4.83, S: 11.05, Br : 27.54

実測値:C : 41.36, H : 4.04, N : 4.82, S: 11.08, Br : 27.29。

実施例1(g)

(4R)-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン 及び(4S)-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン

実施例1(f)で得られた4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンは分取用光学活性HPLCカラム(ChiralCel OD、ダイセル)にて光学分割を行った(カラム, ChiralCel OD (2 cmø x 25 cm); 溶出溶媒, ヘキサン: 2-プロパノール=70:30; 流速, 5 ml/min)。先に溶出されるもの(55 min)が4S体、後から溶出されるもの(77 min)が4R体であった。尚、絶対配置についてはX線結晶構造解析により決定した。

(4S)体; $[\alpha]_{p}^{24}$ -4.2 (c 1.03, メタノール) (4R)体; $[\alpha]_{p}^{24}$ +4.2 (c 1.00, メタノール)。

 $(40.74^{\circ}, [\alpha]_{0}$ +4.2 (c 1.00, $\nearrow \nearrow \nearrow \longrightarrow \nearrow \nearrow$)

実施例1(h)

(4R)-{2-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]}エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン

実施例1(g)で得られた(4R)-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチル オキサゾリジン-2-オン450 mg (1.55ミリモル)をジメチルホルムアミド4.5 mlに 溶解させ、5-シクロヘキシルペント-1-イン (50%キシレン溶液) 1.40 g (4.65 ミリモル)、トリエチルアミン2.16 ml (15.5ミリモル)、よう化銅(I)30 mg (0.1 6ミリモル)及びジクロロビス (トリフェニルホスフィン) パラジウム109 mg (0.1 6ミリモル)を加え、窒素雰囲気下80℃で2時間撹拌した。反応液を水にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー (溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=4:1~3:2)により精製して、標記化合物4 56 mg (82%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm : 6.92(1H, d, J = 3.6 Hz), 6.6 3(1H, d, J = 3.6 Hz), 5.45(1H, brs), 4.18(1H, d, J = 8.6 Hz), 4.07(1H , d, J = 8.6 Hz), 2.78-2.90(2H, m), 2.38(2H, t, J = 7.2 Hz), 1.92-2.00(2H, m), 1.55-1.75(7H, m), 1.40(3H, s), 1.10-1.35(6H, m), 0.83-0.95(2 H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3450, 2926, 2852, 1758, 1382, 1046。

実施例1(i)

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール

実施例1(h)で得られた(4R)-{2-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]}エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン456 mg (1.27ミリモル)をテトラヒドロフラン1 ml、メタノール2 mlに溶解させ、氷冷下、5規定水酸化カリウム水溶液2 mlを加え、18時間加熱還流した。反応液に水を加え、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;塩化メチレン:メタノール=20:1~塩化メチレン:メタノール:アンモニア水=10:1:0.1)により精製して、標記化合物353 mg (83%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 6.92 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.6 2 (1H, d, J = 3.5 Hz), 3.37 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3.32 (1H, d, J = 10.5 Hz), 2.75-2.90 (2H, m), 2.38 (2H, t, J = 7.1 Hz), 1.52-1.79 (9H, m), 1.12-1.33 (6H, m), 1.11 (3H, s), 0.81-0.96 (2H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (CHCl₃): 2925, 2852, 1449, 1041 マススペクトル (FAB) m/z: 334 ((M+H) +)

元素分析値; (C₂₀H₃₁NOS・0.3H₂0として%)

計算値:C : 70.87, H : 9.40, N : 4.13, S: 9.46

実測値:C:70.83, H:9.21, N:4.22, S:9.64

 $[\alpha]_0^{24}$ - 2.0 (c. 0.60, メタノール)。

実施例2

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール (例示化合物番号1-882)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDC1₃) δ ppm: 6.91 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.62 (1H, d, J = 3.6 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.7 Hz), 3.34 (1H, d, J = 10.7 Hz), 2.82 (2H, t, J = 8.5 Hz), 2.40 (2H, t, J = 6.9 Hz), 2.18-1.92 (4H, m), 1.88-1.51 (8H, m), 1.47-1.38 (2H, m), 1.28-1.07 (9H, m), 0.93-0.78 (2H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3327, 3275, 2922, 2850, 1611, 1563, 153 9, 1447, 1065, 1040, 803, 521

実施例3

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール</u>(例示化合物番号1-824)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 7.32-7.26(2H, m), 7.25-7.16(3H, m), 6.94(1H, d, J=3.6 Hz), 6.93(1H, d, J=3.6 Hz), 3.37(1H, d, J=10.8 Hz), 3.31(1H, d, J=10.4 Hz), 2.83(2H, t, J=8.4 Hz), 2.77(2H, t, J=7.6 Hz), 2.42(2H, t, J=7.2 Hz), 1.96-1.85(2H, m), 1.84-1.64(2H, m), 1.50(3H, brs), 1.11(3H, s)。 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹(1iquid film): 2931, 2859, 1748, 1602, 1584, 1538, 1496, 1455, 1191, 1053, 908, 804, 747, 700, 573。

実施例4

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール 塩酸塩 (例示化合物番号1-849)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 8.07 (3H, brs), 7.10 (2H, d, J = 8.6 Hz), 6.89 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.81 (2H, d, J = 8.6 Hz), 6.65 (1H, d, J = 3.5 Hz), 4.72 (1H, brs), 3.77 (3H, s), 3.65 (2H, s), 2.78-2.97 (2H, m), 2.66 (2H, t, J = 7.5 Hz), 2.36 (2H, t, J = 7.1 Hz), 1.77-2.20 (4H, m), 1.36 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr) : 3370, 3009, 2932, 1589, 1511, 1245, 1 070, 1036。

実施例5

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール マレイン塩 (例示化合物番号1-833)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD30D) δ ppm: 7.18-7.25 (2H, m), 6.95-7.03 (2H, m), 6.94 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.73 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.25 (2H, s), 3.61 (1H, d, J = 11.6 Hz), 3.52 (1H, d, J = 11.6 Hz), 2.80-2.95 (2H, m), 2.74 (2H, t, J = 7.6 Hz), 2.40 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.80-2.10 (4H, m), 1.31 (3H, s) 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3352, 2940, 1578, 1509, 1385, 1367, 1

実施例6

221, 1194,

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(ビフェニル-4-イル)エチニルチオフェン-2-イル]ブタ</u> ン-1-オール (例示化合物番号1-742)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル(400MHz,CDC1₃) δ ppm : 7.55-7.65(6H, m), 7.43-7.50(2H, m), 7.33-7.40(1H, m), 7.11(1H, d, J = 3.6 Hz), 6.72(1H, d, J = 3.6 Hz), 3.39(1H, d, J = 10.4 Hz), 3.34(1H, d, J = 10.4 Hz), 2.80-2.95(2 H, m), 1.70-1.90(2H, m), 1.13(3H, s) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm aax}$ cm⁻¹(KBr): 3335, 3075, 2924, 1485, 1463, 1051, 8 37, 809, 764, 698。

実施例7

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-プチルフェニル)エチニルチオフェン-2-イル]プタン</u> -1-オール (例示化合物番号1-737)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジ

ン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 7.42 (2H, d, J = 8.1 Hz), 7.36 -7.15 (5H, m), 7.16 (2H, d, J = 8.1 Hz), 7.07 (1H, d, J = 3.3 Hz), 6.70 (1H, d, J = 3.3 Hz), 3.99 (2H, s), 3.36-3.24 (2H, m), 2.92-2.81 (2H, m), 2.01-1.95 (2H, m), 2.65-2.26 (3H, m), 1.11 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3326, 3264, 2926, 2904, 1603, 1541, 1468, 1454, 1211, 1063, 1033, 803, 701。

実施例8

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルフェニル)エチニルチオフェン-2-イ</u>ル]プタン-1-オール (例示化合物番号1-741)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, DMSO-d_e) δ ppm: 7.42 (2H, d, J = 8.2 Hz), 7.26 (2H, d, J = 8.2 Hz), 7.20 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.83 (1H, d, J = 3.6 Hz), 3.56-3.24 (5H, m), 2.88-2.70 (2H, m), 1.89-1.52 (7H, m), 1.43-1.21 (6H, m), 0.97 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3326, 3279, 2924, 2850, 1645, 1567, 153 9, 1448, 1385, 1055, 826, 547。

実施例9

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-プロピルフェニル)エチニルチオフェン-2-イル]ブタ</u> <u>ン-1-オール</u> (例示化合物番号1-736)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm: 7.36 (2H, d, J = 8.2 Hz), 7.18 (2H, d, J = 8.2 Hz), 7.06 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.76 (1H, d, J = 3.5 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.7 Hz), 3.38 (1H, d, J = 10.7 Hz), 2.93-2.80 (2H, m), 2.69-2.58 (2H, m), 1.83-1.59 (4H, m), 1.10 (3H, s), 0.94 (3H, t, J = 7.3 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3323, 3267, 2959, 2929, 2869, 1611, 1540, 1510, 1468, 1213, 1066, 1035, 816, 804, 510。

実施例10

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-プロピルオキシフェニル)エチニルチオフェン-2-イ</u>ル]ブタン-1-オール (例示化合物番号1-740)

ラセミ体の4-[2-(5-ブロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm: 7.37 (2H, d, J = 8.9 Hz), 7.03 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.89 (2H, d, J = 8.9 Hz), 6.75 (1H, d, J = 3.6 Hz), 3.95 (2H, t, J = 6.3 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.7 Hz), 3.35 (1H, d, J = 10.7 Hz), 2.92-2.78 (2H, m), 1.86-1.72 (4H, m), 1.09 (3H, s), 1.04 (3H, t, J = 7.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3329, 3275, 2964, 2936, 1604, 1509, 1466, 1249, 1065, 975, 832, 807。

実施例11

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール (例示化合物番号1-98)

実施例1で得られた(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール175 mg (0.53ミリモル)をエタノール9 mlに溶解させ、10%パラジウムー炭素90 mgを加え、水素雰囲気下、2日間撹拌

した。セライトでパラジウムー炭素をろ過後、ろ液を減圧下留去し、標記化合物1 50 mg (85%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.58 (1H, d, J=3.2 Hz), 6.55 (1H, d, J=3.2 Hz), 3.36 (1H, d, J=10.5 Hz), 3.31 (1H, d, J=10.5 Hz), 2.75-2.90 (2H, m), 2.73 (2H, t, J=7.6 Hz), 1.59-1.83 (9H, m), 1.12-1.32 (10H, m), 1.11(3H, s), 0.81-0.89 (2H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (CHCl₃):2926, 2853, 1440, 1042 マススペクトル (FAB) m/z:338 ((M+H)⁺)

元素分析値; (C₂₀H₃₅NOS・H₂0として%)

計算値:C : 67.56, H : 10.49, N : 3.94, S: 9.01

実測値:C: 67.11, H: 10.03, N: 3.93, S: 8.88

 $[\alpha]_0^{24}$ -0.7 (c 3.03, メタノール)。

実施例12

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール (例示化合物番号1-210)

実施例2で得られた(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 6.58 (1H, d, J = 3.3 Hz), 6.5 5 (1H, d, J = 3.3 Hz), 3.37 (1H, d, J = 10.4 Hz), 3.32 (1H, d, J = 10.4 Hz), 2.68-2.93 (4H, m), 1.05-1.85 (24H, m), 0.77-0.93 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3334, 3269, 3159, 2922, 2850, 1465, 1 448, 1060

マススペクトル (EI) m/z:351 (M)

元素分析値;(C₂₁H₂7NOSとして%)

計算値:C: 71.74, H: 10.61, N: 3.98, S: 9.12

実測値:C: 71.47, H: 10.48, N: 3.98, S: 9.37

[α]_n²⁴ -1.3 (c 1.15, メタノール)。

実施例13

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オ ール(例示化合物番号1-152)

実施例3で得られた2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm : 7.31-7.24 (2H, m), 7.20-7.14 (3H, m), 6.58 (1H, d, J = 2.8 Hz), 6.54 (1H, d, J = 3.6 Hz), 3.36 (1H, d, J = 10.8 Hz), 3.31 (1H, d, J = 10.4 Hz), 2.81 (2H, t, J = 8.4 Hz), 2.74 (2H, t, J = 7.6 Hz), 2.61 (2H, t, J = 7.6 Hz), 1.84-1.56 (6H, m), 1.52 (3H, brs), 1.46-1.37 (2H, m), 1.11 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr) : 3333, 3263, 2927, 2852, 1496, 1453, 1 059, 969, 928, 798, 747, 699, 569。

実施例14

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペンチル]チオフェン-2-イル} プタン-1-オール (例示化合物番号1-177)

実施例4で得られた2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDC1₃) δ ppm : 7.08 (2H, d, J = 8.5 Hz), 6.8 2 (2H, d, J = 8.5 Hz), 6.58 (1H, d, J = 3.3 Hz), 6.54 (1H, d, J = 3.3 Hz)

, 3. 79 (3H, s), 3. 36 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3. 31 (1H, d, J = 10.5 Hz), 2. 7 0-2. 85 (4H, m), 2. 55 (2H, t, J = 7.7 Hz), 1. 55-1. 85 (6H, m), 1. 35-1. 45 (2 H, m), 1. 11 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3333, 3263, 3103, 2926, 2852, 1514, 1247, 1061, 1029。

実施例15

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンチル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール (例示化合物番号1-161)

実施例5で得られた2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm: 7.12-7.18 (2H, m), 6.92-6.98 (2H, m), 6.63 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.56 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.25 (2H, s), 3.61 (1H, d, J = 11.6 Hz), 3.51 (1H, d, J = 11.6 Hz), 2.70-2.90 (4H, m), 2.58 (2H, t, J = 7.6 Hz), 1.88-2.03 (2H, m), 1.57-1.70 (4H, m), 1.28-1.42 (5H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 2929, 2854, 1578, 1509, 1464, 1387, 1356, 1223。

実施例16

<u>2-アミノ-2-メチル-4-{5-[2-(ビフェニル-4-イル)エチル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール</u> (例示化合物番号1-44)

実施例6で得られた2-アミノ-2-メチル-4-[5-(ビフェニル-4-イル)エチニルチオフェン-2-イル]プタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.25-7.65 (9H, m), 6.60 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.59 (1H, d, J = 3.5 Hz), 3.37 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3.32 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3.06-3.15 (2H, m), 2.95-3.04 (2H, m), 2.75-2.90 (2 H, m), 1.65-1.85 (2H, m), 1.12 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3333, 3265, 2924, 2852, 1598, 1486, 1448, 1059, 798, 695。

実施例17

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール (例示化合物番号1-1331)

実施例1で得られた(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール126 mg (0.41ミリモル)を、メタノール2 mlに溶解させ、6規定硫酸2 mlを加え、4時間加熱還流した。反応液を1規定水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性にした後、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去し、標記化合物130 mg (91%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.54 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6.8 4 (1H, d, J = 3.7 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.4 Hz), 3.34 (1H, d, J = 10.4 Hz), 2.78-2.98 (4H, m), 1.13 (3H, brs), 0.8-1.9 (19H, m)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (KBr): 3332, 3267, 3134, 2922, 2851, 1647, 1457, 1057

マススペクトル (EI) m/z:351 (M+)

元素分析値; (C₂₀H₃₃NO₂Sとして%)

計算值:C: 68.33, H: 9.46, N: 3.98, S: 9.12

実測値:C: 67.99, H: 9.48, N: 3.92, S: 9.11

 $[\alpha]_{D}^{24}$ -2.1 (c 1.03, $\forall \beta / (-\nu)_{o}$

実施例18

(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール (例示化合物番号1-1357)

実施例2で得られた(2R)-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、実施例17と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm :7.53 (1H, d, J = 3.9 Hz), 6.63 (1H, d, J = 3.9 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3.34 (1H, d, J = 10.5 Hz), 2.80-2.95 (4H, m), 1.33 (3H, brs), 0.8-1.9 (21H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr) :3149, 2922, 2851, 1654, 1460, 1059, 92

マススペクトル (EI) m/z:365 (M⁺)

元素分析値;(C₂₁H₃₅NO₂Sとして%)

計算値:C : 69.00, H : 9.65, N : 3.83, S : 8.77

実測値: C: 68.74, H: 9.50, N: 3.83, S: 8.85

[α]_D²⁴ -1.3 (c 1.15, メタノール)。

実施例19

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1 -オール 塩酸塩 (例示化合物番号1-1344)

実施例3で得られた2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オールを用いて、実施例17と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 7.71 (1H, d, J = 4.0 Hz), 7.2 8-7.20 (2H, m), 7.20-7.10 (3H, m), 6.98 (1H, d, J = 3.6 Hz), 3.62 (1H, d,

J = 7.6 Hz), 3.53 (1H, d, J = 12.0 Hz), 3.04-2.88 (4H, m), 2.64 (2H, t, J = 7.2 Hz), 2.15-2.04 (1H, m), 2.04-1.92 (1H, m), 1.78-1.62 (4H, m), 1.3 2 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3378, 2927, 1648, 1588, 1562, 1504, 1456, 1230, 1067, 827, 748, 698, 578。

実施例20

<u>2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンタソイル]チオフェン-2-</u> イル}ブタン-1-オール (例示化合物番号1-1348)

実施例6で得られた2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オールを用いて、実施例17と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.51 (1H, d, J = 3.7 Hz), 7.0 8-7.17 (2H, m), 6.90-7.00 (2H, m), 6.83 (1H, d, J = 3.7 Hz), 3.39 (1H, d, J = 10.4 Hz), 3.33 (1H, d, J = 10.4 Hz), 2.80-2.98 (4H, m), 2.62 (2H, t, J = 7.5 Hz), 1.60-1.90 (6H, m), 1.12 (3H, s)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3178, 2935, 2858, 1645, 1455, 1218, 1058。

実施例21

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(ビフェニル-4-イル)アセチルチオフェン-2-イル]ブタン-1-オール</u>(例示化合物番号1-1326)

実施例6で得られた2-アミノ-2-メチル-4-[5-(ピフェニル-4-イル)エチニルチオフェン-2-イル]プタン-1-オールを用いて、実施例17と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.64 (1H, d, J = 3.7 Hz), 7.5

2-7.60 (4H, m), 7.30-7.47 (5H, m), 6.86 (1H, d, J=3.7 Hz), 4.18 (2H, s), 3.38 (1H, d, J=10.3 Hz), 3.33 (1H, d, J=10.3 Hz), 2.84-2.98 (2H, m), 1.70-1.87 (2H, m), 1.12 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3420, 2927, 1654, 1488, 1455, 1234, 1 058, 751。

実施例22

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-エニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール マレイン酸塩</u> (例示化合物番号1-670)

実施例22(a)

4-メチル-4-{2-[5-(5-フェニルペント-1-エニル)チオフェン-2-イル]}エチルオキ サゾリジン-2-オン

5-フェニルペント-1-イン0.38 ml (2.58ミリモル)に、室温でカテコールボラン5 00 mg (1.72ミリモル)を加えた後、60°Cで3時間撹拌した。反応液を、室温まで冷却した後、この反応液にトルエン5.0 ml、実施例1(f)で合成した4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オン500 mg (1.72ミリモル)、ビス(トリフェニルホスフィン)塩化パラジウム119 mg (0.17ミリモル)、ナトリウムエトキシド0.83 ml (20%エタノール溶液)を室温で加えた。これを60℃で2時間撹拌した。反応液を室温に冷却後、1規定水酸化ナトリウムを加えた。これを、酢酸エチルで抽出し、水、飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残留物を分取薄層クロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=1:1)により精製して、標記化合物378 mg (68%)を得た。

実施例22(b)

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-エニル)チオフェン-2-イル]プタ

ン-1-オール マレイン酸塩

実施例22(a)で得られた4-メチル-4- $\{2$ - $\{5$ - $\{5$ - $\{7\}$ -フェニルペント-1-エニル $\}$ チオフェン-2-イル $\}$ エチルオキサゾリジン-2-オン370 mg (1.15ミリモル)を実施例1(i) と同様に加水分解することにより、2- $\{7\}$ -

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, DMSO-d_g) δ ppm: 7.83-7.70 (2H, m), 7.38-7.12 (5H, m), 6.78 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.71 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.50 (1H, d, J = 15.6 Hz), 6.02 (2H, s), 5.96-5.83 (1H, m), 5.52 (2H, brs), 5.36-5.1 0 (1H, m), 3.51-3.38 (2H, m), 2.83-2.58 (4H, m), 2.28-2.15 (2H, m), 1.88-1.63 (4H, m), 1.18 (3H, s)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (KBr): 3026, 2932, 1579, 1497, 1386, 1357, 119 4, 1075, 1012, 865, 699, 570。

実施例23

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-エニル)チオフェン-2-イル</u>]プタン-1-オール(例示化合物番号1-657)

実施例22と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.64 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.61 (1H, d, J = 3.5 Hz), 6.41 (1H, d, J = 15.7 Hz), 5.95-5.88 (1H, m), 3.36 (1H, d, J = 10.5 Hz), 3.31 (1H, d, J = 10.5 Hz), 2.86-2.73 (2H, m), 2.29-2.08 (2H, m), 1.83-1.55 (8H, m), 1.52-1.33 (4H, m), 1.30-1.12 (6H, m), 1.11 (3H, s), 0.92-0.79 (2H, m)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (KBr): 3328, 3275, 2921, 2850, 1610, 1447, 122 5, 1066, 1038, 957, 804, 504。 実施例24

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキソ-1-エニル) チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-683)

実施例22と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, DMSO-d₆) δ ppm: 7.90-7.69 (2H, m), 6.77 (1H, d, J = 3.4 Hz), 6.70 (1H, d, J = 3.4 Hz), 6.47 (1H, d, J = 15.8 Hz), 6.0 4 (2H, s), 5.92-5.84 (1H, m), 5.55 (1H, brs), 3.49-3.32 (2H, m), 2.85-2.7 1 (2H, m), 2.18-2.06 (2H, m), 1.96-1.53 (8H, m), 1.42-1.03 (14H, m), 0.93 -0.78 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3042, 2924, 2851, 1695, 1577, 1533, 149 3, 1477, 1387, 1362, 1351, 1210, 1074, 866。

実施例25

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール 塩酸塩</u> (例示化合物番号2-185)

実施例25(a)

4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-カルボアルデヒド

5-フェニルペント-1-イン18.1 g (126ミリモル)をテトラヒドロフラン100 mlに 溶解させ、そこにテトラヒドロフラン200 mlに溶解させた4-プロモチオフェン-2-カルボアルデヒド18.7 g (98ミリモル)、トリエチルアミン150 ml (1.07モル)、よう化銅(I)962 mg (5.05ミリモル)、ジクロロビス (トリフェニルホスフィン) パラジウム3.54 g (5.04ミリモル)を加え、窒素雰囲気下50℃で4時間撹拌した。反応液をろ過後、ろ液を減圧下留去した。残留物にエーテルを加え、水、飽和食塩水で洗浄した。エーテル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=100

277

:1~10:1)により精製して、標記化合物19.4 g (78%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm : 9.88 (1H, s), 7.72 (1H, s), 7.71 (1H, s), 7.35-7.27 (2H, m), 7.24-7.16 (3H, m), 2.78 (2H, t, J = 7.2 H z), 2.41 (2H, t, J = 7.2 Hz), 1.98-1.88 (2H, m)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (liquid film): 2238, 1679, 1440, 1234, 1157, 858, 748, 700, 665, 620

マススペクトル (FAB) m/z:255 ((M+H)+)。

実施例25(b)

[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]メタノール

実施例25(a)で得られた4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-カルボアルデヒド15.0 g (59.0ミリモル)をメタノール150 mlに溶解させ、氷冷下、水素化ホウ素ナトリウム2.29 g (60.5ミリモル)を加えた。氷冷下、25分撹拌後、溶媒を減圧下留去した。残留物に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去することにより標記化合物15.2 g (99%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz、CDC1₃) δ ppm : 7.34-7.27(3H, m), 7.24-7.17(3H, m), 6.98(1H, s), 4.78(2H, d, J = 5.6 Hz), 2.77(2H, t, J = 7.6 Hz),2.39(2H, t, J = 7.2 Hz),1.96-1.85(2H, m),1.77(1H, t, J = 5.6 Hz)赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹(liquid film):3346,3026,2940,2861,2235,1602,1496,1455,1355,1182,1141,1013,844,748,700,626マススペクトル(FAB)m/z:256(M⁺)。

実施例25(c)

[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]アセトニトリル

実施例25(b)で合成した[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]メ

タノール4.68 g (18.3ミリモル)をテトラヒドロフラン70 mlに溶解させ、氷冷下、三臭化リン0.69 ml (7.30ミリモル)を溶解したテトラヒドロフラン20 mlを滴下した。滴下終了後、氷冷で窒素雰囲気下、10分撹拌した。反応液に氷水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物をアセトニトリル120 mlに溶解させ、氷冷下、シアン化テトラエチルアンモニウム2.85 g (18.3ミリモル)を加え、窒素雰囲気下、室温で1時間撹拌した。反応液を5%炭酸水素ナトリウム水溶液にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=20:1~15:1)により精製して、標記化合物3.21 g (66%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (270MHz, CDC1₃) δ ppm : 7.15-7.35 (6H, m), 7.03 (1H, s), 3.86 (2H, s), 2.77 (2H, t, J = 7.5 Hz), 2.39 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.8 3-1.98 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 3691, 2946, 2236, 1603, 1497, 1454, 1416, 1361。

実施例25(d)

2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]エタノール

実施例25(c)で得られた[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]アセトニトリル3.21 g (12.1ミリモル)をエタノール15 mlに溶解させ、氷冷下、水15 mlに溶解させた水酸化カリウム1.70 g (30.2ミリモル)を加え、2時間加熱還流した。反応液を1規定塩酸で酸性にした後、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。得られた残留物ををテトラヒドロフラン15 mlに溶解させ、トリエチルアミン1.69 ml (12.1ミリモル)を加えた。その後、反応液に氷冷下、クロロぎ酸エチル1.21 ml (12.7ミリモル)を溶解

したテトラヒドロフラン15 mlを滴下して、氷冷で窒素雰囲気下、30分撹拌した。この反応液をろ過した後、得られたろ液を氷冷下、水素化ホウ素ナトリウム2.29g (60.5ミリモル)水溶液(10 ml)にゆっくりと加えて、室温で3日間撹拌した。反応液を冷却後、1規定塩酸で酸性にした後、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を1規定水酸化ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=10:1~4:1)により精製して、標記化合物2.74g (84%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.15-7.30(6H, m), 6.86(1H, s), 3.85(2H, t, J = 6.2 Hz), 3.02(2H, t, J = 6.2 Hz), 2.77(2H, t, J = 7.6 Hz), 2.39(2H, t, J = 7.1 Hz), 1.85-1.95(2H, m) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹(CHCl₃): 3620, 2947, 1732, 1603, 1497, 1454,

実施例25(e)

1359, 1250, 1046,

2-(2-ヨードエチル)-4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン

実施例25(d)で得られた2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] エタノール2.69 g (9.95ミリモル)を用いて、実施例1(g)と同様にして、標記化合物3.45 g (91%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.15-7.30 (6H, m), 6.84 (1H, s), 3.30-3.35 (4H, m), 2.77 (2H, t, J = 7.6 Hz), 2.39 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.85-1.95 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃) : 2946, 2863, 1603, 1497, 1454, 1429, 1360, 1172。

実施例25(f)

<u>2-メチル-2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]エチルマロン酸</u> モノエチルエステル

メチルマロン酸 ジエチルエステル1.57 g (9.02ミリモル)をジメチルホルムアミド30 mlに溶解させ、氷冷下、水素化ナトリウム0.38 g (9.47ミリモル)を加え、その後室温で窒素雰囲気下1時間撹拌した。その後、反応液に氷冷下、実施例25(e)で得られた2-(2-ヨードエチル)-4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェンを溶解したジメチルホルムアミド30 ml を滴下して、室温で窒素雰囲気下、4時間撹拌した。反応液を冷却後、1規定塩酸で酸性にした後、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を1規定水酸化ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=50:1~20:1)により部分精製した。得られた混合物をエタノール9 ml、水1 mlに溶解させ、氷冷下、水酸化カリウム0.80 g(14.3ミリモル)を加え、室温で3日間撹拌した。反応液を1規定塩酸で酸性にした後、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;塩化メチレン:メタノール=50:1)により精製して、標記化合物1.02 g(28%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (500MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.15-7.30 (6H, m), 6.79 (1H, s), 4.23 (2H, q, J = 7.1 Hz), 2.60-2.85 (4H, m), 2.38 (2H, t, J = 7.0 Hz), 2.20-2.32 (2H, m), 1.86-1.94 (2H, m), 1.53 (3H, s), 1.29 (3H, t, J = 7.1 Hz)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 3509, 2944, 1732, 1713, 1455, 1377, 1254, 1181, 1113。

実施例25(g)

2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオ

フェン-2-イル]ブタン酸 エチルエステル

実施例25(f)で得られた2-メチル-2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]エチルマロン酸 モノエチルエステル0.99 g (2.48ミリモル)を用いて、実施例1(j)と同様にして、標記化合物0.85 g (80%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (500MHz, CDCl₃) δ ppm : 7.15-7.30 (5H, m), 7.13 (1H, s), 6.75 (1H, s), 5.69 (1H, brs), 4.15-4.33 (2H, m), 3.66 (3H, s), 2.50-2 .80 (5H, m), 2.38 (2H, t, J = 7.0 Hz), 2.15-2.23 (1H, m), 1.87-1.93 (2H, m), 1.60 (3H, s), 1.25-1.30 (3H, m)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (CHCl₃) : 3417, 2987, 2945, 1719, 1504, 1453, 1323, 1077。

4-メチル-4- (2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]} エチルオキ サゾリジン-2-オン

実施例25(g)で得られた2-メトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン酸 エチルエステル0.82 g (1.92ミリモル)をエタノール15 ml、テトラヒドロフラン10 mlに溶解させ、氷冷下、塩化リチウム0.24 g(5.75ミリモル)、水素化ホウ素ナトリウム0.22 g(5.75ミリモル)を加え、窒素雰囲気下、70℃で2時間撹拌した。反応液を冷却後、1規定塩酸で酸性にした後、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=4:1~1:1)により精製して、標記化合物0.65 g (96%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 7.15-7.35 (6H, m), 6.79 (1H, s), 5.38 (1H, brs), 4.18 (1H, d, J = 8.6 Hz), 4.08 (1H, d, J = 8.6 Hz), 2.80-2.90 (2H, m), 2.77 (2H, t, J = 7.6 Hz), 2.38 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.8

5-2.00 (4H, m), 1.41 (3H, s)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (CHCl₃) : 3450, 2978, 2945, 1757, 1497, 1401, 1382, 1249, 1046。

実施例25(i)

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタ</u> ン-1-オール 塩酸塩

実施例25(h)で得られた4-メチル-4-{2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]}エチルオキサゾリジン-2-オン200 mg(0.57ミリモル)をテトラヒドロフラン1 ml、メタノール2 mlに溶解させ、氷冷下、5規定水酸化カリウム水溶液2 mlを加え、18時間加熱還流した。反応液に水を加え、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物を1,4-ジオキサン2 mlに溶解させ、氷冷下、4規定塩酸ジオキサン溶液を加え溶媒を留去した後、得られた白色固体をエーテルで洗浄、乾燥することにより標記化合物165 mg (80%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 7.15-7.30 (6H, m), 6.84 (1H, s), 3.61 (1H, d, J = 11.5 Hz), 3.52 (1H, d, J = 11.5 Hz), 2.80-2.95 (2H, m), 2.75 (2H, t, J = 7.5 Hz), 2.35 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.82-2.10 (4H, m), 1.32 (3H, s)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3351, 3027, 2928, 1594, 1509, 1455, 1 389, 1062。

実施例26

2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オ -ル 塩酸塩 (例示化合物番号2-39)

実施例26(a)

<u>4-メチル-4-{2-[4-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]}エチルオキサゾリ</u> ジン-2-オン

実施例25(h)で得られた4-メチル-4-{2-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]}エチルオキサゾリジン-2-オン174 mg (0.49ミリモル)をエタノール9 mlに溶解させ、5%パラジウムー炭素90 mgを加え、水素雰囲気下、4時間撹拌した。セライトで触媒をろ過後、ろ液を減圧下、留去した。残留物をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=1:1)により精製して、標記化合物164 mg (93%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 7.25-7.30 (2H, m), 7.15-7.20 (3H, m), 6.70 (1H, s), 6.63 (1H, s), 5.33 (1H, brs), 4.18 (1H, d, J = 8.6 Hz), 4.07 (1H, d, J = 8.6 Hz), 2.80-2.90 (2H, m), 2.61 (2H, t, J = 7.8 Hz), 2.53 (2H, t, J = 7.7 Hz), 1.93-2.02 (2H, m), 1.55-1.70 (4H, m), 1.35-1.45 (5H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃) : 3451, 2977, 2934, 2858, 1757, 1400, 1382, 1045。

実施例26(b)

2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オ ール 塩酸塩

実施例26(a)で得られた4-メチル-4-{2-[4-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]}エチルオキサゾリジン-2-オン136 mg (0.38ミリモル)を用いて、実施例25(i)と同様にして、標記化合物107 mg (76%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDC1₃) δ ppm: 7.10-7.30 (5H, m), 6.63 (1H, s), 6.61 (1H, s), 3.66 (2H, s), 2.80-2.95 (2H, m), 2.58 (2H, t, J = 7.7 Hz), 2.47 (2H, t, J = 7.7 Hz), 2.00-2.18 (2H, m), 1.52-1.67 (4H, m), 1.25-1.45 (5H, m)

赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3223, 2929, 2887, 1606, 1525, 1455, 1400, 1054。

実施例27

2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1 -オール 塩酸塩 (例示化合物番号2-343)

実施例26(i)で得られた2-アミノ-2-メチル-4-[4-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール 塩酸塩178 mg (0.49ミリモル)を、メタノール2 mlに溶解させ、6規定硫酸2 mlを加え、4時間加熱還流した。反応液を1規定水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性にした後、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残留物を1,4-ジオキサン2 mlに溶解させ、氷冷下、4規定塩酸ジオキサン溶液を加え溶媒を留去した後、得られた白色固体をエーテルで洗浄、乾燥することにより標記化合物100 mg (53%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 8.14 (1H, s), 7.29 (1H, s), 7.10-7.27 (5H, m), 3.63 (1H, d, J = 11.6 Hz), 3.53 (1H, d, J = 11.6 Hz), 2.85-3.00 (4H, m), 2.64 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.92-2.13 (2H, m), 1.67-1.75 (4H, m), 1.33 (3H, s)

赤外吸収スペクトル v_{max} cm⁻¹ (KBr): 3361, 3026, 2939, 1666, 1591, 1456, 1 154, 1072。

実施例28

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1909)

ラセミ体の4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-エチルオキサゾリジン-2-オンを出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 6.90 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.72 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.25 (2H, s), 3.61 (1H, d, J = 11.7 Hz), 3.57 (1H, d, J = 11.7 Hz), 2.75-2.90 (2H, m), 2.38 (2H, t, J = 7.0 Hz), 1.88-2.06 (2H, m), 1.52-1.82 (9H, m), 1.12-1.37 (6H, m), 0.85-1.04 (5H, m) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3191, 2922, 2851, 1576, 1521, 1386, 1362, 1193, 1068

実施例29

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン -1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1764)

実施例28で得られた2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 6.64 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6. 57 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6.25 (2H, s), 3.61 (1H, d, J = 11.8 Hz), 3.57 (1H, d, J = 11.8 Hz), 2.70–2.87 (4H, m), 1.88–2.05 (2H, m), 1.56–1.82 (9H, m), 1.10–1.38 (10H, m), 0.99 (3H, t, J = 7.5 Hz), 0.81–0.93 (2H, m) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm mex}$ cm⁻¹ (KBr) : 3196, 2923, 2852, 1581, 1523, 1385, 1368, 1193, 1067, 1016

実施例30

<u>2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プ</u> タン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-2097)

実施例28で得られた2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、実施例17と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 7.72 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6. 99 (1H, d, J = 3.7 Hz), 6.25 (2H, s), 3.63 (1H, d, J = 11.6 Hz), 3.59 (1H, d, J = 11.6 Hz), 2.85-3.02 (4H, m), 1.94-2.12 (2H, m), 1.60-1.83 (9H, m), 1.10-1.42 (8H, m), 1.01 (3H, t, J = 7.5 Hz), 0.82-0.96 (2H, m) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3395, 2922, 2851, 1654, 1582, 1520, 1458, 1385, 1370, 1203, 1067

実施例31

(2*R*)-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1072)

4-[2-(5-ブロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを 出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 6.93 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.73 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.25 (2H, s), 3.57-3.67 (3H, m), 3.51 (1H, d, J = 11.6 Hz), 3.32-3.42 (1H, m), 2.78-2.95 (2H, m), 2.63 (2H, t, J = 6.7 Hz), 1.50-2.10 (7H, m), 1.17-1.37 (8H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\text{max}} \text{ cm}^{-1}$ (KBr): 3394, 2932, 2858, 1583, 1506, 1386, 1367, 1194, 1104

実施例32

<u>2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシフェニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール</u>(例示化合物番号1-1729)

4-[2-(5-プロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオキサゾリジン-2-オンを 出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 7.45 (2H, d, J = 8.7 Hz), 7.02 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.88 (2H, d, J = 8.7 Hz), 6.76 (1H, d, J = 3.6 Hz)

), 3.77 (2H, d, J = 6.3 Hz), 3.40 (1H, d, J = 10.9 Hz), 3.36 (1H, d, J = 10.9 Hz), 2.91-2.79 (2H, m), 1.90-1.68 (8H, m), 1.41-1.08 (5H, m), 1.11 (3H, s)

実施例33

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシフェニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール (例示化合物番号1-1744)

4-[2-(5-ブロモチオフェン-2-イル)]エチル-4-メチルオギサゾリジン-2-オンを 出発原料として用い、実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm: 7.51-7.27 (7H, m), 7.07 (1H, d, J = 3.6 Hz), 6.98 (2H, d, J = 8.7 Hz), 6.76 (1H, d, J = 3.6 Hz), 5.06 (2H, s), 3.44-3.38 (2H, m), 2.91-2.80 (2H, m), 1.86-1.74 (2H, m), 1.11 (3H, s)

宝施例34

(2R) -アミノー2-メチルー4- (5-[3-(4-メチルフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1063)

कर्मकार । जिल्ला महार्थन । विकास महार्थन । विकास कर्मकार । विकास कर्म अनुविद्यान । विकास अस्ति । विकास विकास व

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃OD) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.27 (3H, s), 2.80-2.95 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.6 Hz), 4.89 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.77 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.88 (2 H, d, J=8.6 Hz), 7.05 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.09 (2H, d, J=8.6 Hz) 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3338, 3211, 3006, 2923, 2229, 1583, 151 1, 1372, 1228, 1018

実施例35

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(4-メチルフェノキシ) プロ ピル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番 号1-391)

実施例34で得られた(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー {5-[3-(4-メ チルフェノキシ)プロピニル]チオフェンー2ーイル}ブタンー1ーオール マレ イン酸塩を用いて、実施例11と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (4H, m), 2.25 (3H, s), 2.77-2.92 (2H, m), 2.94 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.93 (2H, t, J=6.2 Hz), 6.25 (2H, s), 6.62 (1H, d, J=3.3 Hz), 6.65 (1H, d, J=3.3 Hz), 6.77 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.04 (2H, d, J=8.5 Hz)

赤外吸収スペクトル ν max cm⁻¹ (KBr): 3412, 3028, 2947, 2926, 1577, 1513, 138 、7, 1357, 1239, 1055

医多元氏结肠畸形 斯德基氏病 医成体动物 化铁铁矿 人名马姆克克尔 人名埃

実施例36

(2R) -アミノ-2-メチル-4- (5-[3-(3-メチルフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) プタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号1-2276)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃OD) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.90-2.10 (2H, m), 2.31 (3H, s), 2.82-2.96 (2H, m), 3.52 (1H, d, J=11.7 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.7 Hz), 4.90 (2H, s), 6.73-6.85 (4H, m), 7.05 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.16 (1H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 2923, 2575, 2226, 1621, 1583, 1559, 148 9, 1290, 1255, 1154, 1045 実施例37

(2R) -アミノ-2-メチル-4- (5-[3-(4-エチルフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1064)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.20 (3H, t, J=7.6 Hz), 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.58 (2H, q, J=7.6 Hz), 2.80-2.95 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.5 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.5 Hz), 4.89 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.77 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.90 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.05 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.12 (2H, d, J=8.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3385, 2959, 2928, 2226, 1581, 1510, 138 4, 1232, 1020

実施例38

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(4-メチルチオフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化 合物番号1-1068)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃OD) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.42 (3H, s), 2.81-2.96 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.5 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.5 Hz), 4.92 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.96 (2H, d, J=8.9 Hz), 7.06 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.27 (2H, d, J=8.9 Hz) 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3401, 2984, 2918, 2227, 1575, 1492, 1376, 1237, 1011

実施例39

(2R) -アミノ-2-メチル-4- (5-[3-(3, 5-ジメトキシフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) ブタン-1-オール フマル酸塩 (例示化合物番号1-2285)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 1.31 (3H, s), 1.90-2.10 (2H, m), 2.82-2.96 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.75 (6H, s), 4.89 (2H, s), 6.13 (1H, dd, J=2.2, 2.2 Hz), 6.43 (2H, d, J=2.2 Hz), 6.69 (2H, s), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.07 (1H, d, J=3.6 Hz) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr) : 3382, 2936, 2222, 1682, 1601, 1476, 120 5, 1152, 1066

実施例40

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(3, 4-ジメトキシフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) ブタン-1-オール マレイン酸塩 (6 示化合物番号1-2284)

mangan in and the how has no his property with the

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.81-2.95 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.4 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.4 Hz), 3.78 (3H, s), 3.81 (3H, s), 4.88 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.54 (1H, dd, J=8.7 Hz), 6.66 (1H, d, J=2.7 Hz), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.87 (1H, d, J=8.7 Hz), 7.05 (1H, d, J=3.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3361, 2934, 2221, 1581, 1512, 1385, 136 9, 1228, 1196, 1023

実施例41

(2R) -アミノー2-メチルー4- {5-[3-(4-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール (例示化合物番号1-2288) 実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D) δ ppm : 1.07 (3H, s), 1.68-1.82 (2H, m), 2.56 (3H, s), 2.77-2.91 (2H, m), 3.33 (1H, d, J=11.0 Hz), 3.36 (1H, d, J=11.0 Hz), 5.05 (2H, s), 6.73 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.04 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.10 (2H, d, J=9.0 Hz), 8.00 (2H, d, J=9.0 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3351, 3315, 3287, 2916, 2878, 2734, 222 9, 1673, 1599, 1376, 1364, 1253, 1174

実施例42

(2R) -アミノー2-メチルー4- (5-[3-(4-カルボキシフェノキシ) プロピニル]チオフェンー2-イル) プタン-1-オール 塩酸塩 (例示化合物番号1-2289)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.90-2.10 (2H, m), 2.82-2.96 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.5 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.5 Hz), 5.04 (2H, s), 6.79 (1H, d, J=3.7 Hz), 7.05-7.11 (3H, m), 7.99 (2H, d, J=8.8 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3383, 3064, 2226, 1699, 1604, 1508, 137 9, 1233, 1170, 1002

実施例43

(2R) -アミノ-2-メチル-4-(5-[3-(3-メトキシフェノキシ)プロピニル]チ オフェン-2-イル}ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-2283) 実施例1と同様にして標記化合物を得た。 核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃OD) δ ppm : 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.80-2.96 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.6Hz), 3.77 (3H, s), 4.91 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.52-6.61 (3H, m), 6.78 (1H, d, J=3.6Hz), 7.06 (1H, d, J=3.6Hz), 7.18 (1H, t, J=8.4Hz) 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr) : 3005, 2940, 2223, 1583, 1493, 1387, 1362, 1284, 1191, 1153, 1080, 1045, 1020, 866, 813, 758, 687, 565

実施例44

(2R) -アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)プト-1-イニル] チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-1139)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.87-2.10 (2H, m), 2.26 (3H, s), 2.85 (2H, t, J=6.8Hz), 2.78-2.95 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6Hz), 4.09 (2H, t, J=6.8Hz), 6.25 (2H, s), 6.73 (1H, d, J=3.6Hz), 6.82 (2H, d, J=8.4Hz), 6.96 (1H, d, J=3.6Hz), 7.07 (2H, d, J=8.4Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3032, 2925, 2596, 1578, 1513, 1388, 1359, 1293, 1244, 1205, 1176, 1079, 1039, 867, 812, 509

実施例45

(2R)-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール (例示化合物番号1-1135)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃OD) δ ppm: 1.15 (3H, s), 1.72-1.89 (2H, m), 2.22 (3H, brs), 2.88 (2H, t, J=6.8Hz), 2.76-2.93 (2H, m), 3.37 (1H, d, J=10.8 Hz), 3.42 (1H, d, J=10.8Hz), 4.11 (2H, t, J=6.8Hz), 6.64 (1H, d,

J=3.6Hz), 6.84-6.90 (2H, m), 6.93-7.03 (3H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr): 3356, 3296, 3090, 2971, 2950, 2916, 2896, 2877, 2812, 2735, 1589, 1506, 1465, 1389, 1289, 1245, 1219, 1203, 1154, 1065, 1039, 974, 923, 831, 819, 742, 568, 523, 509

実施例46

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(3, 4-ジメチルフェノキシ) プロピニル]チオフェン-2-イル) ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号1-2278)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃0D) δ ppm: 1.31 (3H, s), 1.90-2.09 (2H, m), 2.19 (3H, s), 2.23 (3H, s), 2.81-2.94 (2H, m), 3.31 (1H, s), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6 Hz), 4.87 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.7 0-6.78 (3H, m), 7.01-7.04 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (Liquid Film): 3353, 3022, 2971, 2923, 2226, 1579, 1500, 1385, 1368, 1287, 1249, 1205, 1165, 1120, 1077, 1039, 930, 865, 806, 713, 573, 446

実施例47

(2R)-2-アミノ-2-メチル-4-[2-(3-フェニルプロピルオキシ) チオフェン-5-イル] プタン-1-オール 酒石酸塩 (例示化合物番号1-2395)

実施例 47(a)

<u>(2R) -アミノー2ーメチルー4ーチオフェンー2ーイルブタンー1ーオール</u> 1/2D-(-) -酒石酸塩

実施例 56 で得られた 85%ee の (4R) ーメチルー4ー[2-(チオフェンー2-

イル)]エチルオキサゾリジン-2-オン7.30g (34.6ミリモル) をテトラヒドロフラン35m1及びメタノール70m1に溶解し、氷冷下、5規定水酸化カリウム水溶液70m1を加え、80℃で2日間攪拌した。反応液に塩化メチレンを加え、水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸マグネシウムで乾燥し、溶媒を減圧下留去した。得られた残渣6.20gをエタノール60m1に溶解し、D-(-)-酒石酸5.19g (34.6ミリモル) のエタノール50m1溶液を加え、析出した沈殿を濾取して、粗製の標記化合物7.56gを得た。得られた粗製の目的化合物7.54gをエタノール75m1及び水50m1を用いて再結晶を行い、標記化合物5.89g (98%ee)を得た。再度、得られた目的化合物5.88gをエタノール60m1及び水54m1を用いて再結晶を行い、標記化合物5.11g (57%、99.7%ee)を得た。

赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3400, 3218, 3126, 2937, 2596, 1599, 153 0, 1400, 1124, 1077, 715

元素分析値; (C,H,,NOS・0.5C,H,O,として%)

計算值 : C, 50. 95; H, 6. 61; N, 5. 40; S, 12. 36

実測値:C,50.68; H,6.91; N,5.38; S,12.48

 $[\alpha]_0^{24}$ -14 (c 1.00, H₂0)

実施例 47(b)

<u>酢酸 (2R)ーアセチルアミノー2ーメチルー4-(チオフェンー2ーイル)ブ</u> <u>チル</u>

実施例 47(a) で得られた(2R) -アミノ-2-メチル-4-チオフェン-2- イルブタン-1-オール 1/<math>2D-(-)-酒石酸塩 5.11g (19.6 ミリモル)に、氷 冷下、1規定水酸化ナトリウム水溶液 30m1を加え、フリー体にした後、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去することにより、(2R) -アミノ-2-メチル-4-チオフェン-2-イルプタン-1-オール <math>3.55g (98%) を得た。得られた(2R) -アミノ-2-メ

チルー4ー(チオフェンー2ーイル) ブタンー1ーオール1.51g(8.15ミリモル)にピリジン30m1を加え、そこに、氷冷下、無水酢酸1.95m1(20.7ミリモル)、4ー(ジメチルアミノ) ピリジン200mg(1.64ミリモル)を加えた。窒素雰囲気下、室温で、2時間半攪拌した。反応液を氷冷下、1規定塩酸150m1にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を1規定塩酸、飽和食塩水で順次洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=3:1-1:2)により精製し、標記化合物2.15g(98%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 1.37 (3H, s), 1.93 (3H, s), 1.94-2.10 (1H, m), 2.10 (3H, s), 2.24-2.38 (1H, m), 2.85 (2H, t, J=8.0 Hz), 4.18 (1H, d, J=11.6 Hz), 4.32 (1H, d, J=11.6 Hz), 5.39 (1H, brs), 6.81 (1H, dd, J=1.2, 3.6 Hz), 6.92 (1H, dd, J=3.6, 5.2 Hz), 7.12 (1H, dd, J=1.2, 5.2 Hz) 赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3265, 3079, 2933, 2862, 1735, 1638, 1559, 1472, 1441, 1374, 1318, 1241, 1179, 1039, 701, 616

実施例 47(c)

<u>酢酸 (2R)ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー(5ープロモチオフェンー2</u> <u>ーイル)プチル</u>

実施例 47(b)で得られた酢酸 (2R)ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー(チオフェンー2ーイル) プチル 1.81g (6.70ミリモル) をジメチルホルムアミド 20 mlに溶解させ、氷冷下、Nープロモスクシンイミド 1.27g (7.11ミリモル) を加え、窒素雰囲気下、氷冷下で 10分間、室温で一昼夜攪拌した。反応液を水にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=3:1-1:2) により精製を行ない、標記化合物 2.32g (99%) を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 1.35 (3H, s), 1.95 (3H, s), 1.95-2.08 (1H, m), 2.10 (3H, s), 2.24-2.37 (1H, m), 2.76 (2H, t, J=8.4 Hz), 4.15 (1H, d, J=11.2 Hz), 4.30 (1H, d, J=11.2 Hz), 5.39 (1H, brs), 6.57 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.84 (1H, d, J=3.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (liquid film): 3300, 3076, 2980, 2937, 1740, 1657, 1544, 1466, 1446, 1373, 1242, 1045, 794, 604

実施例47(d)

(2R) -2-アミノ-2-メチル-4-[2-(3-フェニルプロピルオキシ) チオフェン-5-イル] ブタン-1-オール 酒石酸塩

3ーフェニルー1ープロパノール(1 m 1)にナトリウム(0.06g、2.6 mmo1)を加え、徐々に昇温し80℃から90℃で3時間撹拌した。放冷し、これに実施例47(c)で得られた酢酸(2 R)ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー(5ーブロモチオフェンー2ーイル)ブチル(0.177g、0.51mmo1)、ヨウ化カリウム(0.8mg、0.005mmo1)および酸化銅(II)(2 1.0mg、0.26mmo1)を加え、90℃で19時間撹拌した。冷後、反応液をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ジクロロメタン:メタノール:トリエチルアミン,10:1:0~100:1, V/V/V)および塩基性シリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ジクロロメタン:メタノール,100:1, V/V)を用いて精製し(2 R)ー2ーアミノー2ーメチルー4ー [2ー(3ーフェニルプロピルオキシ)チオフェンー5ーイル] プタンー1ーオール(9.1mg、収率6%)を得た。

得られた (2R) -2-アミノ-2-メチル-4-[2-(3-フェニルプロピルオキシ)チオフェン-5-イル] ブタン-1-オール (15.2mg、0.048mmol) をメタノール (1ml) に溶解し、酒石酸 (4.5mg、0.049mmol) を加えて室温で1時間30分間撹拌した。減圧下濃縮し、これに酢酸エチル

を加えて析出した結晶をろ取し、酢酸エチルにて洗浄後乾燥して標記目的化合物 (18.5 mg、95%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CD₃OD) δ ppm: 1.30(3H, s), 1.86-2.07(4H, m), 2.68-2.79(4H, m), 3.51(1H, d, J=11.6Hz), 3.59(1H, d, J=11.6Hz), 3.97(2H, t, J=6.5Hz), 6.00(1H, d, J=3.7Hz), 6.44(1H, d, J=3.7Hz), 7.14-7.28(5H, m)

マススペクトル (ESI) m/z:342(M+Na)+, 320(M+H)+。

実施例48

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(3-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号 1-2287)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.88-2.10 (2H, m), 2.60 (3H, s), 2.82-2.95 (2H, m), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.6 Hz), 5.02 (2H, s), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.06 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.26 (1H, m), 7.44 (1H, m), 7.61-7.67 (2H, m) 赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3346, 3213, 2929, 2224, 1679, 1595, 158 2, 1277, 1205, 721

実施例 49

(2R) -アミノー2-メチルー4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル) <u>チオフェン-2-イル</u>]プタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号 1-824) 実施例 49(a)

実施例 47(c)で合成した酢酸 (2 R) - アセチルアミノー 2 - メチルー 4 - (5 - ブロモチオフェンー 2 - イル) ブチル 1.60 g (4.59 ミリモル) をジメチルホルムアミド 16 m l に溶解させ、5 - フェニルペント-1 - イン 1.99 g (13.8 ミリモル)、トリエチルアミン 6.40 m l (45.9 ミリモル)、よう化銅 (I) 175 m g (0.92 ミリモル) 及びジクロロビス (トリフェニルホスフィン) パラジウム 322 m g (0.46 ミリモル) を加え、窒素雰囲気下 80℃で 2 時間撹拌した。反応液を水にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=2:1~2:3) により精製して、標記化合物 1.41 g (75%)を得た。核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃):δ 1.36 (3H, s), 1.85-2.05 (3H, m), 1.94 (3H, s), 2.10 (3H, s), 2.25-2.35 (1H, m), 2.43 (2H, t, J=7.0 Hz), 3.70-3.80 (4H, m), 4.17 (1H, d, J=11.2 Hz), 4.31 (1H, d, J=11.2 Hz), 5.38 (1H, brs), 6.64 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.94 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.15-7.42 (5H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (CHCl₃): 3443, 2946, 2862, 1737, 1681, 1511, 1374, 1251, 1042

実施例 49(b)

(2R) - P = 1 - 2 - 2 + 2 + 2 - 4 - 1 - 4 - 1 - 4 - 1 -

実施例 49(a)で得られた酢酸 (2 R) ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー[5 ー(5ーフェニルペントー1ーイニル) チオフェンー2ーイル]プチル 1.40 g (3.40 ミリモル) をテトラヒドロフラン:メタノール:水=1:1:1溶液 14m1中に溶解し、水酸化リチウム・一水和物 1.43 g (34.0 ミリモル) を加え、50℃で4時間撹拌した。反応液を水にあけ、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフ

ィー (溶出溶媒;塩化メチレン:メタノール:アンモニア水=20:1:0~10:1:0.1) により精製して、(2R) ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニルペントー1ーイニル) チオフェンー2ーイル]ブタンー1ーオール 1.11g (100%) を得た。得られた (2R) ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニルペントー1ーイニル) チオフェンー2ーイル]ブタンー1ーオール 360mg (1.10ミリモル) をメタノールに溶解し、しゅう酸 99mg (1.10ミリモル) を加え、析出した結晶をメタノールより再結晶を行ない、標記化合物を白色結晶として394mg (86%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.82-2.10 (4H, m), 2.40 (2H, t, J=7.0 Hz), 2.75 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.80-2.95 (2H, m), 3.52 (1H, d, J=11.5 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.5 Hz), 6.73 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.94 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.13-7.30 (5H, m)

赤外吸収スペクトルッ_{max} cm⁻¹ (KBr) : 3383, 3106, 3026, 2980, 2942, 2622, 25 14, 1721, 1609, 1539, 1198, 699

マススペクトル(FAB) m/z: 328 (M + H)⁺ (Free 体)

元素分析値; (C₂₀H₂₅NOS·C₂H₂O₄·0. 2H₂O として%)

計算值:C,62.75; H,6.55; N,3.32; S,7.61

実測值: C, 62.50; H, 6.29; N, 3.39; S, 7.70

 $[\alpha]_0^{25} = 0.9 \text{ (c } 1.00, \forall \beta)$

実施例 50

(2 R) -アミノー2-メチルー4-[5-(5-フェニルペンタノイル) チオフ エン-2-イル]ブタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号 1-1344)

実施例 49 で得られた (2R) ーアミノー 2 ーメチルー 4 ー[5 ー(5 ーフェニル ペントー1ーイニル)チオフェンー 2 ーイル] ブタンー 1 ーオール 387 m g (1.18 ミリモル)をメタノール 4 m 1 に溶解させ、6 規定硫酸 4 m 1 を加え、4 時間加熱

還流した。反応液を 0℃に冷却後、1 規定水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性(pH14)にした後、塩化メチレンで抽出した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去し、残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(Chromatorex NH(100-200 mesh))(溶出溶媒;塩化メチレン:メタノール=1:0~50:1)により精製して、(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニルペンタノイル)チオフェンー2ーイル]ブタンー1ーオール336mg(82%)得た。これをメタノールに溶解し、しゅう酸88mg(0.97ミリモル)を加え、得られた結晶をメタノールより再結晶を行ない、標記化合物を白色結晶として332mg(78%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, DMSO- d_6) : δ 1.19 (3H, s), 1.55-1.67 (4H, m), 1.80-1.98 (2H, m), 2.60 (2H, t, J=6.7 Hz), 2.83-2.96 (4H, m), 3.40 (1H, d, J=11.3 Hz), 3.47 (1H, d, J=11.3 Hz), 7.00 (1H, d, J=3.7 Hz), 7.13-7.22 (3H, m), 7.23-7.31 (2H, m), 7.80 (1H, d, J=3.7 Hz)

赤外吸収スペクトルッ_{max} cm⁻¹ (KBr): 3126, 2942, 2657, 1915, 1718, 1649, 160 9, 1547, 1445, 1205, 700

マススペクトル(FAB) m/z: 346 (M + H) (Free 体)

元素分析値;(C₂₀H₂₇NO₂S・C₂H₂O₄・0.5H₂Oとして%)

計算値:C,59.44; H,6.80; N,3.15; S,7.21

実測値:C,59.62; H,6.53; N,3.31; S,7.43

実施例 51

<u>(2R) -アミノー2-メチルー4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン</u> -2-イル]プタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号 1-152)

実施例 49(a) で得られた酢酸 (2R) ーアセチルアミノー 2 ーメチルー 4 ー [5 ー (5 ーフェニルペントー 1 ーイニル)チオフェンー 2 ーイル] プチル 337 m g (0.82 ミリモル)をメタノール 17 ml に溶解させ、1 0 %パラジウム - 炭素 170 m g を

加え、水素雰囲気下、16 時間撹拌した。セライトで触媒を濾去後、濾液を減圧下留去し、酢酸 (2 R) ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニルペンチル) チオフェンー2ーイル]ブチル318mg(93%)を得た。得られた酢酸 (2 R) ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニルペンチル) チオフェンー2ーイル]ブチル298mg(0.72ミリモル)をテトラヒドロフラン:メタノール:水=1:1:1溶液6ml中に溶解し、水酸化リチウム・一水和物301mg(7.17ミリモル)を加え、50℃で6時間撹拌した。反応液を水にあけ、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣243mgをメタノールに溶解し、しゆう酸65mg(0.72ミリモル)を加え、析出した結晶を濾取し、標記化合物を白色結晶として251mg(83%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.32-1.42 (2H, m), 1.58-1.70 (4H, m), 1.88-2.08 (2H, m), 2.59 (2H, t, J=7.6 Hz), 2.74 (2H, t, J=7.4 Hz), 2.75-2.91 (2H, m), 3.52 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6 Hz), 6.56 (1H, d, J=3.3 Hz), 6.63 (1H, d, J=3.3 Hz), 7.09-7.17 (3H, m), 7.19-7.27 (2H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3458, 3134, 2929, 2855, 2595, 1724, 164 2, 1543, 1219, 710 cm⁻¹

実施例 52

(2R)-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン -2-イル}プタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物番号 1-2273)

実施例 52(a)

酢酸 (2R)-アセチルアミノ-2-メチル-4-[5-(3-ヒドロキシプロピニル)チオ フェン-2-イル]プチル

実施例 47(c) で合成した酢酸 (2 R) -アセチルアミノ-2-メチル-4-(5-プロモ

チオフェン-2-イル)ブチル 1.38 g (3.95 ミリモル) をジメチルホルムアミド 20 m 1 中に溶解させ、プロパルギルアルコール 0.69 m 1 (11.9 ミリモル)、トリエチルアミン 5.60 m 1 (40.1 ミリモル)、よう化銅(I)76 m g (0.40 ミリモル) 及びジクロロビス (トリフェニルホスフィン) パラジウム 276 m g (0.39 ミリモル) を加え、窒素雰囲気下 80℃で 1 時間撹拌した。反応液を水にあけ、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=3:1~1:3) により精製して、標記化合物を白色結晶として685 m g (54%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル (500MHz, CDCl₃): δ 1.35 (3H, s), 1.91 (1H, brs), 1.9 4 (3H, s), 1.97-2.05 (1H, m), 2.10 (3H, s), 2.27-2.35 (1H, m), 2.75-2.82 (2H, m), 4.16 (1H, d, J=11.2 Hz), 4.31 (1H, d, J=11.2 Hz), 4.49 (2H, s), 5.43 (1H, brs), 6.66 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.02 (1H, d, J=3.6 Hz) 赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3295, 3077, 2981, 2217, 1740, 1644, 15 56, 1373, 1251, 1028

実施例 52(b)

(2R)-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン -2-イル}ブタン-1-オール しゅう酸塩

実施例 52(a)で合成した酢酸 (2R)-アセチルアミノ-2-メチル-4-[5-(3-ヒドロキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブチル 285mg (0.88 ミリモル)及び 4-クロロフェノール 136mg (1.06 ミリモル)を無水テトラヒドロフラン 5ml中に溶解し、氷冷下、アゾジカルボン酸 ジエチルエステル 230mg (1.32 ミリモル)及びトリフェニルホスフィン 346mg (1.32 ミリモル)を加え、室温にて 4時間撹拌した。反応混合物に水を注ぎ、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去し、残渣をシリカゲルクロマトグラフィー

(溶出溶媒; ヘキサン:酢酸エチル=2:1~1:3) により精製して、酢酸 (2R)-アセチルアミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル)プチルを淡黄色油状物として195mg (51%) 得た。これをテトラヒドロフラン:メタノール:水=1:1:1溶液6ml中に溶解し、水酸化リチウム・一水和物370mg (8.82ミリモル) を加え、50℃で6時間撹拌した。反応液を水にあけ、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。残渣175mg (0.50ミリモル)を酢酸エチル5mlに溶解し、しゅう酸45mg (0.50ミリモル)を加え、析出した結晶を濾取し、標記化合物を白色結晶として198mg (86%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, DMSO-d₆): δ 1.18 (3H, s), 1.7-2.0 (2H, m), 2.84 (2H, t, J=8.7Hz), 3.43 (2H, m), 5.07 (2H, s), 6.83 (1H, d, J=3.6Hz), 7.05 (2H, d, J=9.0Hz), 7.19 (1H, d, J=3.6Hz), 7.37 (2H, d, J=9.0Hz) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr): 3416, 1719, 1597, 1490, 1375, 1241, 1201, 1092, 1006, 830

マススペクトル(FAB) m/z: 350 (M + H)* (Free 体)

元素分析値;(C₂₀H₂₇NO₂S・C₂H₂O₂として%)

計算値:C, 54.61; H, 5.04; N, 3.18; S, 7.29; C1, 8.06

実測値:C,54.61; H,5.04; N,3.01; S,7.16; Cl, 7.77

実施例 53

<u>(2R) -アミノー2ーメチルー4ー[5- (1-ヒドロキシー5-フェニルペンチル) チオフェンー2ーイル]プタンー1ーオール しゅう酸塩</u>(例示化合物番号1-1686)

実施例 50 で得られた (2R) ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(5ーフェニル ペンタノイル) チオフェンー2ーイル]プタンー1ーオール 130mg (0.38ミリモル) をメタノール3ml に溶解し、氷冷下、水素化ホウ素ナトリウム 17mg (0.4

5 ミリモル)を加え、室温で1時間撹拌した。氷冷下、反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した後、溶媒を減圧下留去した。得られた残渣をメタノールに溶解し、しゅう酸34mg (0.38ミリモル)を加え、溶媒を減圧下留去した。そこへ、エタノール3mlを加え、沈殿を濾取して標記化合物95mg (58%)を白色結晶として得た。核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.25-1.50 (2H, m), 1.30 (3H, s), 1.58-1.68 (2H, m), 1.70-2.08 (4H, m), 2.52-2.64 (2H, m), 2.80-2.94 (2H, m), 3.53 (1H, d, J=11.7 Hz), 3.59 (1H, d, J=11.7 Hz), 4.74 (1H, t, J=6.8 Hz), 6.69 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.74 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.08-7.27 (5H, m) 赤外吸収スペクトルャ_{max} cm⁻¹ (KBr): 3357, 2933, 2857, 1579, 1496, 1454, 131 0, 1070, 699

実施例 54

(2R) -アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブト-1-イニル) チ オフェン-2-イル]ブタン-1-オール しゅう酸塩(例示化合物番号1-756)

実施例 49 と同様に、酢酸 (2R) ーアセチルアミノー2ーメチルー4ー(5 ープロモチオフェンー2ーイル) プチル及び 4-フェニルブト-1-インを用いて、標 記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.88-2.09 (2H, m), 2.68 (2H, t, J=7.3 Hz), 2.78-2.93 (4H, m), 3.52 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6 Hz), 6.72 (1H, d, J=3.6Hz), 6.88 (1H, d, J=3.6Hz), 7.16-7.31 (5H, m)

赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3204, 3110, 3026, 2981, 2929, 2887, 1719, 1608, 1541, 1202, 699

<u>(2R) -アミノー2ーメチルー4ー[5-(4-フェニルブタノイル)チオフェ</u> ン-2-イル]ブタン-1-オール しゅう酸塩 (例示化合物 1-1330)

実施例 50 と同様に、実施例 54 で得られた(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー [5-(4-フェニルブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オールを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, DMSO- d_6): δ 1.19 (3H, s), 1.82-1.98 (4H, m), 2.62 (2H, t, J=7.7 Hz), 2.85-2.97 (4H, m), 3.39 (1H, d, J=11.7 Hz), 3.45 (1H, d, J=11.7 Hz), 7.00 (1H, d, J=3.8Hz), 7.15-7.33 (5H, m), 7.76 (1H, d, J=3.8Hz)

赤外吸収スペクトルッ_{max} cm⁻¹ (KBr): 3410, 3210, 2941, 2653, 2576, 1665, 1641, 1530, 1452, 1325

実施例 56

(2R)-アミノー2-メチルー4-[5-(4-シクロヘキシルブトー1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール(例示化合物番号 1−743)

実施例1と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 0.87-0.99 (2H, m), 1.08 (3H, s), 1.11-1.50 (6H, m), 1.62-1.81 (7H, m), 2.41 (2H, t, J=7.2 Hz), 2.74-2.88 (2H, m), 3.34 (1H, d, J=11.0 Hz), 3.37 (1H, d, J=11.0 Hz), 6.66 (1H, d, J=3.6 Hz), 6.87 (1H, d, J=3.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3334, 3269, 3153, 2922, 2851, 1618, 14-49, 1060, 804

実施例 57

<u>(2R)-アミノー2-メチルー4-[5-(4-シクロヘキシルブチル)チオフェンー2-イル]ブタン-1-オール</u>(例示化合物番号 1-71)

実施例 56 で得られた (2R) -アミノー2-メチルー4-[5-(4-シクロヘキシルブトー1-イニル) チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、 実施例 11 と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 0.80-0.95 (2H, m), 1.08 (3H, s), 1.10-1.40 (8H, m), 1.54-1.81 (9H, m), 2.68-2.87 (4H, m), 3.34 (1H, d, J=10.9 Hz), 3.37 (1H, d, J=10.9 Hz), 6.53 (1H, d, J=3.2 Hz), 6.58 (1H, d, J=3.2 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3333, 3269, 3170, 2923, 2850, 1619, 1461, 1447, 1059, 801

実施例 58

<u>(2R) -アミノー2ーメチルー4ー[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チ</u> オフェン-2-イル]ブタン-1-オール (例示化合物番号 1-1329)

実施例 56 で得られた(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー[5-(4-シクロ〜キシルブトー1-イニル)チオフェンー2-イル]ブタンー1-オールを用いて、実施例 17 と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 0.83-0.97 (2H, m), 1.09 (3H, s), 1.10-1.33 (6H, m), 1.61-1.86 (9H, m), 2.82-3.00 (4H, m), 3.35 (1H, d, J=10.9 Hz), 3.39 (1H, d, J=10.9 Hz), 6.94 (1H, d, J=3.7 Hz), 7.69 (1H, d, J=3.7 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3333, 3268, 3142, 2921, 2849, 1648, 14 57, 1208, 1057, 923, 816

実施例 59

2-アミノー2-メチルー4-[5-(3-シクロヘキシルメトキシプロピニル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号 11185)

実施例1と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃OD): δ 0.92-1.04 (2H, m), 1.13-1.37 (3H, m), 1.31 (3H, s), 1.53-1.82 (6H, m), 1.89-2.11 (2H, m), 2.82-2.96 (2H, m), 3.35 (2H, d, J=6.4 Hz), 3.51 (1H, d, J=11.5 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.5 Hz), 4.87 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.05 (1H, d, J=3.6 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 2924, 2852, 2218, 1577, 1496, 1386, 1356, 1195, 1089, 866

実施例 60

(2R) -アミノー2-メチルー4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプチル) チオフェン-2-イル]プタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号 1-400)

実施例 31 で得られた(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(4ーシクロヘキシルオキシブト-1-イル)チオフェンー2ーイル]ブタンー1ーオールを用いて、実施例 11 と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃OD): δ 1.15-1.35 (5H, m), 1.31 (3H, s), 1.50-1.80 (7H, m), 1.85-2.08 (4H, m), 2.73-2.92 (4H, m), 3.20-3.30 (1H, m), 3.45-3.55 (3H, m), 3.60 (1H, d, J=11.6 Hz), 6.25 (2H, s), 6.59 (1H, d, J=3.3 Hz), 6.64 (1H, d, J=3.3 Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 2931, 2856, 1577, 1490, 1471, 1459, 1388, 1357, 1108, 1081, 868

実施例 61

(2R) -アミノー2-メチルー4- {5-[4-(4-フルオロフェノキシ) プ

チル]チオフェンー2ーイル}ブタンー1ーオール (例示化合物番号1-463)

実施例 45 で得られた (2R) -アミノ-2-メチル-4- $\{5-[4-(4-7)]$ - アミノ-2-イル} ブタン-1-オールを用いて、実施例 11 と同様にして、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.08 (3H, s), 1.70-1.85 (6H, m), 2.73-2.88 (4H, m), 3.34 (1H, d, J=10.9 Hz), 3.38 (1H, d, J=10.9 Hz), 3.94 (2H, t, J=5.9 Hz), 6.58 (1H, d, J=3.7 Hz), 6.60 (1H, d, J=3.7 Hz), 6.83 -6.90 (2H, m), 6.93-7.00 (2H, m)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (KBr): 3333, 3268, 3162, 2940, 2865, 1509, 1474, 1244, 1220, 1060, 830, 763

実施例 62

実施例 1h と同様にして得られた (4R) ーメチルー $4-\{2-[4-(4-メトキシフェノキシ)プトー1ーイニル]\}$ エチルオキサゾリジンを実施例 26 に準じて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.08 (3H, s), 1.68-1.84 (6H, m), 2.73-2.87 (4H, m), 3.34 (1H, d, J=10.8 Hz), 3.38 (1H, d, J=10.8 Hz), 3.7 2 (3H, s), 3.91 (2H, t, J=6.0 Hz), 6.58 (1H, d, J=3.1 Hz), 6.60 (1H, d, J=3.1 Hz), 6.81 (4H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3335, 3273, 3183, 2945, 2868, 1514, 1473, 1233, 1045, 825, 735

実施例 63

(2R)ーアミノー2ーメチルー4ー[5ー(4ーベンジルオキシプトー1ーイニル)

<u>チオフェン-2-イル]プタン-1-オール しゅう酸塩</u>(例示化合物番号 1-1266)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.89-2.10 (2H, m), 2.70 (2H, t, J=6.8 Hz), 2.80-2.94 (2H, m), 3.52 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.64 (2H, t, J=6.8 Hz), 4.57 (2H, s), 6.74 (1H, d, J=3.6Hz), 6.94 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.23-7.39 (5H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} cm⁻¹ (KBr): 3358, 3028, 2926, 2544, 1719, 1702, 160 5, 1496, 1468, 1454, 1402, 1279, 1204, 1105, 806, 739, 720, 699, 500 マススペクトル (FAB) m/z: 344 (M + H)⁺ (Free 体)

実施例 64

(2R) -アミノー2-メチルー4-[5-(4-ベンジルオキシブチル) チオフェンー2-イル]ブタンー1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号 1-594)

実施例 64 で得られた、(2R) -アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オールを用いて、 実施例 11 と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃0D): δ 1.31 (3H, s), 1.59-1.76 (4H, m), 1.88-2.08 (2H, m), 2.76 (2H, t, J=7.2 Hz), 2.79-2.91 (2H, m), 3.49 (2H, t, J=6.4 Hz), 3.51 (1H, d, J=11.6 Hz), 3.60 (1H, d, J=11.6 Hz), 4.48 (2H, s), 6.25 (2H, s), 6.58 (1H, d, J=3.6Hz), 6.64 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.23-7.3 (5H, m)

赤外吸収スペクトルャ_{max} cm⁻¹ (KBr): 2935, 2862, 1579, 1496, 1386, 1363, 1195, 1104, 1077, 1012, 875, 866, 804, 737, 698, 569マススペクトル(FAB) m/z: 348 (M + H)* (Free 体)

実施例 65

(2R) -アミノ-2-メチル-4- {5-[3-(4-メチルシクロヘキシルオキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール マレイン酸塩 (例示化合物番号 1-1050)

実施例1と同様にして標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃OD): δ 0.89, 0.90 (計 3H, d, J=6.4 Hz), 1.31 (3H, s), 0.92-1.56, 1.70-2.12 (計 11H, m), 2.81-2.96 (2H, m), 3.40-3.49, 3.73-3.79 (計 1H, m), 3.52 (1H, d, J=11.2 Hz), 3.61 (1H, d, J=11.2 Hz), 4.36, 4.39 (計 2H, s), 6.25 (2H, s), 6.78 (1H, d, J=3.6 Hz), 7.04 (1H, d, J=3.6 Hz)

赤外吸収スペクトルν_{max} cm⁻¹ (KBr): 2927, 2864, 2219, 1579, 1508, 1386, 1366, 1193, 1093, 1077, 876, 865, 807, 717, 568マススペクトル(FAB) m/z: 336 (M + H)⁺ (Free 体)

宝施例 66

(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オン (例示化合物番号 4-4)

実施例 66(a)

(2R)-t-プトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-1-プロパ ノール

2-t-プトキシカルボニルアミノ-2-メチル-1,3-プロパンジオール 20.0 g (97.4 mmo1)をジイソプロピルエーテル 200 ml 中に懸濁し、n-ヘキサン酸ビニルエステル 16.3 ml (0.10 mol)及びリパーゼ [Immobilized lipase from Pseudomonas sp. (TOYOBO; 0.67U/mg)] 0.8 g を加え、室温で 2 時間激しく攪拌した。反応液を濾過後、濾液を減圧下留去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出溶媒; ヘキサン: 酢酸エチル=10:1~2:1)により精製して、標記化合

物 25.0 g (85 %)を無色油状物として得た。

得られた(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-1-プロパノールは、分析用光学活性 HPLC カラム (ChiralCel OF(ダイセル)、(0.46 cm x 25 cm)、溶出溶媒; n-ヘキサン: 2-プロパノール=70:30、流速; 0.5 ml/min)で光学純度を決定した。

先に溶出されるもの(8.2分)が 2S 体、後から溶出されるもの(10.5分)が 2R 体であり、この反応における光学純度は 85 %ee であることを確認した。

 $[\alpha]_{25}^{D}$ -8.5 (c 1.86, CHCl₃)

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm : 4.86 (s, 1H), 4.25 (d, 1H, J=11.2 Hz), 4.19 (d, 1H, J=11.2 Hz), 3.86 (brs, 1H), 3.70-3.55 (m, 2H), 2.36 (t, 2H, J=7.4 Hz), 1.68-1.58 (m, 2H), 1.44 (s, 9H), 1.40-1.30 (m, 4H), 1.25 (s, 3H), 0.90 (t, 3H, J=7.0 Hz)

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (Liquid Film): 3415, 3380, 2961, 2935, 2874, 1721, 1505, 1458, 1392, 1368, 1293, 1248, 1168, 1076
マススペクトル (FAB) m/z: 304((M+H)⁺)

実施例 66(b)

(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-1-プロパ ナール

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm : 9.45 (s, 1H), 5.26 (brs, 1H), 4.44 (d, 1H, J = 11.2 Hz), 4.32 (d, 1H, J = 11.2 Hz), 2.32 (t, 2H, J = 7.6 Hz), 1.70-1.55 (m, 2H), 1.45 (s, 9H), 1.38 (s, 3H), 1.40-1.25 (m, 4H), 0.90 (t, 3H, J = 7.0 Hz)

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (Liquid Film): 3367, 2961, 2935, 2874, 1742, 1707, 1509, 1458, 1392, 1369, 1290, 1274, 1254, 1166, 1100, 1078 マススペクトル (FAB) m/z: 302((M+H)+)

実施例 66 (c)

(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(チオフェン-2-イル)-3-ブテン

臭化 2-チエニルメチルトリフェニルホスホニウム塩 67.1 g (0.15 mol)をテトラヒドロフラン 750 ml に懸濁し、そこに t-プトキシカリウム 17.2 g (0.15 mol)を加え、室温で、窒素雰囲気下20分間撹拌した。反応液へ、テトラヒドロフラン 250 ml に溶解した実施例 66 (b) で得られた (2R)-t-プトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-1-プロパナール 23.0 g (76.4 mmol)を氷冷下、滴下し、滴下終了後、氷冷下30分攪拌した。その後、反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; n-ヘキサン:酢酸エチル=20:1)により精製して、標記化合物 27.8 g (96 %)を無色油状物として得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm: 7.32-7.26, 7.16-7.14 (m, 計 1H), 7.04-7.01, 7.01-6.93 (m, 計 2H), 6.63 (d, 0.5 H, J = 16.0 Hz), 6.60 (d, 0.5 H, J = 13.6 Hz), 6.10 (d, 0.5 H, J = 16.0 Hz), 5.58 (d, 0.5 H, J = 13.6 Hz), 4.94, 4.93 (brs, 計 1H), 4.40-4.10 (m, 2H), 2.34 (t, 2H, J = 7.4 Hz), 1.70-1.55 (m, 2H), 1.57, 1.50, 1.44 (s, 計 9H), 1.40-1.25 (m, 7H), 0.88 (t, 3H, J = 7.0

313

Hz)

赤外吸収スペクトルνmax cm⁻¹ (Liquid Film): 3370, 2961, 2933, 1725, 1495, 1456, 1391, 1367, 1247, 1167, 1109, 1100, 1072, 697
マススペクトル (FAB) m/z: 381 (M⁺)

実施例 66 (d)

(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エテニル]オキサゾリジン-2-オン

実施例 66 (c) で得られた(2R)ーtープトキシカルボニルアミノー1ーnーへキサノイルオキシー2ーメチルー4ー(チオフェンー2ーイル)ー3ープテン 40.5 g (0.11 mol)をテトラヒドロフラン 150 ml、メタノール 150 ml に溶解し、そこに1 規定水酸化ナトリウム水溶液 530 ml を氷冷下加え、氷冷下で30分、室温で1時間攪拌した。反応液を減圧下濃縮後、水を加え、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を飽和食塩水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去し、粗生成物 35.0 g を得た。この粗生成物をテトラヒドロフラン 300 ml に溶解し、tープトキシカリウム 17.8 g (0.16 mol)を氷冷下加え、氷冷下で10分、室温で40分攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=3:1~1:1)により精製して、標記化合物 18.0 g (81%)を白色固体として得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm: 7.34 (d, 0.5H, J=5.1 Hz), 7.19 (d, 0.5H, J=5.0Hz), 7.07-6.91 (m, 2H), 6.74 (d, 0.5H, J=16.0Hz), 6.59 (d, 0.5H, J=12.5), 6.17 (brs, 1H), 6.06 (d, 0.5H, J=16.0Hz), 5.65 (d, 0.5H, J=12.5Hz), 4.41 (d, 0.5H, J=8.6Hz), 4.31-4.16 (m, 1.5H), 1.60 (s, 1.5H), 1.55 (s, 1.5H) 赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (KBr): 3275, 3110, 2974, 1752, 1391, 1376, 1281, 1169, 1039, 960, 704

マススペクトル (FAB) m/z:209(M⁺)

実施例 66 (e)

(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オン

実施例 66 (d) で得られた(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エテニル]オキサゾリジン-2-オン 18.0 g (86.0 mmol)をメタノール 150 ml に溶解し、10%パラジウムー炭素 4.5 g を加え、水素雰囲気下、10 時間室温で攪拌した。反応液中のパラジウムー炭素を、シリカゲルを薄く敷いた桐山ロートを用いて濾過し、濾液を減圧下留去した。得られた固体をジエチルエーテルで洗浄後、乾燥して、標記化合物 16.5 g (91 %)を白色固体として得た。

得られた(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オンは、分析用光学活性 HPLC カラム (ChiralCel OD-H(ダイセル)、(0.46 cm x 25 cm)、溶出溶媒; n-ヘキサン: 2-プロパノール=60: 40、流速; 0.5 ml/min)にて光学純度を決定した。

先に溶出されるもの(16.8分)が 2S 体、後から溶出されるもの(17.6分)が 2R 体であり、この反応における光学純度は 85 %ee であることを確認した。 [α] $^{\mathrm{D}}_{25}$ +5.1 (c 2.4, CHCl $_{3}$)

核磁気共鳴スペクトル(400MHz、CDCl₃) δ ppm : 7.15 (d, 1H, J = 5.2 Hz), 6.93 (dd, 1H, J = 5.2, 3.6 Hz), 6.81 (d, 1H, J = 3.6 Hz), 5.39 (brs, 1H), 4.19 (d, 1H, J = 8.4 Hz), 4.08 (d, 1H, J = 8.4 Hz), 3.00-2.84 (m, 2H), 2.08-1.92 (m, 2H), 1.42 (s, 3H)

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (KBr): 3283, 1770, 1399, 1244, 1043, 941, 846, 775, 706, 691

マススペクトル (EI) m/z:211(M⁺)

この光学純度 85 %ee の(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オン 11 g に酢酸エチル 25 ml と n-ヘキサン 5.0 ml を加えて、加熱溶解

した後、室温で2時間放置した。析出した白色結晶を濾取し、乾燥を行い、光学純度99 %ee の標記化合物を4.0 g 得た。

 $[\alpha]_{25}^{0} + 7.8 \text{ (c 2.0, CHCl}_{3})$

.実施例 67

(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オン (例示化合 物番号 4-4)

実施例 67 (a)

(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(チオフ エン-2-イル)ブタン

実施例 66 (c) で得られた (2R) -t-プトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(チオフェン-2-イル)-3-ブテン 27.6 g (72.4 mmol)をエタノール 450 ml に溶解し、10%パラジウムー炭素 14.0 g を加え、水素雰囲気下、4日間室温で攪拌した。反応液中のパラジウムー炭素をセライト濾過後、濾液を減圧下留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=20:1~10:1)により精製して、標記化合物 22.1 g (80%)を無色油状物として得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDC1₃) δ ppm: 7.02 (d, 1H, J = 5.2 Hz), 6.91 (dd, 1H, J = 5.2, 3.6 Hz), 6.80 (d, 1H, J = 3.6 Hz), 4.53 (brs, 1H), 4.26-4.12 (m, 2H), 2.85 (t, 2H, J = 8.4 Hz), 2.34 (t, 2H, J = 7.6 Hz), 2.26-2.16 (m, 1H), 2.01-1.90 (m, 1H), 1.68-1.56 (m, 2H), 1.44 (s, 9H), 1.31 (s, 3H), 1.40-1.26 (m, 4H), 0.89 (t, 3H, J = 7.6Hz)

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (Liquid Film): 3371, 2961, 2933, 2872, 2864, 1721, 1502, 1466, 1455, 1392, 1367, 1246, 1168, 1074, 694, マススペクトル (FAB) m/z: 384((M+H)⁺)

実施例 67 (b)

(2R)-t-プトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(チオフェン-2-イル)-1-ブタノール

実施例 67 (a) で得られた(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(チオフェン-2-イル)プタン 22.0 g (57.4 mmol)を、テトラヒドロフラン 140 ml 及びメタノール 280 ml の混液に溶解し、そこへ1規定水酸化ナトリウム水溶液 280 ml を氷冷下加え、氷冷下で30分、室温で1時間攪拌した。反応液を減圧下濃縮後、水を加え、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を飽和食塩水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去し、標記化合物 15.5 g (95 %)を白色固体として得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz、CDCl₃) δ ppm : 7.11 (d, 1H, J = 5.2 Hz), 6.92 (dd, 1H, J = 5.2, 3.6 Hz), 6.81 (d, 1H, J = 3.6 Hz), 4.64 (brs, 1H), 4.08 (brs, 1H), 3.74-3.60 (m, 2H), 2.98-2.76 (m, 2H), 2.20-2.10 (m, 1H), 2.03-1.90 (m, 1H), 1.44 (s, 9H), 1.22 (s, 3H)

赤外吸収スペクトルッmax cm⁻¹ (KBr): 3279, 3250, 3067, 2973, 2929, 2908, 2857, 1679, 1552, 1367, 1291, 1245, 1167, 1076, 1064, 1009, 861, 851, 701 マススペクトル (FAB) m/z: 286((M+H)⁺)

実施例 67 (c)

(4R)-メチル-4-[2-(チオフェン-2-イル)エチル]オキサゾリジン-2-オン

実施例 67 (b) で得られた (2R) -t-プトキシカルボニルアミノ-2-メチル-4-(チオフェン-2-イル)-1-プタノール 15.4 g (53.9 mmol)を N, N-ジメチルホルムアミド 200 ml に溶解し、t-プトキシカリウム 9.07 g (80.8 mmol)を氷冷下加え、氷冷下で10分、室温で40分攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒:

ヘキサン:酢酸エチル=3:1~1:1)により精製して、標記化合物 11.5g (100%) を白色固体として得た。各種機器データは、実施例1で得られたものと一致した。

実施例 68

(4R)-[2-(ベンゾ[b]チオフェン-6-イル)エチル]-4-メチルオキサゾリジン-2-オン (例示化合物番号: 4-17)

実施例 68 (a)

(2R)-t-プトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(ベンソ [b]チオフェン-6-イル)-3-プテン

実施例 66 (b) で合成した (2R) -t-ブトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-1-プロパナール 28.2 g (93.6 mmol)及び 6-ブロモトリフェニルフォスフォニウムベンゾ[b] チオフェン 45.8 g (93.6 mmol)をテトラヒドロフラン700 ml に懸濁し、そこに t-ブトキシカリウム 11.6 g (0.10 mol)を加え、室温下30分攪拌した。その後、反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=10:1)により精製して、標記化合物 28.0-g (69%) を無色油状物として得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm: 7.82 (d, 1H, J=9.7 Hz), 7.75 (d, 1H, J=8.2 Hz), 7.44-7.39 (m, 1H), 7.32-7.26 (m, 2H), 6.74, 5.73 (d, 計 1H, J=12.6Hz), 6.61, 6.34 (d, 計 1H, J=16.2 Hz), 4.87, 4.69 (br s, 計 1H), 4.34-4.16, (m, 2H), 2.37-2.32 (m, 2H), 1.67-1.15 (m, 20H), 0.91-0.84 (m, 3H).

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (Liquid Film): 3440, 3373, 2961, 2932, 2872, 1724, 1597, 1498, 1457, 1390, 1367, 1247, 1167, 1099, 1073. マススペクトル (FAB) m/z: 431 (M⁺)

実施例 68 (b)

(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(ベンゾ [b]チオフェン-6-イル) プタン

実施例 68 (a) で得られた (2R) -t-ブトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(ベンゾ[b] チオフェン-6-イル) -3-ブテン 28.0 g (64.9 mmo1)をメタノール 700 ml に溶解し、10%パラジウムー炭素 14.0 g を加え、水素雰囲気下、6 日間室温で攪拌した。反応液中のパラジウムー炭素をセライト濾過後、濾液を減圧下留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=15:1~10:1)により精製して、標記化合物 24.30 g (87%)を無色油状物として得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm : 7.73 (d, 1H, J = 8.2 Hz), 7.69 (s, 1H), 7.36 (d, 1H, J = 5.2 Hz), 7.28 (d, 1H, J = 5.6 Hz), 7.19 (d, 1H, J = 8.1 Hz), 4.56 (br s, 1H), 4.28 (d, 1H, J = 11.0 Hz), 4.14 (d, 1H, J = 11.0 Hz), 2.73 (t, 2H, J = 8.7 Hz), 2.34 (t, 2H, J = 7.5 Hz), 1.68-1.61 (m, 2H), 1.45 (s, 9H), 1.41-1.38 (m, 8H), 0.89 (t, 3H, J = 6.7 Hz).

赤外吸収スペクトルッmax cm⁻¹ (Liquid Film): 3371, 2960, 2933, 2870, 1720, 1604, 1501, 1466, 1392, 1367, 1248, 1167, 1074.

マススペクトル (FAB) m/z:456((M+Na)+)

実施例 68 (c)

(4R)-[2-(ベンゾ[b]チオフェン-6-イル)エチル]-4-メチルオキサゾリジン-2-オン

実施例 68 (b) で得られた(2R)-t-プトキシカルボニルアミノ-1-n-ヘキサノイルオキシ-2-メチル-4-(ベンゾ[b]チオフェン-6-イル)プタン 24.3 g (56.0 mmol)をテトラヒドロフラン 220 ml 及びメタノール 110 ml に溶解し、そこに 1 規定水酸化ナトリウム水溶液 110 ml を氷冷下加え、氷冷下で 1 5分、さらに、室温で 2 時間

攪拌した。反応液を減圧下濃縮後、水を加え、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を飽和食塩水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去し、粗生成物 18.8 g (100 %)を得た。得られた粗生成物をジメチルホルムアミド 380 ml に溶解し、tープトキシカリウム 9.43 g (84.1 mmol)を氷冷下加え、氷冷下で5分、室温で1時間攪拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; ヘキサン:酢酸エチル=3:2~2:1)により精製して、標記化合物13.8 g (94 %)を白色固体として得た。

得られた(4R)-[2-(ベンゾ[b]チオフェン-6-イル)エチル]-4-メチルオキサゾリジン-2-オンは、分析用光学活性 HPLCカラム (ChiralCel AD(ダイセル)、(0.46 cm x 25 cm)、溶出溶媒;n-ヘキサン:2-プロパノール=70:30、流速;0.5 ml/min)にて光学純度を決定した。

先に溶出されるもの(15.9 分)が 4S 体、後から溶出されるもの(17.6 分)が 4R 体であり、この反応における光学純度は 80 %ee であることを確認した。 $\left[\alpha\right]_{24}^{9}+2.3$ (c 0.6, CHCl₃)

核磁気共鳴スペクトル (400MHz、CDCl₃) δ ppm: 7.73 (d, 1H, J=8.2 Hz), 7.68 (s, 1H), 7.38 (d, 1H, J=5.7 Hz), 7.29 (d, 1H, J=13.0 Hz), 7.18 (d, 1H, J=13.6 Hz), 5.91 (br s, 1H), 4.21 (d, 1H, J=8.7 Hz), 4.09 (d, 1H, J=8.7 Hz), 2.84-2.76 (m, 2H), 1.97 (t, J=8.5 Hz, 3H).

赤外吸収スペクトルν max cm⁻¹ (KBr): 3292, 2970, 2930, 1749, 1722, 1601, 1479, 1461, 1397, 1277, 1045.

マススペクトル (EI) m/z: 261(M+)

実施例69

(2R) - t - プトキシカルボニルアミノ-3-n-ヘキサノイルオキシー2-メ

<u>チルー1ープロパノール</u>

2-t-プトキシカルボニルアミノー2-メチルー1, 3-プロパンジオール200 mg (0.97ミリモル) を、ジイソプロピルエーテル2 m l に溶解し、n- ヘキサン酸ビニルエステル0.16 m l (1.02ミリモル) 及びリパーゼ [Immobilized lipase from *Pseudomonas sp.* (TOYOBO; 0.67U/mg)] 20 mg を加え、室温で4時間撹拌した。

反応混合物の不溶物を濾去後、残渣を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;nーベキサン:酢酸エチル=10:1~7:3)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として258mg(87%)得た

得られた (2R) - t - プトキシカルボニルアミノー3 - n - ヘキサノイルオキシー2 - メチルー1 - プロパノールは、分析用光学活性HPLCカラム(ChiralC el OF、ダイセル、 $0.46 cm\phi x 25 cm$ 、溶出溶媒;ヘキサン:2 - プロパノール=70:30;流速:0.5m1 / 分)にて光学純度を決定した。

先に溶出されるもの (8.2分) が25体、後から溶出されるもの (10.5分) が2R体であった。この反応に於ける光学純度は89%eeであることを確認した。

尚、絶対配置については、この化合物より容易に合成することができる文献 (Tetrahedron Asymmetry 10 (1999) 4653-4661) 既知の化合物である、参考例 1 (a) で製造される (2R) - t - 7トキシカルボニルアミノー 2 - 2 チルー 3 - 7 デンー 1 - 3 ールの比旋光度を比較検討することにより決定した。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CD₃CL₃) δ ppm : 4.89 (1H, br. s), 4.24 (1H, d, J=11 .2Hz), 4.19 (1H, d, J=11.2Hz), 3.66-3.54 (2H, m), 2.36 (2H, t, J=7.4Hz), 1.69-1.5 7 (2H, m), 1.44 (9H, s), 1.39-1.22 (4H, m), 1.25 (3H, s), 0.90 (3H, t, J=6.6Hz) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ cm⁻¹ (CHCL₃) : 3411, 3380, 2961, 2934, 1722, 1504, 1459, 13 92, 1368, 1292, 1248, 1168, 1077, 1015

旋光度 [α] ²⁴_p: -1.1° (c=0.81, メタノ-ル)

実施例70

2-t-プトキシカルボニルアミノー2-エチルー1, 3-プロパンジオール200 mg (0.91ミリモル)を用いて、実施例69と同様にして、標記化合物を無色油状物として252 mg (87%)得た。

得られた $(2R) - t - プトキシカルボニルアミノー3-n-ヘキサノイルオキシー2-エチルー1-プロパノールは、分析用光学活性HPLCカラム(ChiralCel OF、ダイセル、0.46 c m<math>\phi$ x 25 c m、溶出溶媒;ヘキサン:2-プロパノール=70:30;流速:0.5 m l /分)にて光学純度を決定した。

先に溶出されるもの(8.5分)が2S体、後から溶出されるもの(10.7分)が2R体であった。この反応に於ける光学純度は95% eeであることを確認した。

尚、絶対配置については、この化合物より容易に合成することができる文献(H elvetica Chimica Acta 69 (1986) 1365-1377) 既知の化合物である、参考例 5 (f) で製造される (+) - (R) $-\alpha$ - x -

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 4.78(1H, br. s), 4.28(1H, d, J=11.1Hz), 4.13(1H, d, J=11.1Hz), 3.72-3.57(2H, m), 2.35(2H, t, J=7.6Hz), 1.83-1.54(4H, m), 1.44(9H, s), 1.38-1.24(4H, m), 0.95-0.86(6H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹: 3371, 2966, 2935, 1722, 1503, 1460, 1368, 124 9, 1168, 1086, 1028, 866, 781

旋光度 [α] ²⁴D: -2.4° (c=0.72, メタノール)

実施例69又は実施例70で合成した化合物を用いて、公知の有用な化合物である、 (-) - (R) $-\alpha$ - \vee + \wedge + \vee + \wedge +

参考例1

(一) - (R) - α - メチル- α - ビニルグリシン参考例1(a)

(2R)-t-ブトキシカルボニルアミノー2-メチルー3-プテンー1-オール 実施例69で製造された (2R)-t-プトキシカルボニルアミノー3-nーへキ サノイルオキシー2-メチルー1-プロパノール1.5g (4.9ミリモル) の塩 化メチレン溶液 (18m1) に、モレキュラーシープス4A (10.5g) を加え、室温で10分撹拌した後、クロロクロム酸ピリジニウム2.1g (9.8ミリモル) を加え 1 時間撹拌した。

この反応液にジエチルエーテルを加えた後、シリカゲルショートカラム(溶出液:ジエチルエーテル)を用いて不溶物をろ去した。有機溶媒を減圧下留去することにより、得られた残留物1.5gを次の反応に用いた。

メチルトリフェニルホスホニウムプロミド4. 5g(12.5ミリモル)のテトラヒドロフラン懸濁液(10m1)に、0 \mathbb{C} で、カリウムt - \mathcal{I} トキシド1. 3g(11.5ミリモル)を加え1時間撹拌した。

この反応液に、前の反応で得られた残留物のテトラヒドロフラン溶液(10ml)を滴下した。

この反応液を0℃で30分間撹拌し、蒸留水を加えた後、酢酸エチルで抽出した。これを蒸留水、飽和食塩水の順で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を留去した後、シリカゲルショートカラム(溶出液;ヘキサン:酢酸エチル=10:1)にて、不溶物を取り除いた。

溶媒を濃縮後、得られた残留物1.2gをメタノール溶液(20m1)とし、これに1規定水酸化ナトリウム水溶液(20m1)を加え、室温で30分撹拌した。この反応液にジエチルエーテルを加えた後、蒸留水、飽和食塩水の順で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥した。

溶媒を留去した後、分取薄層クロマトグラフィー(溶出液; ヘキサン: 酢酸エチル=1:1)により精製し、標記化合物180mg(0.894ミリモル、収率18%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 5.89(1H, ddd, J=11.0, 6.6, 1.5Hz), 5.21(1H, d, J=1.5Hz), 5.17(1H, d, J=6.6Hz), 4.84(1H, br. s), 3.76(1H, br. s), 3.62(2H, m), 1.44(9H, s), 1.32(3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹:3418,3348,2979,1692,1499,1455,1393,1368,1283,1253,1170,1074,918

旋光度 [α] ²⁴p: +10.4° (c=0.51, メタノール)

参考例1(b)

(2R) -t-ブトキシカルボニルアミノ-2-メチル-3-ブテナール

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; nーヘキサン:酢酸エチル=10:1)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として160mg (90%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm:

9. 26 (1H, s), 5. 83 (1H, dd, J=17. 5, 10. 6Hz), 5. 35 (1H, d, J=10. 6Hz), 5. 32 (1H, d, J=1

7.5Hz), 5.22(1H, br. s), 1.48(3H, s), 1.45(9H, s) 赤外吸収スペクトル v (CHCL) cm⁻¹・3350 2980 1737 1707 1505 145

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹: 3350, 2980, 1737, 1707, 1505, 1455, 1369, 127 9, 1256, 1168, 1069, 925, 867

参考例1(c)

(2R) - t-ブトキシカルボニルアミノ-2-メチル-3-ブテン酸

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出溶媒;n-ヘギサン:酢酸エチル= $20:1\sim1:1$) にて精製を行い、標記化合物を無色油状物質として130mg (75%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 5.07(1H, br. s), 5.68(1H, br. s), 5.1 2(1H, d, J=17.4Hz), 5.05(1H, d, J=10.6Hz), 1.48(3H, s), 1.40(9H, s) 赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ (CHCl₃) cm⁻¹: 3394, 2980, 1691, 1602, 1483, 1455, 1368, 125 3, 1172, 1066, 756

参考例1(d)

<u>(ー)-(R)-α-メチル-α-ビニルグリシン塩酸塩</u>

参考例1(c)で得られた、(2R) - t - 7トキシカルボニルアミノー2 - 3 + 7 - 3 - 7 テン酸 $1 \cdot 2 \cdot 0 \cdot mg$ (0.557ミリモル)をエタノール1.5 m 1 に溶解させ、4 規定塩酸ジオキサン溶液 1.5 m 1 を加え、室温で 18 時間攪拌した。

反応液を減圧濃縮し、エーテルで洗浄し、乾燥し、白色固体として72mg(85%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.07 (1H, dd, *F*=17.6, 11.0Hz), 5.48 (1 H, d, *F*=11.1Hz), 5.47 (1H, d, *F*=17.6Hz), 1.66 (3H, s)

赤外吸収スペクトル $\nu_{\rm max}$ (KBr) ${\rm cm}^{-1}$:3349,3029,1751,1524,1200,954

旋光度 [α]·²⁵_D:-18.7° (c=0.70, H₂0)

参考例1(e)

(-) - (R) -α-メチル-α-ビニルグリシン

参考例1(d)で得られた、(ー) $-(R) - \alpha - \lambda + \nu - \alpha - \nu = \nu = \nu = 0$ 塩60mg (0.40ミリグラム)をエタノール1.5mlに溶解させ、プロピレンオキシド1.5mlを加え、2時間加熱還流した。反応液中の白色固体をろ過することにより標記化合物を白色固体として32mg (70%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6. 17 (1H, dd, *J*=17. 2, 10. 6Hz), 5. 56 (1 H, d, *J*=10. 6Hz), 5. 54 (1H, d, *J*=17. 2Hz), 1. 43 (3H, s)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (KBr) cm⁻¹:3600-2500, 1605, 1535, 1455, 1415, 1385, 1360, 1280, 1235, 1150, 1000, 940

旋光度 [α] ²⁶_D: -27.6° (c=0.62, H₂0)

参考例2

(+) - (S) - α - メチル - α - エチニルグリシン

参考例2(a)

3-t-プトキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4R)-n-ヘキサノイルオ キシメチル-4-メチルオキサゾリジン

実施例69で得られた、(2R) - t - プトキシカルボニルアミノ-3-n-へキサノイルオキシー2-メチルー1-プロパノール10.1g (33.3ミリモル)

を塩化メチレン152mlに溶解し、アセトン ジメチルアセタール16.4ml (133ミリモル)及びpートルエンスルホン酸172mg (1.00ミリモル)を加え、室温で12時間攪拌した。

反応液を濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出溶媒;n-ヘキサン:酢酸エチル=10:1)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として5.72g(50%)得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 4.29(1H, s), 4.18(1H, s), 3.99(1H, m), 3.64(1H, m), 2.28-2.34(2H, m), 1.26-1.25(24H, m), 0.89(3H, t)

旋光度 [α] ²⁵_p: +17.2° (c=1.50, CHCl_s)

参考例2(b)

3-t-プトキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4S)-ヒドロキシメチル-4-メチルオキサゾリジン

参考例2(a)で得られた、3-t-プトキシカルボニルー2, 2-ジメチルー(4R)-n-ヘキサノイルオキシメチルー4-メチルオキサゾリジン13.7g(39.9ミリモル)を塩化メチレン200mlに溶解し、<math>-78 ℃にて、水素化ジイソプチルアルミニウム(1.0Mヘキサン溶液)99ml(99.7ミリモル)を滴下した。

- 78℃にて30分攪拌後、室温に戻し、10wt%酒石酸ナトリウムーカリウム水溶液200mlを加え、激しく30分攪拌した。

反応液をジエチルエーテルで抽出し、エーテル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、残渣を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; n-ヘキサン:酢酸エチル=5:2)にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として10.5g(100%)得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 4. 49 (1H, br. s), 3. 55-3. 71 (4H, m), 1. 56 (3H, s), 1. 49 (12H, s), 1. 42 (3H, s)

旋光度 [α] ²⁵_D: -1.67° (c=1.45, CHCl₃).

参考例2(c)

3-t-ブトキシカルボニルー2,2-ジメチルー(4R)-ホルミルー4-メチ ルオキサゾリジン

参考例2(b)で得られた、3-t-ブトキシカルボニル-2,2-ジメチル-(4S)-ヒドロキシメチル-4-メチルオキサゾリジン9.79g(39.9ミリモル)を塩化メチレン150mlに溶解し、氷冷下、クロロクロム酸ピリジニウム13.0g(59.8ミリモル)及びモレキュラーシープス4A65.0gを加え、室温で1時間攪拌した。

反応液にジエチルエーテルを加えた後、反応液をシリカゲルカラムを用いて、濾過した後、濾液を減圧濃縮し、フラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; nーヘキサン:酢酸エチル=8:1) にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として8.07g(88%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 9. 40-9. 48 (1H, s), 3. 91 (1H, d, *J*=9. 2H z), 3. 67 (1H, d, *J*=9. 2Hz), 1. 14-1. 66 (18H, m) 旋光度 [α] ²⁵_D +20. 6° (*c*=1. 25, CHCl₃)

参考例2(d)

3-t-7トキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4S)-(2, 2-ジプロモ) エテニル-4-メチルオキサゾリジン

トリフェニルホスフィン17.3g(65.8ミリモル)を塩化メチレン25m 1に溶解し、氷冷下、四臭化炭素10.9g(32.9ミリモル)を塩化メチレン 15mlに溶解させた溶液を滴下し、氷冷下5分間攪拌した。反応液に、参考例2 (c)で得られた、3-t-ブトキシカルボニル-2,2-ジメチル-(4S)-ホルミル-4-メチルオキサゾリジン4.00g(16.4mmol)を塩化メチレ ン40mlに溶解させた溶液を加え、室温で14時間攪拌し、反応混合物の不溶物を濾去後、残渣を減圧濃縮し、未精製の標記化合物を無色油状物として4.70g (71.2%)得た。

参考例2(e)

3-t-ブトキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4S)-エチニル-4-メチ ルオキサゾリジン

参考例2(d) で得られた、3-t-プトキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4S)-(2,2-ジプロモ) エテニルー4-メチルオキサプリジン4. $70g(11.8 \le$ リモル)をテトラヒドロフラン94m1 に溶解させ、-78 で、攪拌下、n-プチルリチウム(1.6 Nへキサン溶液)を滴下し、-78 で、3.5時間攪拌した。

反応液に飽和塩化アンモニウム水溶液100mlを加え、酢酸エチルで抽出した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、残渣を減圧濃縮し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;nーヘキサン:酢酸エチル=15:1)にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として2.21g(78%)。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 4.13 (1H, d, Æ8.4Hz), 3.84 (1H, d, Æ8.4Hz), 2.32 (1H, s), 1.49-1.69 (18H, m)

旋光度 [α] ²⁵_p: +65.6° (c=1.10, CHCl₃)

参考例2(f)

(2S) - 7S = 1 - 2 - 3 + 1 - 3 - 7 + 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 - 3 - 1 - 2 - 1 -

参考例2(e)で得られた、3-t-プトキシカルボニル-2, 2-ジメチル-(4S)-エチニル-4-メチルオキサプリジン350mg(1.46ミリモル)に塩酸10mlを加え、室温で2時間攪拌し、反応液を減圧濃縮して未精製の表記化合

物を、黄色油状物質として127mg得た。

参考例2(g)

(2S)-t-プトキシカルボニルアミノー2-メチルー3-プチンー1ーオール 参考例2(f)で得られた、(2S)-rミノー2-メチルー3-プチンー1-オール127mg (1.28m1) を、水1m1及びテトラヒドロフラン5m1に溶解させ、ジーt-プチルカーボネート380mg (1.74ミリモル) 及び無水炭酸ナトリウム385mg (3.63<math>)[を加え、室温で14時間攪拌した。

反応液に飽和塩化アンモニウム水溶液 6 m 1 を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、残渣を減圧濃縮した。

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;nーヘキサン:酢酸エチル=1:1)にて精製を行い、標記化合物を白色結晶として154mg(53%)得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 5.00 (1H, br. s), 3.78 (1H, dd, \digamma 6.0 a nd 11.2Hz), 3.67 (1H, dd, \digamma 7.9 and 11.2Hz), 3.20 (1H, br. s), 2.40 (1H, s), 1.55 (3H, s), 1.46 (9H, s)

旋光度 [α] ²⁵_D: +1.89° (c=0.70, CHCl₃)

参考例2(h)

(2S) - t - プトキシカルボニルアミノー2-メチルー3-プチン酸

参考例2(g)で得られた、(2S) - t - プトキシカルボニルアミノー2-メチルー3-プチンー1-オール1.20g(6.02ミリモル)をアセトン<math>30m1に 溶解させ、氷冷下、ジョーンズ試薬3.48m1(9.03ミリモル)を加え、氷冷下、2時間攪拌した。更に、ジョーンズ試薬3.48m1(9.03ミリモル)を加え、室温で14時間攪拌した。

反応液に、2-プロパノール5m1及び水30m1を加え、酢酸エチルで抽出し

た。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、残渣を減圧濃縮し、未精製の表 記化合物を黄色油状物質として1.38g得た。

参考例2(i)

参考例2(h)で得られた、(2S) -t-プトキシカルボニルアミノー2-メチル-3-プチン酸1. 38g (6. 02ミリモル)をテトラヒドロフラン20m1に溶解させ、塩酸10m1を加え、室温で5時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、水20m1及び酢酸エチル10m1を加え、水槽を減圧濃縮し、未精製の表記化合物を黄色結晶として0.24g (27%)得た。

参考例2(i)

(+) - (S) - α-メチル-α-エチニルグリシン

参考例3

$\frac{(+)-(R)-\alpha-x + N-\alpha-y = N + N-\alpha}{$ 参考例3(a)

(2S)-t-プトキシカルボニルアミノー2-エチルー3-n-ヘキサノイルオキシー1-プロパナール

実施例70で得られた、(2R) - t - 7トキシカルボニルアミノ $-3 - n - \infty$ キ

サノイルオキシー2ーエチルー1ープロパノール3g(9.45ミリモル)を塩化メチレン60mlに溶解し、氷冷下、モレキュラシープス4A20g、クロロクロム酸ピリジニウム4.07g(18.9ミリモル)を加えて、室温で1時間攪拌した。 反応液にエーテルを加え、反応混合物の不溶物を濾去後、残渣を減圧濃縮した。

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶出溶媒; n-n+yン: 酢酸エチル=10:1) にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として2. 79g (94%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDC1₃) δ ppm: 9.34(1H, s), 5.29(1H, br. s), 4.60(1 H, d, *F*=11.5Hz), 4.40(1H, d, *F*=11.5Hz), 2.28(2H, t, *F*=7.5Hz), 2.05-2.20(1H, m), 1.70-1.80(1H, m), 1.55-1.65(2H, m), 1.45(9H, s), 1.25-1.40(4H, m), 0.90(3H, t, *J*=7.0Hz), 0.81(3H, t, *F*=7.5Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹: 3418, 2979, 2934, 2873, 1737, 1710, 1496, 136 9, 1251, 1160

マススペクトル(FAB) m/z:316((M+H)*)

参考例3(b)

(2 R) - t - プトキシカルボニルアミノ-2-エチル-3-プテン-1-オール - n - ヘキサン酸 エステル

メチルトリフェニルホスホニウム プロミド7.90g (22.0ミリモル) を テトラヒドロフラン 25m1 に懸濁させ、氷冷下、カリウム t ープトキシド2.28g (20.3ミリモル) を加え、窒素雰囲気下で1時間攪拌した。

その後、参考例3(a)で得られた、(2S) - t - プトキシカルボニルアミノー2 - エチルー3 - n - へキサノイルオキシー1 - プロパナール2.79g(8.85 ミリモル)をテトラヒドロフラン25mlに溶解させ、氷冷下、前記反応液に滴下して15分間提拌した。

反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した

後、酢酸エチル層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;n-へキサン:酢酸エチル= $40:1\sim20:1$)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として1.30g(47%)得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 5.78(1H, dd, \mathcal{F} =17.6, 11.0Hz), 5.22(1 H, d, \mathcal{F} =11.0Hz), 5.12(1H, d, \mathcal{F} =17.6Hz), 4.62(1H, br.s), 4.29(2H, s), 2.31(2H, t, \mathcal{F} =7.5Hz), 1.83-1.95(1H, m), 1.55-1.75(3H, m), 1.44(9H, s), 1.25-1.35(4H, m), 0.83-0.93(6H, m)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹: 3448, 2972, 2934, 2873, 1721, 1494, 1368, 124 9, 1163

マススペクトル(FAB) m/z:314((M+H)†)

参考例3(c)

(2R)-t-プトキシカルボニルアミノー2-エチルー3-プテンー1-オール 参考例3(b) で得られた、(2R)-t-プトキシカルボニルアミノー2-エチルー3-プテンー1-オールー<math>n-ヘキサン酸 エステル1.30g(4.15ミリモル)をメタノール20m1に溶解させ、氷冷下、1規定水酸化ナトリウム40m1を加え、室温で2時間攪拌した。

反応液に水を加え、ジエチルエーテルで抽出し、エーテル層を飽和食塩水で洗浄 した後、エーテル層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。

残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;n-ヘキサン:酢酸エチル=9:1~4:1)にて精製を行い、標記化合物を白色固体として0.85g(95%)得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 5.77(1H, dd, Æ17.0, 10.7Hz), 5.25(1 H, d, Æ10.7Hz), 5.16(1H, d, Æ17.0Hz), 4.77(1H, br. s), 4.10(1H, br. s), 3.65-3.75(2H, m), 1.58-1.83(2H, m), 1.45(9H, s), 0.87(3H, t, Æ7.5Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹: 3348, 3275, 2987, 2969, 2935, 1685, 1541, 127 7, 1170, 1053

マススペクトル(FAB) m/z:216((M+H)*)

旋光度 [α] ²⁴_D: +2.8° (c=1.03, メタノール)

参考例3(d)

参考例3(c)で得られた、(2R) - t-プトキシカルボニルアミノー2-エチル-3-プテンー1-オール0.79g (3.67ミリモル) を用いて、参考例3(a)と同様にして、標記化合物を白色固体として0.63g (80%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 9.24(1H, s), 5.83(1H, dd, *ト*=17.5, 10.7 Hz), 5.39(1H, d, *ト*=10.7Hz), 5.31(1H, d, *ト*=17.5Hz), 5.29(1H, br. s), 1.85-2.15(2 H, m), 1.57(9H, s), 0.85(3H, t, *ト*=7.5Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{max} (CHCl₃) cm⁻¹:3443,3416,2980,1712,1489,1369,1249,116

マススペクトル(FAB) m/z:214((M+H)*)

旋光度 [α] ²⁵_D: +69° (c=1.00, メタノール)

参考例3(e)

(2R) - t - プトキシカルボニルアミノ- 2 - エチル- 3 - プテン酸

参考例3(d)で得られた、(2R) - t-ブトキシカルボニルアミノー2-エチルー3-ブテナール0. 60g (2.81ミリモル) を t-ブタノール8m1及び水2m1に溶解させ、2-メチルー2-ブテン1. 34m1 (12.7ミリモル)、リン酸2水素ナトリウム2水和物0. 44g (2.81ミリモル)、及び亜塩素酸ナトリウム0.89g (9.85ミリモル) を加え、室温で1時間攪拌した。

反応液に酢酸エチルを加え、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル

層を無水硫酸マグネシウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。

残渣を、フラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;n-n+1) せい: 酢酸エチル=20:1~1:1) にて精製を行い、標記化合物を白色固体として0.42g(65%)得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6.05(1H, dd, *J*=17.3, 10.7Hz), 5.25-5 .35(3H, m), 1.95-2.20(2H, m), 1.44(9H, s), 0.90(3H, t, *J*=7.4Hz)

赤外吸収スペクトル ν_{\max} (CHCl₃) cm⁻¹:3430, 2981, 1713, 1493, 1369, 1252, 1166 マススペクトル (FAB) m/z:230 ((M+H) $^+$)

旋光度 [α] ²⁵n: +19.4° (c=1.00, メタノール)

参考例3(f)

$(+) - (R) - \alpha - エチル - \alpha - ビニルグリシン$

参考例3(e)で得られた、(2R) - t - 7トキシカルボニルアミノー2 - x + y - 3 - 7テン酸379 mg (1.65 ミリモル) をエタノール<math>2m1に溶解させ、4規定塩酸ジオキサン溶液<math>2m1を加え、室温で18時間攪拌した。

反応液を減圧濃縮し、エーテルで洗浄し、乾燥した。得られた白色固体をエタノール6 mlに溶解させ、プロピレンオキシド2 mlを加え、2 時間加熱還流し、反応液中の白色固体を濾過することにより標記化合物を白色固体として8 3 mg得た。ろ液を減圧濃縮した後、残渣を水に溶解させ、ボンドエルートHF(C_{18})で濾過した後、減圧濃縮を行い、標記化合物6 1 mgを得た(合わせて144 mg、収率75%)。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃) δ ppm: 6. 08 (1H, dd, \digamma =17. 7, 11. 1Hz), 5. 41 (1 H, d, \digamma =11. 1Hz), 5. 34 (1H, d, \digamma =17. 7Hz), 1. 82-2. 12 (2H, m), 0. 95 (3H, t, \digamma =7. 6Hz) 赤外吸収スペクトル ν_{max} (KBr) cm^{-1} : 3200-2400, 1623, 1605, 1511, 1369 マススペクトル (FAB) m/z: 130 ($(M+H)^+$)

旋光度 [α] ²⁵D: +20.6° (σ=1.00, H₂0)

参考例 4

5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イン

水素化ナトリウム 2.11 g(48.4 ミリモル)を無水テトラヒドロフラン 60 m l 中に懸濁させ、氷冷下、ジエチルフォスフォノ酢酸 エチルエステル 10.84 g(48.4 ミリモル)を滴下し、10 分間撹拌した。次いで 4 ーフルオロベンズアルデヒド 5.00 g(40.3 ミリモル)を無水テトラヒドロフラン 60 m l に溶解した溶液を同温にて滴下した。反応液を 3 時間撹拌した後、氷水中 150 m l に注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒; ヘキサン:酢酸エチル=10:1~3:1)にて精製を行い、4 ーフルオロ桂皮酸 エチルエステルを無色油状物として、6.69 g(86%)得た。

このエステル 6.52 g (33.6 ミリモル)を酢酸エチル 100m 1 中に溶解し、5% ロジウム/アルミナ 1.30 g を加え、水素雰囲気下、室温にて 8 時間撹拌した。反応混合物をセライト濾過し、濾液を減圧濃縮し、残渣を無水テトラヒドロフラン 30 m 1 中に溶解した。この溶液を氷冷下、水素化アルミニウムリチウム 1.26 g (33.2 ミリモル)を無水テトラヒドロフラン 60 m 1 に懸濁させたものに滴下した。反応混合物を同温にて 30 分間撹拌後、飽和硫酸ナトリウム水溶液を加え、さらに室温で 10 分間撹拌した。混合物をセライト濾過し、濾液を酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=5:1~1:1)にて精製を行い、4 ーフルオロフェニルプロパンー1ーオールを無色油状物として、4.86 g (95%) 得た。

得られた4-フルオロフェニルプロパン-1-オール 4.83g (31.3 ミリモル) を塩化メチレン 50m 1 中に溶解し、氷冷下、トリエチルアミン 6.55m 1 (47.0 ミリモル) 及びメタンスルホニルクロリド 2.91m 1 (37.6 ミリモル) を加え、窒素

雰囲気下、30 分間撹拌した。反応混合物を塩化メチレン50mlで希釈し、氷冷した 10%塩酸、飽和食塩水で順次洗浄後、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残渣をアセトン 100ml中に溶解した。次いで沃化ナトリウム 9.39g (62.6ミリモル)を加え、窒素雰囲気下、50℃にて2時間撹拌した。反応混合物を酢酸エチル250mlで希釈後、10%チオ硫酸ナトリウム水溶液、飽和食塩水で順次洗浄後、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=5:1~2:1)にて精製を行い、4ーフルオロフェニルー1ーヨードプロパンを淡黄色油状物として、7.12g (86%) 得た。

へキサメチルホスホラミド 20m1中にナトリウムアセチリド (18%キシレン懸濁液) 50m1を加え、氷冷下、先に得られた4ーフルオロフェニルー1ーヨードプロパン7.00g (26.5ミリモル)を無水ジメチルホルムアミド 20m1に溶解した溶液を加えた。反応混合物を室温にて、2時間撹拌した。氷冷下に氷水を注意深く注ぎ、混合物を酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄後、硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を減圧留去し、残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン)にて精製を行い、標記化合物を無色油状物として、2.67g (62%) 得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 1.82 (2H, m), 1.99 (1H, t, J=2.6 Hz), 2.19 (2H, m), 2.71 (2H, t, J=7.5 Hz), 6.97 (2H, m), 7.14 (2H, m) マススペクトル (EI) m/z: 162 (M*)

参考例5

5- (4-メトキシフェニル) ペント-1-イン

参考例4と同様に、3-(4-メトキシフェニル)-1-ヨードプロパン及びナトリウムアセチリドを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (500MHz, CDCl₃): δ 1.78-1.88 (2H, m), 1.98 (1H, t, J

=2.6 Hz), 2.15-2.22 (2H, m), 2.67 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.79 (3H, s), 6.83 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.11 (2H, d, J=8.6 Hz). マススペクトル (EI) m/z: 174 (M⁺)

参考例6

5-フェニルペント-1-イン

参考例4と同様に、3-フェニルー1-ヨードプロパン及びナトリウムアセチリドを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl $_3$): δ 1.81-1.89 (2H, m), 1.99 (1H, t, J=2.8 Hz), 2.21 (2H, dt, J= 2.8, 7.6 Hz), 2.74 (2H, t, J=7.6 Hz), 7.16-7.23 (3H, m), 7.26-7.32 (2H, m)

the transformation of the contract of the

マススペクトル (EI) m/z: 144 (M*)

参考例7

5ーシクロヘキシルペント-1-イン

参考例 4 と同様に、3 ーシクロヘキシルー1ーヨードプロパン及びナトリウムアセチリドを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDCl_s): δ 0.75-1.38(13H, m), 1.48-1.59(2H, m), 1.94(1H, t, J=2.8 Hz), 2.16(2H, dt, J= 2.8, 7.2 Hz) マススペクトル(EI) m/z: 150(M))

参考例8

4- (4-フルオロフェニルオキシ) プト-1-イン

4-フルオロフェノール 5.00 g (44.6 ミリモル)、3-プチン-1-オール 3.3 8ml (44.6 ミリモル)、トリフェニルホスフィン 17.5 g (66.9 ミリモル) をテトラヒドロフラン 100ml に溶解し、氷冷下、アンジカルボン酸 ジエチルエステル

11.7g (66.9ミリモル)を加え、室温で18時間撹拌した。溶媒を減圧濃縮した後、ヘキサン200m1及び酢酸エチル20m1を加え、析出した沈殿を濾取して取り除き、濾液を減圧濃縮した。得られた残渣をフラッシュシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=1:0)にて精製し、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 2.05 (1H, t, J=2.7 Hz), 2.63-2.70 (2H, m), 4.07 (2H, t, J=7.0 Hz), 6.82-6.90 (2H, m), 6.94-7.02 (2H, m) マススペクトル (EI) m/z: 164 (M*)

参考例9

3- (4-メチルフェニルオキシ) -1-プロピン

参考例8と同様に、4ーメチルフェノールとプロパルギルアルコールを用いて、 標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): 8 2.29 (3H, s), 2.50 (1H, t, J=2.4 Hz), 4.67 (2H, d, J=2.4 Hz), 6.88 (2H, d, J=8.4 Hz), 7.10 (2H, d, J=8.4 Hz)

マススペクトル (EI) m/z: 146 (M)

参考例 10

3-[(4-メチルチオ) フェニルオキシ]-1-プロピン

参考例8と同様に、4-(メチルチオ)フェノールとプロパルギルアルコールを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 2.45 (3H, s), 2.52 (1H, t, J=2.4 Hz), 4.68 (2H, d, J=2.4 Hz), 6.93 (2H, d, J=8.9 Hz), 7.27 (2H, d, J=8.9 Hz)

マススペクトル(EI)m/z: 178(M)

参考例 11

3-(3-メトキシフェニルオキシ) -1-プロピン

参考例8と同様に、3-メトキシフェノールとプロパルギルアルコールを用いて、 標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル(400MHz, CDC1₃): δ 2.52(1H, t, J=2.4 Hz), 3.79(3H, s), 4.67(2H, d, J=2.4 Hz), 6.53-6.60(3H, m), 7.16-7.23(1H, m) マススペクトル(EI) m/z: 162(M))

参考例 12

3-(3、4-ジメチルフェニルオキシ)-1-プロピン

参考例8と同様に、3,4ージメチルフェノールとプロパルギルアルコールを用いて、標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 2.20 (3H, s), 2.24 (3H, s), 2.49 (1H, t, J=2.4 Hz), 4.65 (2H, d, J=2.4 Hz), 6.72 (1H, dd, J=2.4, 8.0 Hz), 6.78 (1H, d, J=2.4 Hz), 7.04 (1H, d, J=8.0 Hz)
マススペクトル (BI) m/z: 160 (M*)

参考例 13

4- (4-メチルフェニルオキシ) プト-1-イン

参考例8と同様に、4-メチルフェノールと3-ブチン-1-オールを用いて、 標記化合物を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 2.03 (1H, t, J= 2.8 Hz), 2.28 (3H, s), 2.66 (2H, dt, J=2.8, 7.2 Hz), 4.07 (2H, t, J=7.2 Hz), 6.81 (2H, d, J=8.8 Hz), 7.08 (2H, d, J=8.8 Hz)

マススペクトル (EI) m/2: 160 (M*)

参考例 14

4-シクロヘキシルオキシブト-1-イン

無水塩化メチレン 950mlに、シクロヘキサノン 32ml (0.31 モル)、1、3 ープロパンジオール 33.5ml (0.46 モル)、オルトぎ酸トリエチル 51.5ml (0.31 モル)、塩化ジルコニウム 1.44g (6.18 ミリモル)を加え、窒素雰囲気下、室温で1時間攪拌した。氷冷した1規定水酸化ナトリウム水溶液 1.5 Lを加え、塩化メチレンで抽出し、塩化メチレン層を水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣を減圧蒸留で精製し、シクロヘキサノントリメチル ケタール 26.8g (55%)を得た。

テトラヒドロフラン 500m l に懸濁した塩化ジルコニウム 24.9g (0.11 モル) に、水素化ほう素ナトリウム 20.5g (0.54 ミリモル) を、窒素雰囲気下、ゆっくりと加え、室温で20分攪拌した。そこに、先に得られたシクロヘキサノン トリメチル ケタール 16.9g (0.11 モル) を含むテトラヒドロフラン 170m l 溶液を窒素雰囲気下、氷冷下滴下し、滴下終了後、室温で一昼夜攪拌した。氷冷下、氷例した2規定塩酸 600m l を加えて、反応を終了させ、テトラヒドロフランを減圧下留去した。残った水相を、酢酸エチルで抽出し、酢酸エチル層を飽和食塩水で洗浄した。酢酸エチル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=10:1~5:2) により精製し、3ーシクロヘキシルオキシプロパンー1ーオール 13.4g (78%) を得た。

得られた3-シクロヘキシルオキシプロパン-1-オール11.5g (72.9ミリモル)を塩化メチレン240m1に溶解させ、氷冷下、モレキュラーシープ4A58g、塩化クロム酸ピリジニウム23.8g (0.11モル)を加え、窒素雰囲気下、1時間40分攪拌した。反応液にジエチルエーテルを加え、セライト濾過した。セライトをジエチルエーテルで洗浄後、濾液を合わせ、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカ

ゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒; ヘキサン: 酢酸エチル=20:1~10:1) により粗精製し、粗3-シクロヘキシルオキシプロピオンアルデヒド 8.60gを得た。

四臭化炭素 36.5g(0.11 モル)を含む塩化メチレン 120mlに、トリフェニルホスフィン 57.7g(0.22 モル)を含む塩化メチレン 120mlを窒素雰囲気下、氷冷下滴下し、滴下終了後、更に5分間攪拌した。そこに、得られた粗3ーシクロヘキシルオキシプロピオンアルデヒド 8.60gを含む塩化メチレン 90mlを窒素雰囲気下、氷冷下滴下し、滴下終了後、25分間攪拌した。反応液を塩化メチレンで希釈し、反応液を飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した。塩化メチレン層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=100:1~33:1)により精製し、4ーシクロヘキシルオキシー1、1ージプロモプテー1ーエン12.6g(55%、2工程)を得た。

得られた 4 ーシクロヘキシルオキシー1、1 ージブロモブテー1 ーエン 12.6 g (40.4 ミリモル)を含むテトラヒドロフラン 130 m l に、窒素雰囲気下、一78℃で、1.5 規定 nープチルリチウム ヘキサン溶液 54 m l (81.0 ミリモル)を 滴下し加えた。滴下終了後、1時間攪拌し、その後ゆっくりと室温になるまで温度を上げた。室温で、50分攪拌した後、氷冷下、水を加えて反応を終了させた。ジェチルエーテルで抽出し、ジェチルエーテル層を飽和食塩水で洗浄した。ジエチルエーテル層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(溶出溶媒;ヘキサン:酢酸エチル=100:1~50:1)により精製し、標記化合物 4.35 g (71%)を得た。

核磁気共鳴スペクトル (400MHz, CDCl₃): δ 1.13-1.36 (5H, m), 1.48-1.58 (1H, m), 1.67-1.81 (2H, m), 1.85-1.95 (2H, m), 1.97 (1H, t, J=2.8 Hz), 2.45 (2H, dt, J=2.8, 7.2 Hz), 3.23-3.32 (1H, m), 3.59 (2H, t, J=7.2 Hz) マススペクトル (EI) m/z: 153 (M + H)*

試験例1

ラットHvGR (Host versus Graft Reaction) に対する抑制活性の測定

(1) 2系統のラット [Lewis (雄、6週齢、日本チャールス・リバー株式会社) とWKAH/Hkm (雄、7週齢) 日本エスエルシー株式会社] を使用した。1群5匹のラット (宿主) を用いた。

(2) HvGRの誘導

WKAH/HkmラットまたはLewisラットの脾臓から脾臓細胞を単離し、RPMI1640培地 (LIFE TECHNOLOGIES, Rockville MD U.S.A.) で1x10⁸個/ml濃度に浮遊した。Lewi sラットの両後肢foot padの皮下に、WKAH/HkmラットまたはLewisラットの脾臓細胞 浮遊液100 μ1 (脾臓細胞数として1x10⁷) を注射した。

(3) 化合物の投与

化合物は0.5%トラガント液に懸濁した。懸濁した化合物は、化合物投与群(WK AH/Hkmラット脾臓細胞を注射され、検体を投与されるLewisラット)に5ml/kgの割合で、1日1回、脾臓細胞注射日から4日間連日でラットに経口投与した。なお、同系群(Lewisラット脾臓細胞を注射されたLewisラット群)と対照群(WKAH/Hkm ラット脾臓細胞を注射された(Lewisラット)と対照群(WKAH/Hkm ラット脾臓細胞を注射され、検体を投与されない(Lewisラット)には、検体の代わりに0.5%トラガント液を経口投与した。

(4) HvGRに対する抑制活性の測定方法

各固体のpoplitealリンパ節重量から同系群の平均poplitealリンパ節重量を引き (「HvGRによるpoplitealリンパ節重量」)、対照群の平均「HvGRによるpoplitealリンパ節重量」に対する化合物投与群の各固体の「HvGRによるpoplitealリンパ節重量」に対する化合物投与群の各固体の「HvGRによるpoplitealリンパ節重量」から抑制率を算出した。化合物の抑制活性は、化合物の投与量と抑制率から最小二乗法を用いて算出したID50値(mg/kg)で表示した。

本試験の結果、本発明の化合物は優れた抑制活性を示した。

【表5】

	化合物	HvGR ID50値 (mg/kg)
	実施例1	0.0843
	実施例11	0.0844
	実施例40	0.0683
	実施例43	0.0730
	実施例46	0.0454
•		
	比較化合物1	0.35 <u>4</u>

上記表において、比較化合物1は、WO94/08943公報の実施例29記載の化合物である。

試験例2

アジュバント関節炎発症に対する抑制活性の測定

1. アジュバントの調製

Mycobacterium butyricumの死菌を流動パラフィンに2 mg/mlの割合になるように懸濁し、超音波処理を行い調製した。

2. 被験化合物の調製

被験化合物は0.5%トラガント液に懸濁または溶解した。

- 3. アジュバント関節炎の誘導
- 1. で調製したアジュバント0.05 mlをラット (通常Lewis系) の右後肢足蹠皮内に注射する。なお、通常 1群の匹数は5とした。また、アジュバントを注射しない群 (正常群) を1群設けた。
- 4. 化合物の投与

2. で調製した化合物をラットの体重 1 kg当り5 mlの割合でアジュバント注射 日から1日1回、21日間連日経口投与した。なお、アジュバントを投与した1群(対 照群) およびアジュバントを注射しない群には0.5 %トラガント液を投与した。

5. 化合物の発症抑制活性の算出法

最終投与1日後に右後肢の体積を足蹠測定装置で測定し、各個体の値から正常群の平均値を引き、その値を腫脹体積とした。対照群の平均腫脹体積に対する化合物を投与された各個体の腫脹体積から抑制率を算出した。化合物の投与量とそれぞれの(群の平均)抑制率より1D50値を算出した。

本試験の結果、本発明の化合物は優れた抑制活性を示した。

【表 6】

	化合物	ID50値 (mg/kg)
		0.0470
•	比較化合物 1	0.166

上記表において、比較化合物1は、WO94/08943公報の実施例29記載の化合物である。

345

請求の範囲

1. 一般式(I)

[式中、

R¹及びR²は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、

R³は、水素原子又はヒドロキシ基の保護基を示し、

R'は、低級アルキル基を示し、

nは、1乃至6の整数を示し、

Xは、エチレン基、ビニレン基、エチニレン基、式 $-D-CH_2$ -を有する基(式中、Dは、カルボニル基、式-CH(OH) -を有する基、酸素原子、硫黄原子 又は窒素原子を示す。)、アリール基又は置換基群 a から選択される基で 1 乃至 3 個 置換されたアリール基を示し、

Yは、単結合、 C_1-C_{10} アルキレン基、置換基群 a 及び b から選択される基で1 乃至3個置換された C_1-C_{10} アルキレン基、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基を示し、

R⁵は、水素原子、シクロアルキル基、アリール基、複素環基、置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換されたシクロアルキル基、置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された複素環基を示し、

 R^6 及び R^7 は、同一又は異なって、水素原子又は置換基群 a から選択される基を示す。

但し、 R^5 が水素原子であるとき、Yは単結合及び直鎖の C_1 - C_{10} アルキレン基以外の基を示す。]

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル、又は、その他の誘導体

<置換基群 a >

ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基、ヒドロキシ基、低級脂肪族アシル基、アミノ基、モノー低級アルキルアミノ基、ジー低級アルキルアミノ基、低級脂肪族アシルアミノ基、シアノ基及びニトロ基

<置換基群 b >

シクロアルキル基、アリール基、複素環基、置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたシクロアルキル基、置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換されたアリール基、及び置換基群 a から選択される基で1乃至3個置換された複素環基。

2. 請求項1において、式 (Ia)

$$R^{4}$$
 $(CH_{2})_{n}$ $(CH_{2})_{n$

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体。

3. 請求項1において、式 (Ib)

$$R^4$$
 $(CH_2)_n$
 R^7
 (Ib)

を有する化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体。

4. 請求項1乃至3から選択されるいずれか1項において、

R¹及びR²が、同一又は異なって、水素原子、低級アルコキシカルボニル基、ア ラルキルオキシカルボニル基又は置換基群 a から選択される基で1万至3個置換 されたアラルキルオキシカルボニル基である化合物又はその薬理上許容される塩。

- 5. 請求項1乃至3から選択されるいずれか1項において、 R¹及びR²が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 6. 請求項1乃至5から選択されるいずれか1項において、

R³ が、水素原子、低級アルキル基、低級脂肪族アシル基、芳香族アシル基又は 置換基群 a から選択される基で 1 乃至 3 個置換された芳香族アシル基である化合 物又はその薬理上許容される塩。

- 7. 請求項1乃至5から選択されるいずれか1項において、 R3が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 8. 請求項1乃至7から選択されるいずれか1項において、 R⁴が、C₁-C₄アルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 9. 請求項1乃至7から選択されるいずれか1項において、 R⁴が、C₁-C₂アルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 10. 請求項1乃至7から選択されるいずれか1項において、 R⁴が、メチル基である化合物又はその薬理上許容される塩。

- 11. 請求項1乃至10から選択されるいずれか1項において、 nが、2又は3である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 12. 請求項1乃至10から選択されるいずれか1項において、 nが、2である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 13. 請求項1乃至12から選択されるいずれか1項において、 Xが、エチレン基、エチニレン基、アリール基又は置換基群 a から選択される基 で1乃至3個置換されたアリール基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 14.請求項1乃至12から選択されるいずれか1項において、 Xが、エチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 15. 請求項1乃至12から選択されるいずれか1項において、 Xが、エチニレン基である化合物又はその薬理上許容される塩
- 16. 請求項1乃至12から選択されるいずれか1項において、 Xが、式-D-CH,-を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 17. 請求項1乃至12から選択されるいずれか1項において、 Xが、式-D-CH₂-を有する基(式中、Dは、カルボニル基又は式-CH(O) H) -を有する基を示す。) である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 18. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、 Yが、 C_1-C_{10} アルキレン基又は置換基群 a 及びb から選択される基で1乃至3 個置換された C_1-C_{10} アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

19. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、 C_1-C_6 アルキレン基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された C_1-C_6 アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

20. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基、トリメチレン基、テトラメチレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で1乃至3個置換された、エチレン、トリメチレン若しくはテトラメチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

21. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基、トリメチレン基若しくはテトラメチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

2.2. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、エチレン基又はトリメチレン基である化合物又はその薬理上許容される塩

23. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基、又は置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃至 3 個置換された、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有する C_1-C_{10} アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

24. 請求項1万至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子若しくは硫黄原子を有するC₁-C₁₀アル

キレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

25. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子を有する $C_1 - C_{10}$ アルキレン基である化合物又はその薬理上許容される塩。

26. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、炭素鎖中若しくは鎖端に酸素原子を有するC₁-C₆アルキレン基である化 合物又はその薬理上許容される塩。

27. 請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、

Yが、 $-O-CH_2-$ 、 $-O-\left(CH_2
ight)$ $_2-$ 、 $-O-\left(CH_2
ight)$ $_3-$ 、 $-CH_2-O-$ 、 $-\left(CH_2
ight)$ $_2-O-$ 又は $-\left(CH_2
ight)$ $_3-O-$ を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩。

- 28.請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、 Yが、−CH2−O−を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 29.請求項1乃至17から選択されるいずれか1項において、Yが、 $-O-(CH_2)_2-V$ は $-(CH_2)_2-O-を有する基である化合物又はその薬理上許容される塩。$
- 30. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、 R⁵が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 31. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、シクロアルキル基、複素環基、置換基群 a 及び b から選択される基で1 乃至3個置換されたシクロアルキル基又は置換基群 a 及び b から選択される基で 1万至3個置換された複素環基である化合物又はその薬理上許容される塩。

32. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、シクロアルキル基又は置換基群 a 及び b から選択される基で1万至3個 置換されたシクロアルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩。

- 33.請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、 R⁵が、シクロアルキル基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 34.請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、 R⁵が、シクロヘキシル基である化合物又はその薬理上許容される塩。
- 35.請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、アリール基又は置換基群 a 及び b から選択される基で 1 乃至 3 個置換されたアリール基である化合物又はその薬理上許容される塩。

36. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、アリール基又は1乃至3個置換されたアリール基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、低級アルキルチオ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩。

37. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R5が、アリール基又は1乃至3個置換されたアリール基(該置換基は、ハロゲ

ン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上 許容される塩。

38. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁵が、フェニル基又は1万至3個置換されたフェニル基(該置換基は、ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基及び低級脂肪族アシル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩。

39. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁶が、フェニル基又は1万至3個置換されたフェニル基(該置換基は、弗素原子、塩素原子、メチル、トリフルオロメチル、メトキシ及びアセチル基から成る群から選択される基である。)である化合物又はその薬理上許容される塩。

40. 請求項1乃至29から選択されるいずれか1項において、

R⁶が、フェニル、3ーフルオロフェニル、4ーフルオロフェニル、3,4ージフルオロフェニル、3,5ージフルオロフェニル、3ークロロフェニル、4ークロロフェニル、3,4ージクロロフェニル、3ーメチルフェニル、4ーメチルフェニル、3,5ージメチルフェニル、3,5ージメチルフェニル、3ートリフルオロメチルフェニル、4ートリフルオロメチルフェニル、3ートリフルオロメチルフェニル、3,5ージトリフルオロメチルフェニル、3,5ージトリフルオロメチルフェニル、3ージトキシフェニル、4ーメトキシフェニル、3,4ージメトキシフェニル、3,5ージメトキシフェニル、3ーアセチルフェニル又は4ーアセチルフェニル基である化合物又はその薬理上許容される塩。

41. 請求項1乃至40から選択されるいずれか1項において、

R⁶及びR⁷が、同一又は異なって、水素原子、ハロゲン原子、低級アルキル基、 ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基又は低級アルキルチオ基である化合物 又はその薬理上許容される塩。

42. 請求項1乃至40から選択されるいずれか1項において、

R⁶及びR⁷が、水素原子である化合物又はその薬理上許容される塩。

43. 請求項1において、下記より選択されるいずれか1つの化合物、その薬理上 許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体。

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(6-シクロヘキシルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オー ル、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキシ-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン- 1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(6-フェニルヘキサノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オ ール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンチル)チオフェン-2-イル] プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシブチル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロピル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルオキシペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプタノイル)チオフェシ-2-イ

ル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルオキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタ ン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オ ール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシプチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロピル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェノキシペンタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェノキシブタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-フェノキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシフェニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシフェニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルエトキシフェニル)チオフェン-2-イ

ル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロピル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、及び

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルメトキシプロパノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール。

4. 請求項1において、下記より選択されるいずれか1つの化合物、その薬理上 許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体。

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルブチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンチル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプチル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プチル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メトキシフェノキシ)プチル]チオフェン-2-イル)プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-ベンジルオキシプチル)チオフェン-2-イル]プタン -1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プ タン-1-オール、 2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-メトキシフェニル)ペント-1-イニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルシクロヘキシルオキシ)プロピニル]チオ フェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-エチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-メチルチオフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルオキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-フルオロフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[4-(4-メチルフェノキシ)プト-1-イニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(3-シクロヘキシルメトキシプロピニル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルメトキシプト-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-シクロヘキシルプタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(4-フェニルプタノイル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オ ール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-[5-(5-フェニルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[5-(4-フルオロフェニル)ペンタノイル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンチル)チオフェン-2-イル]プタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペント-1-イニル)チオフェン-2-イル] ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-エチル-4-[5-(5-シクロヘキシルペンタノイル)チオフェン-2-イル]ブ タン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-クロロフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル} ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-メトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イルプタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,4-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3,5-ジメトキシフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(3-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}ブタン-1-オール、及び

2-アミノ-2-メチル-4-{5-[3-(4-アセチルフェノキシ)プロピニル]チオフェン-2-イル}プタン-1-オール。

45. 請求項1乃至44より選択されるいずれか1項に記載された化合物、その薬理上許容される塩、そのエステル又はその他の誘導体を有効成分として含有する医薬組成物。

- 46. 自己免疫疾患の予防又は治療のための、請求項45に記載の医薬組成物。
- 47. 自己免疫疾患が慢性関節リューマチである、請求項46に記載の医薬組成物。
- 48. 各種臓器移植での拒絶反応を抑制するための、請求項45に記載の医薬組成物。

49. 一般式 (La) 又は (Lb)

$$R^{3a}O$$
 R^{4a}
 $R^{3a}O$
 R^{4a}
 R^{4a}

[式中、

R¹及びR²は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、

R³は、水素原子又はヒドロキシ基の保護基を示すか、あるいは、

R¹が水素原子であり、かつR²及びR^{3a}が、一緒になって、式(一(C=O) ー) 基を示し、

 R^{\bullet} は、 C_1-C_{20} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_1-C_{20} アルキル基、 C_2-C_{20} アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{20} アルキニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルキニル基、 C_2-C_{20} アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された C_2-C_{20} アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{20} アルキル基、又は、シクロアルキル基を示し、

mは、0乃至4の整数を示し、

Arは、アリール基、芳香族複素環基、置換基群 a から選択される基で1万至5個置換されたアリール基、置換基群 a から選択される基で1万至5個置換された芳香族複素環基を示す。但し、Arがアリール基の場合には、 R^1 は水素原子を示さずかつ R^2 及び/又は R^{3a} は水素原子を示さない。]で表される化合物。

<置換基群 a >

ハロゲン原子、低級アルキル基、ハロゲノ低級アルキル基、低級アルコキシ基、 低級アルキルチオ基、カルボキシル基、低級アルコキシカルボニル基、ヒドロキシ 基、低級脂肪族アシル基、アミノ基、モノー低級アルキルアミノ基、ジー低級アル キルアミノ基、低級脂肪族アシルアミノ基、シアノ基及びニトロ基

- 50. 請求項49において、一般式 (La) を有する化合物。
- 51. 請求項49又は50において、R¹が、水素原子である化合物。
- 52. 請求項49乃至51から選択されるいずれか一項において、

[式中、

 R^1 及び R^2 は、同一又は異なって、水素原子又はアミノ基の保護基を示し、 R^{40} は、 $C_1 - C_{20}$ アルキル基、ヘテロ原子が介在する $C_2 - C_{20}$ アルキル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された $C_1 - C_{20}$ アルキル基、 $C_2 - C_{20}$ アルキニル基、ヘテロ原子が介在する $C_3 - C_{20}$ アルキニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された $C_2 - C_{20}$ アルキニル基、 $C_2 - C_{20}$ アルケニル基、ヘテロ原子が介在する $C_3 - C_{20}$ アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換された $C_2 - C_{20}$ アルケニル基、アリール基若しくは芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する $C_2 - C_{20}$ アルキル基、又は、シクロアルキル基を示す。〕で表される2 -置換- 2 -アミノー1、3 -プロパンジオール誘導体の一方のヒドロキシ基のみを、リパーゼの存在下に、式(XLIII)

 $R^{II}COOCH = CH_2$ (XLIII)

を有するカルボン酸ビニルエステル誘導体(式中、R¹¹は、R¹⁰の定義における基と同様の基を示す。)を用いて選択的にアシル化することを特徴とする、一般式(X LIVa)又は(XLIVb)で表される、2-置換-2-アミノ-1,3-プロパンジオール モノエステル誘導体

[式中、R¹、R²、R"及びR"は前記と同義を示す。]の製造方法。

65. 請求項64において、

R¹及びR²の一方が水素原子で、他方がアミノ基の保護基である製造方法。

66. 請求項64又は65において、

 R^{4a} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{10} アルキニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルケニル基、ヘテロ原子が介在する C_3-C_{10} アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_2-C_{10} アルケニル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換されたヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である製造方法。

67. 請求項64又は65において、

 R^{4a} が、 C_1-C_{10} アルキル基、ヘテロ原子が介在する C_2-C_{10} アルキル基、アリール基又は芳香族複素環基で置換された C_1-C_{10} アルキル基、 C_2-C_{10} アルキニル基、 C_2-C_{10} アルケニル基、或は、 C_5-C_{10} シクロアルキル基である製造方法。

68. 請求項64乃至66から選択されるいずれか一項において、

 $R^{"}$ が、 C_1-C_{20} アルキル基、或は、アリール基又はヘテロアリール基で置換された C_1-C_{20} アルキル基である製造方法。

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP01/05988

_			
A. CLASSI Int.(FICATION OF SUBJECT MATTER C1 ⁷ C07D333/20, 333/22, 333/32 C12P13/00	, C07C271/16, A61K31/3	81, A61P37/06,
According to	International Patent Classification (IPC) or to both nati	onal classification and IPC	
B. FIELDS	SEARCHED		
Int.	cumentation searched (classification system followed by C1 ⁷ C07D333/20, 333/22, 333/32 C12P13/00	2, C07C271/16, A61K31/3	
	on searched other than minimum documentation to the o		
	ata base consulted during the international search (name US, REGISTRY (STN)	of data base and, where practicable, sear	ch terms used)
	Application of the second seco		• • •
C. DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where app		Relevant to claim No.
х	WO 96/06068 A1 (YOSHITOMI PHARM LTD.), 29 February, 1996 (29.02.96), RN=177258-66-1, 177258-72-9, 17 & CA 2198383 A & EP 778263 & US 5948820 A & US 618782	7258-78-5, 177259-32-4 A1	49-59,62,63 1-48,60,61, 64-68
х	Table 1	4.0	• !
. A	JP 2-256612 A (TANABE SEIYAKU C 17 October, 1990 (17.10.90) (1	Family: none)	. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
A	EP 297782 A1 (TANABE SEIYAKU CO 04 January, 1989 (04.01.89), & IL 86740 A & FI 880287 & JP 1-79175 A & US 485754	73 A	1
	& CA 1320964 A & CN 103056 & DK 8803580 A & AU 881853 & HU 50160 A & FR 261740	84 A	
1 .			
Further	er documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.	
*A Specia *A* docum conside "E* earlier date "L* docum cited to specia "O* docum means "P* docum than th	Il categories of cited documents: tent defining the general state of the art which is not cred to be of particular relevance document but published on or after the international filing tent which may throw doubts on priority claim(s) or which is o establish the publication date of another citation or other I reason (as specified) tent referring to an oral disclosure, use, exhibition or other tent published prior to the international filing date but later the priority date claimed	"T" later document published after the int priority date and not in conflict with t understand the principle or theory and document of particular relevance; the considered novel or cannot be considered with the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the considered to involve an inventive ste combinated with one or more other succombination being obvious to a perso document member of the same patent. Date of mailing of the international Sea	he application but cited to lerlying the invention claimed invention cannot be cred to involve an inventive e claimed invention cannot be sp when the document is h documents, such a skilled in the art family
31 2	actual completion of the international search August, 2001 (31.08.01)	11 September, 2001 Authorized officer	
Japa	nailing address of the ISA/ anese Patent Office	- Virginitzen omfer	
Facsimile N	ło.	Telephone No.	

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Form PCT/ISA/210 (continuation of second sheet) (July 1992)

International application No.

PCT/JP01/05988

	PCT/0P01/05988
C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
Category* Citation of document, with indication, where appropriate, of the relev	vant passages Relevant to claim No
A J. Org. Chem., (1997), 62(7), pages 2275-9	64-68
A Tetrahedron Lett., (1996), 37(23), pages 40	47-50 64-68
A J. Org. Chem., (1999), 64(22), pages 8220-5	64-68
A WO 94/08943 A1 (YOSHITOMI PHARM. CO., LTD.) 28 April, 1994 (28.04.94), & EP 627406 A1 & JP 6-509845 A & US 5604229 A & US 5719176 A & US 5952316 A	, 64-6B
A JP 9-124564 A (NIKKO RIKA K.K.), 13 May, 1997 (13.05.97) (Family: none)	64-68
A JP 4-104796 A (TAIHO PHARM. CO., LTD.), 07 April, 1992 (07.04.92) (Family: none)	64-68
A RP 492497 A2 (HOECHST AG), 01 July, 1992 (01.07.92), & CA 2058185 A & JP 4-287689 A	64-68
& US 5387514 A	
and the second of the second o	The state of the s
	· .

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/05988

Box I Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 1 of first sheet)
This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:
1. Claims Nos.:
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
· ·
2. Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an
extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
en andre en la companya de la compa
3. Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).
Box II Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 2 of first sheet)
This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:
Claims 64-68 relate to processes for the preparation of compounds, but
these processes are not for the preparation of any of the compounds set forth
in claims 1-44 and 49-63. Thus, a group of inventions of claims 64-68 and a group of inventions of claims 1-44 and 49-63 have not any special technical
feature in common. Therefore, this application does not comply with the
requirement of unity of invention.
This application involves two inventions; one is set forth in claims
1-63, and the other in claims 64-68.
Participation (1997) (1995) (1995) (1995) (1995) (1995) (1996)
1. As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable
claims.
and the state of t
2. As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
of any annihonal rec
3. As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers
only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international
search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:
Remark on Protest The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.
No protest accompanied the payment of additional search fees.

A. 発明の區する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int. Cl' C07D333/20, 333/22, 333/32, C07C271/16, A61K31/381, A61P37/06, C12P13/00			
B. 調査を行	った分野		
調査を行った最 Int. Cl' CO7D3	小限資料(国際特許分類(IPC)) 333/20, 333/22, 333/32, 007C271/16, A61K31/38	1, A61P37/06, C12P13/00	
最小限資料以外	の資料で調査を行った分野に含まれるもの		
	· •		
国際調査で使用 CAPLUS, REGIS		調査に使用した用語)	e in tag
C. 関連する	と認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	きは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Х	WO 96/06068 A1 (YOSHITOMI PHARMACE) Feb. 1996 (29. 02. 96) RN=177258-66-1, 7259-32-4 & CA 2198383 A & EP 778263 A1 & US	, 177258-72-9, 177258-78-5, 17	49-59, 62, 63 1-48, 60, 61, 6 4-68
X	Tetrahedron Lett., (1998), 39(29), p.	. 5147-50, Table 1	49-51, 56-59, 62
A	JP 2-256612 A(TANABE SEIYAKU CO., (ファミリーなし)	LTD. 17. Oct. 1990 (17. 10. 90)	1 .
x C欄の続き	にも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。
もの 「E」国際出題 以後にな 「L」優先権当 日若しく 文献(現 「O」口頭に。	のカテゴリー 極のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 質日前の出願または特許であるが、国際出願日 公表されたもの と張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 (は他の特別な理由を確立するために引用する 里由を付す) よる開示、使用、展示等に管及する文献 質日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表出願と矛盾するものではなく、の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、の新規性又は進歩性がないと考「Y」特に関連のある文献であって、上の文献との、当業者にとってよって進歩性がないと考えられ「&」同一パテントファミリー文献	発明の原理又は理論 当該文献のみで発明 えられるもの 当該文献と他の1以 自明である組合せに
国際調査を完	ፖ L たቹ 31. 08. 01	国際調査報告の発送日 11.09	.01
日本日	の名称及びあて先 国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 部千代田区段が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 富永 保 電影 保 電話番号 03-3581-1101	AP 9159 内線 3490

国際出願番号 PCT/JP01/05988

Ċ (続き) .	関連すると認められる文献	in the A. or
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	EP 297782 A1 (TANABE SEIYAKU CO., LTD.) 4. Jan. 1989 (04.01.89) & IL 86740 A & FI 8802873 A & JP 1-79175 A & US 4857543 A & CA 1320964 A & CN 1030584 A & DK 8803580 A & AU 8818534 A & HU 50160 A & FR 2617402 A	1
A	J. Org. Chem., (1997), 62(7), p. 2275-9	64-68
A	Tetrahedron Lett., (1996), 37(23), p. 4047-50	64-68
A	J. Org. Chem., (1999), 64 (22), p. 8220-5	64-68
A	WO 94/08943 A1 (YOSHITOMI PHARM. CO., LTD.) 28. Apr. 1994 (28. 04. 9 4) & EP 627406 A1 & JP 6-509845 A & US 5604229 A & US 5719176 A & US 5952316 A	64-68
A	JP 9-124564 A(NIKKO RIKA KK) 13. May. 1997(13.05.97) (ファミリーなし)	64-68
A	JP 4-104796 A(TAIHO PHARM. CO., LTD.) 7. Apr. 1992(07.04.92) (ファミリーなし)	64-68
A	EP 492497 A2 (HOECHST AG) 1. Jul. 1992 (01. 07. 92) & CA 2058185 A & JP 4-287689 A & US 5387514 A	64-68
A Section 1	The second section of the contraction of the contra	an san era era era

様式PCT/ISA/210 (第2ページの続き) (1998年7月)

第1欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
法第8条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。
1. □ 請求の範囲は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。 つまり、
·
2. □ 請求の範囲 は、有意能な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. □ 請求の範囲 は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に
3. 請求の範囲 は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2叉及び第3叉の規定に
第Ⅱ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)
大に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
'
請求の範囲64-68に記載された発明は化合物の製造方法の発明であるが、請求の範囲 1-44、49-63に記載されたいずれの化合物の製造方法でもないから、これら請求の 範囲に記載された発明は特別の技術的特徴を共有しない。したがって、本出願は単一性を有
しない。 本出願には、請求の範囲1-63と、請求の範囲64-68に記載された2の発明が包含 される。
Called To the company of the control of the specific to the section of the section of the control of the section of the sectio
1. 区 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の範囲について作成した。
2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. 出頭人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
CALL A MANAGEMENT AND
追加調査手数料の異態の申立てに関する注意
□ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
□ 追加閥査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

様式PCT/[SA/210 (第1ページの続葉(1)) (1998年7月)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.